

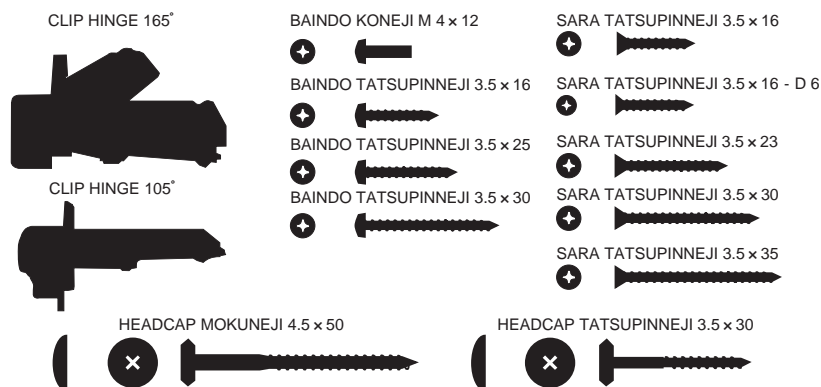
ベイ ビー・ベイ エフ・ベイ

据付工事説明書

BAY

B-BAY

F-BAY



もくじ



| | | | |
|-----------------------------|-------|--------------------------|---------|
| 安全上のご注意 | 1~2 | 中板の取付け位置 | 86 |
| 据付け前の確認/ユニット構成図 | 3 | ノックダウン収納ユニット本体の調整・ | 87 |
| キッチンユニット・収納ユニット取付機位置 | 4 | キャップ類の取付け | |
| 据付工事作業手順/据付け上のご注意 | 5 | ノックダウン収納用エンドスペーサーの取付け | 88 |
| アジャスター(樹脂製)・ケコミ板の取付け | 6~7 | ノックダウン収納用エンドパネルの取付け | 89 |
| ステンレスカバーAFの取付け | 8 | ノックダウン収納用化粧パネルスペーサーの取付け | 90 |
| アジャスター【AF仕様】の取付け | 9~10 | ノックダウン収納用化粧フィラーの取付け | 91~92 |
| キッチンフロアユニットの取付け | 10~11 | ノックダウン収納ユニット本体の固定 | 93 |
| ローモビルコンテナ収納ユニットの取付け | 11 | 標準ユニットの組立て | 94 |
| マジックコーナーバスケット付コーナーユニットの取付け | 12 | 大型食品庫の組立て | 95 |
| ワークトップの取付け | 13 | コーナーユニットの組立て | 96~99 |
| 見付板の固定 | 14 | 収納用マジックコーナーバスケットの据付方法 | 100~102 |
| スライドドアフロアユニットの取付け | 15~16 | 野菜ストッカーの取付け | 102 |
| ペルチェシステム取付け | 17~20 | スライドスイングバスケットの取付け | 103 |
| 液晶シャッターの配線工事 | 21~23 | ドアポケットの取付け | 104 |
| 配管前の準備/排水管の配管/ | 24~26 | ノックダウン収納用インナーパーツ取付け位置/ | 105 |
| リカバリータンクの取付け | | 棚板の取付け | |
| アルミ配管カバーの取付け | 27 | アルミ棚板の取付け/アミ棚の取付け | 106 |
| ブルオープン食器洗い乾燥機ユニット配管カバーの取付け | 28 | スチール製引出しの取付け | 107 |
| 転倒防止金具の取付け | 29 | オプションパーツの取付け | 108~109 |
| 分岐ヘッダの取付け | 30 | ガラス扉の把手の取付け/ | 110 |
| ステンレス壁面パネルの取付け | 31 | 丁番の取付けと着脱 | |
| 調理機器バックパネルの取付け | 32 | 扉の調整 | 111~116 |
| パイプハンガーパーツ(壁面パイプパーツ)の取付け | 33 | バイキングステップの取付け | 116 |
| ウォールユニットの取付け | 34 | パイプブラックパーツの取付け | 117 |
| ウォールユニット用インナーパーツの取付け/ | 35 | パイプブラックパーツの取付け(コーナー用)/ | 118 |
| フルエクステンション引出しの取り外し、取付け | | ダストカンの取付け | |
| 液晶シャッターの引出しの取り外し、取付け | 36 | オプションパーツの組み合わせ例 | 119~132 |
| 野菜ストッカーの取り外し、取付け/ | 37 | B-BAY | |
| 引出し式ダストユニットの取り外し、取付け | | ウイングAFの取付け | 134~136 |
| 引出し前板の調整 | 38 | ウイングAFの施工例 | 137~139 |
| 冷蔵庫用ルーバーの取付け | 39 | アイランドキッチンの組立て | 140~144 |
| 照明器具の取付け | 40 | フロントパネルの取付け | 145~146 |
| 照明器具・照明カバー[アルミ製]の取付け | 41~42 | 転倒防止金具の取付け(アイランドキッチンの場合) | 147 |
| オープンシェルフの取付け | 43 | ブラケットの取付け | 148 |
| オープンシェルフ受け金具位置 | 44 | アイランドシェルフユニットの取付け | 149~154 |
| オーバーパネルの取付け | 45 | アルミサイドパネルの取付け | 155~156 |
| キッチンエンドパネルの取付け | 46 | ステンレスサイドパネルの取付け | 157~159 |
| キッチンエンドスペーサーの取付け | 47 | ステンレスフィラーの取付け | 160~161 |
| キッチンフィラーの取付け | 48 | ガラスバックガードの取付け | 162 |
| アイランドパネルの取付け | 49~50 | ブックラックの取付け | 163 |
| スライド食器洗い乾燥機(ダブルタイプ) | 51~52 | 転落防止金具の取付け | 164 |
| 【FB6010TD】ユニット内配管図 | | IV-P60(90)G*、IV-PC96の取付け | 165 |
| スライド食器洗い乾燥機(ダブルタイプ) | 53 | 照明器具・照明カバー | 166~167 |
| 【FB6010TD】のアルミケコミ板の取付け | | [ステンレス製]の取付け | |
| ミーレ社自動食器洗い機【G601PSCU-M】の取付け | 54~58 | ブルム社製フルエクステンション引出しの | 168 |
| 仕切板の取付け | 59 | 取り外し、取付け | |
| オープン【NE-DB801】のアルミケコミ板の取付け | 60~61 | クロスギャラリーの取付け | 169 |
| 配管カバーの取付け | 62 | 引出し前板の調整 | 169~170 |
| 水栓の取付け | 62~72 | 据付け後の点検・清掃・養生 | 170 |
| カウンターの取付け | 73~74 | ホルムアルデヒド発散区分 | 171 |
| 人工大理石天板の取付け | 75~76 | | |
| 加熱機器設置前の準備 | 77 | | |
| ノックダウン収納の据付けスペースの確認・付属工具 | 77 | | |
| ノックダウン収納ユニット本体の組立て | 78~84 | | |
| 中板の取付け | 85 | | |

安全上のご注意



必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。 |
|  注意 | この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。 |

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|--|
|  | この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。 |
|  | このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。 |

据付工事完了後、説明書の内容に従って試運転および各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

警告

ステンレス製ワークトップやステンレスフードを取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

ウォールユニット、収納ユニットおよび、その他のキッチンパーツの据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

ペルチェシステム、液晶シャッターの操作スイッチ部や機器内部に水をかけないでください。



電気部品に水が進入し、感電することがあります。

交流 100 V 以外では、使用しないでください。



火災、感電の原因になります。

ペルチェシステムは、アースを確実にしてください。



取付けないで使用すると、故障や漏電の時に感電する恐れがあります。

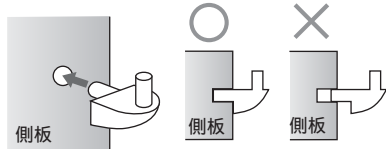
ペルチェシステム、液晶シャッターには、15 A 以上のコンセントを単独で使用してください。



他の器具と併用すると分岐コンセント部が、異常発熱して発火することがあります。

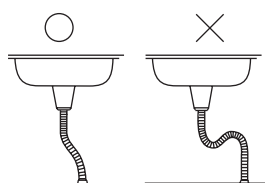
⚠ 注意

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう根元まで確実に差し込んでください。



棚板が外れ、収納物が落下してケガをする恐れがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

組み込まれる電気機器・水栓等については、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



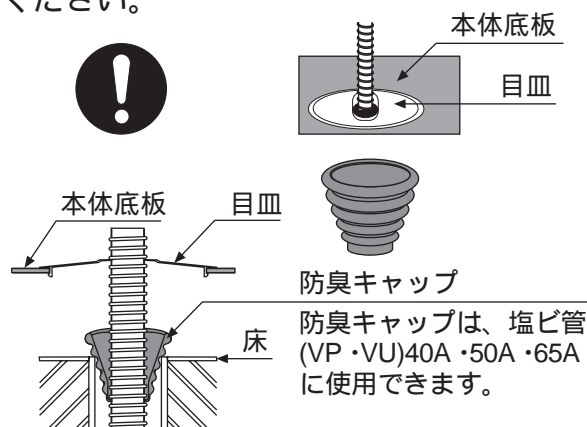
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

収納ユニットは、必ず壁面に固定してください。



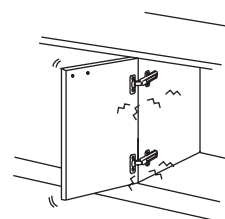
転倒してケガをする恐れがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシールは、確実に行ってください。



水が漏れたり、湿気が上がり床等が腐る恐れがあります。

工事完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。



使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

据付け前の確認

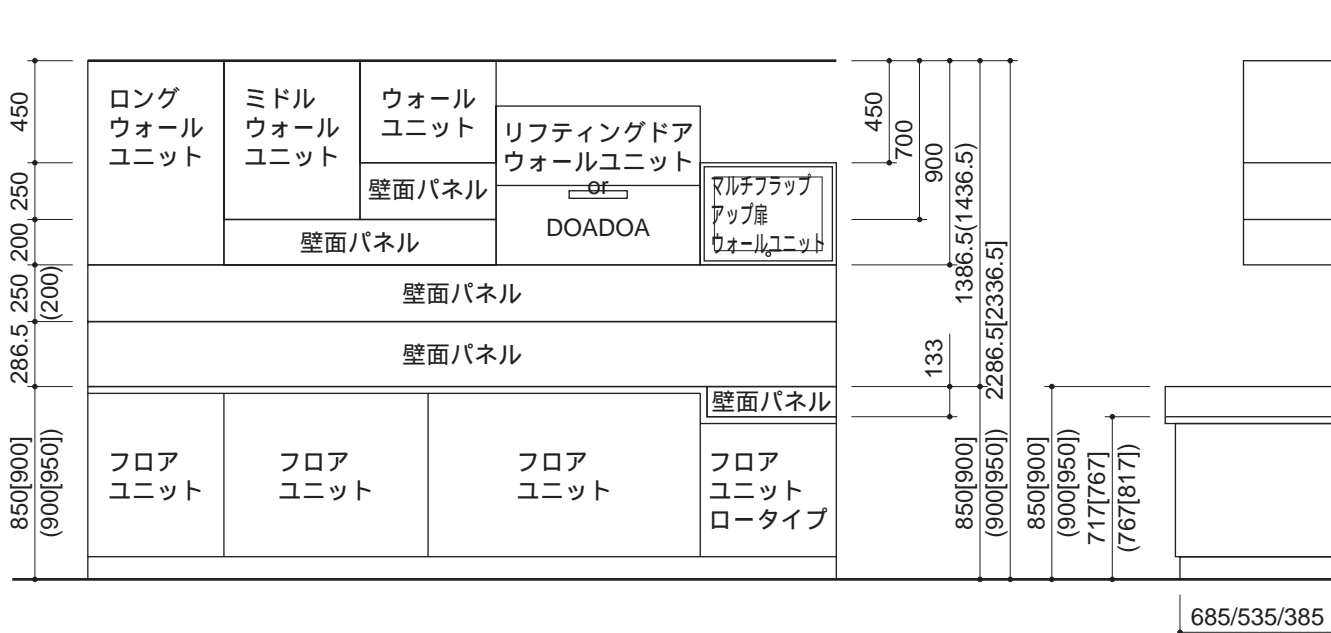
1. 注文した製品が納入されているか、確認してください。
2. 配管・配線・補強枠の確認
 - ・施工図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、ガス管、および各機器の電気配線、換気口等が施工されているか確認してください。
 - ・壁面の取付位置に、取付枠があることを確認してください。
また、天井吊りにする場合は、天井の強度を確認してください。
 - ・壁の直角、垂直、床の水平レベルを確認してください。

ユニット構成図

[] 内寸法は、A F仕様【H = 150】の場合を示す。

() 内寸法は、B G付きワークトップの場合を示す。

フロアユニット・ウォールユニット



ノックダウン収納ユニット



据付工事作業手順

- ・据付面のレベル出しを行う。
- ・壁の背面、側面に対し、下げ振りによりレベル出しを行う。
(水平、垂直、壁の倒れをパッキン材で補正する。)
- ・床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面にフロアユニットの間口分に対し、 $H = 820$ (AF仕様【 $H = 150$ 】の場合 $H = 870$) の墨出しをする。
(これが全ての取付基準になる。)
- ・L型についても入隅のカネ出し(直角)を十分にチェックする。
尚、壁背面側面はあらかじめ9mm以上のコンパネ貼りを指示しておくのが望ましい。
- ・フロアユニットを取付ける。
(ステンレス壁面パネルが付く場合はフロアユニットから取付け、ない場合はウォールユニットから取付ける。)
- ・アジャスターをユニットに取付け、ユニットひとつひとつの前面に対し、水平をみながら壁側より取付けセットしていく。(ウイングAF、ステンレスカバーAF以外のAF仕様の場合は、1ユニットごとに連結していく。)
- ・L型についてはコーナーユニットより取付ける。
- ・設置後、ヘッドキャップタッピンネジにて固定する。
- ・ワークトップを取付け、加熱機器をセット固定する。(P13を参照)
- ・その後ケコミ板(P6~7を参照)、ウイングAF(P134~139を参照)、ステンレスカバーAF(P8を参照)を取付ける。(その他のAF仕様の場合には必要ありません。)
- ・仕上がり後、ダンボール等でワークトップを養生し、上部の取付けを始める。
- ・ステンレス壁面パネルを取付ける。(P31を参照)
- ・ワークトップ $H = 850$ (AF仕様【 $H = 150$ 】の場合 $H = 900$) よりパネル取付金具の位置を決め、下部より取付けていく。(BG付きワークトップの場合 $H = 900$ (AF仕様【 $H = 150$ 】の場合 $H = 950$) より位置を決める。)
メラミンパネル等の場合は、ウォールユニット取付け後に行った方が損傷等の危険が少なく、作業性が良い。但し、寸法チェックをしておく。
- ・調理機器バックパネルを取付ける。(P32を参照)
- ・ウォールユニットを取付ける。
- ・でレベル出しをした壁側より、順次水平垂直のレベルを見ながら取付けていく。
その時レンジフードについても、換気扇等の現場合わせを行い、取付ける。
その他ウォールユニットの部品を取付ける。
- ・エンドパネル、スペーサー、フィラーを取付ける。(P46~48を参照)
- ・壁面ステンレス部分のシーリングをする。
- ・給水栓取付け後、オプションパーツを取付ける。
- ・扉の取付け後、調整する。

据付け上のご注意

化粧部材に取付け方向シールが貼ってある場合は、部材に柄方向があります。
矢印方向が上を向くように部材を取付けてください。

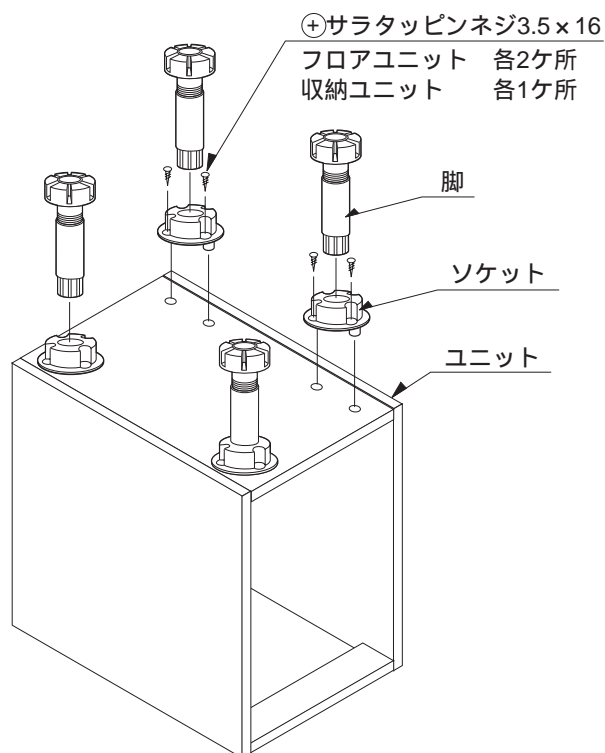


取付け方向シール

アジャスター(樹脂製)・ケコミ板の取付け

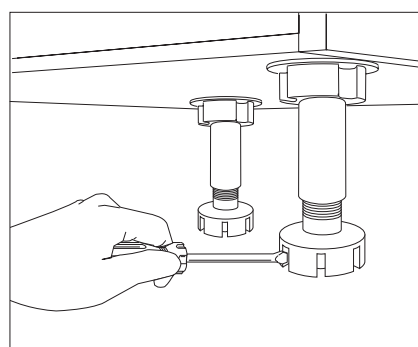
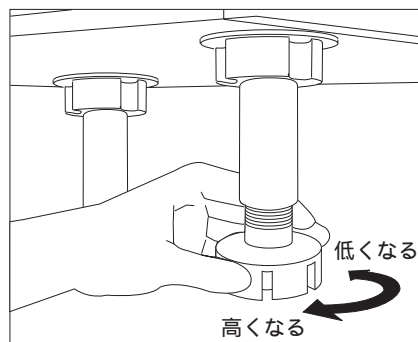
アジャスターの取付け

- ・ユニット底板の取付け穴にソケットをはめ込み、⊕サラタッピンネジ3.5×16で底板に固定してください。
- ・次に脚をソケットの取付け穴にはめ込んでください。



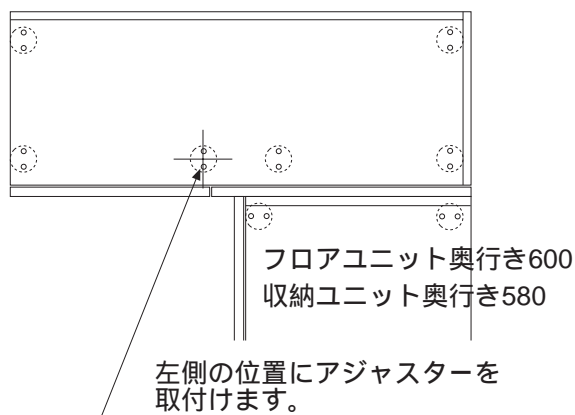
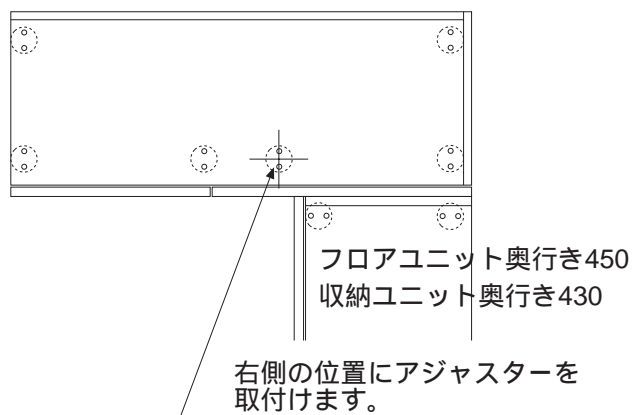
- ・ユニットを元に戻し、専用工具又は手やドライバーを使いユニットの高さを調整し水平を出します。

調整範囲 - 0 ~ +15mm



アジャスターの取付け位置

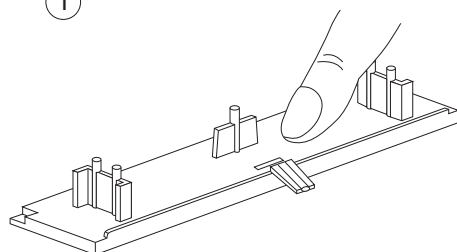
コーナーユニット間口1200



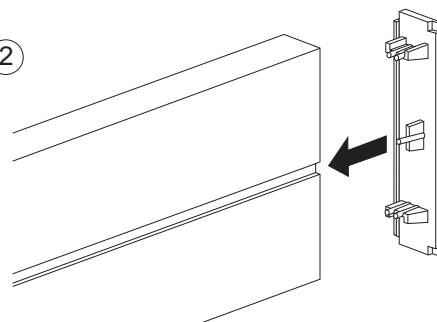
ケコミ板の取付け

- ・ケコミ板にエンドキャップをはめ込みます。

①

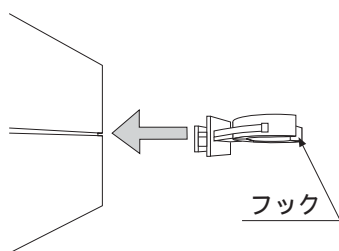


②

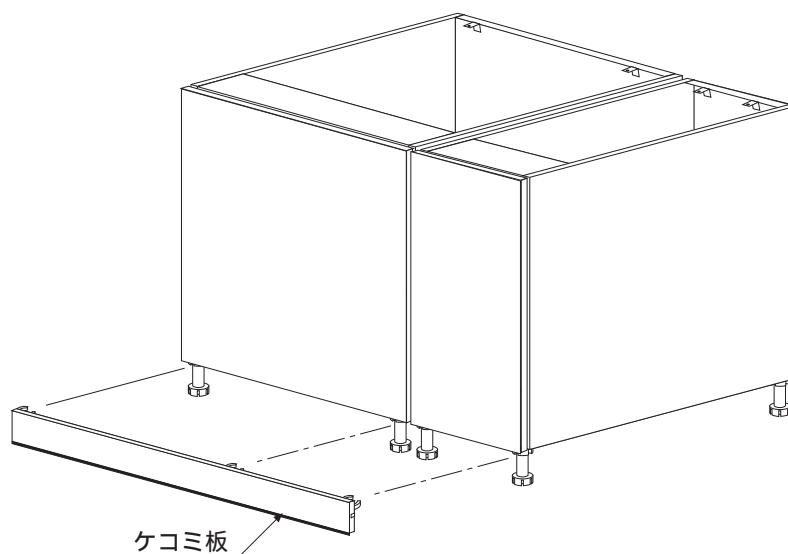
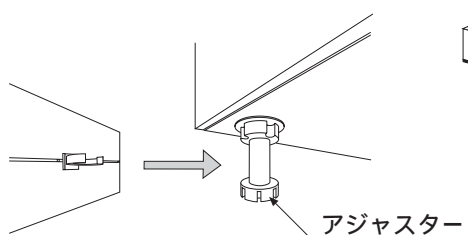


- ① ツメを折ってカッターでバリを取ってください。
- ② ケコミ板にはめ込んでください。

- ・アジャスターの位置に合わせてフックを取付けます。
フックの間隔は1050mm以下になるように取付けてください。

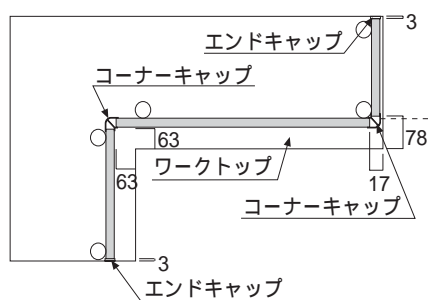


- ・フックをアジャスターにはめ込みます。



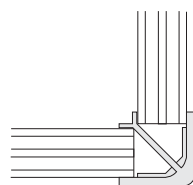
ケコミ板の納まり

[フロアユニットの場合]

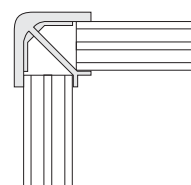


・コーナーキャップの使い方

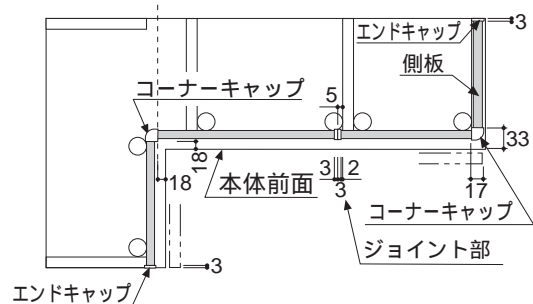
オープンの場合



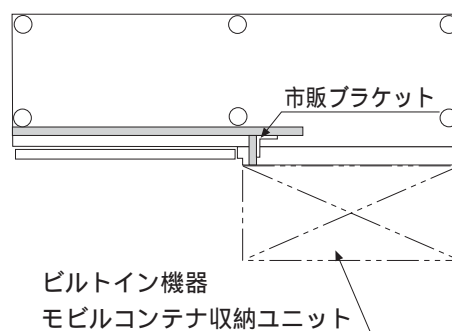
L 型の場合



[収納ユニットの場合]



[フロアコーナーユニット・ビルトイン機器部の場合]



ステンレスカバー A F の取付け

1. 前板に付いているスプリングキャッチ（ストライク）を外し、側板の開口部に取付けます。（図 1）
2. アジャスターの位置に合わせて、前板と側板にフックを取付けます。（図 2）
フックの間隔は1050mm以下になるように取付けてください。
3. 側板に取付けたフックをアジャスターにはめ込みます。（図 3）
4. 側板と前板のスプリングキャッチ（2ヶ所）の位置を合わせながら、前板に取付けたフックをアジャスターにはめ込みます。（図 4）
スプリングキャッチがしっかり嵌まったのを確認してください。

図 1

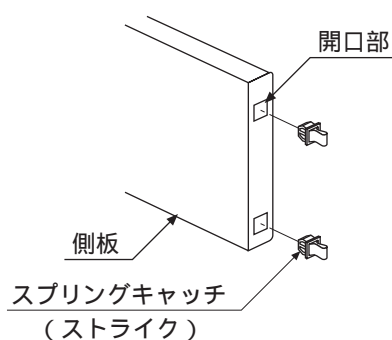


図 2

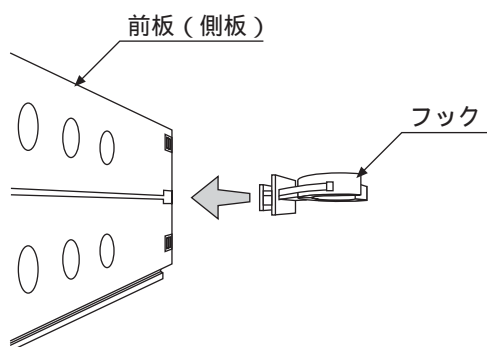


図 3

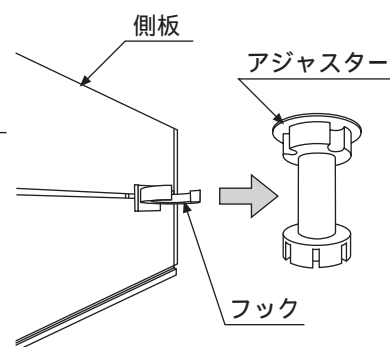
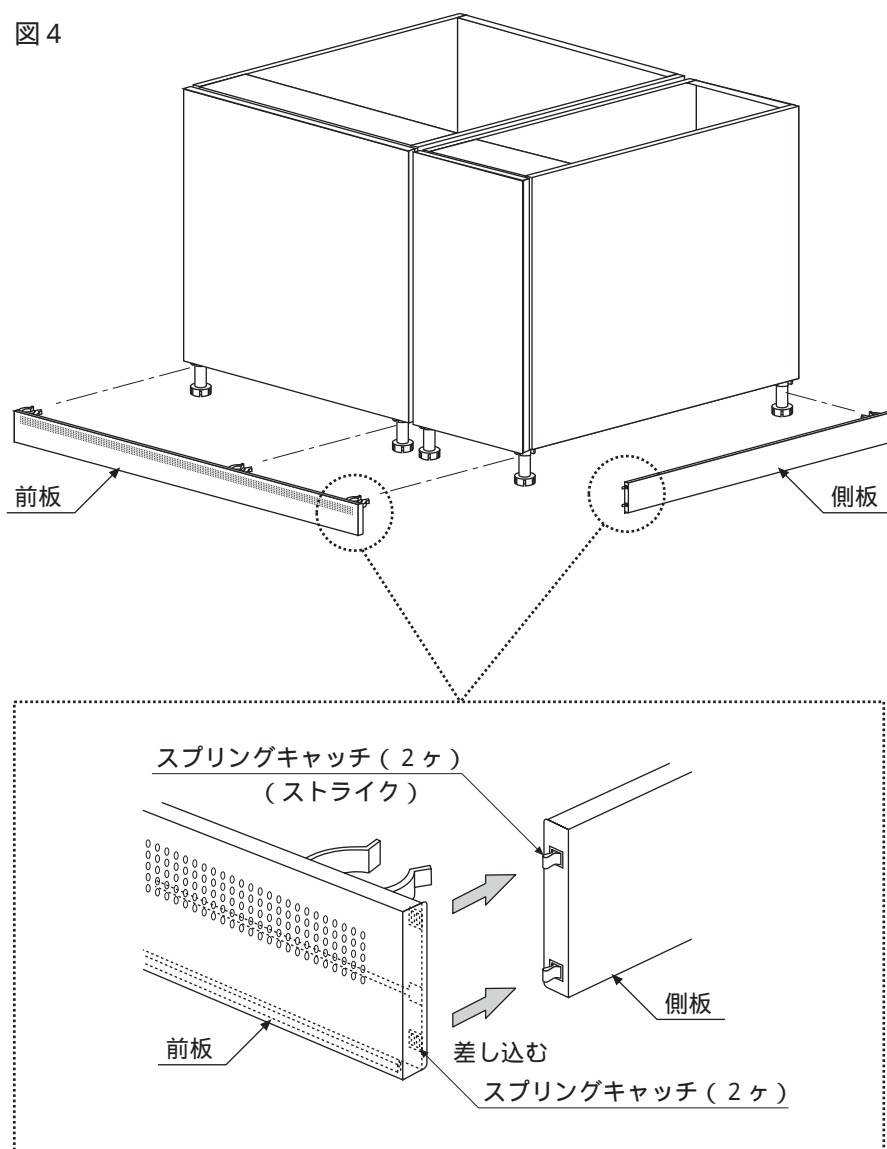


図 4

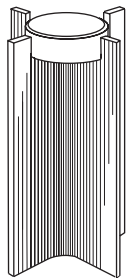


アジャスター【A F仕様】の取付け

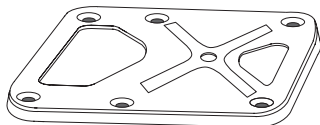
部品名称

アルミA F仕様

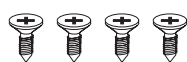
アルミアジャスター脚



アジャスタープレート



M 8 セレート 付きネジ



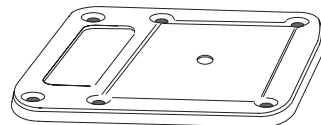
④サラタッピンネジ 3.5 x 16

クリスタルA F仕様

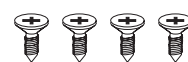
クリスタル
アジャスター脚



アジャスタープレート



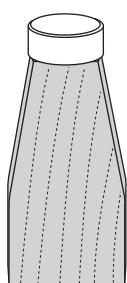
M 8 セレート 付きネジ



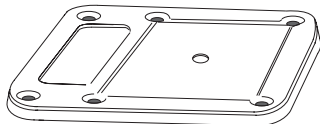
④サラタッピンネジ 3.5 x 16

ウッドA F仕様

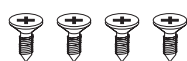
ウッドアジャスター脚



アジャスタープレート



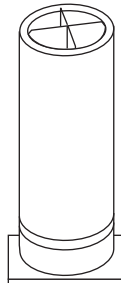
M 8 セレート 付きネジ



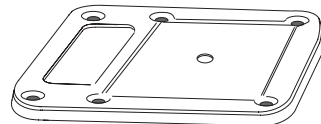
④サラタッピンネジ 3.5 x 16

樹脂A F仕様

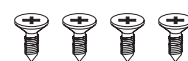
樹脂アジャスター脚



アジャスタープレート



M 8 セレート 付きネジ

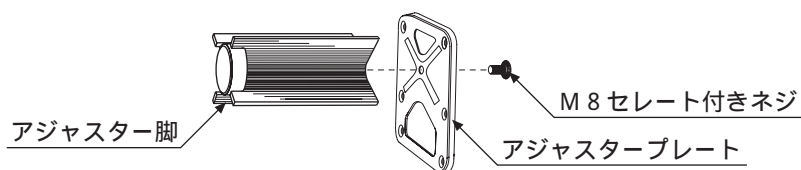


④サラタッピンネジ 3.5 x 16

組立手順

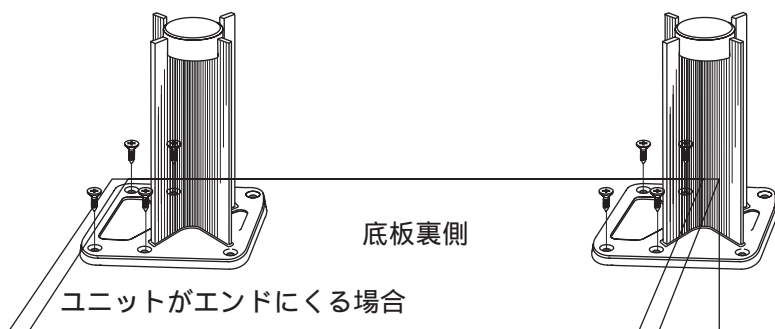
イラストはアルミA F仕様ですが、ウイングA F、ステンレスカバーA F以外のA F仕様も同じです。

- ・フロアユニットが連続する場合、左側から取付けてください。
- ・どちらか壁になる場合は壁側から施工してください。
- ・コーナーユニットがある場合はコーナーユニットから取付けてください。

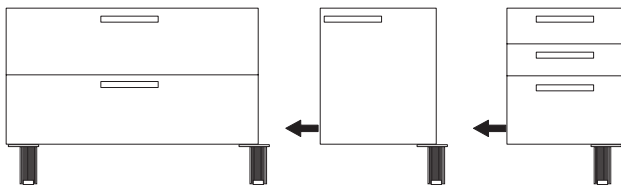


- ・ M 8 セレート付きネジを使用し、アジャスタープレートにアジャスター脚を固定します。

隣にユニットが続く場合

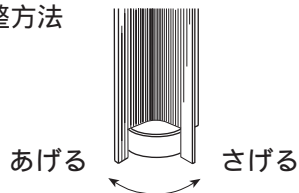


- ・フロアユニットを裏向けて、下穴のある位置にアジャスタープレートを合わせ、④サラタッピンネジ 3.5 x 16にて固定します。

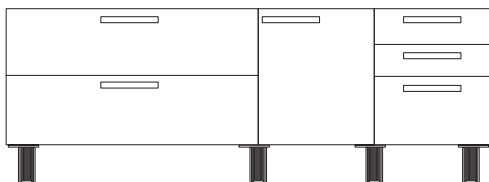


- ・端（壁側）のユニットを取付け後、隣のユニットを順に施工していきます。
1ユニットごとにユニット連結をします。

アジャスターの調整方法



- ・手を使いユニットの高さや水平を調整してください。
アジャスターの調整は1ユニットごとに行ってください。
調整範囲 - 0 ~ + 10 mm



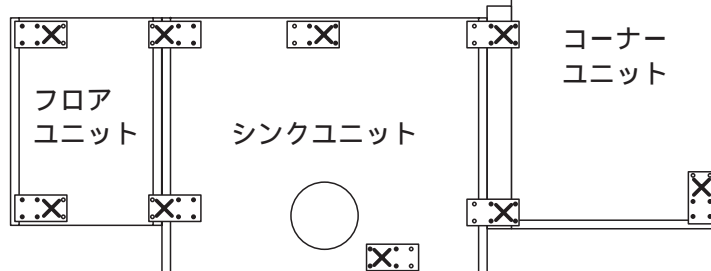
- ・アジャスターは、左図のように両端以外は、ユニットとユニットの間の位置になります。

アジャスター配置

- ・各フロアユニットに関して、下図のようなレイアウトになります。
この場合コーナーユニットが存在しますので、コーナーユニットから取付けを行います。

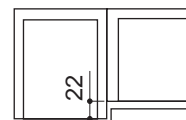
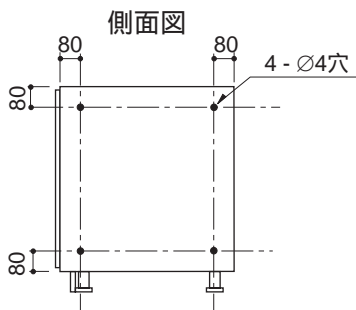
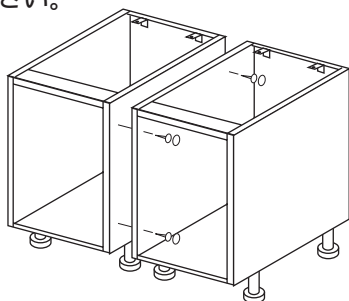
アジャスター配置（裏面より）

図中 はネジ固定箇所
は固定なし



キッチンフロアユニットの取付け

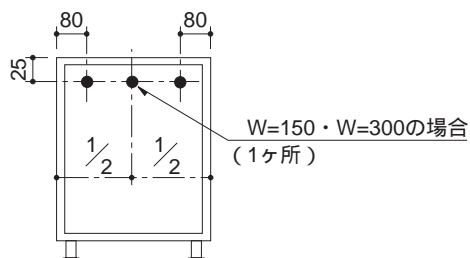
- ・ユニットどうしを連結する場合は、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30 を使用し、指定の位置（4ヶ所）で連結してください。
オープンユニットを他のフロアユニットに連結する場合は、ユニット前面を 22mm 前に出して連結してください。



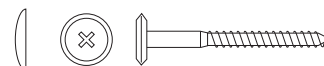
ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30



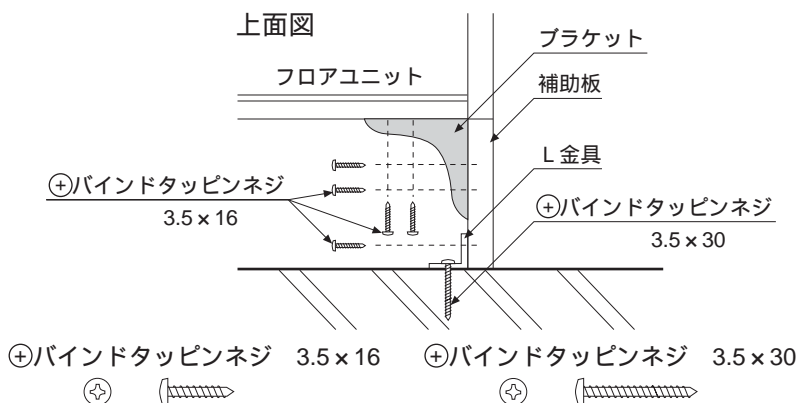
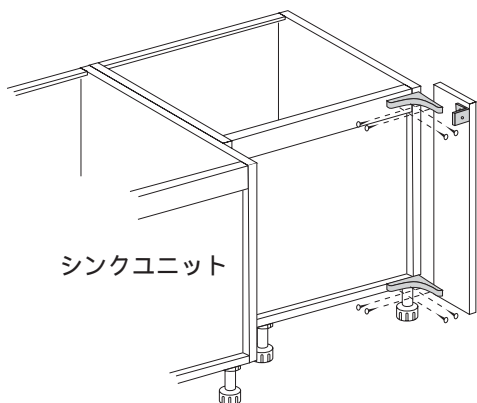
- ・ユニットを壁面に固定する場合は、ヘッドキャップ木ネジ 4.5×50を使用し、指定の位置で固定してください。（取付枠の位置は、キッチンユニット取付枠位置を参照してください。）



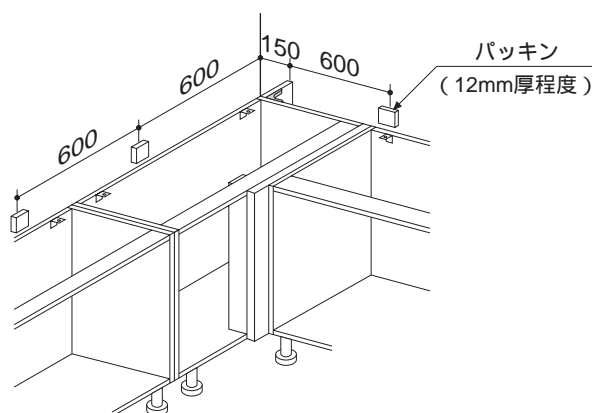
ヘッドキャップ木ネジ 4.5×50



- ・奥行き750mmの製品を設置する場合、シンクユニット以外のフロアユニットは奥行きが555mmとなっているので下図のように、補助板・ブラケット・L金具を使用して取付けてください。
- ・L型の場合、コーナーユニットのコンロ側にも補助板を取付けてください。

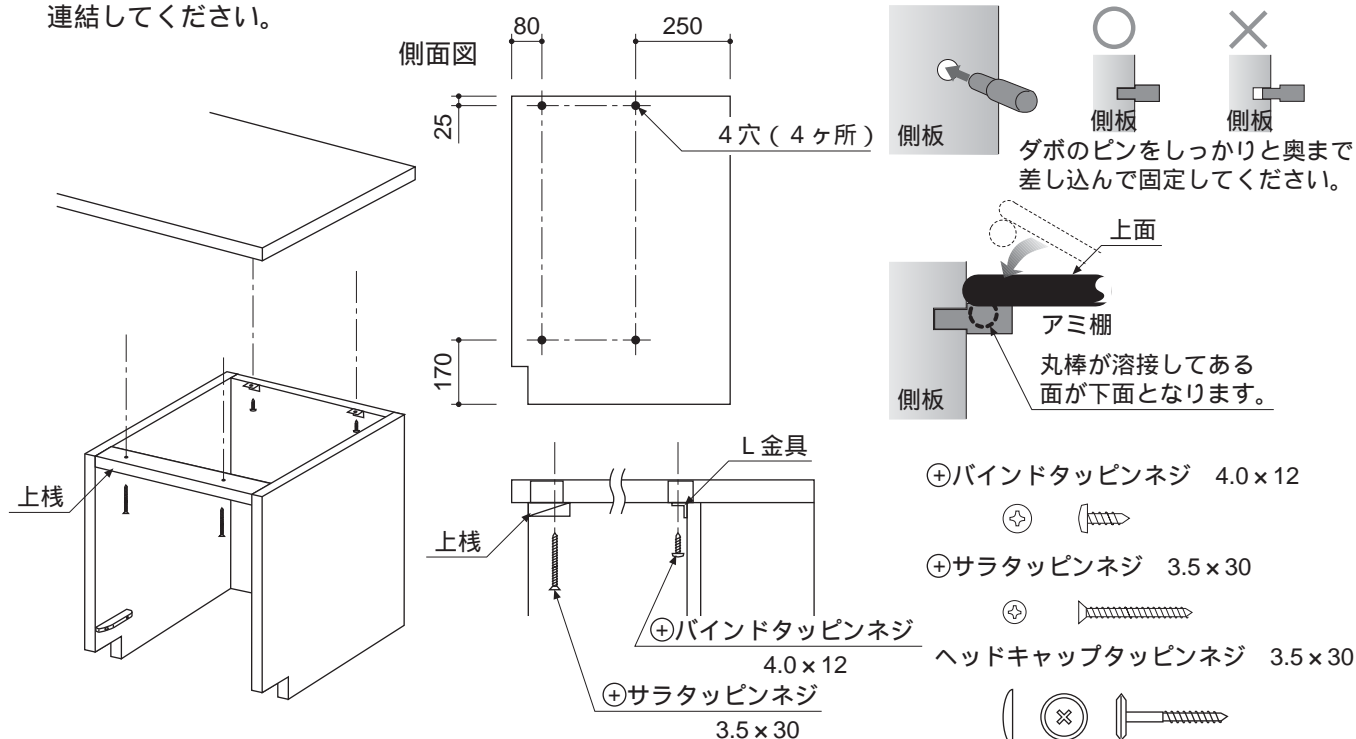


- ・奥行き750mmの人大ワークトップの場合、ユニット上面と同じ高さに12mm厚程度のパッキンを600mmピッチ以下で壁面に取付けてください。ただし、シンクユニット部分には必要ありません。



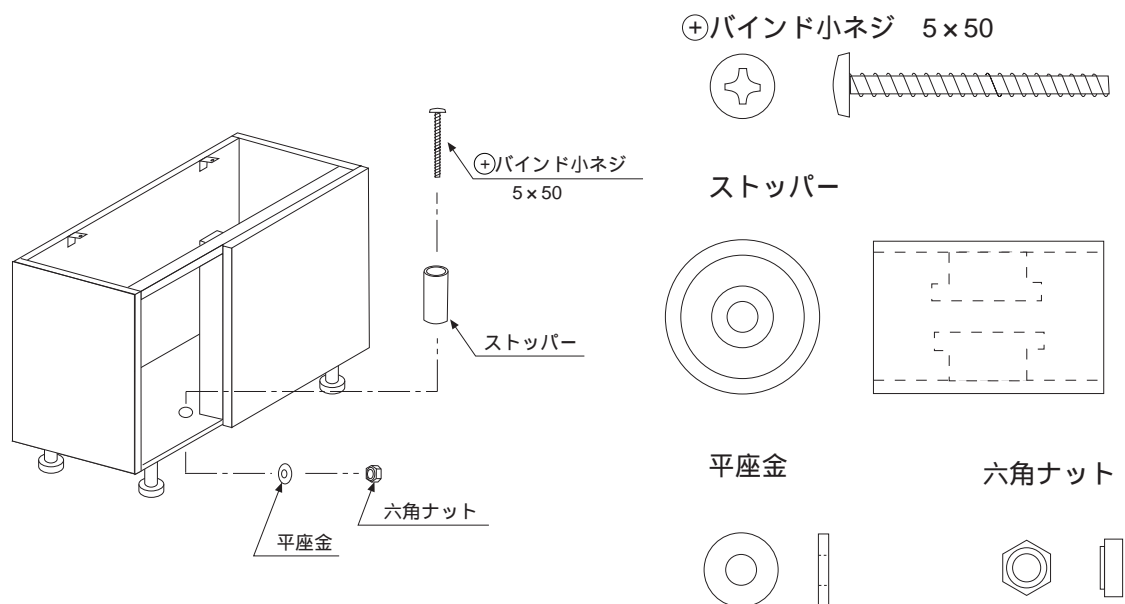
ローモビルコンテナ収納ユニットの取付け

- ・ローモビルコンテナ収納ユニットは、上栈の下穴 4 から④サラタッピンネジ3.5×30を使用し、ワークトップと固定してください。ユニット後部のL金具とワークトップの固定は、④バインドタッピンネジ4.0×12を使用します。
- ・隣のユニットに連結する場合は、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30 を使用し、指定の位置（4ヶ所）で連結してください。

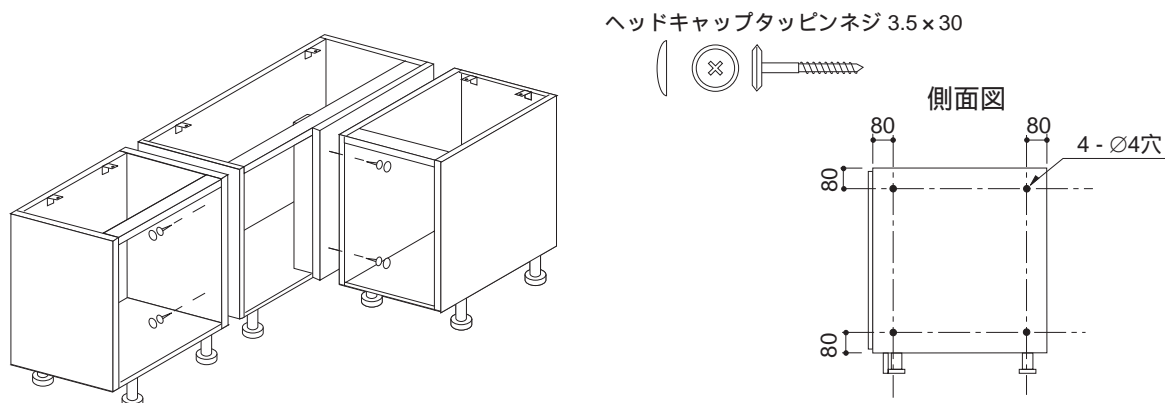


マジックコーナーバスケット付コーナーユニットの取付け

- ・下記部品が袋詰めされて、マジックコーナーバスケットに付属されていますので、下図のようにユニットの底板にしっかりと固定してください。



- ・ユニットどうしを連結する場合は、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30 を使用し、指定の位置（4ヶ所）で連結してください。



- ・ユニットを壁面に固定する場合は、ヘッドキャップ木ネジ 4.5×50を使用し、指定の位置で固定してください。（取付枠の位置は、キッチンユニット取付枠位置を参照してください。）



ワークトップの取付け

- ・シンクユニットの前面は、L 金具が付けてありますので、⊕バインドタッピンネジ3.5×16を使用し、ワークトップを壁へ押し付けながら密着させ、ワークトップを固定してください。
- ・その他のフロアユニットの前面は、上桟がありますので下穴φ4 をあけてヘッドキャップタッピンネジ3.5×30を使用し、ワークトップと固定してください。
- ・後面は、L 金具が付けてありますので、⊕バインドタッピンネジ4.0×12を使用し、ワークトップと固定してください。
- ・人大ワークトップの場合は、端に位置する間口450mm以下のユニットのL 金具と上桟より、図1に示す位置でワークトップに固定してください。

壁面に弊社のバックパネルや壁面パネルを取付けない場合は、ワークトップの壁に接する面にシール材（付属品）を貼り、その上にシーリング材を線状に付着させてから、ワークトップを壁へ押し取付けてください。（図3）また、全ての施工が終わりましたら、壁とのすき間全周（縦目地も含む）をシーリングしてください。（図4）ただし、人大ワークトップの場合は、「人工大理石の施工上の注意」のイラストに従って、シーリングを行ってください。

H750 フロントパネルを使用する場合は、ワークトップのフロントパネル取付面にシール材を貼らないでください。

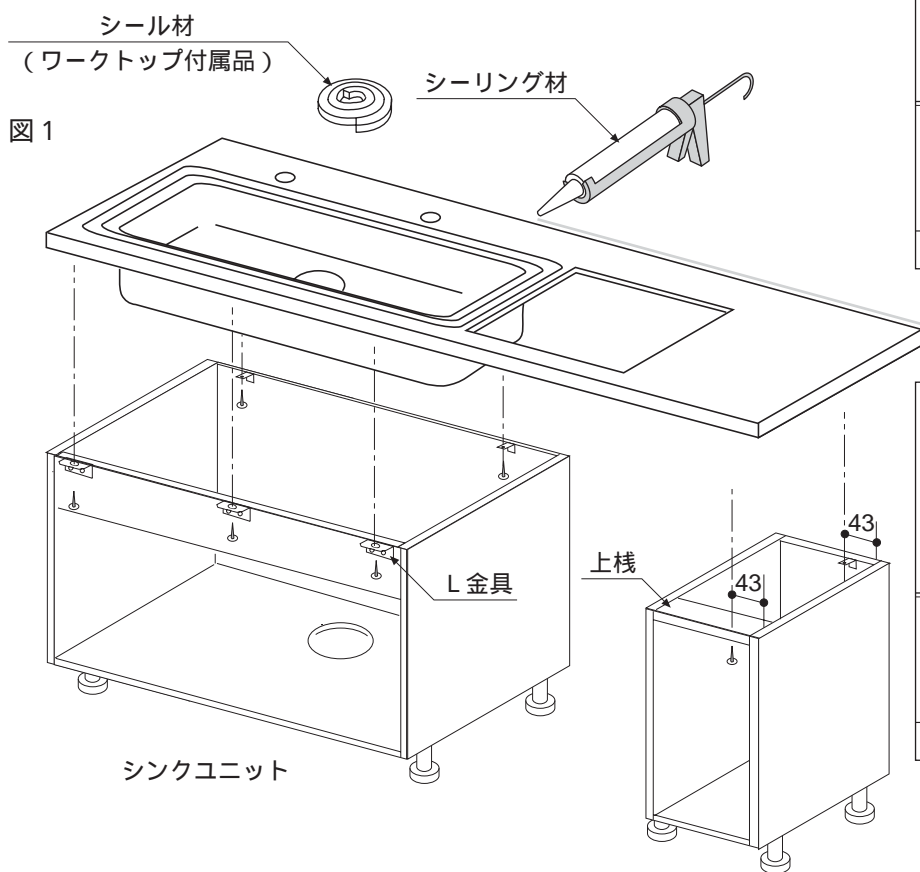


図1

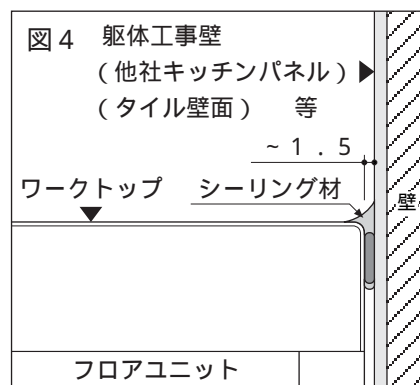
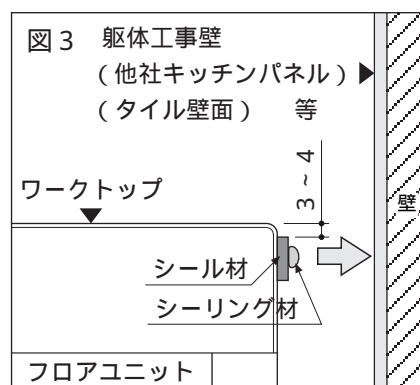
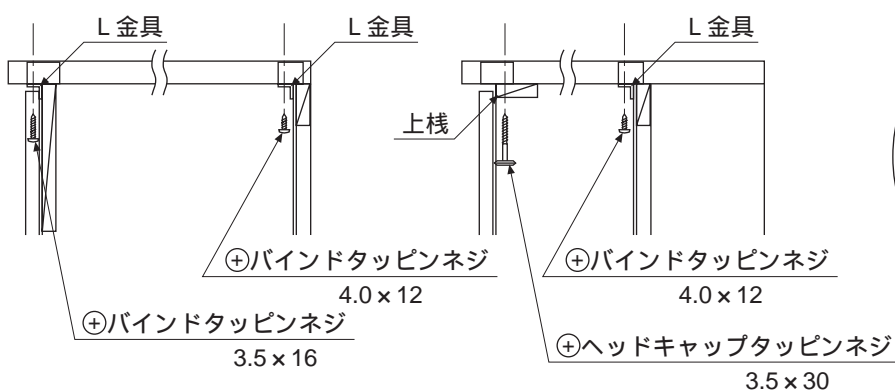


図2

シンクユニット

その他のユニット

その他のフロアユニット



⊕バインドタッピンネジ 3.5×16

⊕バインドタッピンネジ 3.5×16
ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30

⊕バインドタッピンネジ 4.0×12

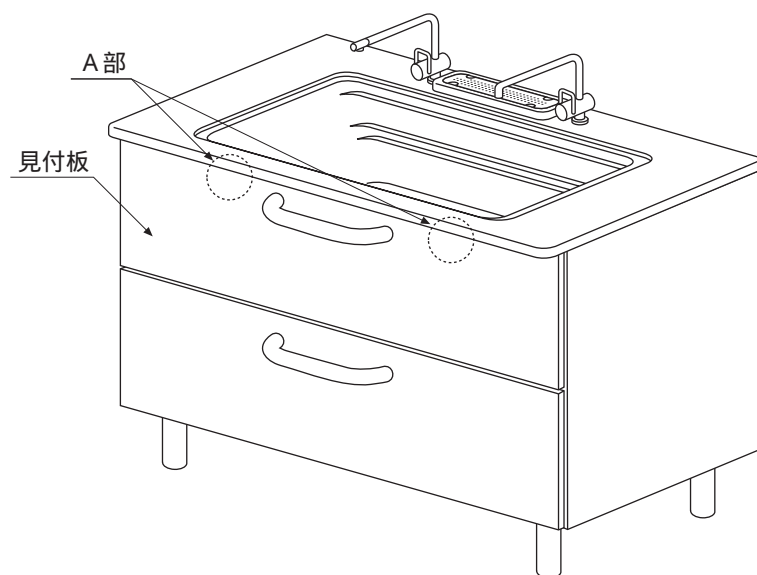
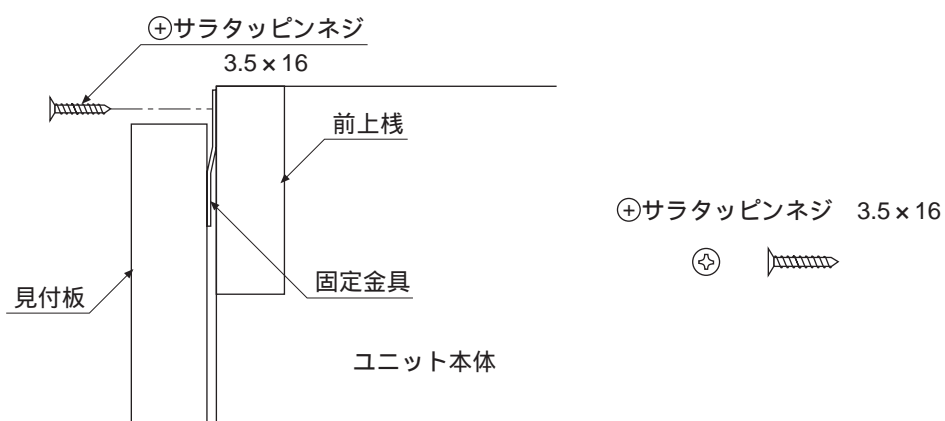
⊕バインドタッピンネジ 4.0×12

⊕ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30

見付板の固定

- ・ 4 Dシンクの場合、ワークトップを固定する際に、見付板を外してください。
見付板は、固定金具（2ヶ所）にてユニットに取り付けてあります。
- ⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16 を外して、見付板を外してください。
ワークトップの固定が終了したら、見付板を取付けてください。

A部詳細図



スライドドアフロアユニットの取付け 1

1. スライドドアフロアユニットのスライドドアは調整済で出荷されますが、輸送中の衝撃および取付け時のユニット本体の歪み等により、なめらかな開閉をしなくなる場合があります。
2. なめらかな開閉をしなくなった場合は、スペーサーを取付ける前に、本体の歪みをチェックし、本体と壁との間にパッキン等を入れて歪みを直します。
その他の原因としては、図1に示すように外側スライドドアの上部a部分、b部分の角度が悪く、c部分に余裕が無いために起こる場合があります。このような場合は図2に示すスライディングブロックのネジを外し、外側スライドドアを取り外しa部分b部分の角度を直してください。
3. 取付ける時は、スライディングブロックの左右を間違えないよう取付けてください。
4. スライドドア上面の上端にある調整ネジを六角レンチで回して、スライドドアの水平を調整してください。(図3)
5. 左右のスライドドアとユニット側板のチリをチェックします。図4に示すようにチリは2mmとし、前後のスライドドアの枠が重なり合うように図5の樹脂製ストッパーのネジを+ドライバーでゆるめ、チリが2mmになるように移動させ、締め付けてください。

図1

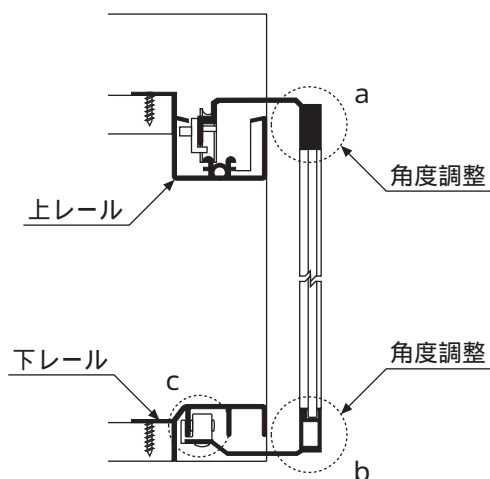


図2

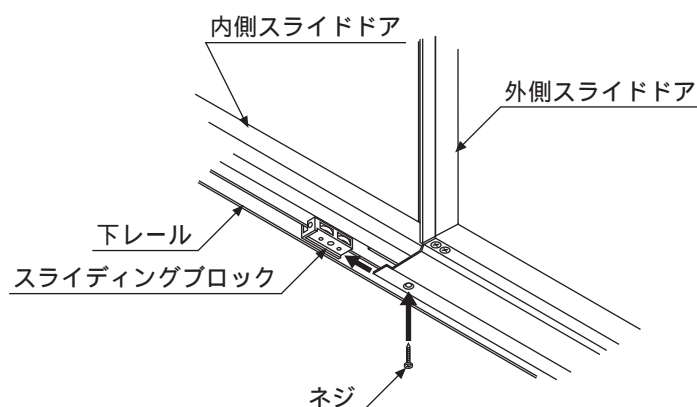


図3

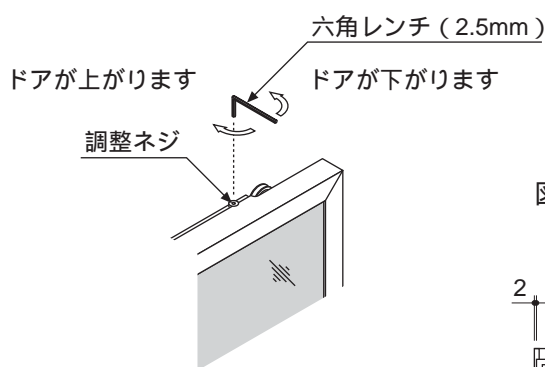


図4

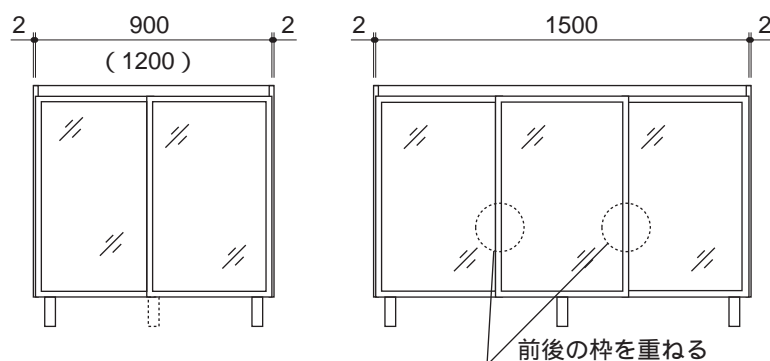
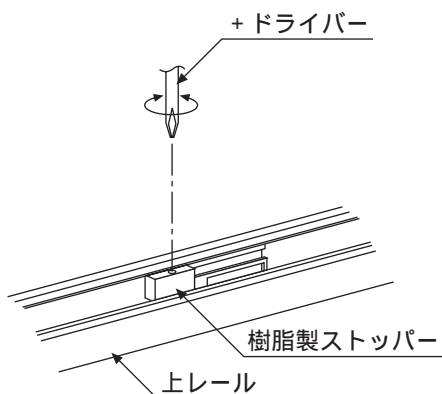


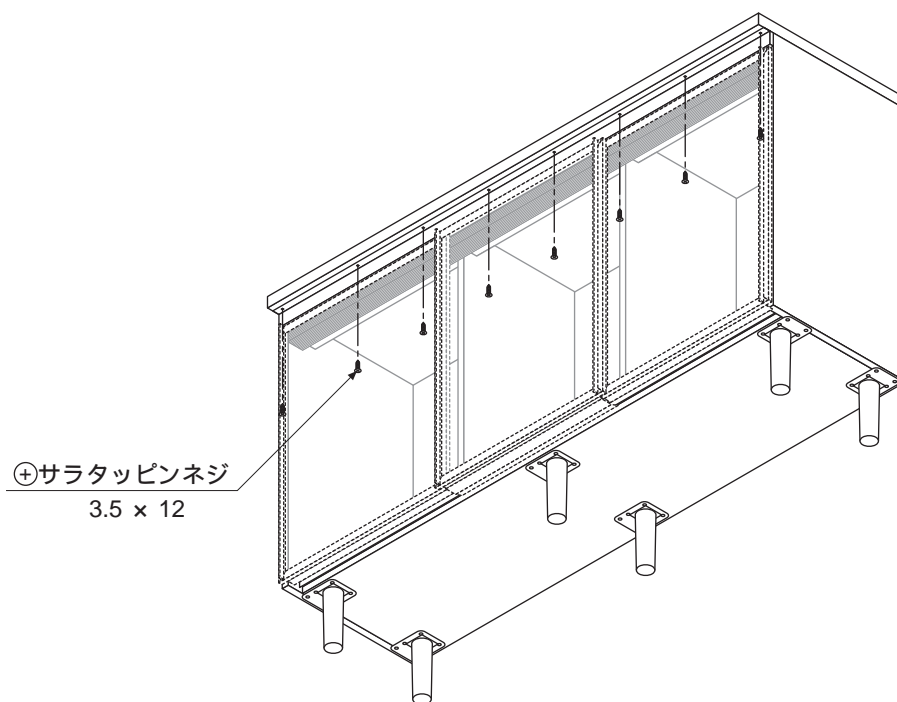
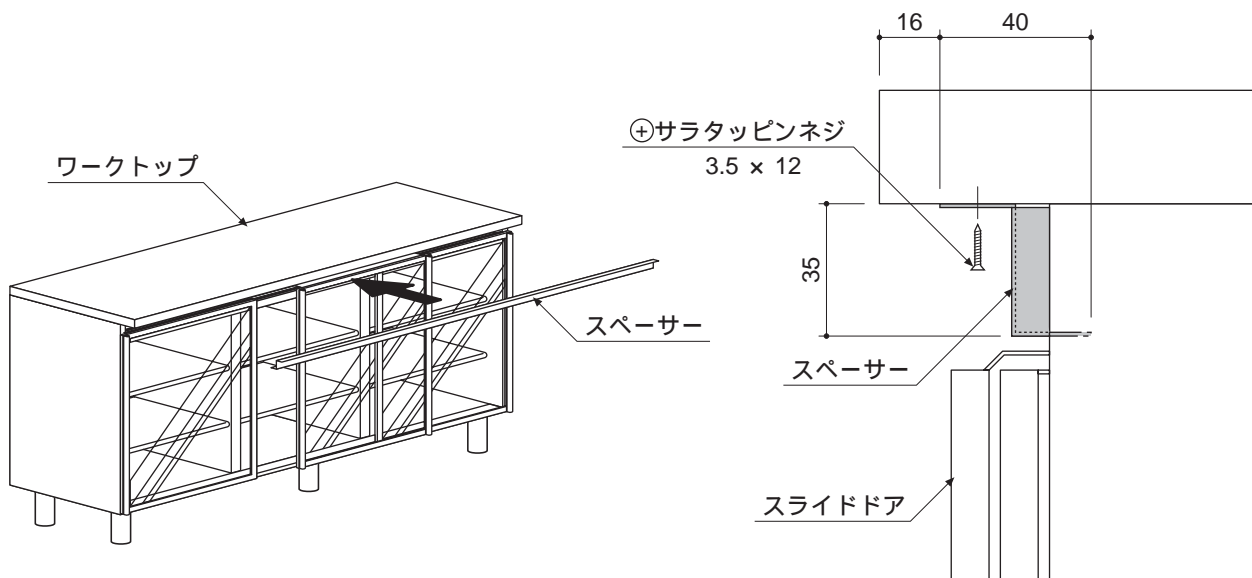
図5



スペーサーの取付け

- ・両面テープを併用して、スペーサーをワークトップ裏面の天板下地に仮固定します。
 - ・⊕サラタッピンネジ 3.5 × 12 にて、スペーサーを固定します。
- スペーサーを固定するときは、固定する箇所に合わせてスライドドアを開けて作業を行ってください。

スペーサー取付納まり図



【確認事項】

- ・ シンク裏側にペルチェシステムおよび、ラバーヒーターが取付いているか確認し、それぞれの配線が取り出せるようにワークトップとユニットを固定してください。
- ・ ユニットに基盤ボックスとスイッチ、スイッチ配線が取付いているか確認してください。
- ・ 基盤ボックスからペルチェシステム側配線の4本コネクタート、ラバーヒーター側配線の2本コネクタートと本体アース線が出ていることを確認してください。

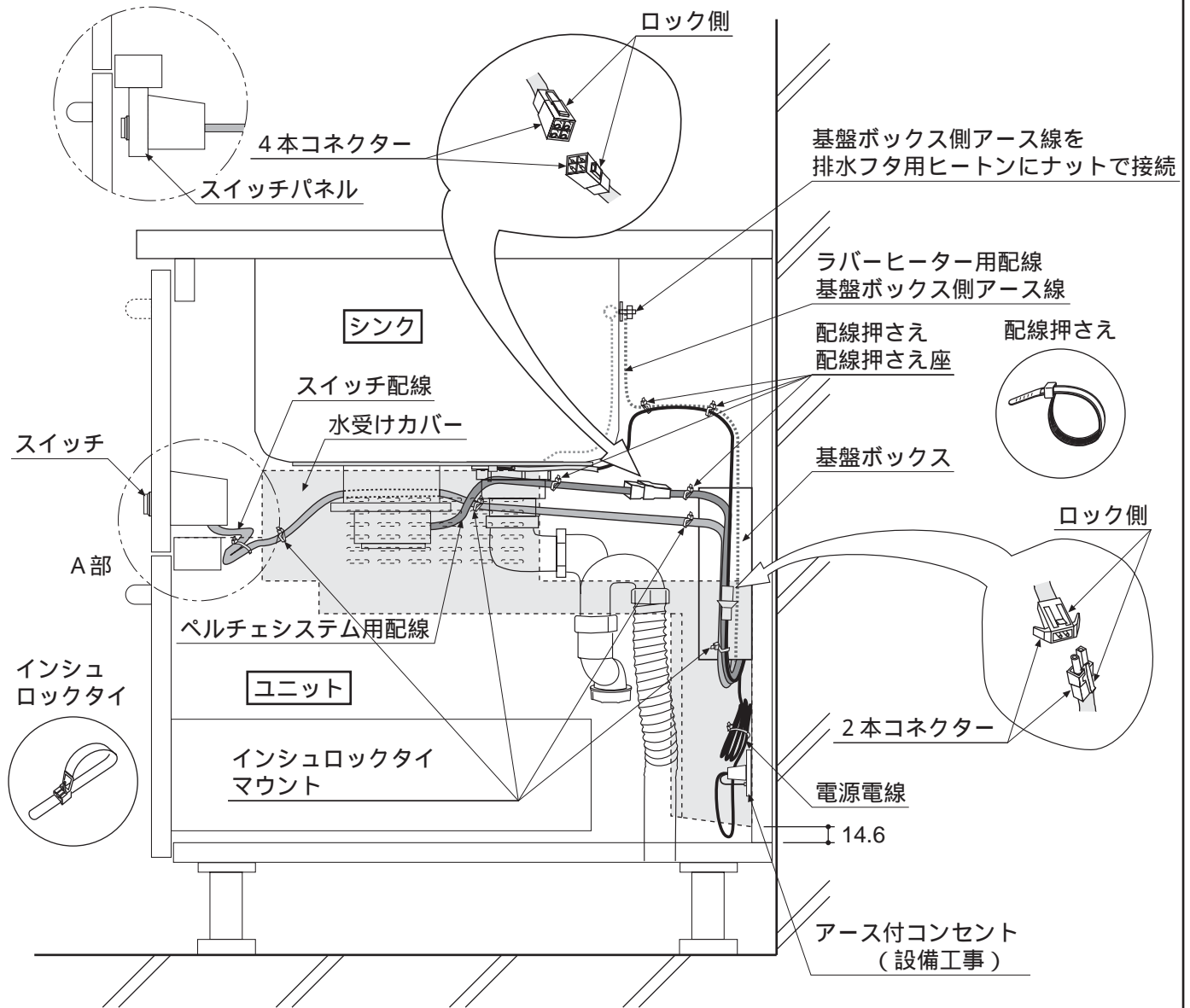
ペルチェシステムの取付け

1. ペルチェシステム、ラバーヒーターの配線を接続します。
 - ・ ペルチェシステム側配線の4本コネクタート、基盤ボックス側配線の4本コネクタートのロック側を合わせ、「カチッ！」という音がするまで押し入れてロックします。
 - ・ ラバーヒーター側配線の2本コネクタート、基盤ボックス側配線の2本コネクタートのロック側を合わせ、押し入れてロックします。
コネクタートの向きを確認してから差し込んでください。
差し込んだ後、軽く抜く方向に引いてロックしているかを必ず確認してください。
2. 基盤ボックスからのアース線を接続します。
 - ・ ラバーヒーターの配線に添わせてシンク裏側にある排水フタ用ヒートンのナットを外し、アース線の端子をボルトに通してナットで締めます。
3. 配線押さえ座をユニットの下穴に合わせて、⊕サラタッピンネジ 3.5 × 12 にて取付けます。
接続した配線を配線押さえにて固定します。
マウントをユニットの下穴に合わせて、⊕ナベタッピンネジ 3.5 × 12 にて取付けます。
接続した配線をインシュロックタイにて固定します。
接続固定をする場合、配線がたるまないように配線押さえやインシュロックタイにて固定してください。
4. 電源電線の取付けは、ユニット内にアース付コンセント（設備工事）が設置してあることを確認し、基盤ボックス側のコンセントを差し込みます。アース線も同時に接続します。
接続固定をする場合、配線がたるまないように配線押さえにて固定してください。
5. 試運転を行います。
 - ・ 取扱説明書に従って、各操作スイッチを押してスイッチの照明が点灯するか確認してください。
 - ・ ON / OFF スwitchを押してからCOOLスイッチを押します。
ペルチェシステムのファンが回転し、シンク表面が冷たくなっているか確認してください。
ON / OFF スwitchを押して切ります。
 - ・ ON / OFF スwitchを押してからHOTスイッチを押します。
ラバーヒーターが暖かくなりますので、シンク表面が暖かくなっているか確認してください。
ON / OFF スwitchを押して切ります。
各操作スイッチの確認は、数秒の間で行ってください。
HOTスイッチの場合、熱くなってしまいます。
6. 排水栓、水受けカバーを取付けます。
 - ・ 排水栓本体に排水用エルボを取付けます。
 - ・ 水受けカバーを⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16（6ヶ所）にて取付けます。
 - ・ Sトラップ、排水ホースを排水用エルボに差し込み、締付ナットにて固定します。

【側面図】

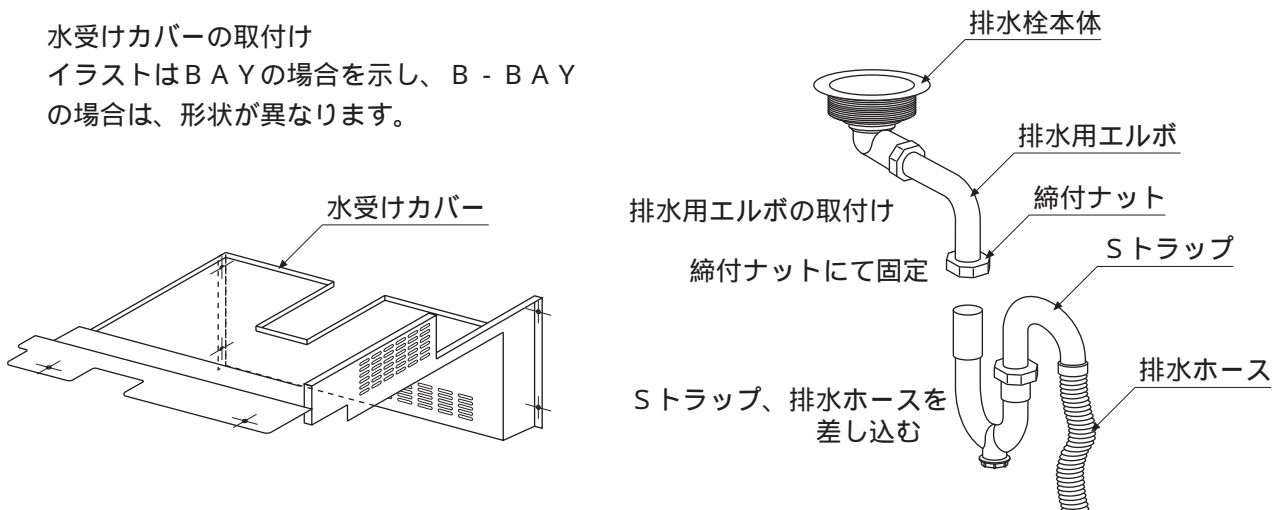
イラストはB A Yの場合を示し、B - B A Yの場合はスイッチがユニット内部にあります。(A 部参照)
上部の見付板にも把手がつきますが、開かないので無理に引っ張ったりしないでください。

A 部【B - B A Yの場合】

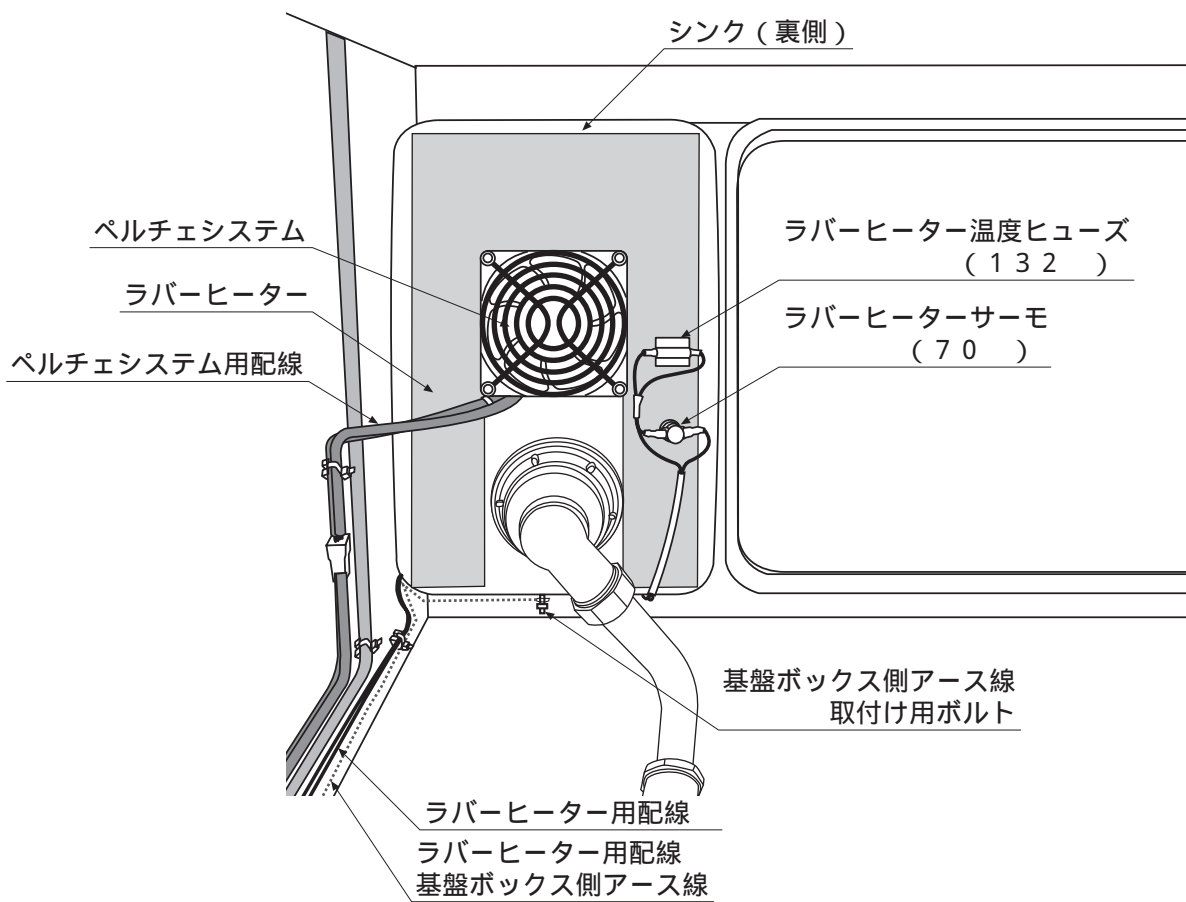


水受けカバーの取付け

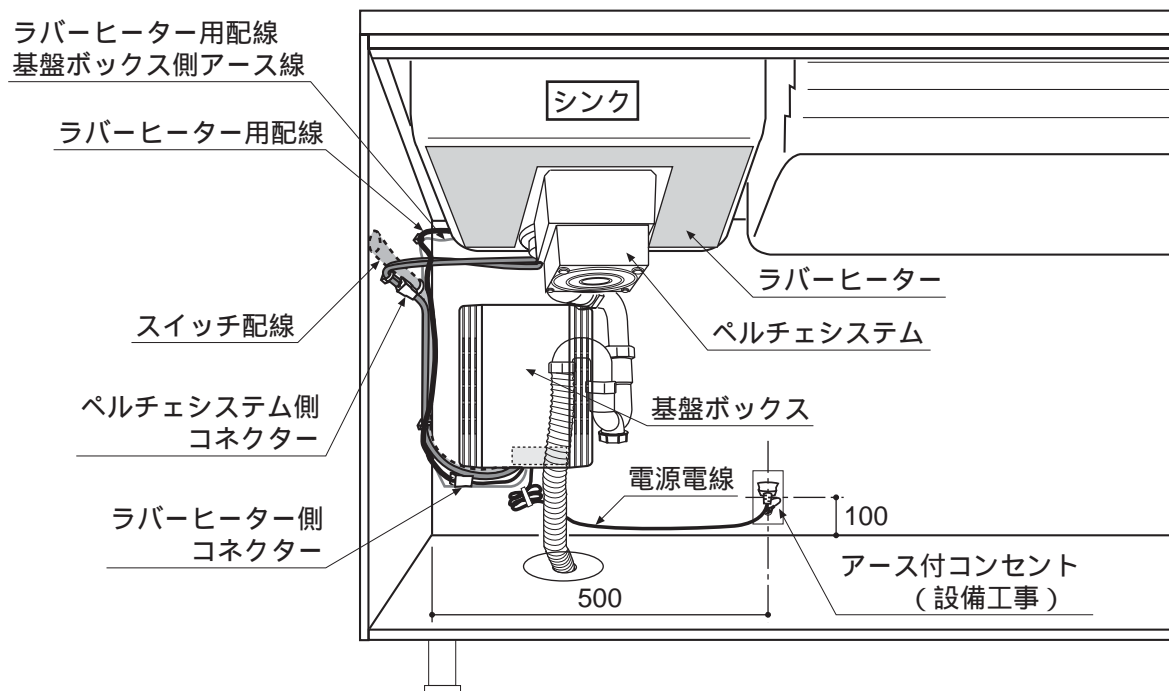
イラストはB A Yの場合を示し、B - B A Yの場合は、形状が異なります。



【底面見上げ図】

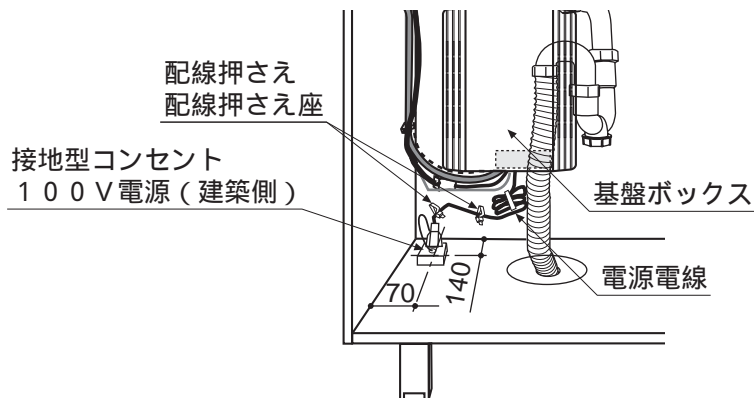


【正面図】



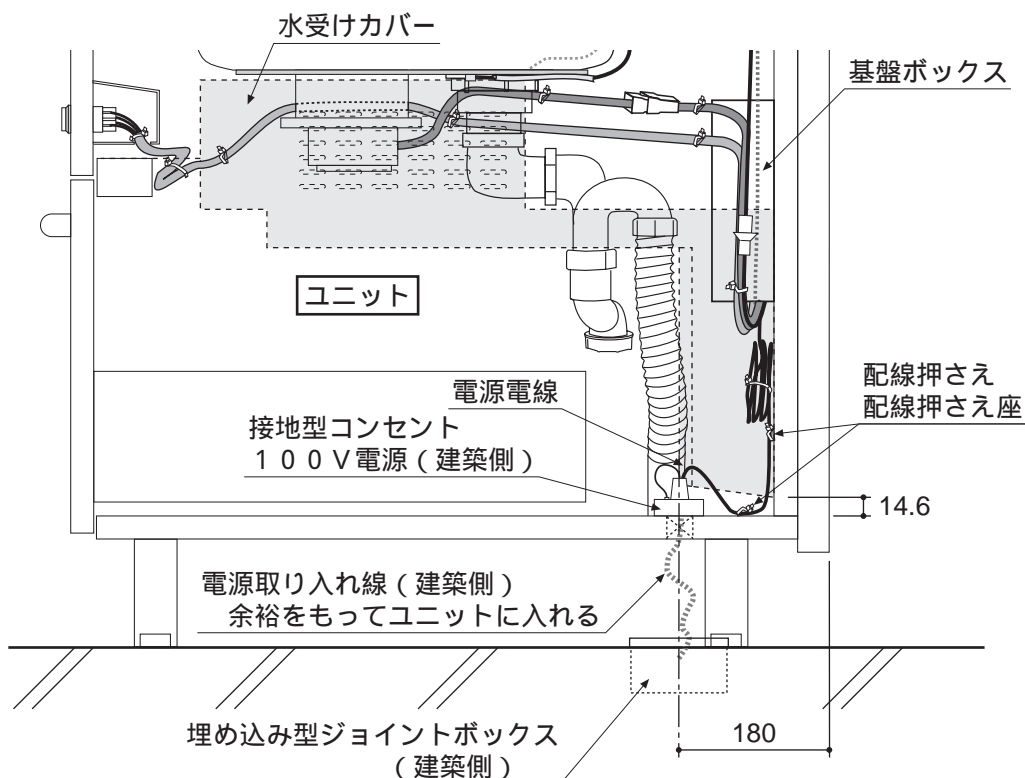
アイランド型の接地の場合

- ・ ワークトップとユニットを固定します。
- ・ ペルチェシステムおよび、ラバーヒーターを取付けます。(17 ページ参照)
- ・ ユニットの設置場所の床面に埋め込み型ジョイントボックス (建築側) が設置されているか確認してください。
- ・ 埋め込み型ジョイントボックスから電源取り入れ線を 300 mm 程度出しておきます。
- ・ ユニットを設置場所にセットしたら、ユニットに電源取り入れ線用の穴 10 を開け、ユニット内の指定位置に接地型コンセント 100 V 用を取付けてください。(電気工事)
- ・ 接地型コンセントに電源電線のプラグを差し込み、電源電線のたるんでる部分を配線押さえと配線押さえ座にて 2ヶ所程度固定してください。
- ・ 試運転を行います。(17 ページ参照)
- ・ 排水栓、水受けカバーを取付けます。(17 ページ参照)



【アイランド型の場合の電源設置位置】

イラストはBAYの場合を示し、B-BAYの場合はスイッチがユニット内部にあります。





警告

配線工事は関連する法令、規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



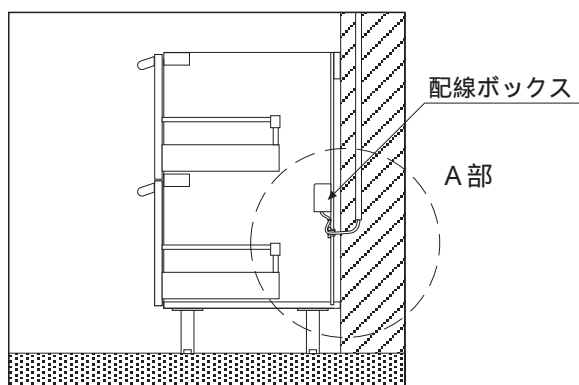
従わないと、不備により火災等の原因になります。

フロアユニットの場合

操作スイッチ

- ・ 100Vの電源を使用します。
- ・ 液晶シャッター専用の操作スイッチを部屋の壁に設け、操作スイッチとユニットを電線で接続してください。
- ・ 1つの操作スイッチで全てのユニットに対応（ON OFF）することをお奨めします。

ユニットと電源の接続

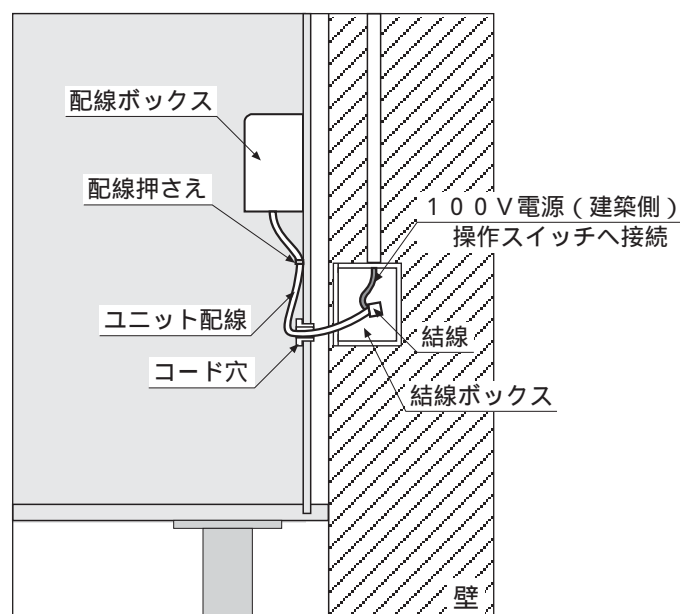


ユニット配線（VFF1.25 平形コード）を使用する場合

- ・ 事前にユニットの取付位置の壁内に結線ボックス等で結線スペースを設けてください。位置は、ユニット背板のコード穴近くにしてください。
- ・ ユニット配線を結線ボックスに届く長さで余裕をもって切断し、ユニット配線と建築側電源を結線ボックス内で結線してください。
- ・ ユニット配線のたるんでいる部分を、配線押さえにて固定してください。

ユニットを壁付けしたときに、配線がユニットと壁につぶされて、断線しないように注意してください。

A部拡大図

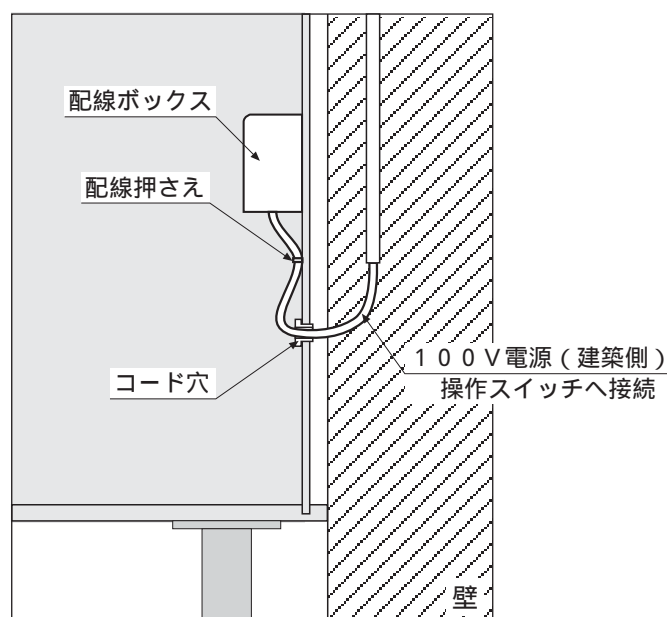


建築側電源を直結する場合

- ・事前にユニットの取付位置の壁面から建築側電源を引出してください。引出し位置は、ユニット背板のコード穴近くにしてください。
- ・配線ボックスを開け、配線ボックス内の端子台から、あらかじめついているユニット配線を取り外し、コード穴から抜き取ってください。
- ・建築側電源を背板のコード穴に通し、ユニット内に引き込み、配線ボックス内の端子台に接続し、配線ボックスのアルミカバーを取付けてください。
- ・建築側電源のたるんでいる部分を、配線押さえにて固定してください。

ユニットを壁付けしたときに、配線がユニットと壁につぶされて、断線しないように注意してください。

A部拡大図

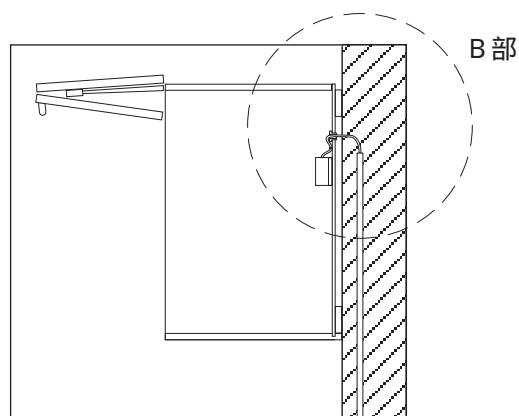
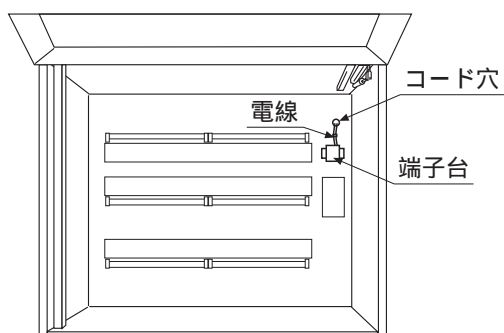


リフティングドアウォールユニットの場合

操作スイッチ

- ・100Vの電源を使用します。
- ・液晶シャッター専用の操作スイッチを部屋の壁に設け、操作スイッチとユニットを電線で接続してください。
- ・1つの操作スイッチで全てのユニットに対応(ON OFF)することをお奨めします。

ユニットと電源の接続

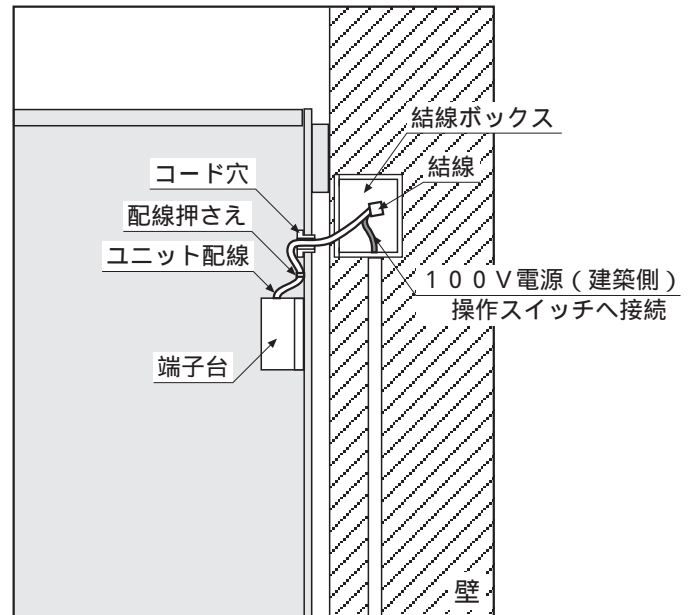


ユニット配線（V F F 1 . 2 5 平形コード）を使用する場合

- ・事前にユニットの取付位置の壁内に結線ボックス等で結線スペースを設けてください。位置は、ユニット背板のコード穴近くにしてください。
- ・ユニット配線を結線ボックスに届く長さで余裕をもって切断し、ユニット配線と建築側電源を結線ボックス内で結線してください。
- ・ユニット配線のたるんでいる部分を、配線押さえにて固定してください。

ユニットを壁付けしたときに、配線がユニットと壁につぶされて、断線しないように注意してください。

B部拡大図

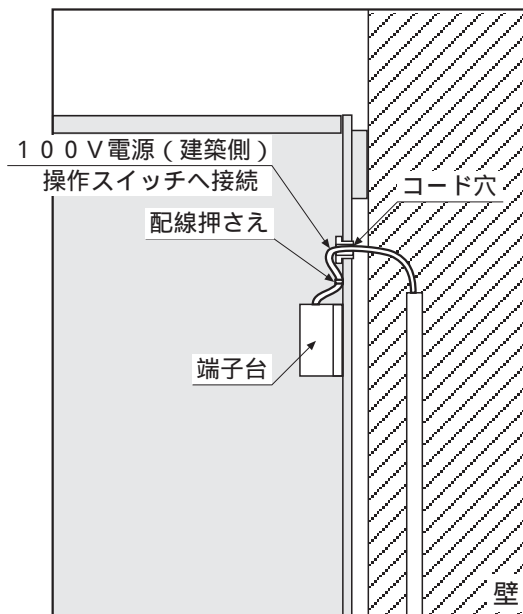


建築側電源を直結する場合

- ・事前にユニットの取付位置の壁面から建築側電源を引出してください。引出し位置は、ユニット背板のコード穴近くにしてください。
- ・背板に取付けてある端子台から、あらかじめついているユニット配線を取り外し、コード穴から抜き取ってください。
- ・建築側電源を背板のコード穴に通し、ユニット内に引き込み、端子台に接続してください。
- ・建築側電源のたるんでいる部分を、配線押さえにて固定してください。

ユニットを壁付けしたときに、配線がユニットと壁につぶされて、断線しないように注意してください。

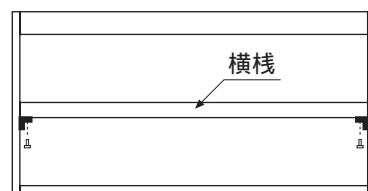
B部拡大図



配管前の準備

横棧の取り外し

- ・引出しシンクユニットの場合、排水管の配管を行う前に、作業しやすくするために、横棧を取り外してください。
(下方からネジ止めしてあります。)
- ・作業が終了したら、横棧を取付けてください。



液晶シャッター / 蛍光灯付横棧の取り外し方

1. 照明カバーを固定している固定ネジを外し、照明カバーを取り外してください。(図1)
2. コネクターカバーをマイナスドライバー等で取り外してください。(図2)
3. コネクターを外し、横棧を取り外してください。

取付けは上記の「取り外し方」と逆の手順で行ってください。

図1

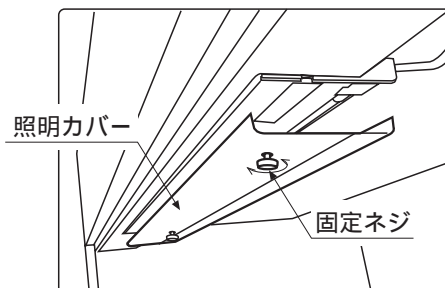
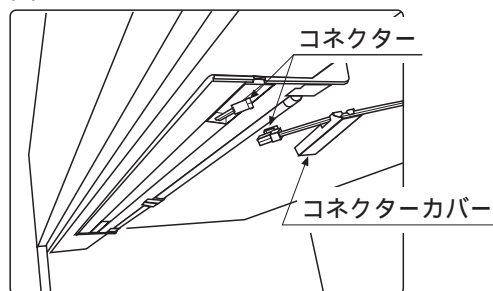


図2



排水管の配管

K Sシンクの場合

- ・図1に従い、ダストボックス部に、目皿栓を取付けます。
目皿栓に排水栓を取付ける時には、シリコンシーリング材を用い、目止めを行ってください。
- ・排水栓は図2のように大型ゴミ収納器の方を向けて、角度を決め、固定します。

図1

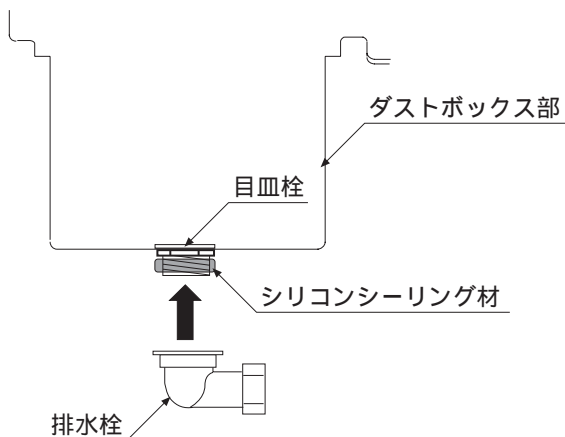
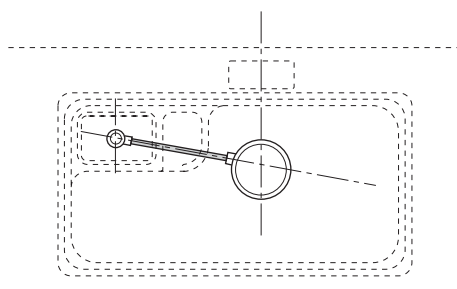
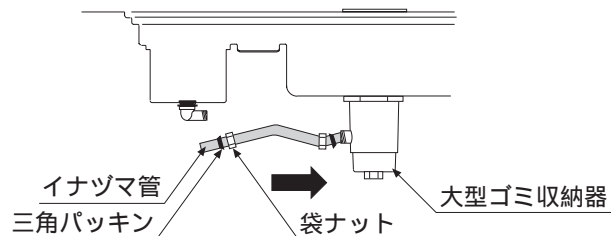


図2

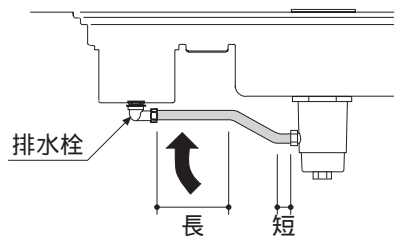


- ・排水配管に、イナヅマ管を使用します。
下図に従い、取付けてください。

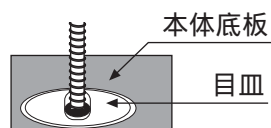
1．イナヅマ管を一旦大型ゴミ収納器に差し込みます。



2．イナヅマ管を持ち上げて、ダストボックス部の排水栓と接続します。
接続する時は、付属の三角パッキンを袋ナットの中に入れてください。



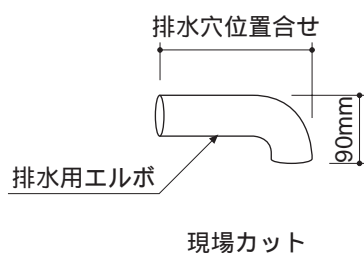
3．目皿を取付けてください。



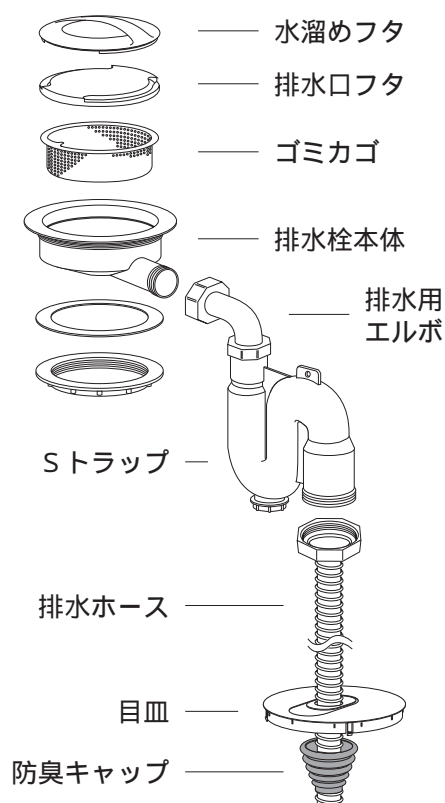
4 Dシンクの場合

排水用エルボの加工

- ・排水用エルボの長さを、ユニットの排水穴のセンターに合わせてカットしてください。
- ・排水用エルボの高さ寸法を、 $H = 90 \text{ mm}$ にカットしてください。



【4 Dシンク用排水栓】

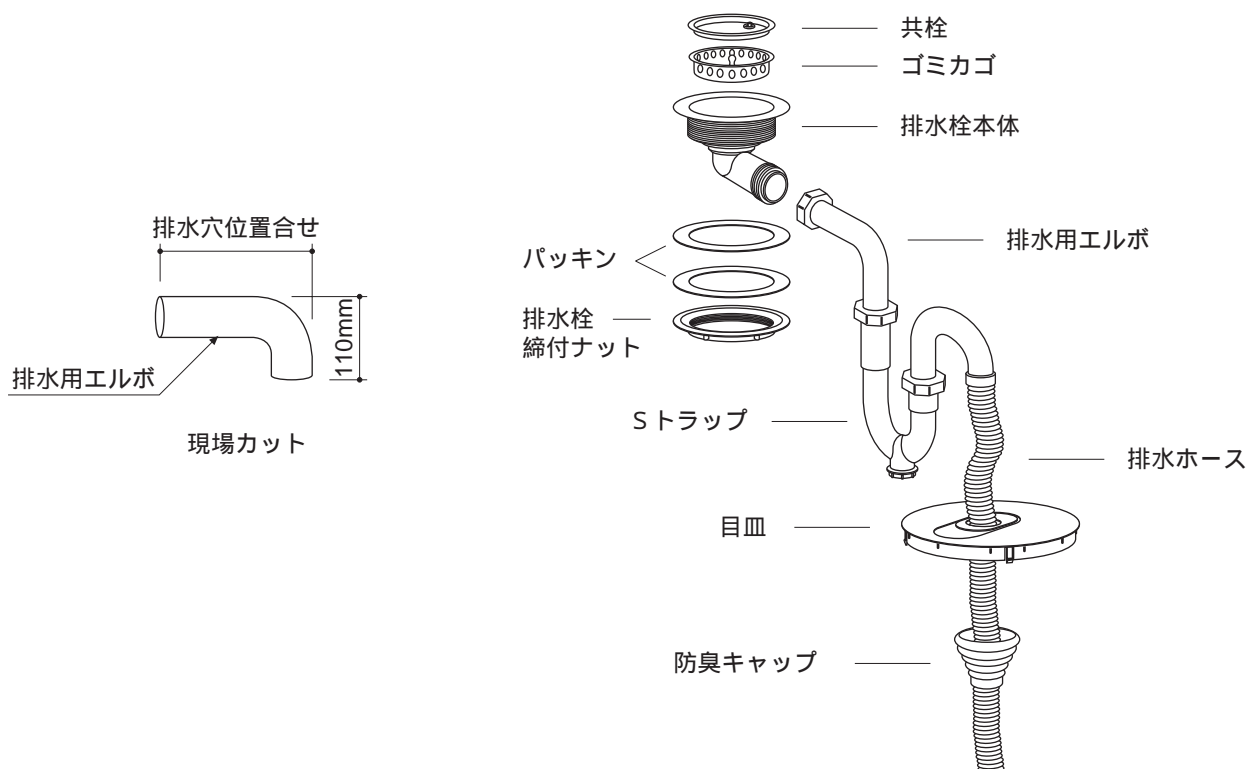


ペルチェシンクの場合

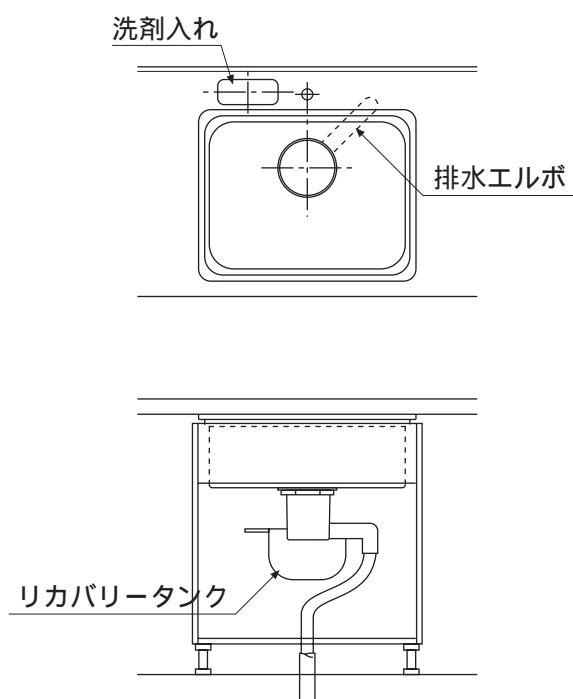
排水用エルボの加工

- ・排水用エルボの長さを、ユニットの排水穴のセンターに合わせてカットしてください。
- ・排水用エルボの高さ寸法を、H = 110 mm にカットしてください。

【ペルチェシステム専用排水栓】



リカバリータンクの取付け



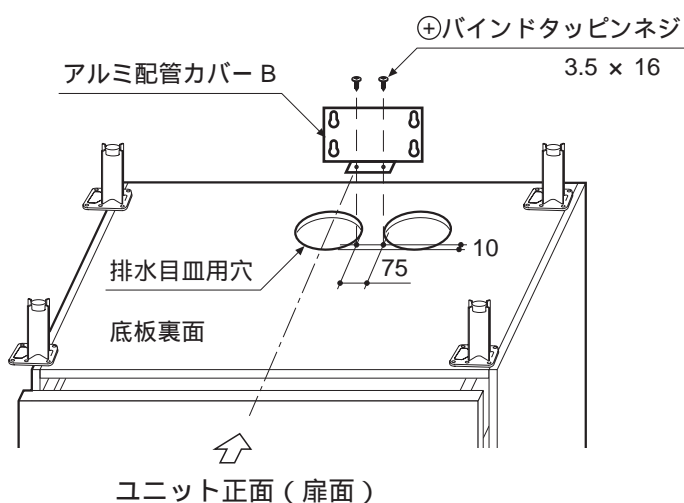
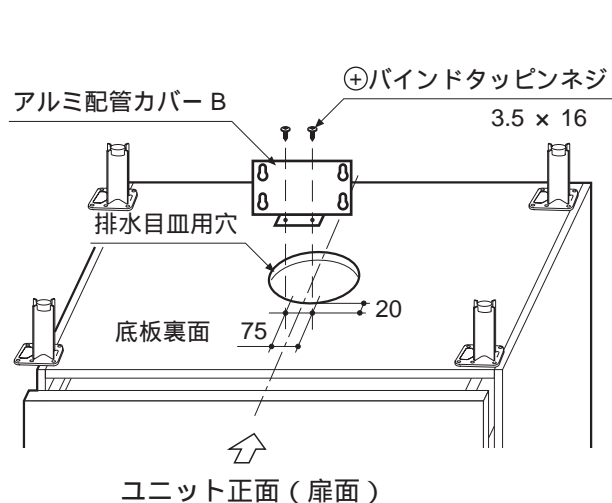
B G付きワークトップの場合のみ。
2 D Sシンク用引出しシンクユニットに
リカバリータンクを取付ける場合、リカ
バリータンクに当たらないように、排水
エルボを洗剤入れと逆の方向へ向けて取
付けてください。

アルミ配管カバーの取付け

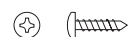
1. シンクユニット底板裏面にアルミ配管カバー B を指定位置（下図参照）に、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 にて取付けます。

その他のシンクユニット

ペルチェシステム付シンクユニット間口 1200



⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16

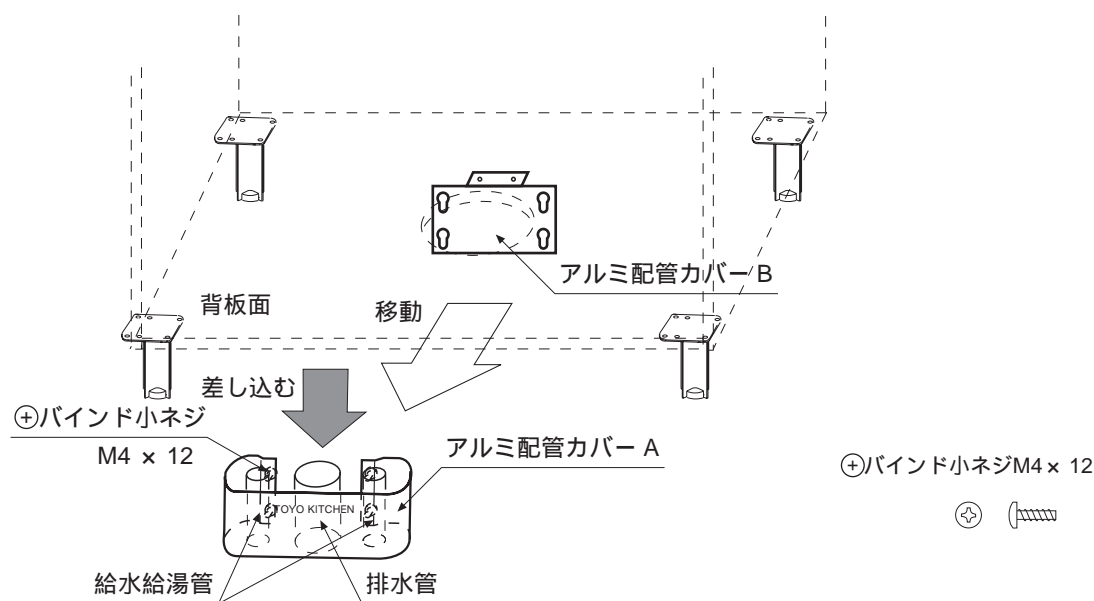


2. アルミ配管カバー A に⊕バインド小ネジ M4 × 12 を 4ヶ所取付けてください。

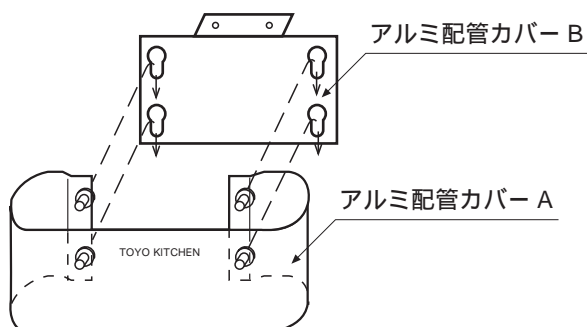
その際締め切らず、2mm 程度開けた状態にします。

3. 排水管 / 給水給湯管にアルミ配管カバー A を差し込みます。

4. アルミ配管カバー B を取付けたユニットをアルミ配管カバー A を取付けた給排水管位置まで移動します。



5. アルミ配管カバー B の長穴にアルミ配管カバー A のネジを落とし込み、固定します。



壁付きタイプの場合

1. プルオープン食器洗い乾燥機ユニットの底板裏面に配管隠しカバー取付金具 A を指定位置（下図参照）に、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16（3ヶ所）にて取付けます。（図 1）
2. プルオープン食器洗い乾燥機ユニットを指定位置に据付けます。
3. 配管隠しカバーを配管隠しカバー取付金具 A に、⊕バインド小ネジ M 4 × 12（2ヶ所）にて固定します。（図 2）

アイランドタイプの場合

1. プルオープン食器洗い乾燥機ユニットの底板裏面に配管隠しカバー取付金具 A、B を指定位置（下図参照）に、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16（3ヶ所）にて取付けます。（図 1）
2. プルオープン食器洗い乾燥機ユニットを指定位置に据付けます。
3. 配管隠しカバーを配管隠しカバー取付金具 A、B に、⊕バインド小ネジ M 4 × 12（2ヶ所）にてそれぞれ固定します。（図 2）

図 1

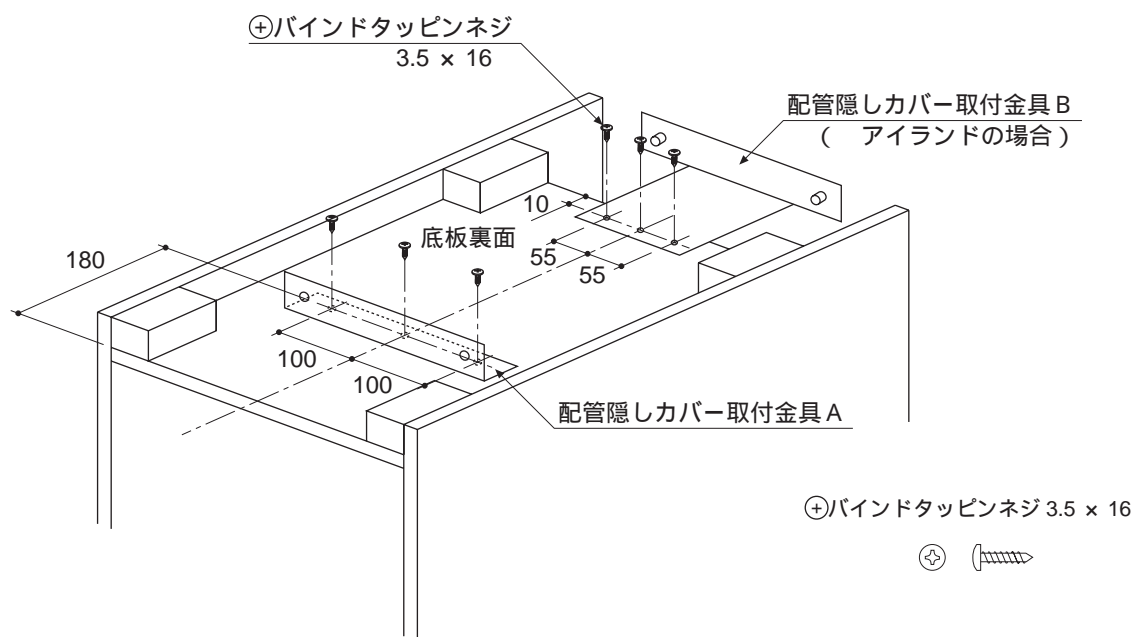
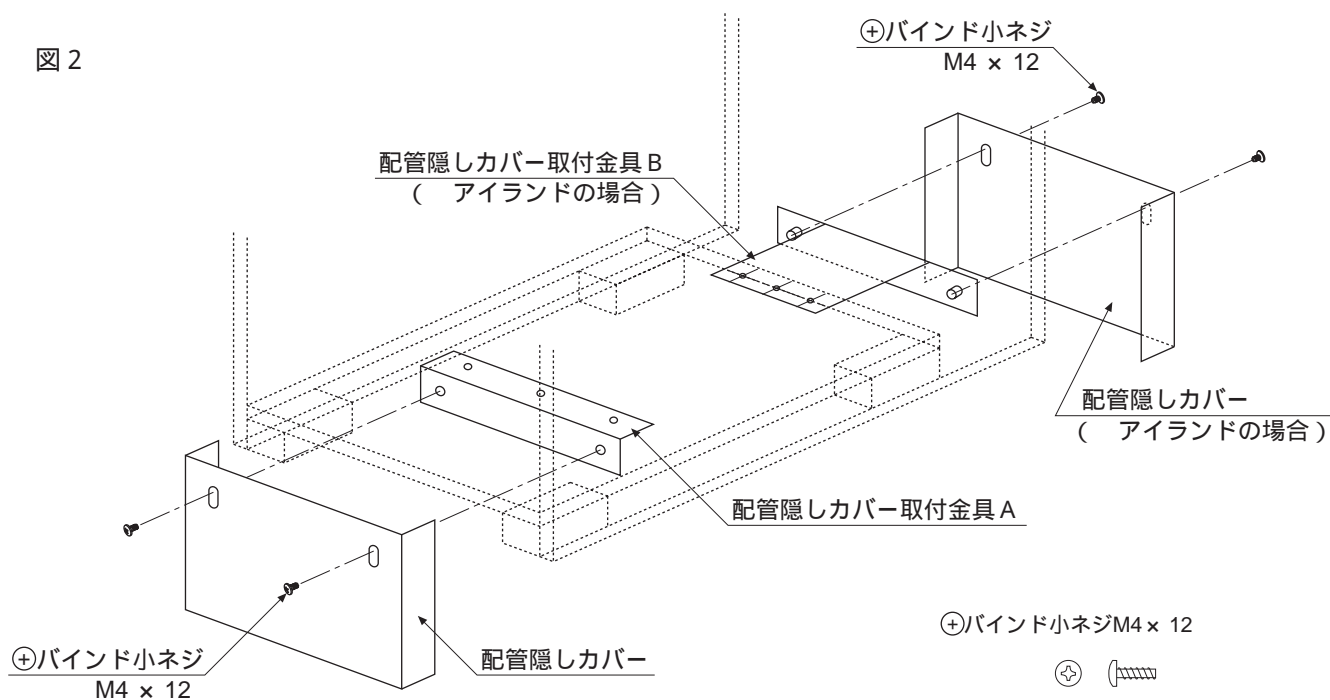


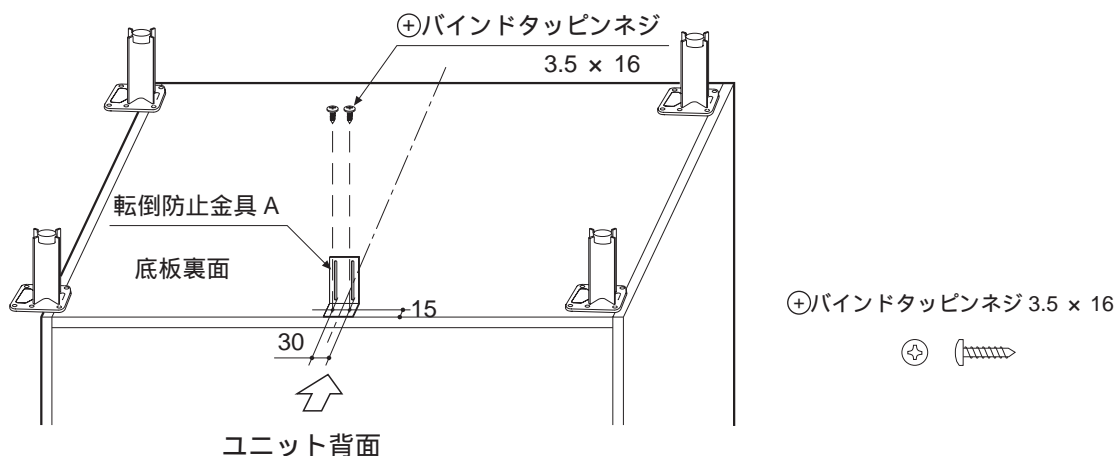
図 2



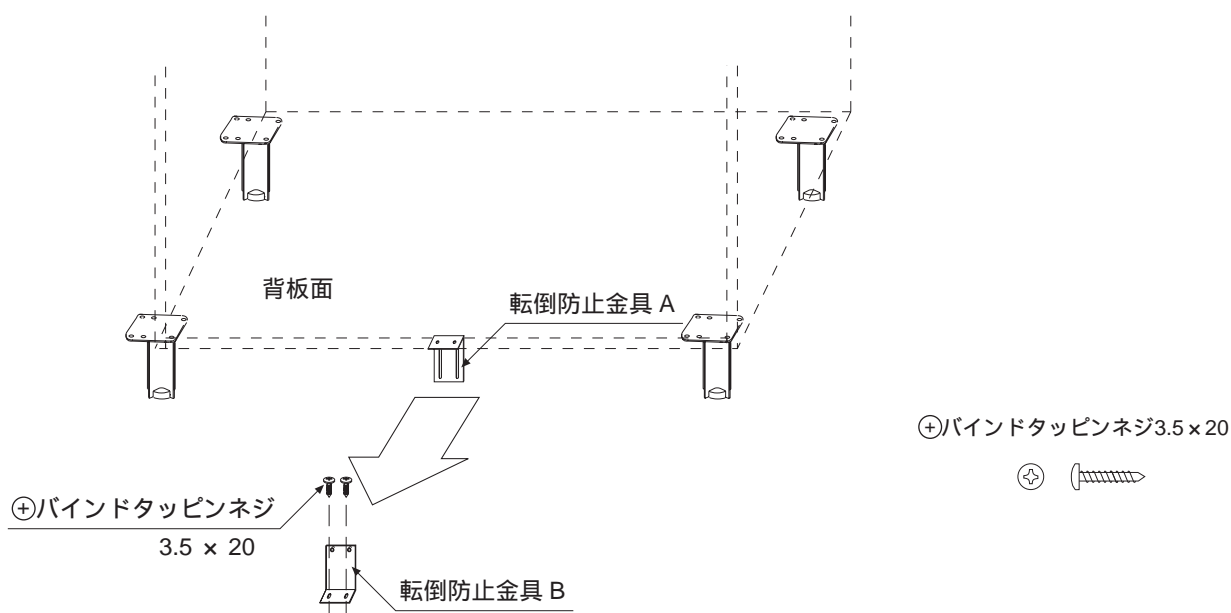
転倒防止金具の取付け

・壁面に固定されていない引出しユニットには、転倒防止金具を取付けてください。

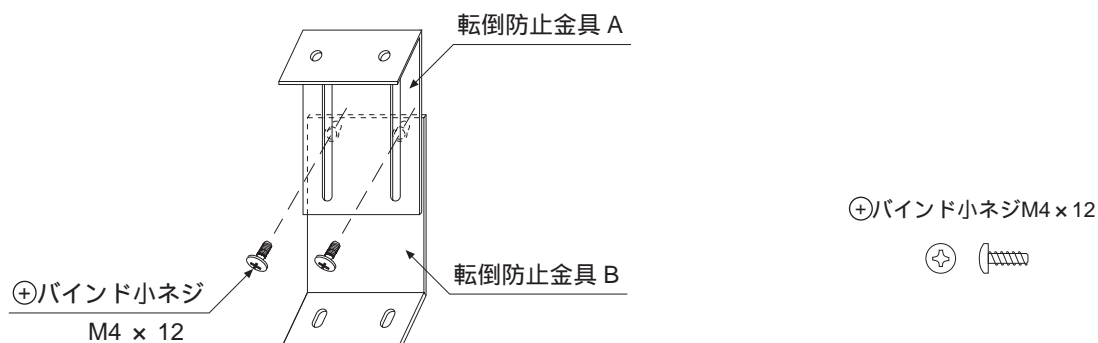
1. ユニット底板裏面に転倒防止金具 A (ユニット取付用) を指定位置 (下図参照) に、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 にて取付けます。



2. 転倒防止金具 B (床取付用) を指定位置 (ユニットに取付けた転倒防止金具 A とジョイントができる位置) に、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 20 にて取付けます。
3. ユニットに取付けた転倒防止金具 A と床に取付けた転倒防止金具 B が重なるようにユニットを移動します。



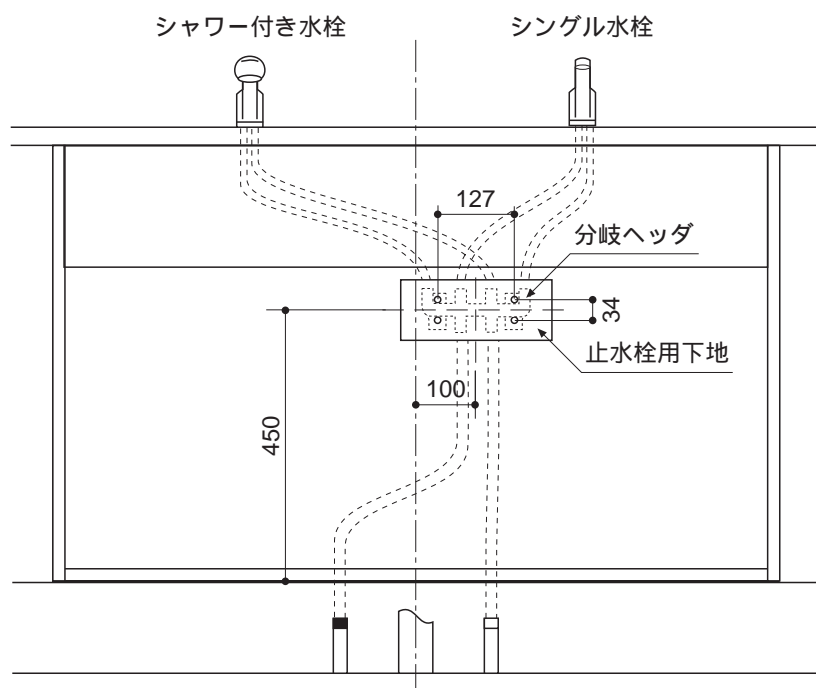
4. 転倒防止金具 A の長穴より、転倒防止金具 B に付いているクリンプナットに⊕バインド小ネジ M4 × 12 をねじ込みます。
ネジが回らなくなるまで、完全に締め付けてください。



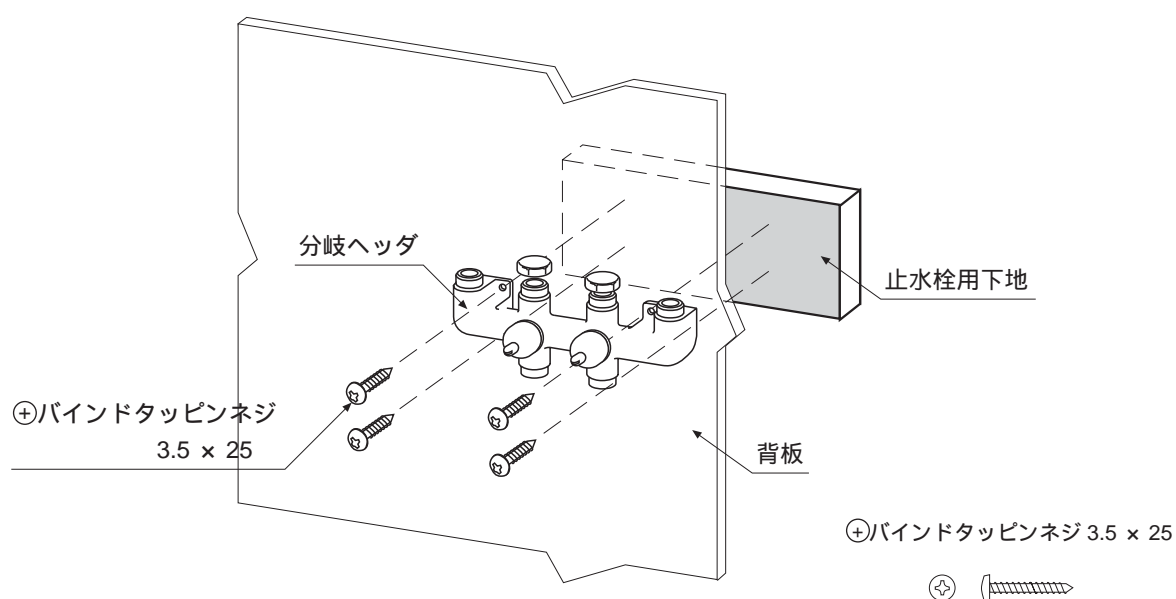
分岐ヘッダの取付け

- ・分岐ヘッダはシングル水栓の下側に取付けます。

分岐ヘッダ取付位置



- ・ユニット背面に止水栓用下地をあて、背板をはさみ込むようにユニット内から分岐ヘッダを⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 25 にて4ヶ所固定します。



ステンレス壁面パネルの取付け

- ・取付金具を図1の位置に⊕トラスタッピンネジ3.5×20で取付けてください。
- ・図2のように壁面パネルを下から順に取付金具の上から落とし込むように取付けてください。
パネルとパネルの間にはシリコンシーリング材を塗布してください。

[] 内寸法は、A F仕様【H = 150】の場合を示す。

() 内寸法は、B G付きワークトップの場合を示す。

図1

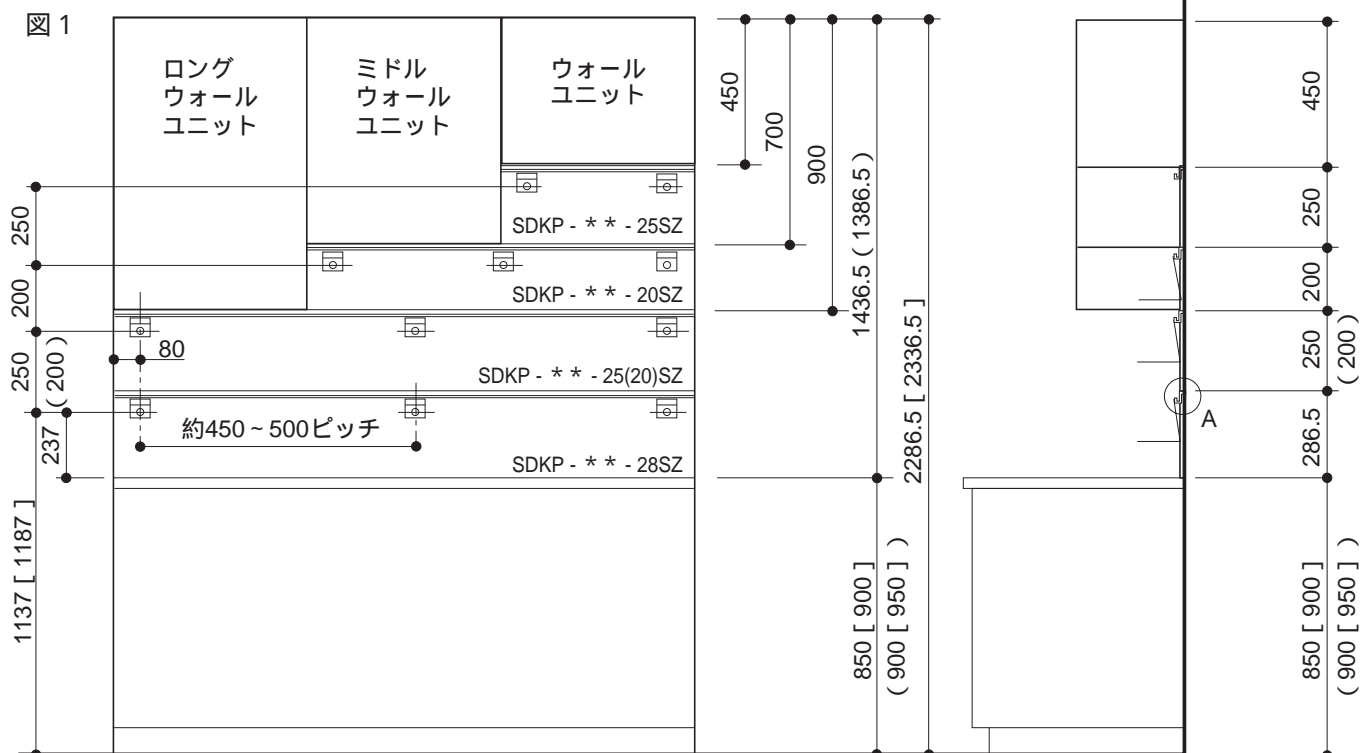
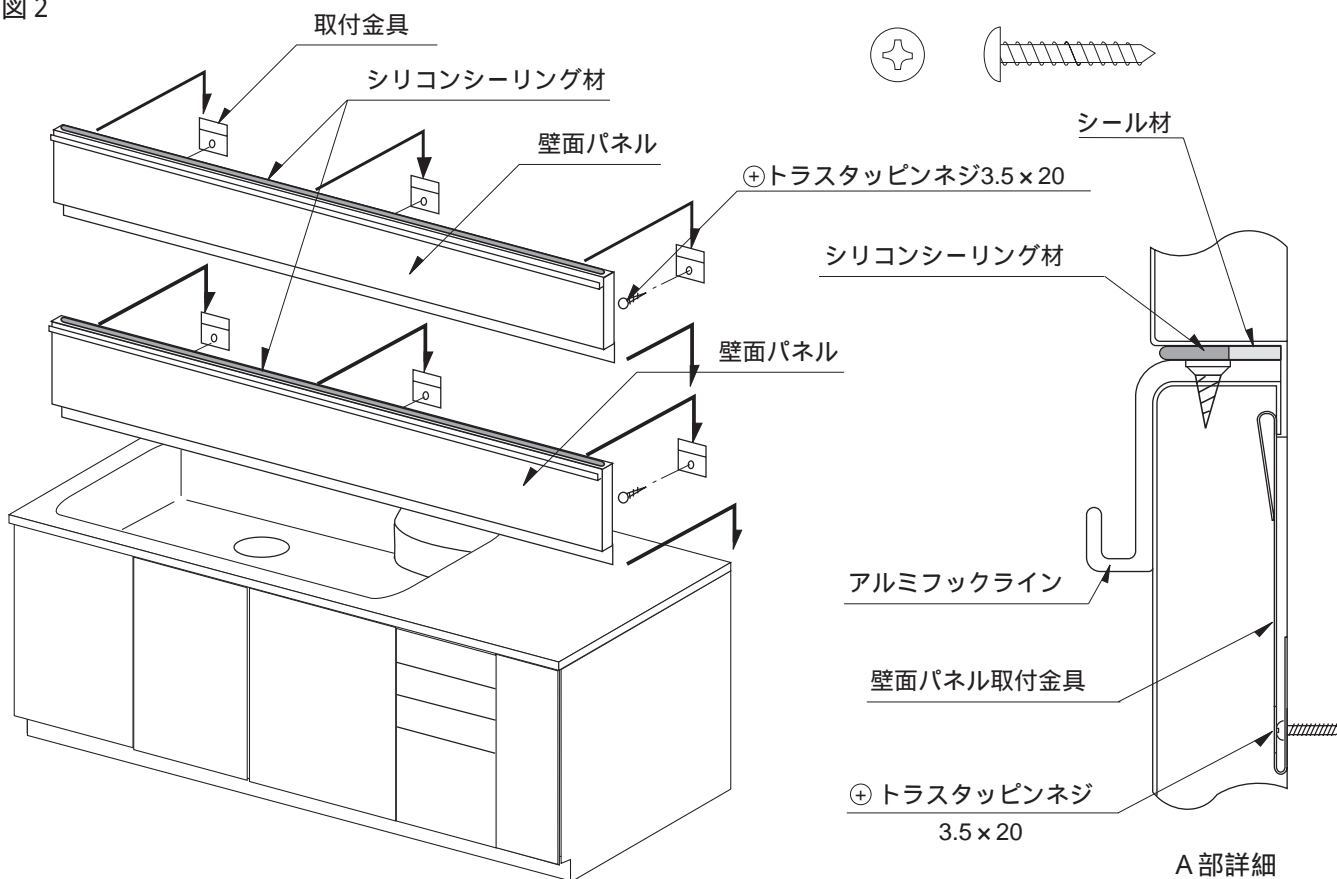


図2



調理機器バックパネルの取付け

- ・調理機器バックパネル下地を図1の位置に⊕サラタッピンネジ 3.5×35で固定してください。
- ・次に固定した調理機器バックパネル下地の上にシリコンまたは弾性接着剤を全面に塗布してください。
- ・図2のようにバックパネルを、下地の上から落とし込むようにして取付けてください。

[] 内寸法は、A F仕様【H = 150】の場合を示す。

() 内寸法は、B G付きワークトップの場合を示す。

図1

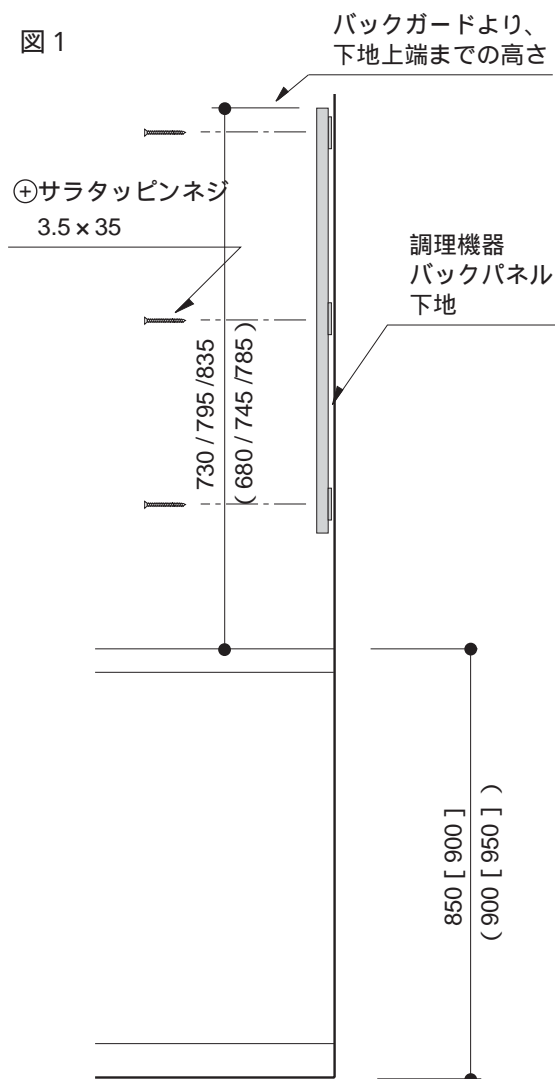
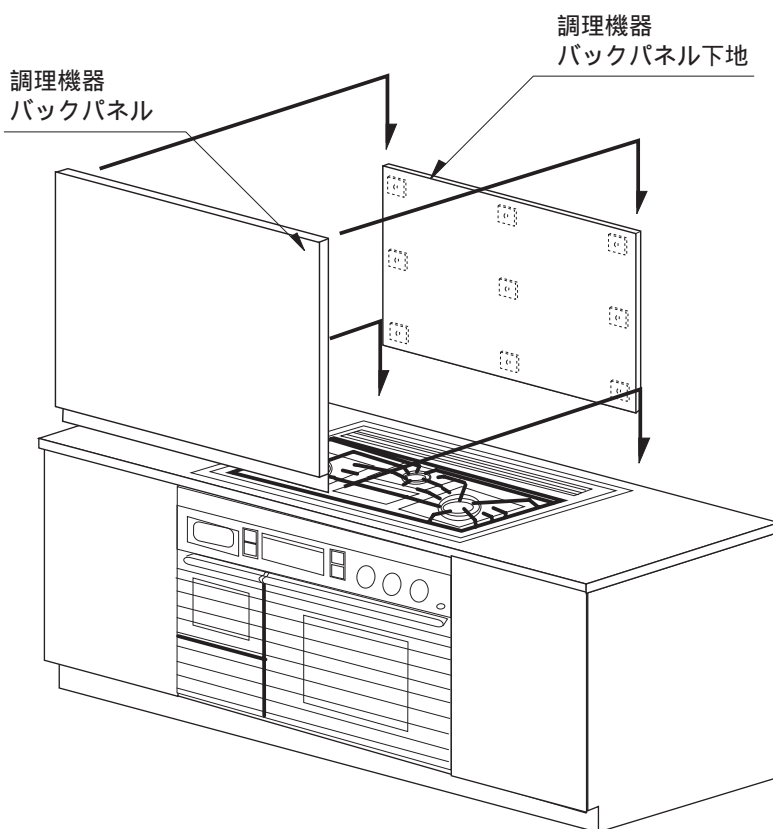
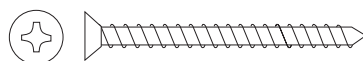


図2

接着剤は別売りです。
必要と思われる場合は別途御注文ください。
弾性接着剤 P9WP-PM165R



⊕サラタッピンネジ 3.5×35



| | | | | | | | | |
|--------------------------|-------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|
| 2286.5[2336.5] | TRDC - ***CK** | 595 | TRDC - 90DK | 635 | TRD - 60S1 | 635 | TRDR - R***** | 700 |
| | 調理機器 バックパネル | 840 (790) | 調理機器 バックパネル | 800 (750) | 調理機器 バックパネル | 800 (750) | 調理機器 バックパネル | 735 (685) |
| 850[900] (900[950]) | | | | | | | | |

パイプハンガーパーツ（壁面パイプパーツ）の取付け

- ・図2の位置に取付金具を⊕サラタッピンネジ3.5×35で取付けます。
 - ・ブラケットにパイプを通して取付金具に差し込み下から六角レンチで固定します。
 - ・パイプの両端にキャップをして穴をふさいでください。
- （ ）内寸法は、B G付きワークトップの場合を示す。

図1

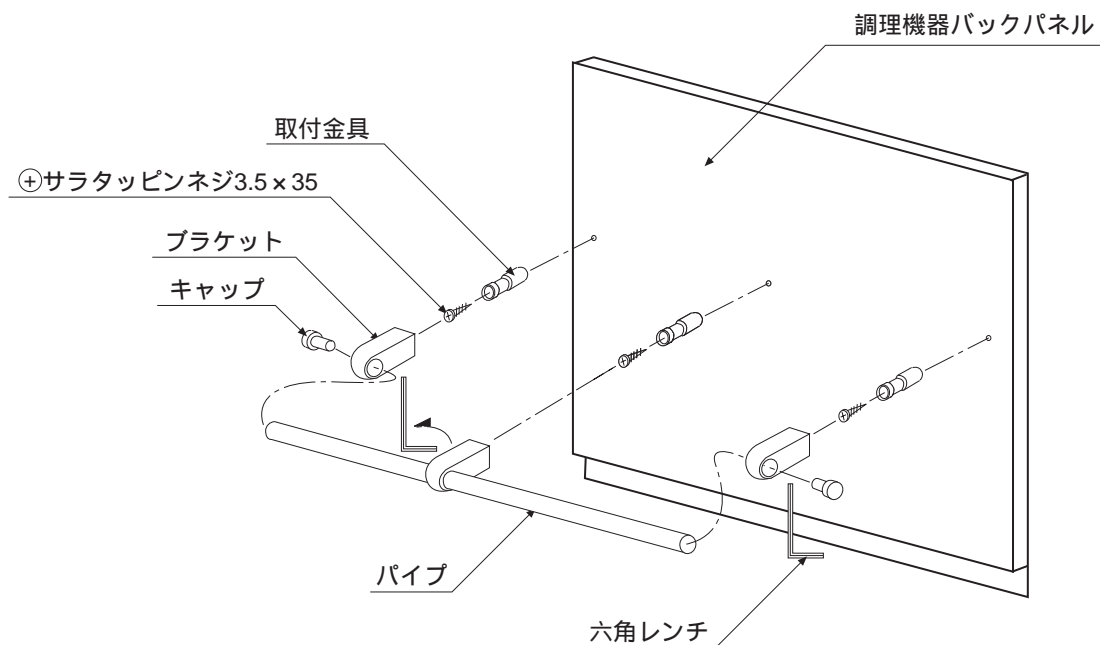
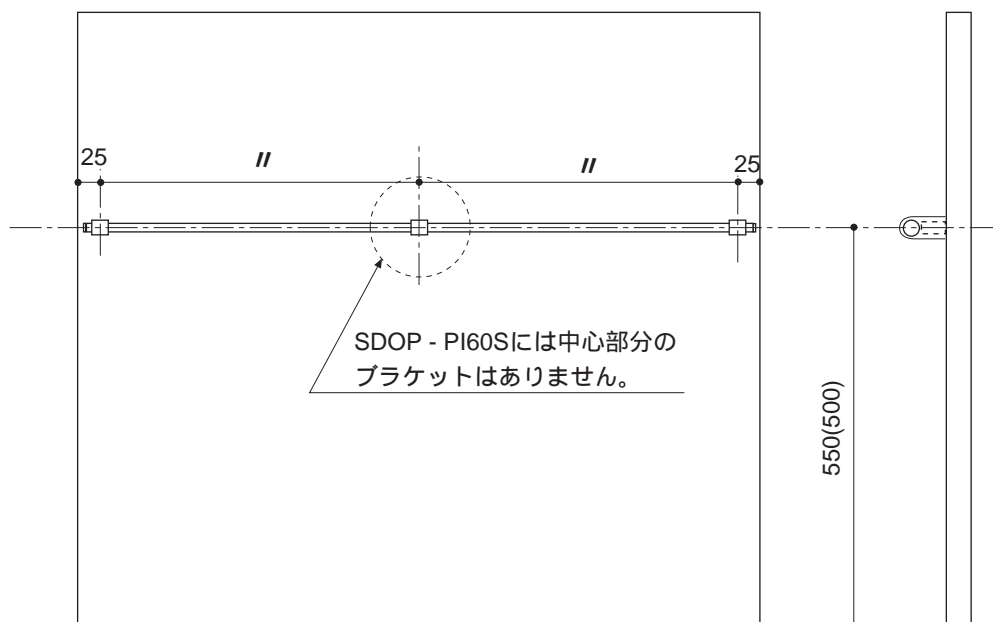
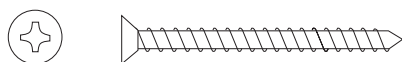


図2



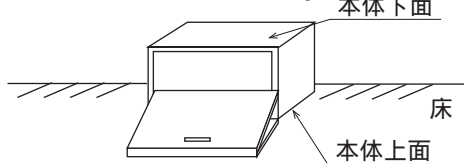
⊕サラタッピンネジ 3.5×35





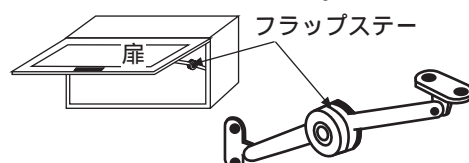
注意

リフティングドアウォールユニットを壁面に取付ける前に、天板面（本体上面）を下にした状態で扉を開けないでください。



床や扉等が傷ついたり、ケガをする恐れがあります。

マルチフラップアップ扉ウォールユニットを施工する際は、扉やフラップステーを絶対に取り外して施工しないでください。

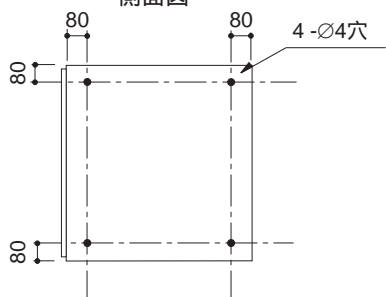


破損して思わぬ事故の原因になることがあります。

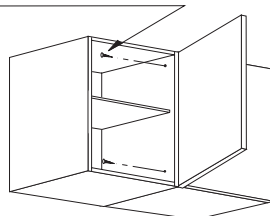
壁面の取付け位置に強度上十分な桟が入っていることを確認してください。
取付け位置は全てネジ固定して、取付け忘れのないようにしてください。

- ・ユニットどうしを連結する場合は、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30 を使用し、指定の位置（4ヶ所）で連結してください。

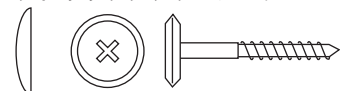
側面図



ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30

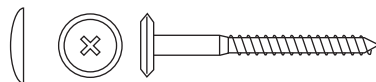


ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30



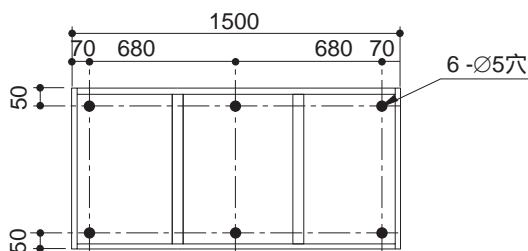
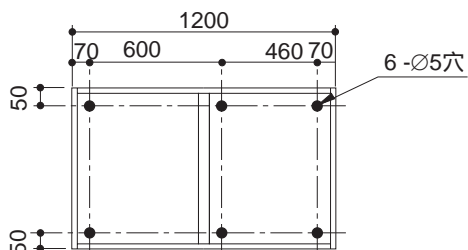
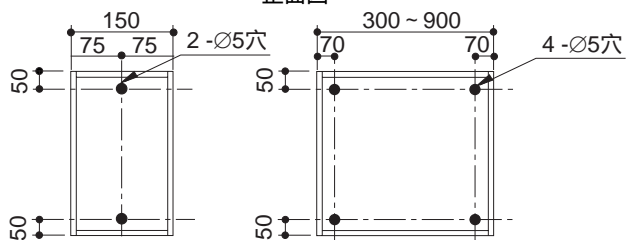
- ・ユニットを壁面に固定する場合は、ヘッドキャップ木ネジ 4.5×50を使用し、指定の位置で固定してください。（取付桟の位置は、キッチンユニット取付桟位置を参照してください。）

ヘッドキャップ木ネジ 4.5×50



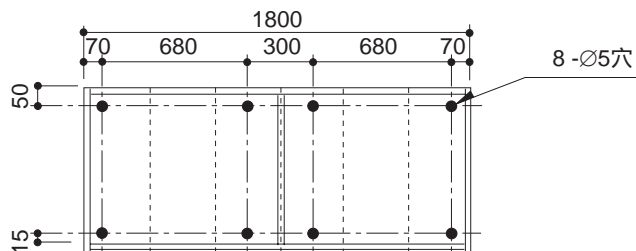
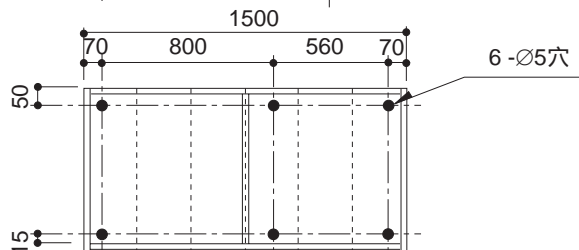
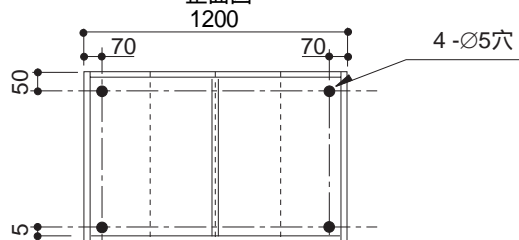
ウォールユニット

正面図



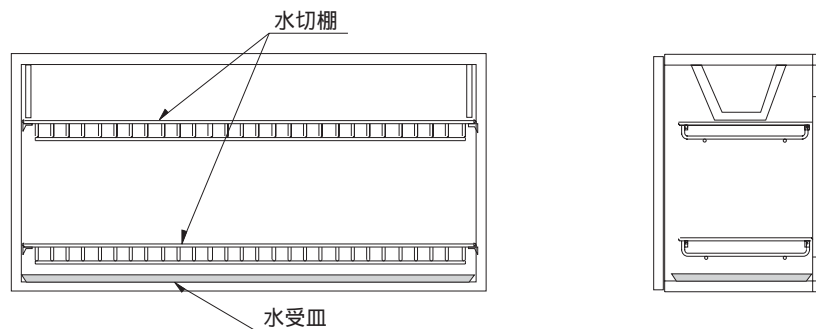
フルスライド扉ユニット

正面図



ウォールユニット用インナーパーツの取付け

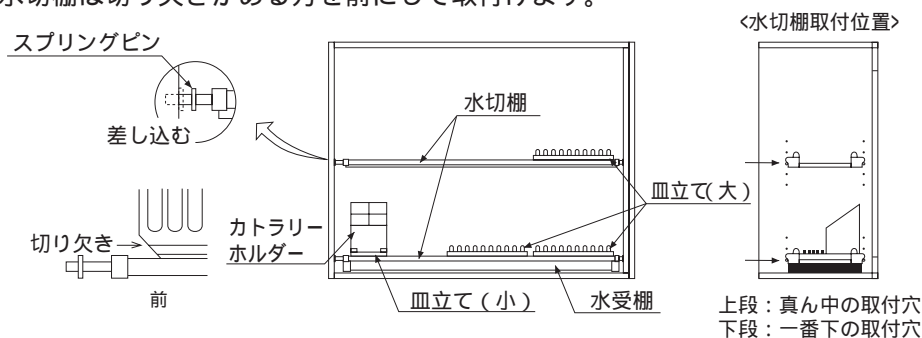
[マルチフラップアップ扉ウォールユニットの場合]



- ・マルチフラップアップ扉ウォールユニットには、水切棚（２枚）と水受皿（１枚）を取付けます。

[リフティングドアウォールユニットの場合]

- ・水切棚の取付けは、スプリングピンを内側へ引きながら、指定の取付位置へ確実に差し込みます。その際、水切棚は切り欠きがある方を前にして取付けます。



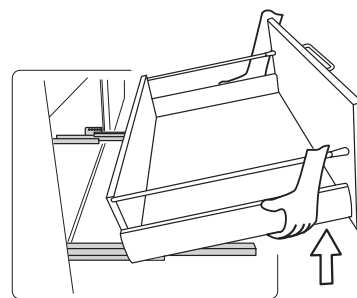
- ・リフティングドアウォールユニットには、以下のものを取付けます。

| 間 口 | 水切棚 | 水受皿 | 皿立て（大） | 皿立て（小） | カトラリーホルダー |
|--------------|-----|-----|--------|--------|-----------|
| 750・900・1050 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 |
| 1200 | 4 | 2 | 4 | 2 | 2 |

フルエクステンション引出しの取り外し、取付け

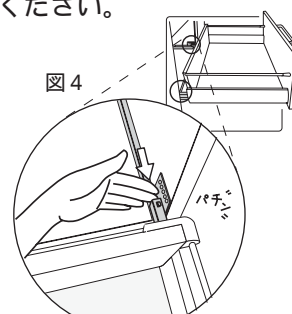
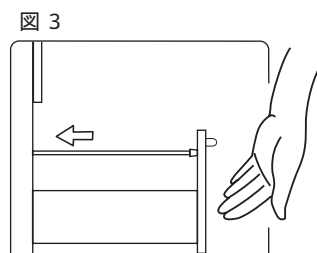
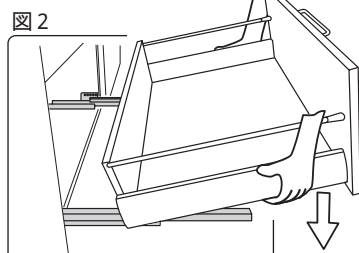
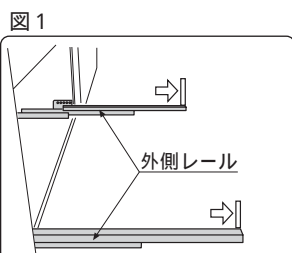
取り外し方

- ・引出しを全部引出して、持ち上げて取り外してください。取り外す際には、把手を持たないでください。破損する恐れがあります。



取付け方

1. 外側レールを全部引出してください。（図１）
2. 外側レールの上に衝撃を与えないようにゆっくりと引出し本体を乗せてください。（図２）
3. 引出しを両手で、奥へ押し込んで外側レールに固定します。（図３）
4. 引出しを手前にいっぱい引出し、外側レールが引出し本体に取付いているか確認してください。もし、不十分な場合は、外側レールをパチン！という音がするまで指で押し込んでください。（図４）



取り外し方

1. 引出しを全部引出し、引出し背板の配線（A部）を確認してください。（図1）
2. PC接続端子2ヶ所を引き外し、配線押さえを2ヶ所取り外してください。（図2）
3. 引出しをユニットから取り外してください。

図1

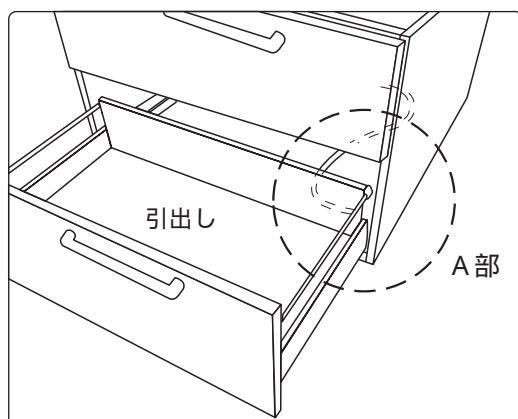
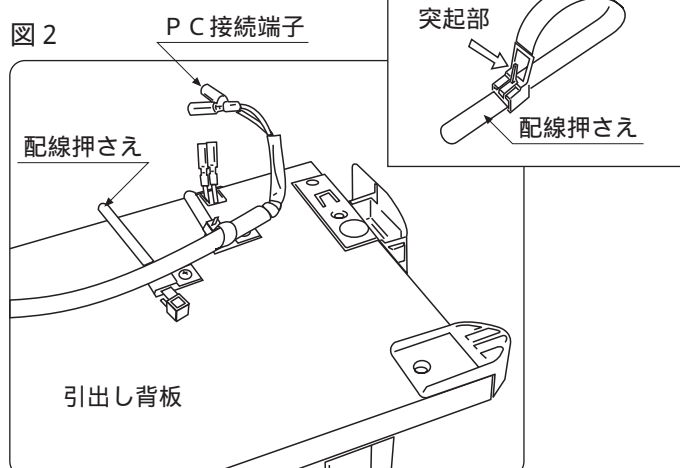


図2



取付け方

1. ケーブルを図1のように渦巻き状に曲げ、引出し固定部に配線を合わせます。（図1）
2. 配線押さえ座に合わせた配線を配線押さえで締めつけ、固定します。（図2）
3. PC接続端子を接続します。（図2）
4. 引出しをユニットに取付けます。

図1

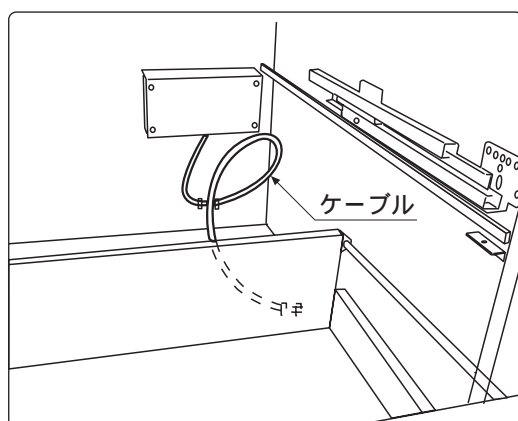
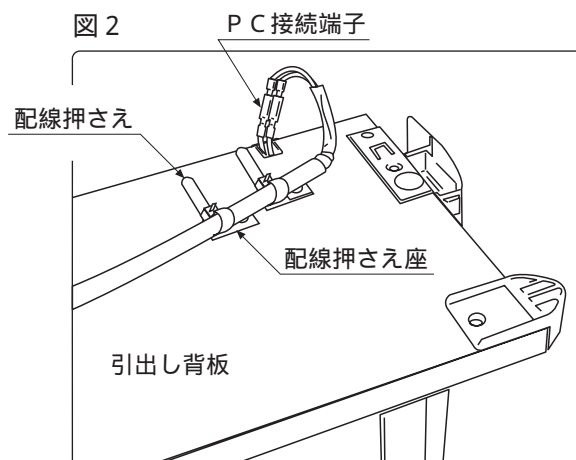


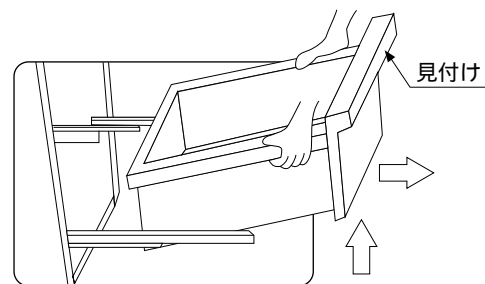
図2



野菜ストッカーの取り外し、取付け（オープンユニット・収納共通）

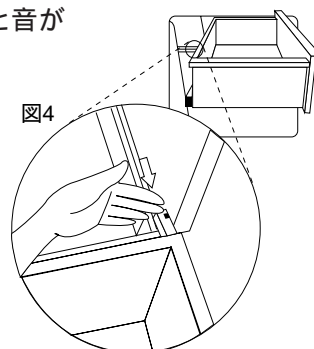
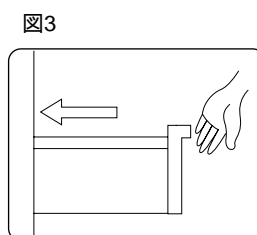
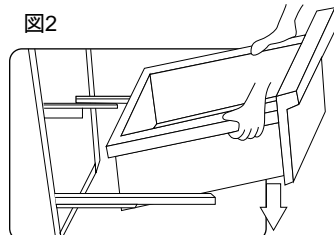
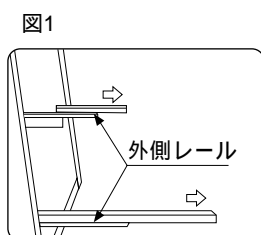
取り外し方

- 野菜ストッカーを全部引出し、野菜ストッカーの見付け部の上部両端を持ち、手前に引きながら持ち上げてください。



取付け方

1. 外側レールを全部引出してください。（図1）
2. 外側レールの上に野菜ストッカー本体を乗せてください。（図2）
3. 野菜ストッカーを両手で、奥へ押し込んで外側レールに固定します。（図3）
4. 野菜ストッカーを手前にいっぱい引出し、外側レールが野菜ストッカー本体に取付いているか確認してください。もし、不十分な場合は、外側レールをパチン！と音がするまで押し込んでください。（図4）



引出し式ダストユニットの取り外し、取付け

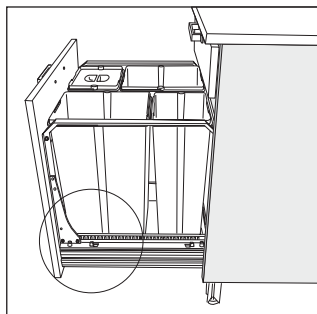
取り外し方

1. 引出しを全部引出して、本体とレールを固定している4ヶ所のロックレバーを内側の方向へ動かし、ロックを解除します。（図1・2）
2. 引出し本体を垂直に持ち上げて取り外してください。（図3）

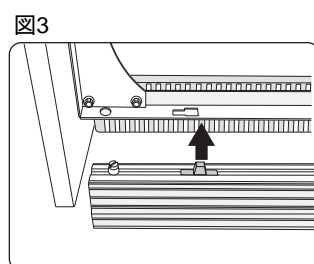
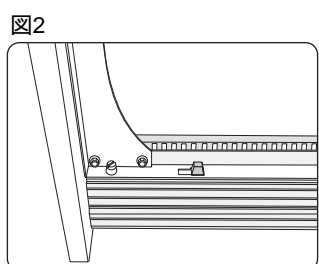
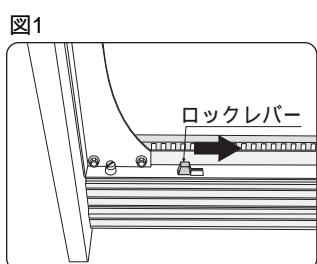
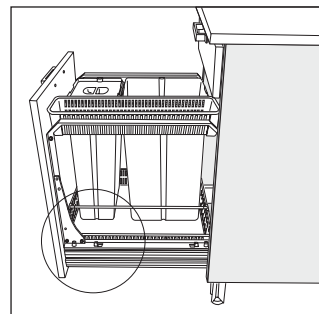
取付け方

- 取付けは上記の「取り外し方」と逆の手順で行ってください。

間口 600 タイプ

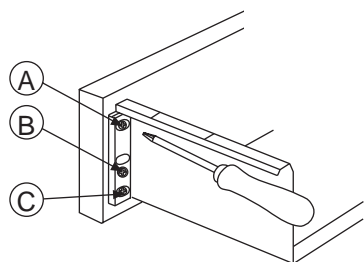


間口 450 タイプ



引出し前板の調整

[スチール製引出しの場合]



左右方向の調整

①、③のネジをゆるめて調整します。



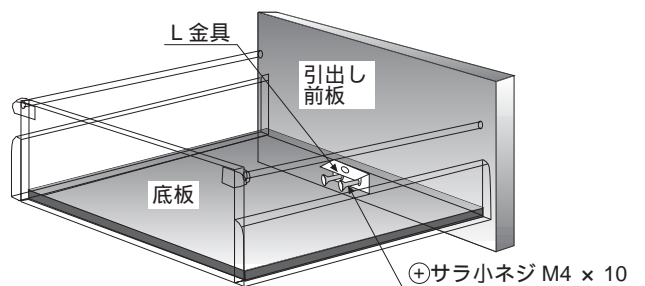
上下方向の調整

①、③のネジをゆるめます。次に②のネジをゆるめて上下を調整します。

[フルエクステンション引出しの場合]

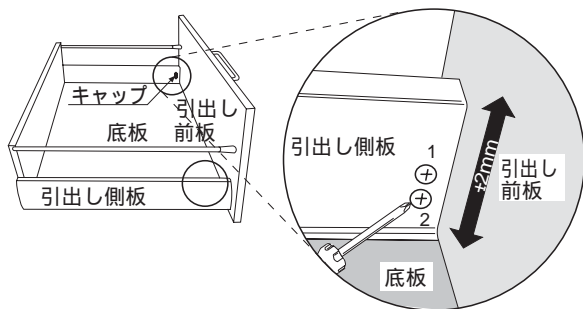
- 引出し前板の調整を行う前に、底板裏面についている L 金具の引出し前板側の取付ネジ (⊕サラ小ネジ M4 × 10) をゆるめておきます。

全ての調整が終わりましたら、ネジを締めて引出し前板を固定してください。



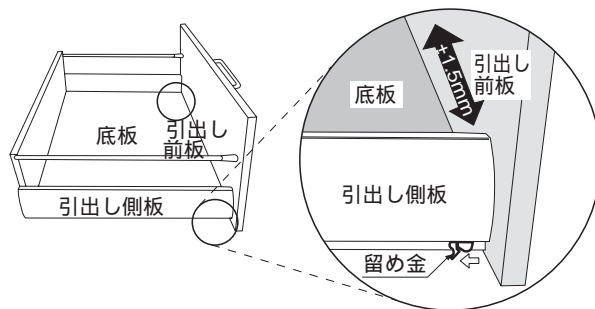
上下方向の調整

- 引出し側板左右内側についた楕円形のキャップ (樹脂製) をマイナスドライバー等で外してください。
- 下図のように 1 のネジを軽くゆるめ、2 のネジによって引出し前板の上下方向を調整します。



左右方向の調整

- 引出し側板底面の留め金 (両サイド 2 ヶ所) を軽く押して解除しながら引出し前板の左右方向を調整します。

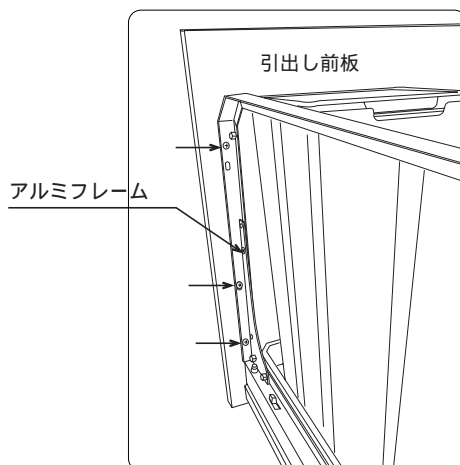


注意) 留め金を押さえて引出し前板を持ち上げると、引出し前板が外れますのでご注意ください。

[引出し式ダストユニットの場合]

- 引出し前板とアルミフレームを固定しているネジを軽くゆるめ、引出し前板の上下左右を調整します。

調整が終わりましたら、ネジを締めて引出し前板を固定してください。



冷蔵庫用ルーバーの取付け

- ・ 図 1 のようにウォールユニットの下に冷蔵庫用ルーバーを⊕バインドタッピンネジ3.5×16で図 2 の位置に取付けてください。
冷蔵庫用ルーバーは、扉面に合わせて取付けます。

図 1

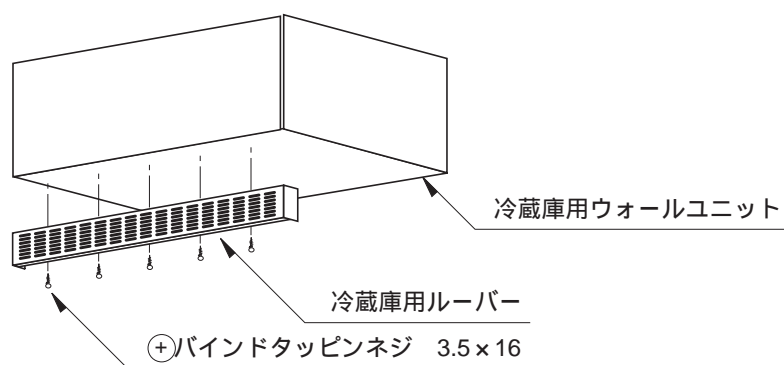
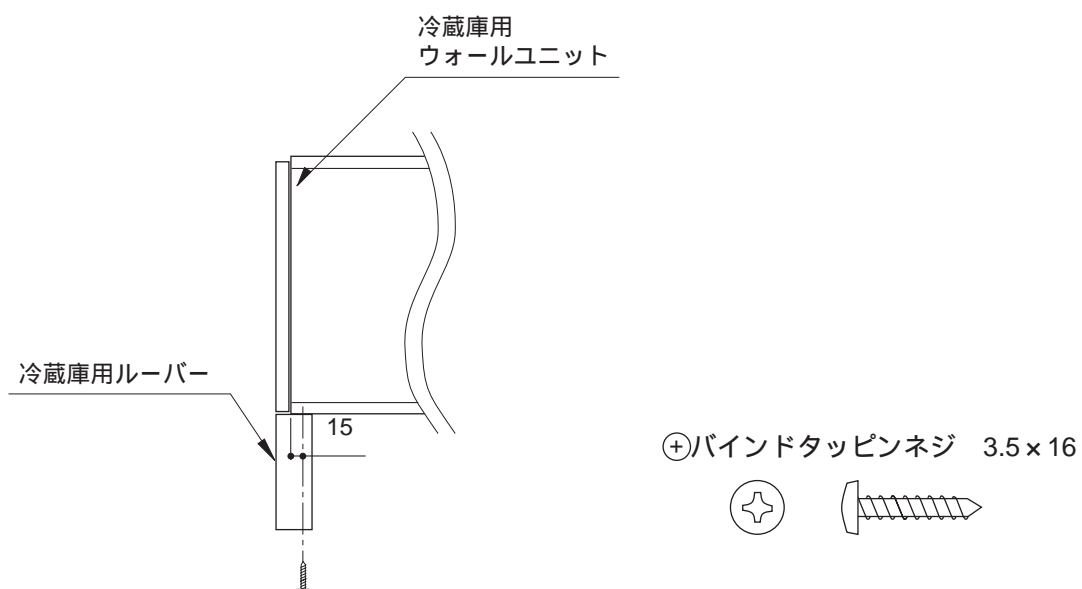


図 2



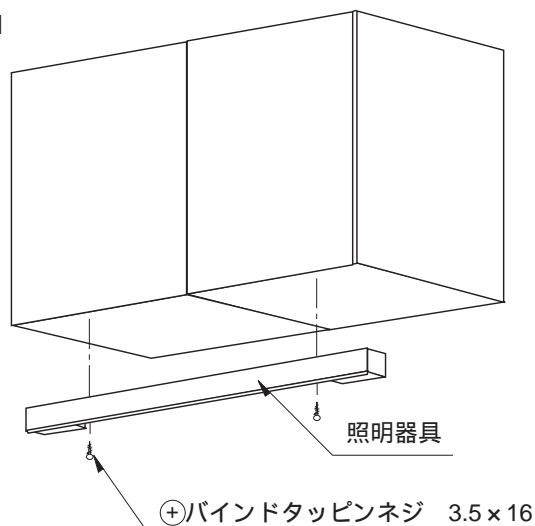


配線工事は関連する法令、規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になることがあります。

図 1



④ バインドタッピンネジ 3.5 x 16



- ・ 図 1 のようにウォールユニットの下に照明器具を④ バインドタッピンネジ 3.5 x 16 で図 2 の位置に取付けてください。
- ・ 壁面より電源を取った場合、ウォールユニットの下は、コードカバーによってコードをカバーしてください。
- ・ 図 3 のように 2 本の照明器具を連結する場合は本体どうしを直接、結線してください。
- ・ 図 4、図 5 のようにウォールユニットが段になっている場合は、ジョイントコード（付属）によって連結して、コードをコードカバーで保護してください。
- ・ 本体に付いている使用しないプラグ端末は本体内部に入れ、目立たないようにしてください。

図 2

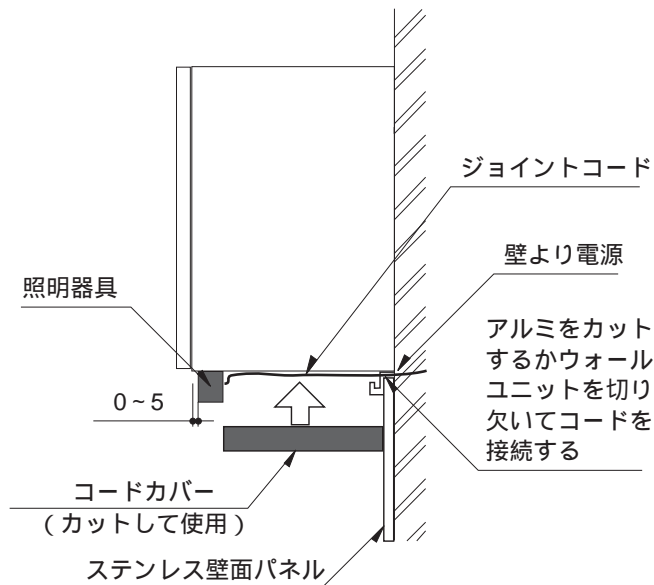


図 3

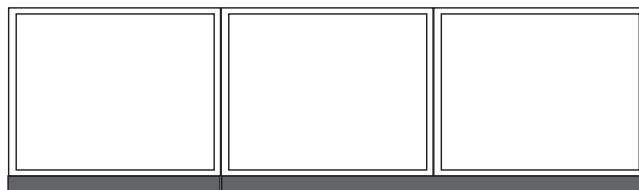


図 4

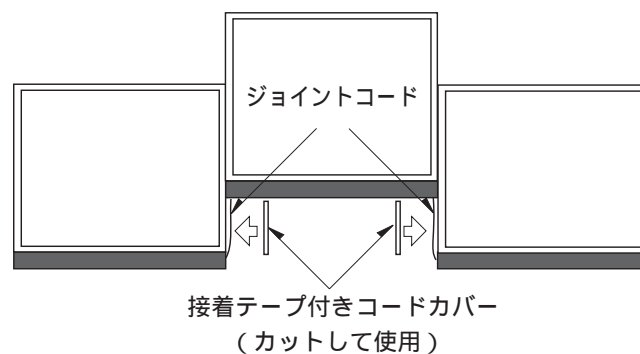
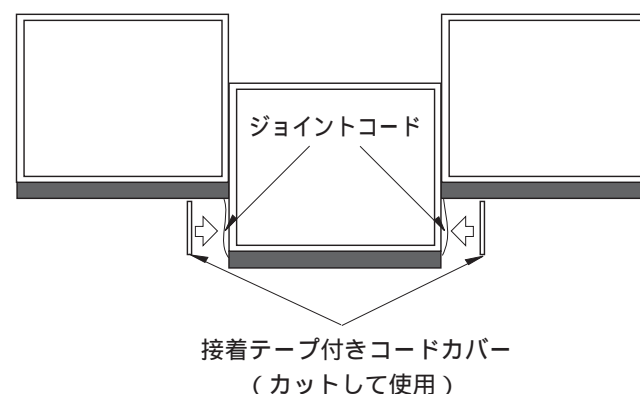


図 5



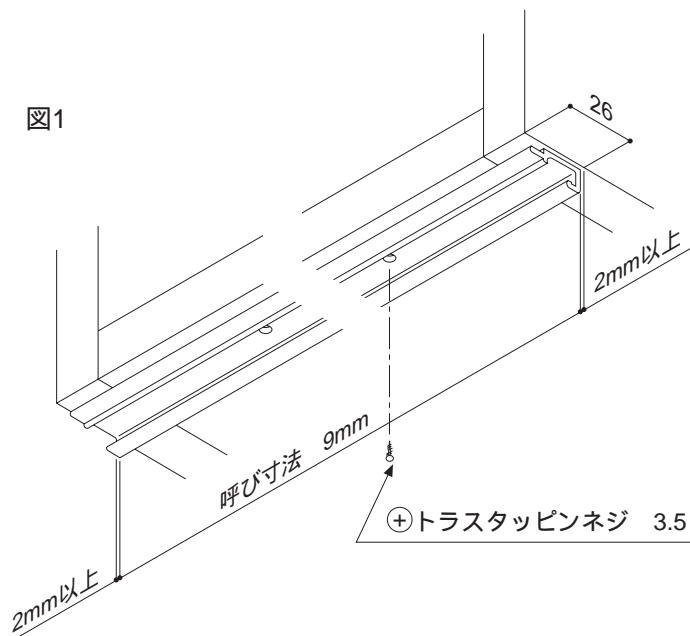


配線工事は関連する法令、規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。

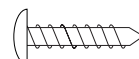


接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になることがあります。

図1

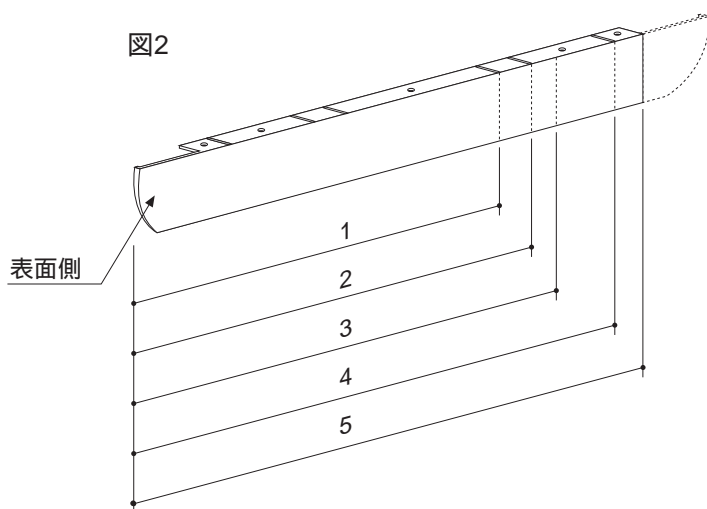


⊕トラスタッピンネジ 3.5×12



⊕トラスタッピンネジ 3.5×12

図2



当図はR仕様を示し、L仕様は当図と対称とする

- 1 薄型ウォールユニット用...300mm
- 2 薄型オープンウォールユニット用...322mm
- 3 ウォールユニット用...350mm
- 4 深型ウォールユニット用...405mm
- 5 深型オープンウォールユニット用...427mm

1. 照明カバーのエッジを付属の⊕トラスタッピンネジ3.5×12を使用して、図1の位置に取付けてください。
尚、両面テープ（出きるだけ薄いもの）を併用していただきますと、位置合わせが簡単で正確に行えます。

注意：ウォールユニット両端より内側に必ず2mm以上の隙間を設けてください。

2. 照明カバー用サイドキャップ（以下サイドキャップ）を図2の寸法に丸ノコ等を使用してカットしてください。

注意1：サイドキャップは1セットにつきR仕様・L仕様が各1枚ずつ必要です。カットする際にR仕様ばかり（L仕様ばかり）2枚作ってしまったということのないよう十分にご注意願います。

注意2：サイドキャップをカットする際、表面側（シボ柄のある面）よりカットしてください。

図3

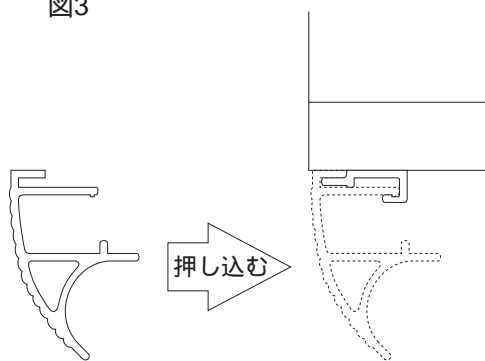


図4

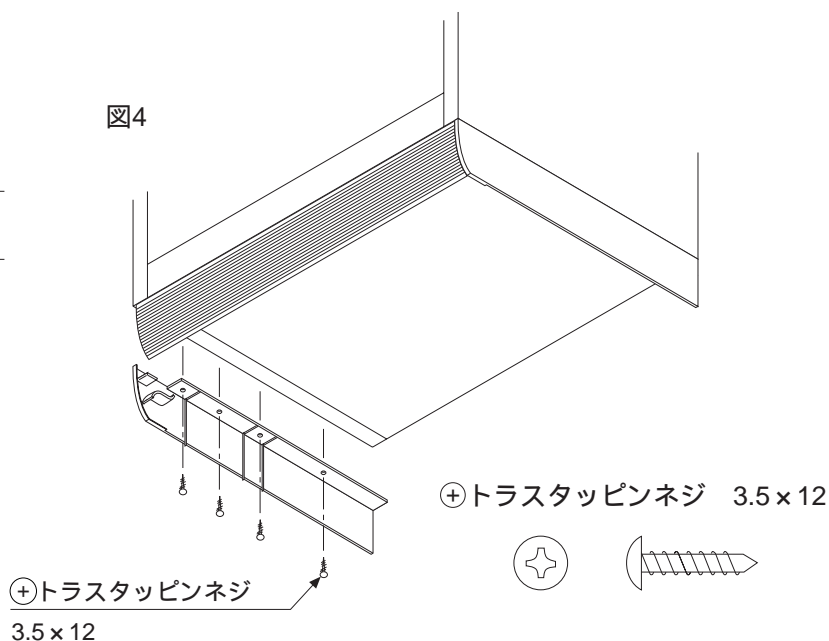


図5

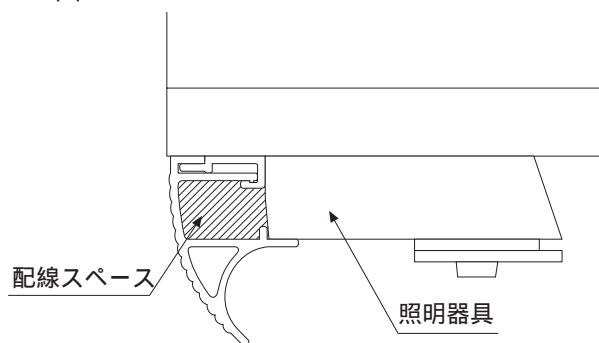
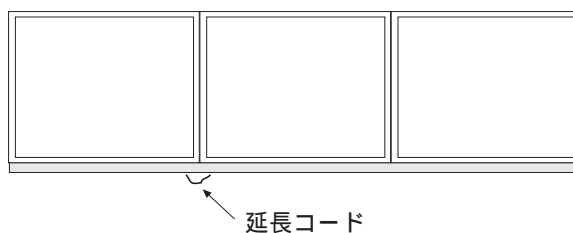


図6



3. 照明カバーを前面より‘パチン’と音がするまで押し込んでください。(図3)

注意：ウォールユニット両端より内側に必ず2mmずつ隙間を設けてください。

4. サイドキャップを付属の⊕トラスタッピンネジ3.5×12を使用して取付けてください。(図4)

5. 照明器具を付属の⊕トラスタッピンネジ3.5×12を使用して、図5の位置に取付けてください。尚、電源コード類は照明カバー内の配線スペースに収納できます。

注意1：照明器具を2本以上連結する場合、付属の延長コードを使用してください。(図6)

注意2：図7・図8のように、ウォールユニットの底面が段違いになっている場合には、コードカバーを使用して延長コードを保護してください。

図7

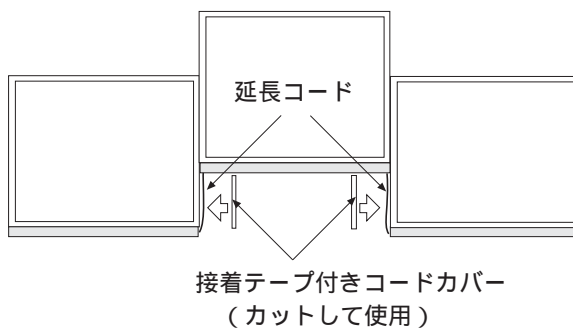
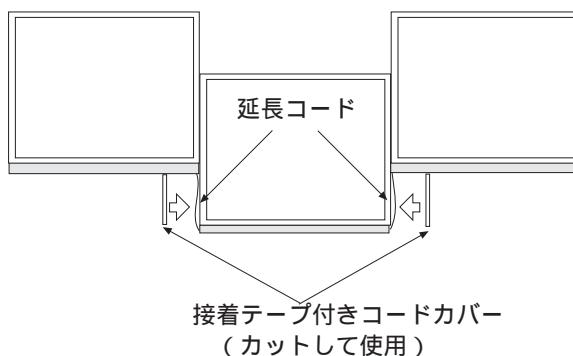
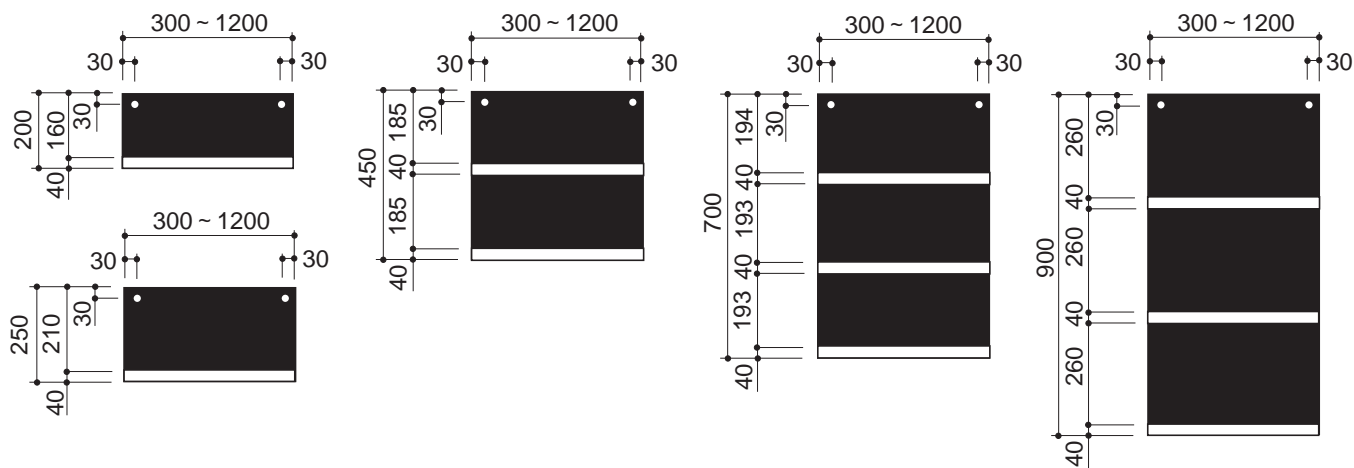


図8



オープンシェルフの取付け



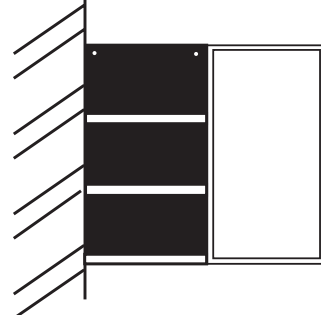
ウォールユニットと
ウォールユニットの間にある時



ウォールユニットと
エンドパネルの間にある時



ウォールユニットと
壁の間にある時



- ・バックパネル（黒）に下穴があけてありますので⊕バインドタッピンネジ3.5×30で壁面に固定してください。（図1）

- ・穴キャップで取付穴をふさいでください。（図1）

- ・図2のように両端のウォールユニット、又はエンドパネル、又は壁面に受け金具を⊕サラタッピンネジ3.5×25でオープンシェルフ受け金具位置図を見て、取付けてください。

- ・図3のようにオープンシェルフ棚板を上から落とし込むように入れてください。

⊕バインドタッピンネジ3.5×30

Ø10穴キャップ

図1

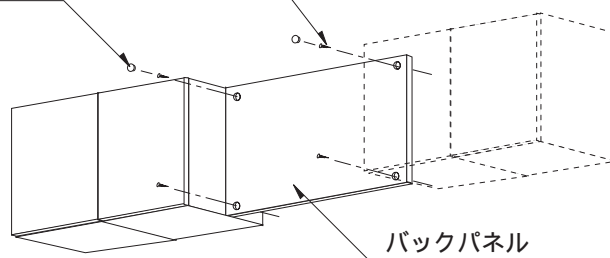


図2

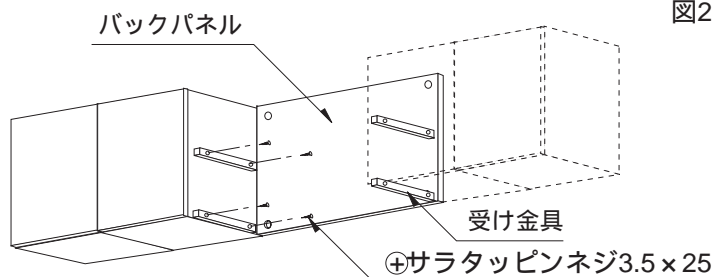
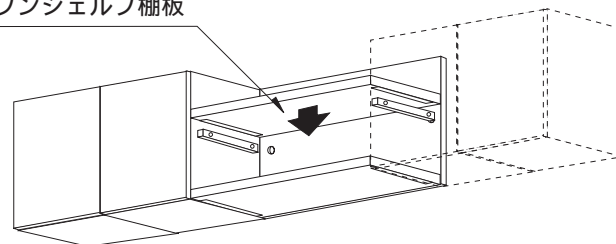
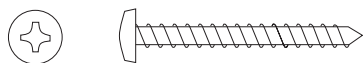


図3

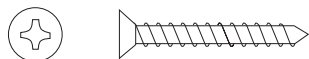
オープンシェルフ棚板



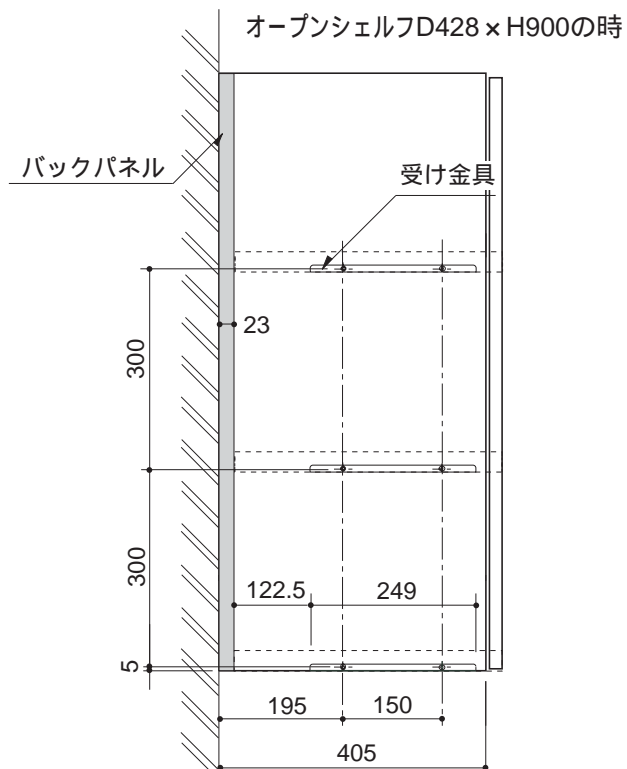
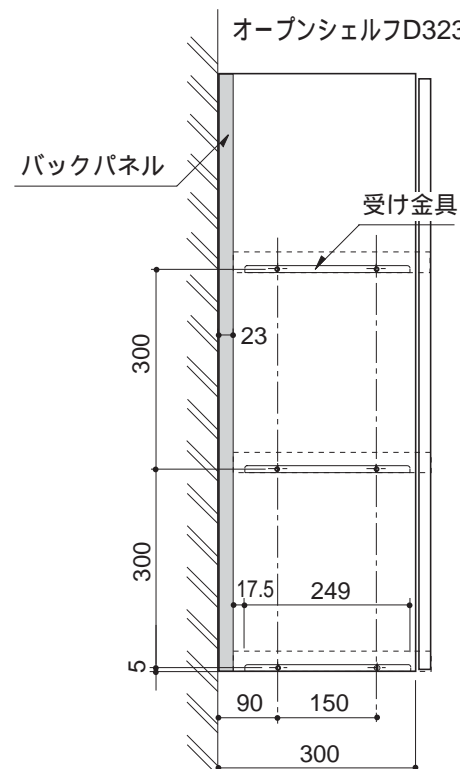
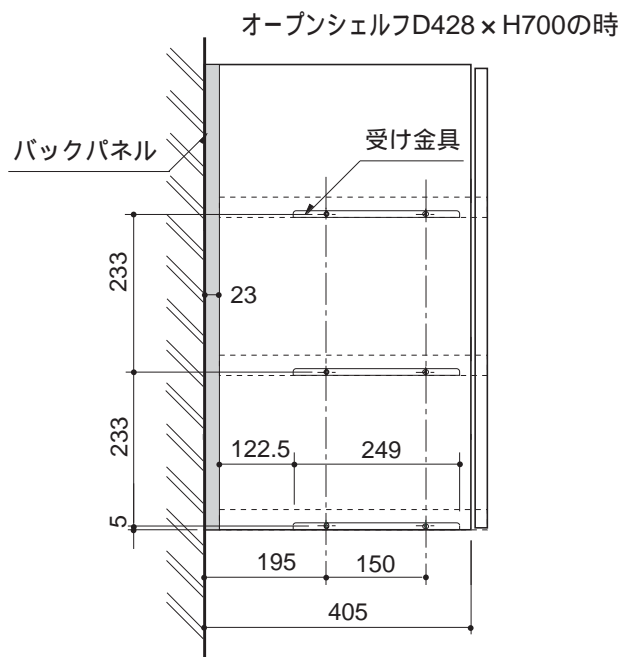
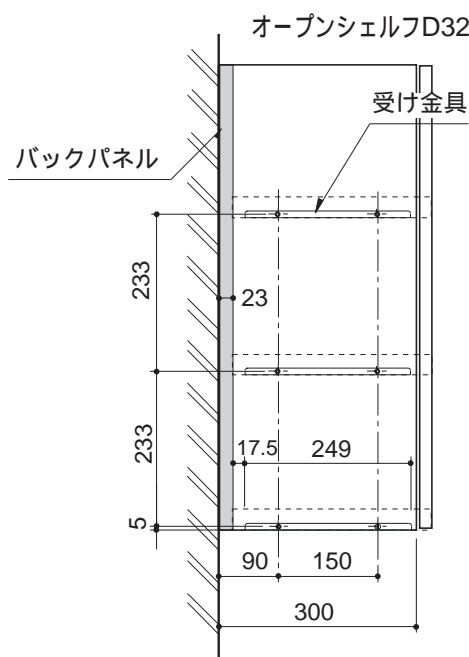
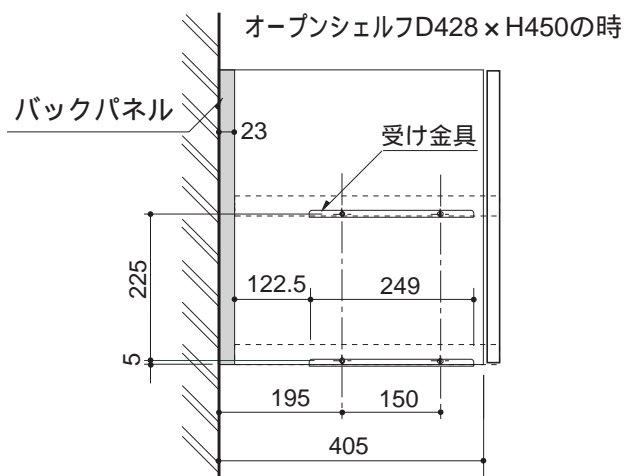
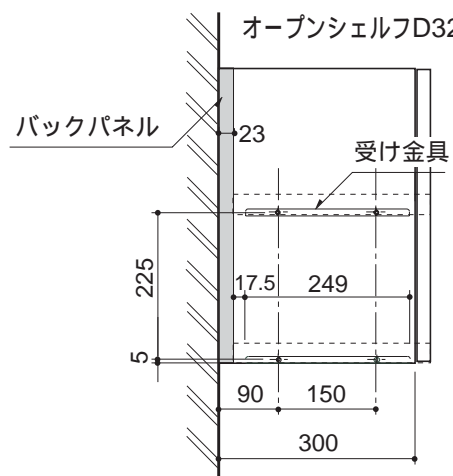
⊕バインドタッピンネジ 3.5×30



⊕サラタッピンネジ 3.5×25

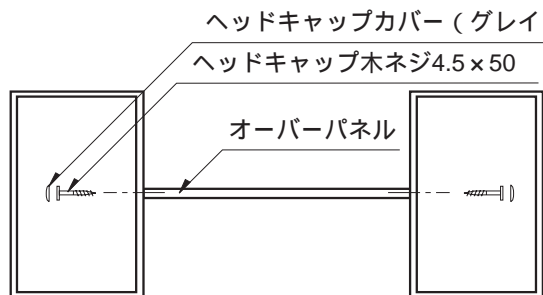


オープンシェルフ受け金具位置

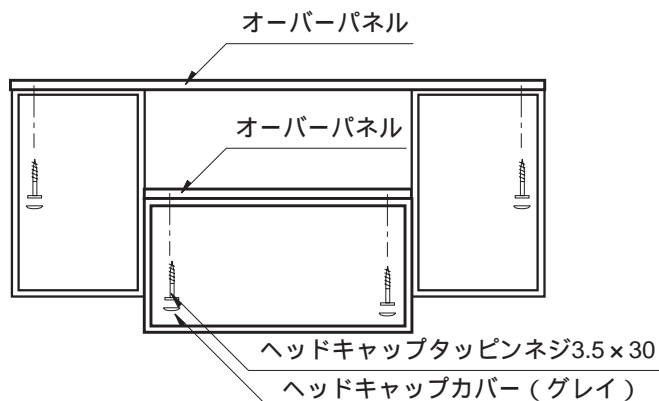


オーバーパネルの取付け

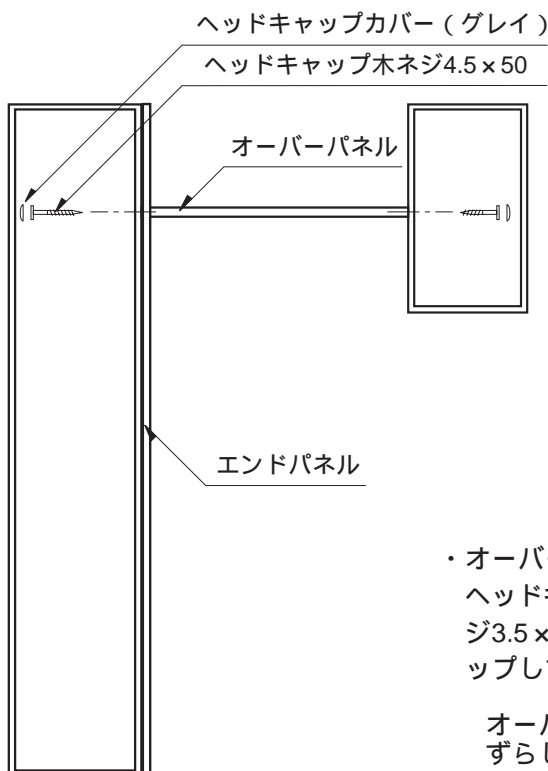
ウォールユニットとウォールユニットの間にある時



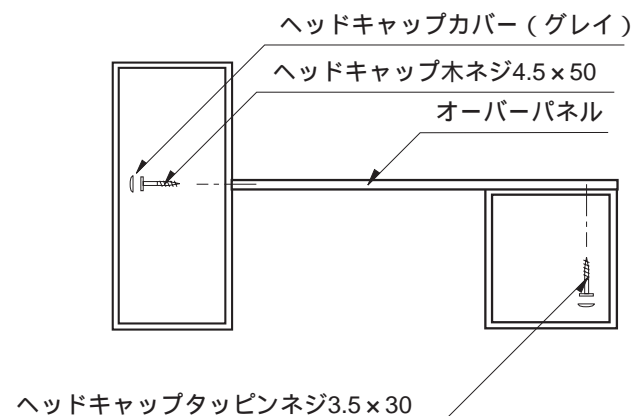
ウォールユニットの上部にある時



ウォールユニットと収納ユニットの間にある時



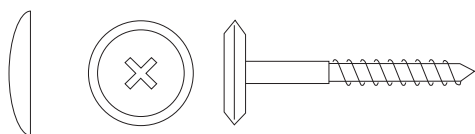
ウォールユニットとウォールユニット上部の間にある時



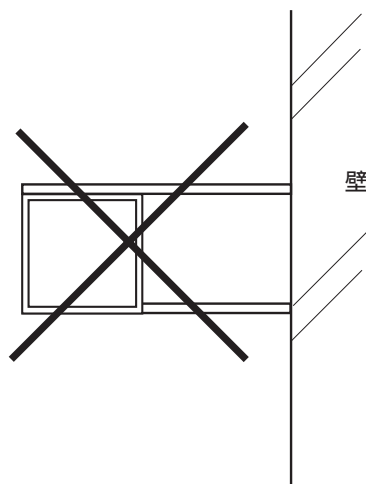
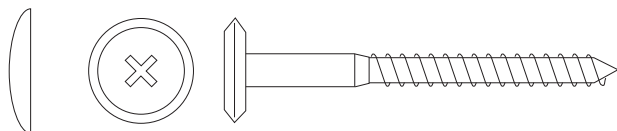
- ・オーバーパネルはウォールユニット内部より下穴をあけてから、ヘッドキャップ木ネジ4.5×50（又は、ヘッドキャップタッピンネジ3.5×30）で固定して、ヘッドキャップカバー（グレイ）でキャップしてください。

オーバーパネルの木口はアルミエッジですので、木口中心からずらして取付けてください。
ウォールユニットと壁の間にある場合は必ず両サイドにユニットが必要です。

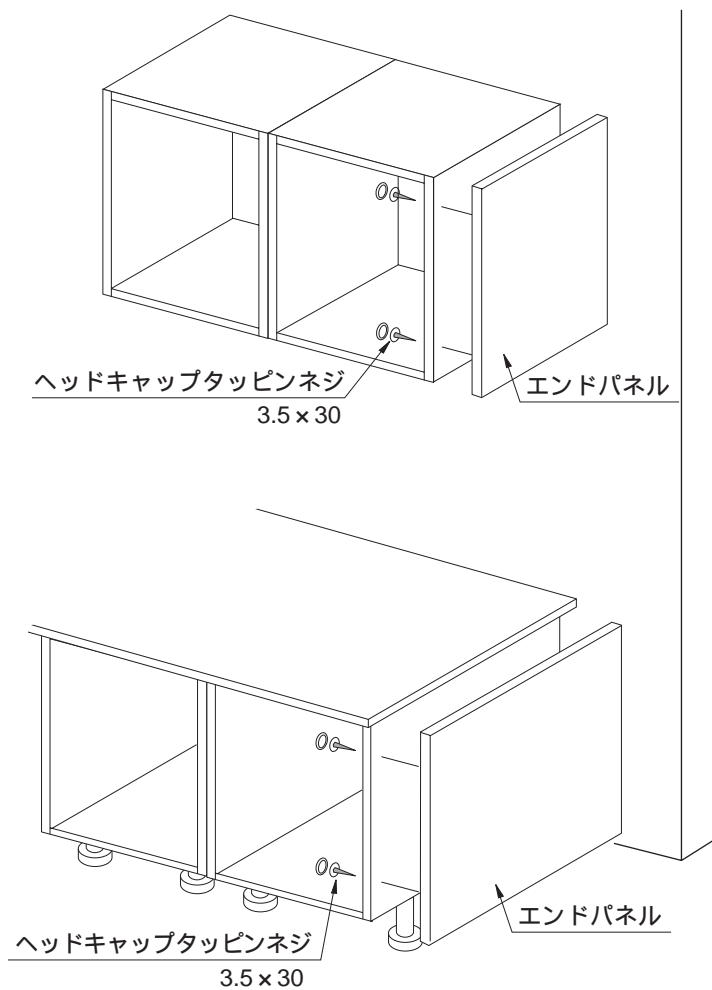
ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30



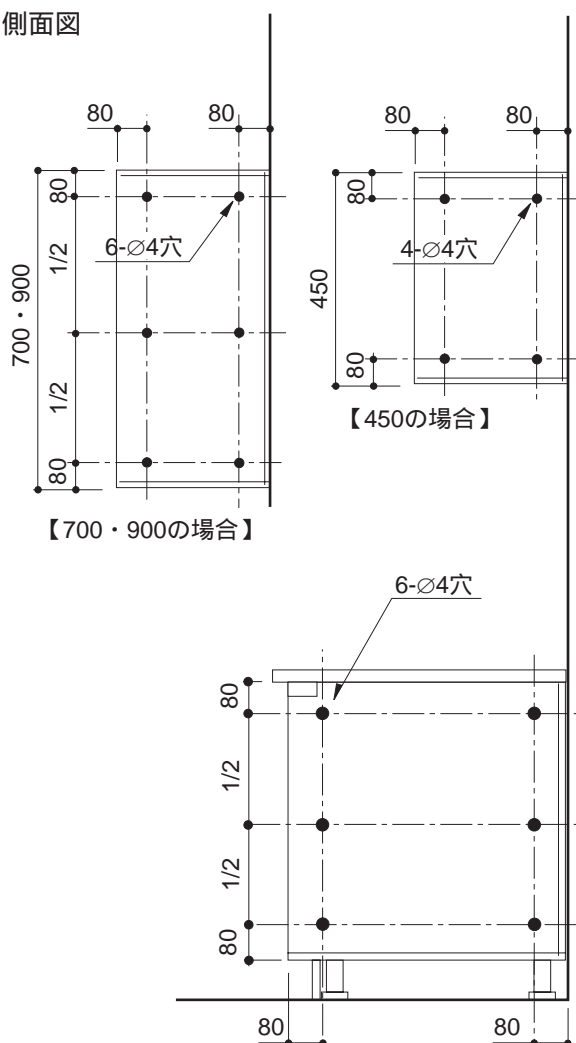
ヘッドキャップ木ネジ 4.5×50



キッチンエンドパネルの取付け

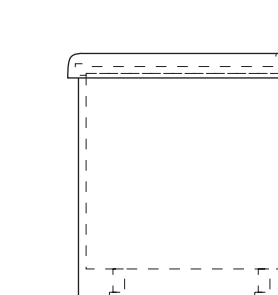
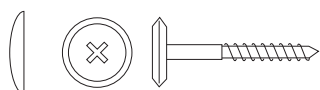


側面図

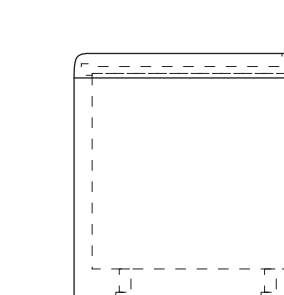


- ・エンドパネルを取付ける場合は、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5 x 30を使用し、指定の位置で固定してください。

ヘッドキャップタッピンネジ 3.5 x 30



人端エンドパネル

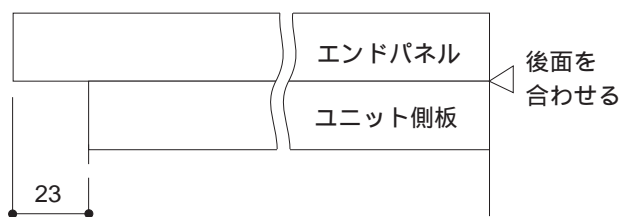


ステンレスエンドパネル

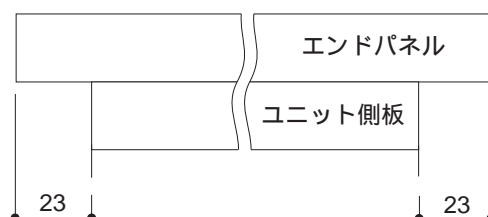
エンドパネルの位置

上面図

片面仕様



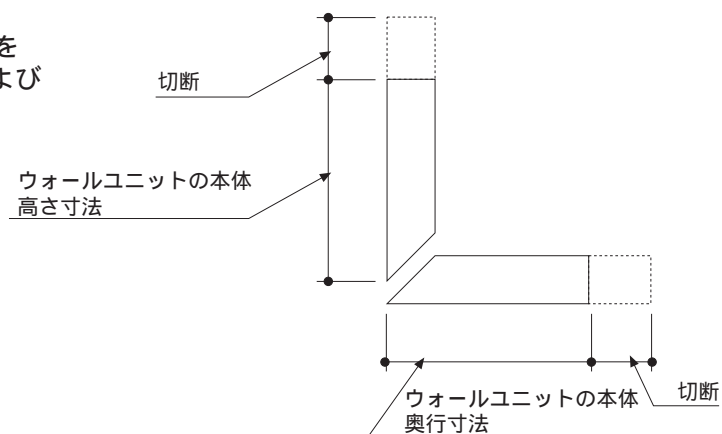
両面仕様



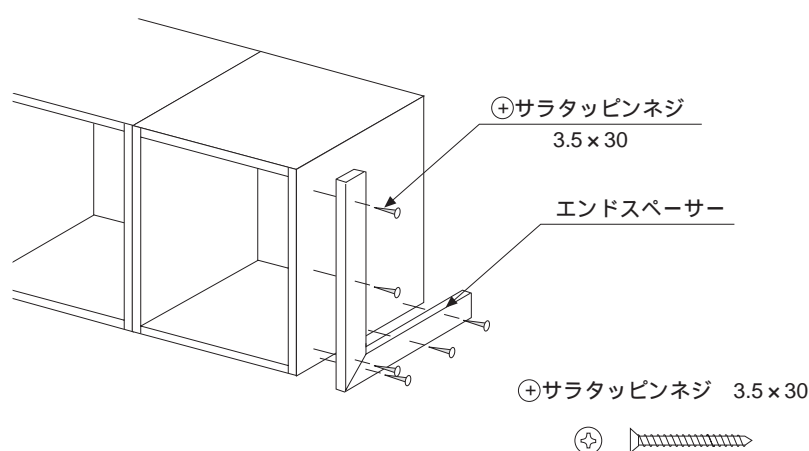
キッチンエンドスペーサーの取付け

ウォールユニット用

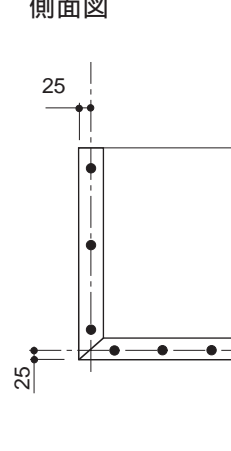
- ・エンドスペーサー部材 (L = 900) をウォールユニットの本体高さ寸法および奥行寸法にカットしてください。



- ・ユニットにエンドスペーサーを⊕サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。

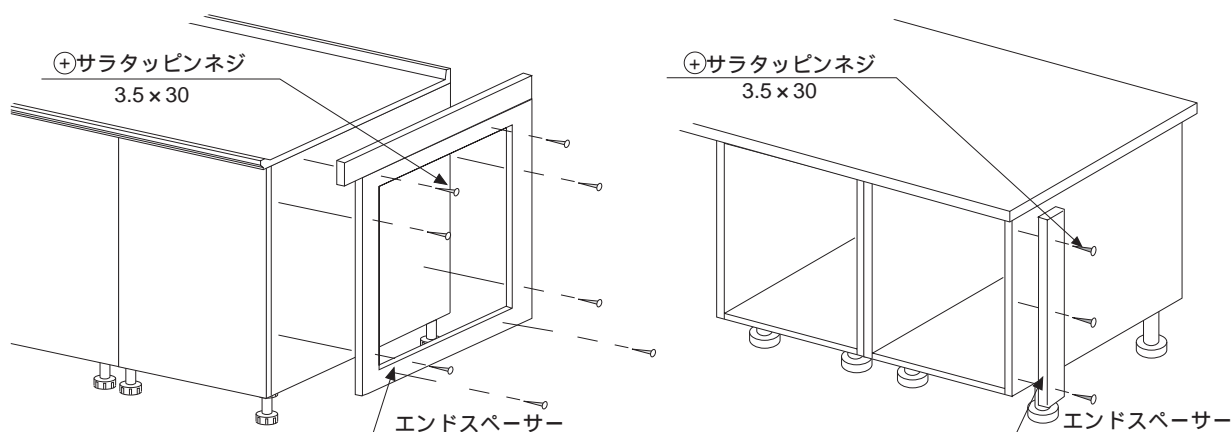


側面図

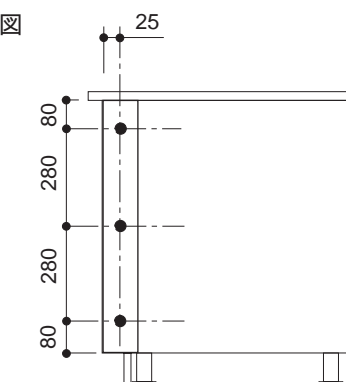


フロアユニット用

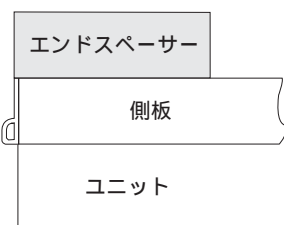
- ・フロアユニットにエンドスペーサーを⊕サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。



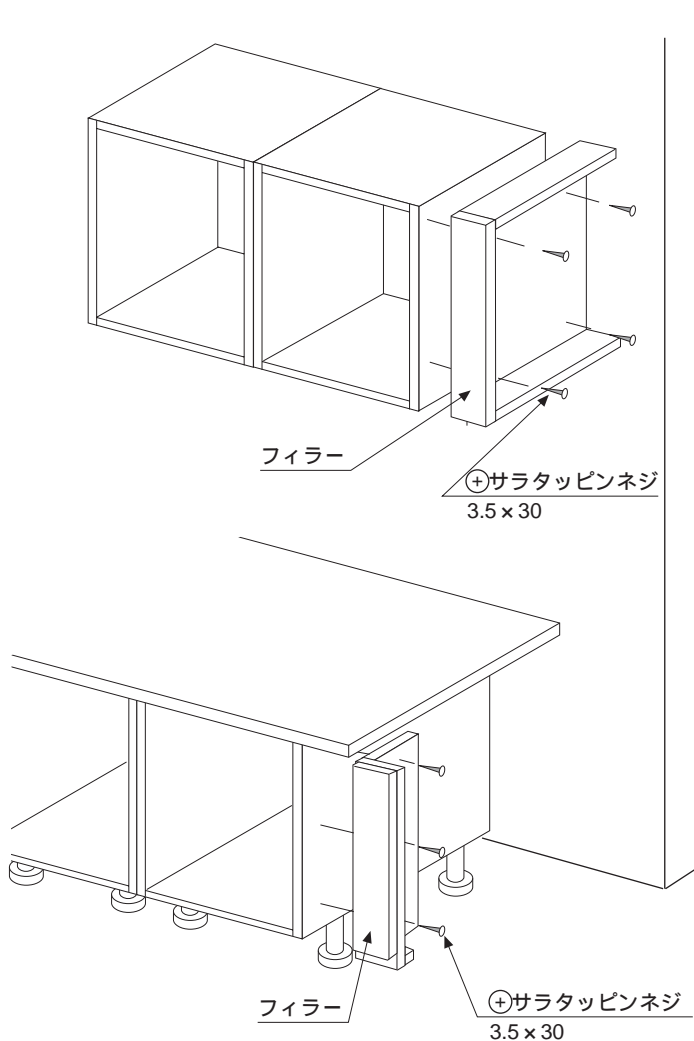
側面図



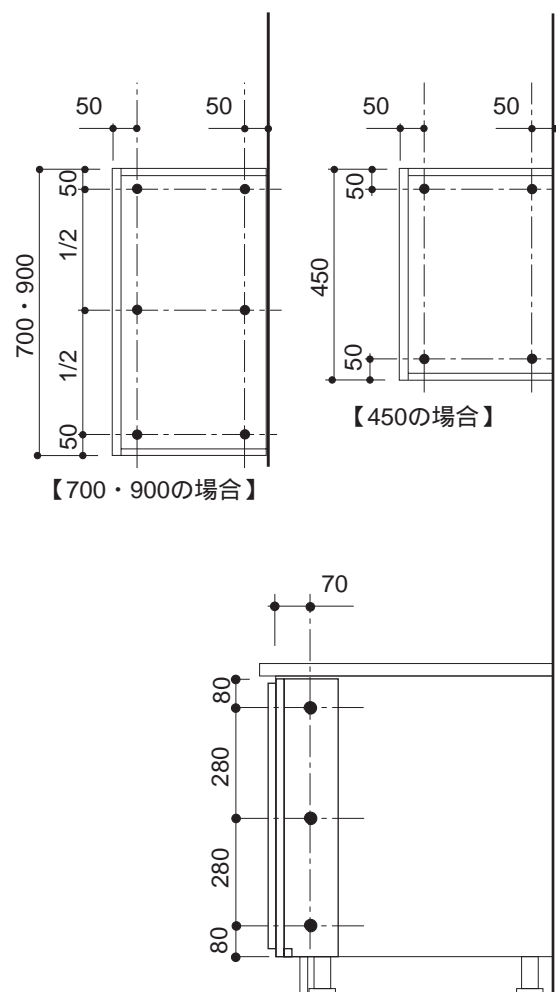
- ・エンドスペーサーはウォール用、フロア用共に側板の前面に合わせて取付けます。



キッチンフィラーの取付け

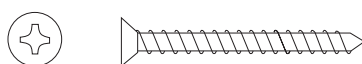


側面図

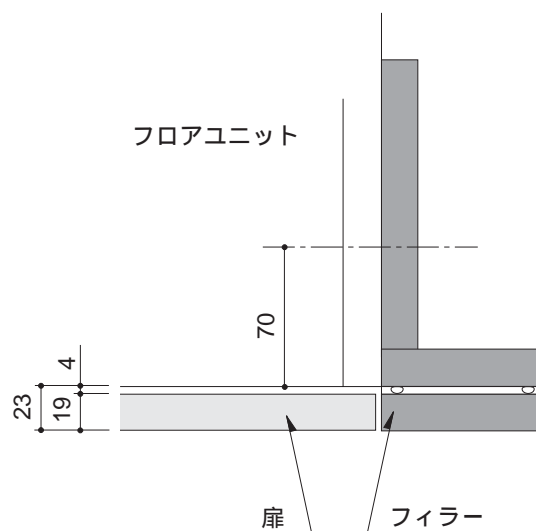
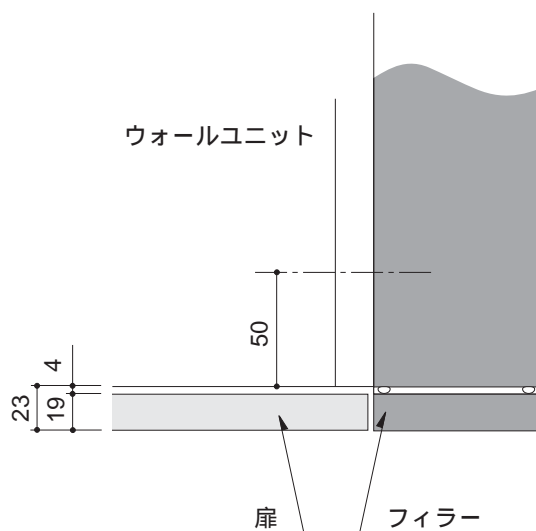


- ・フィラーを取付ける場合は、⊕サラタッピンネジ 3.5×30 を使用し、指定の位置で固定してください。

⊕サラタッピンネジ 3.5×30

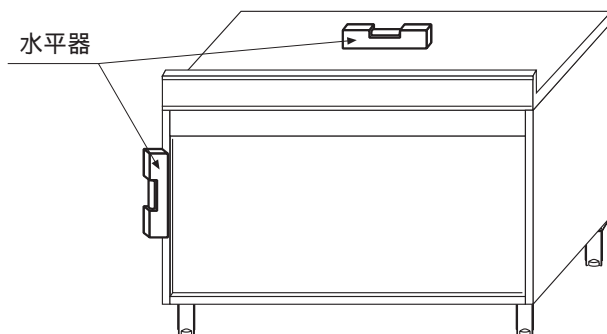


- ・フィラーは、扉面に合わせて取付けます。



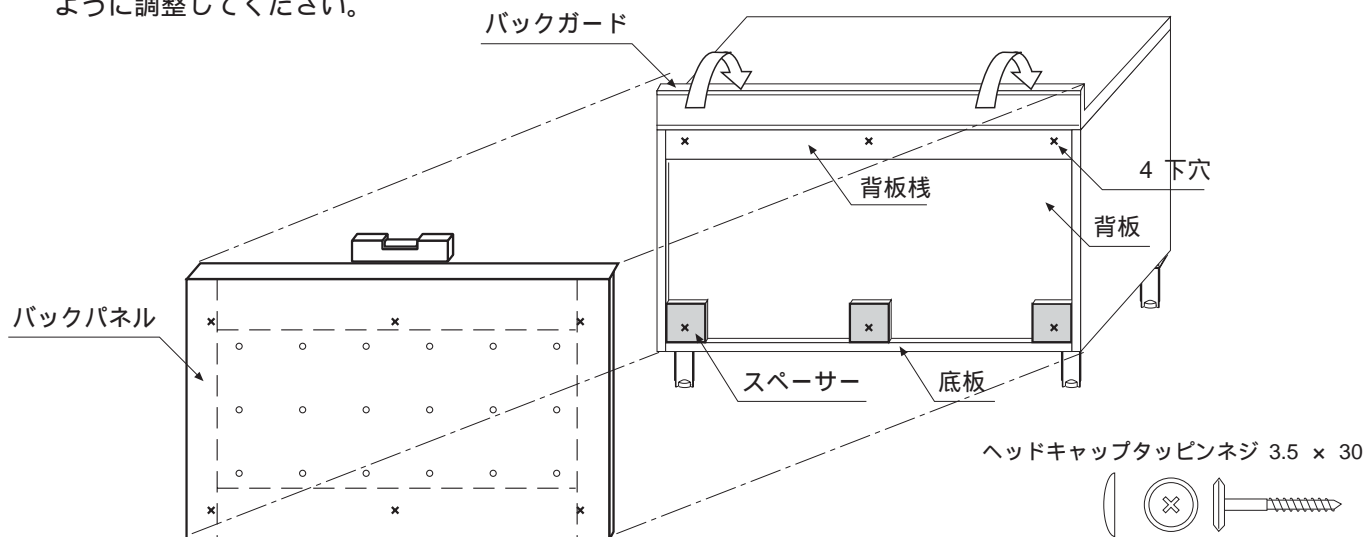
アイランドパネルの取付け

1. パネルを取付けるフロアユニットの水平、垂直を確認してください。



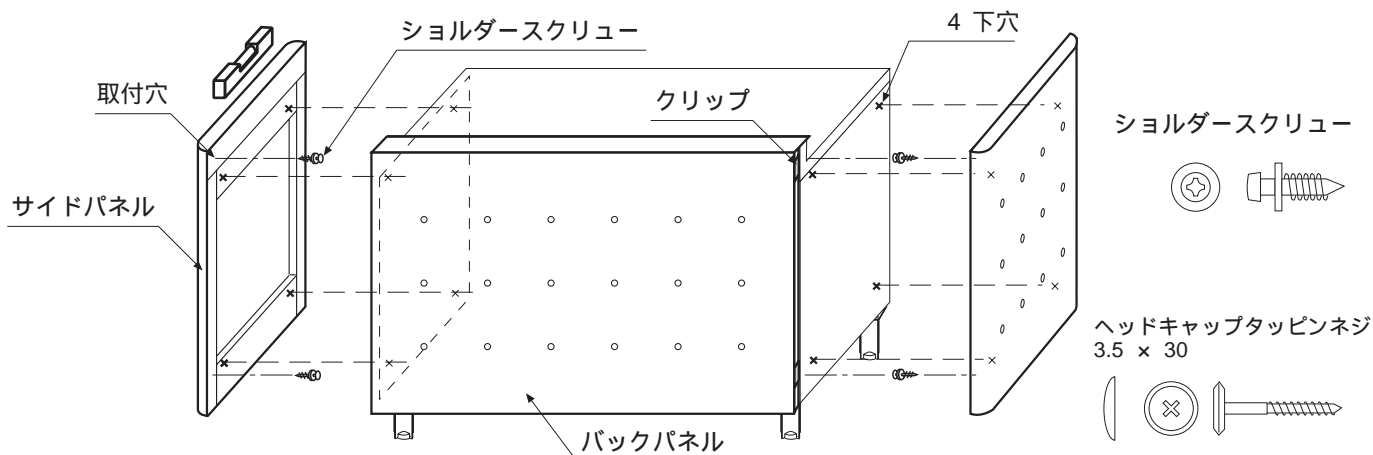
2. スペースの両面テープを剥がし、背板下部で底板上に乗せながら固定します。
背板枠および背板とスペースを貫通させる、固定ネジ用下穴 4.0 を開けます。
3. バックパネルをトップの幅に合わせて、バックガードに引っ掛け、水平を確認し、ユニット内部から、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にて固定してください。バックパネル 1 枚あたり 6ヶ所ネジ固定してください。

ステンレストップの場合、サイドキャップがありますので、バックガードとバックパネルが平行になるように調整してください。



4. サイドパネルの取付穴に合わせてショルダースクリューを取付けてください。
5. バックパネルにあるクリップにサイドパネルのショルダースクリューを差し込み、仮固定します。
6. サイドパネルの下地位置をねらい、ユニット内部から固定ネジ用下穴 4.0 を開けます。
7. サイドパネルの水平を確認し、バックパネルの高さに揃えながら、ユニット内部よりヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にて、下地に固定します。サイドパネル 1 枚あたり 4ヶ所ネジ固定します。

トップの間口に対して、ユニットの間口（全体間口）が小さい場合は、サイドパネルを垂直に取付け、パネル目地幅を均等にするために、ユニットの左右に薄物スペーサー等を入れてサイドパネルを固定してください。



【確認事項】

A 部：バックパネル上面とサイドパネル上面の納まりは右図参照のこと。

B 部：バックパネル正面ヅラとサイドパネルの側面が揃っていること。

C 部：バックパネルとサイドパネルの間の目地は均等幅で 1mm 以下であること。

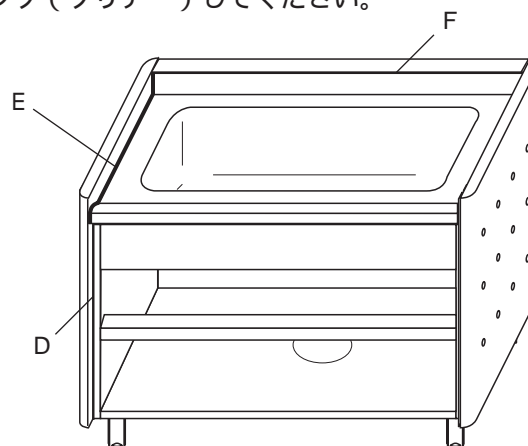
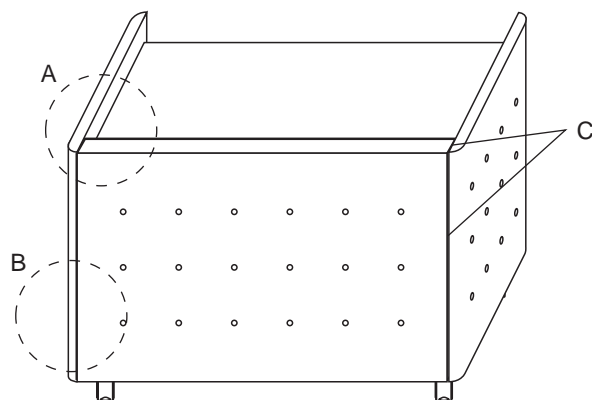
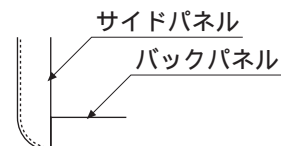
バックパネルが 2 分割の場合、バックパネル間の目地幅は 0 mm とする。

D 部：ユニットとサイドパネルの隙間は均等幅であること。（シンクユニットの場合）

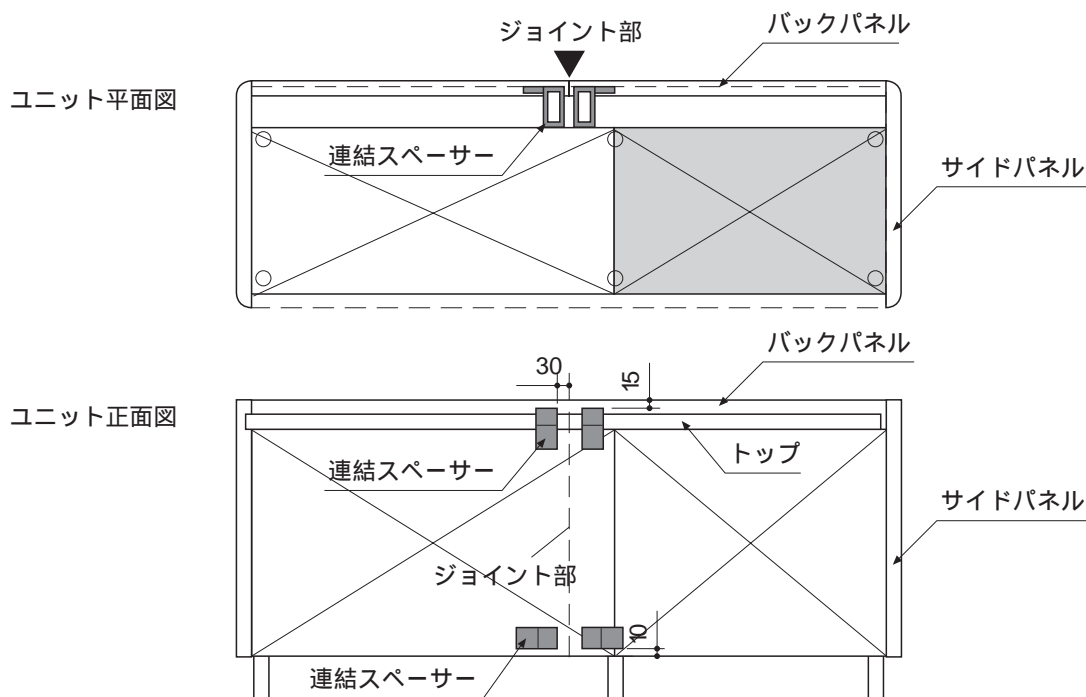
E 部：トップとサイドパネルの隙間をシーリング（クリアー）してください。

F 部：バックガードとバックパネルの隙間をシーリング（クリアー）してください。

A 部納まり図



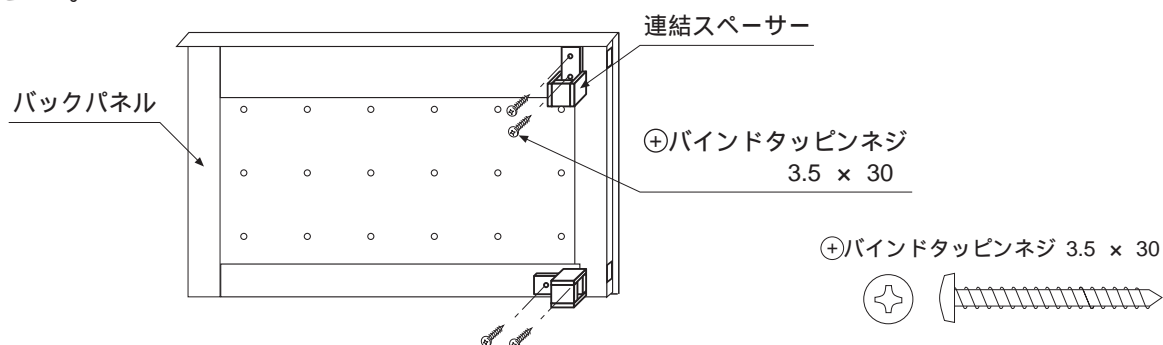
奥行き 600 のフロアユニットに取付ける場合



連結スパーサーを使用する場合

奥行き 600 のフロアユニットにバックパネルを取付ける場合、連結スパーサーを使用します。

連結スパーサーの向きに注意して（下図参照） ⊕ バインドタッピンネジ 3.5 × 30 にて下地に取り付けてください。



スライド食器洗い乾燥機は、なるべく単独で排水を行ってください。

4 Dシンクの場合、必ず下記の配管方法になりますが、他のシンクの場合は「スライド食器洗い乾燥機ユニット内配管図 2」でも配管可能です。

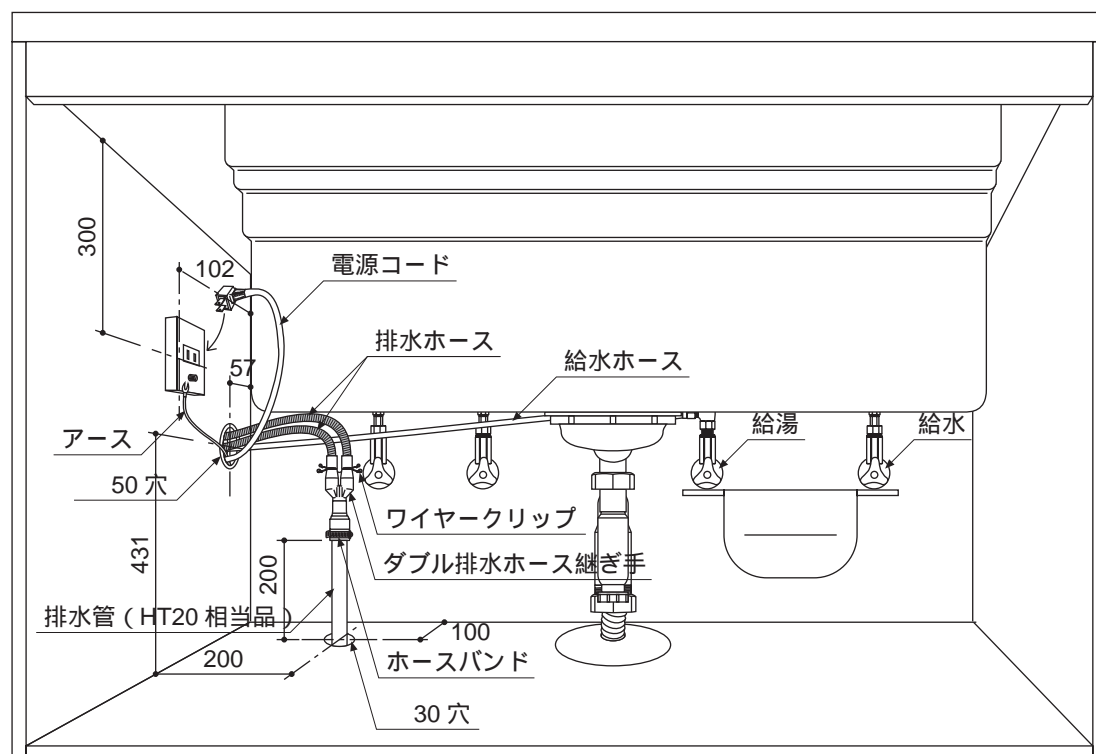
排水管の配管

- ・ユニットを設置する前に、下図の指定位置に床面より排水管を立ち上げてください。

排水管・・・HT20 相当品（耐熱塩ビを使用すること）

穴開け加工および配管

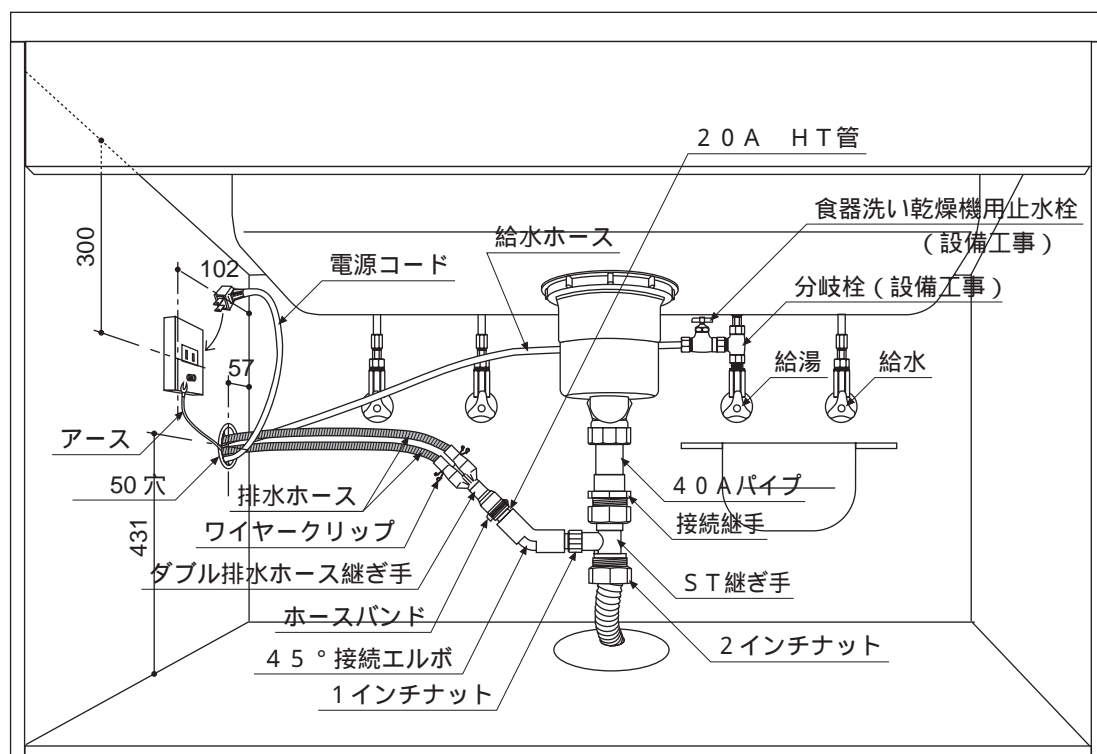
- ・スライド食器洗い乾燥機に隣接する側のシンクユニット側板の指定位置に 50 の穴を開けます。
- ・シンクユニット底板の指定位置に排水管立ち上げ用の穴 30 を開けます。
- ・シンクユニットを指定位置に設置し、下図の通りに配管してください。



4 Dシンク以外の場合、下記の配管方法でも可能です。

穴開け加工および配管

- ・スライド食器洗い乾燥機に隣接する側のシンクユニット側板の指定位置に 50 の穴を開けます。
- ・シンクユニットを指定位置に設置し、付属の「取付説明書」に従って配管してください。
45°接続エルボの20A HT管側が45°上向きになるように固定してください。
水平や下向きに固定すると、排水が洗浄槽内に逆流することがあります。
- また、排水ホースが垂れ下がらないように配管してください。



イラストは2 Dシンクの場合を示します。

スライド食器洗い乾燥機（ダブルタイプ）【FB6010TD】のケコミ板の取付け

1. 樹脂製ケコミ板（付属品）を付属の据付工事説明書に従って高さを設定します。
A F 仕様【H = 100】の場合は、付属の据付工事説明書に従ってカットしてください。
2. ケコミ板に貼り付けてある両面テープのはく離紙をめくります。（図1）
3. ケコミ板を樹脂製ケコミ板（付属品）の両側で振り分け、樹脂製ケコミ板の上面から 16mm はみ出した位置にケコミ板の上端がくるようにしっかりと貼り付けます。（図2）
4. 付属の据付工事説明書に従って、貼り合わせたケコミ板を奥に当たるまで（約 40mm）引っこませて機器に固定します。（図3）

図 1

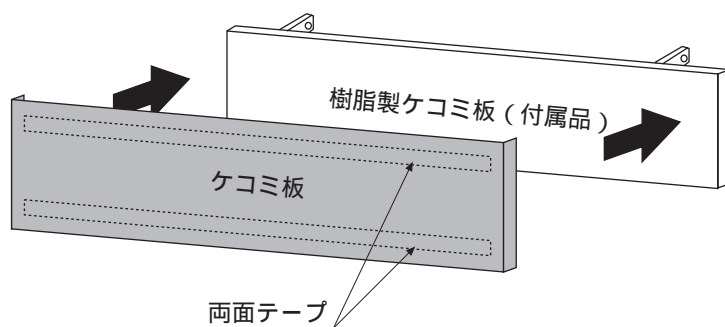


図 2

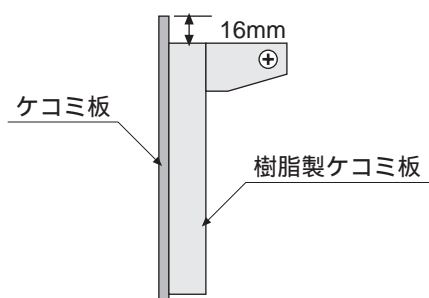
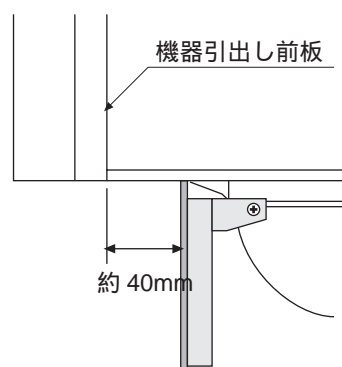


図 3

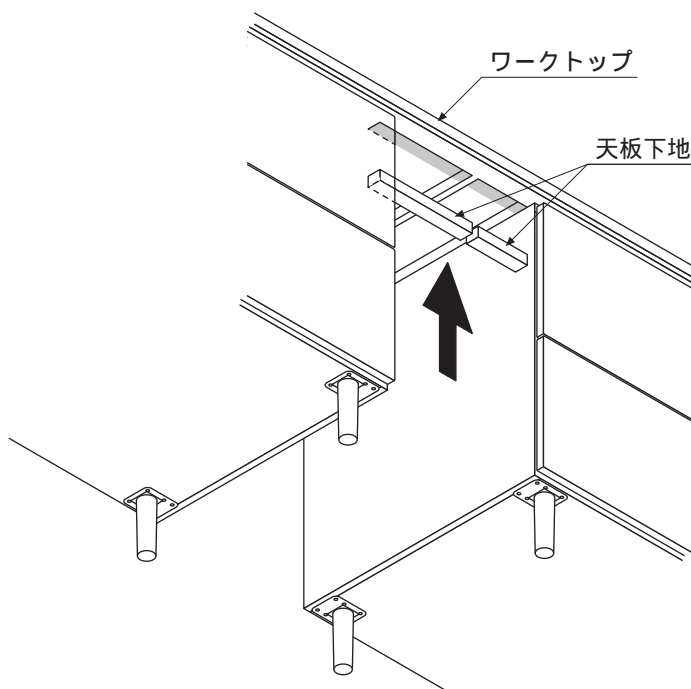


天板下地の取付け

- ・ミーレ社自動食器洗い機の取付位置のワークトップ裏面に天板下地を取付けます。

ワークトップ裏面の天板下地の形状に合わせて加工し、接着剤（市販品）にて貼り付けます。

【推奨接着剤：コニシ G-17】



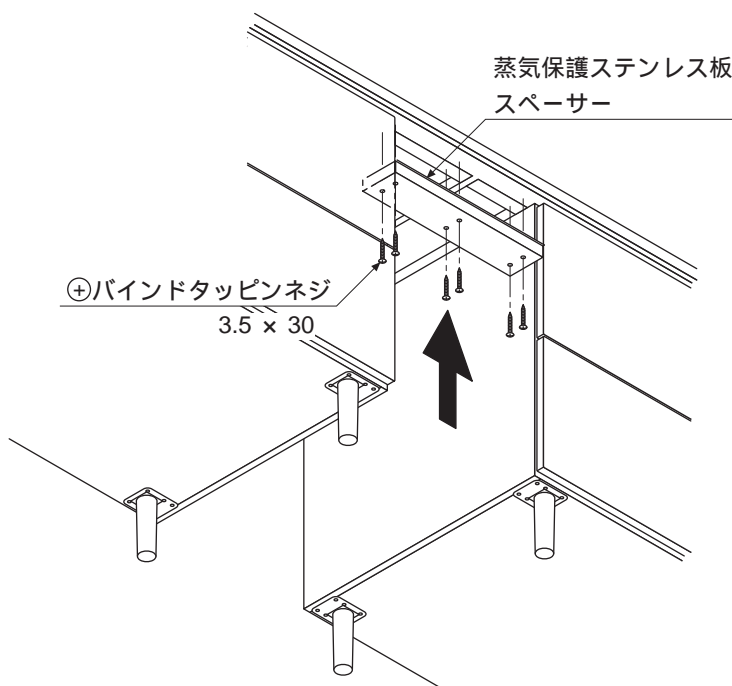
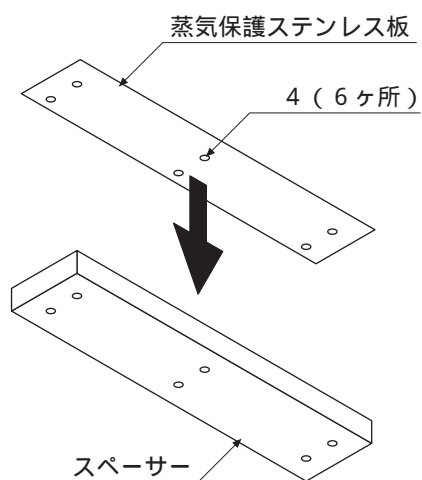
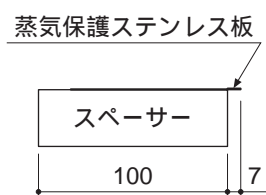
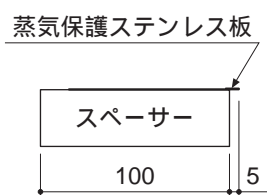
蒸気保護ステンレス板、スペーサーの取付け

ワークトップ上面まで H=900 の場合のみ。

- ・蒸気保護ステンレス板に穴を開けます。スペーサーの穴に合わせて 4 の穴を 6 ヶ所開けます。
- ・蒸気保護ステンレス板とスペーサーを接着剤（市販品）にて貼り合わせます。
【推奨接着剤：コニシ G-17】
- ・ワークトップ裏面の天板下地に、さきほど貼り合わせた蒸気保護ステンレス板とスペーサーを取付けます。スペーサー側から⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 30（6 ヶ所）にて、固定します。

ステンレスワークトップの場合

人工大理石ワークトップの場合



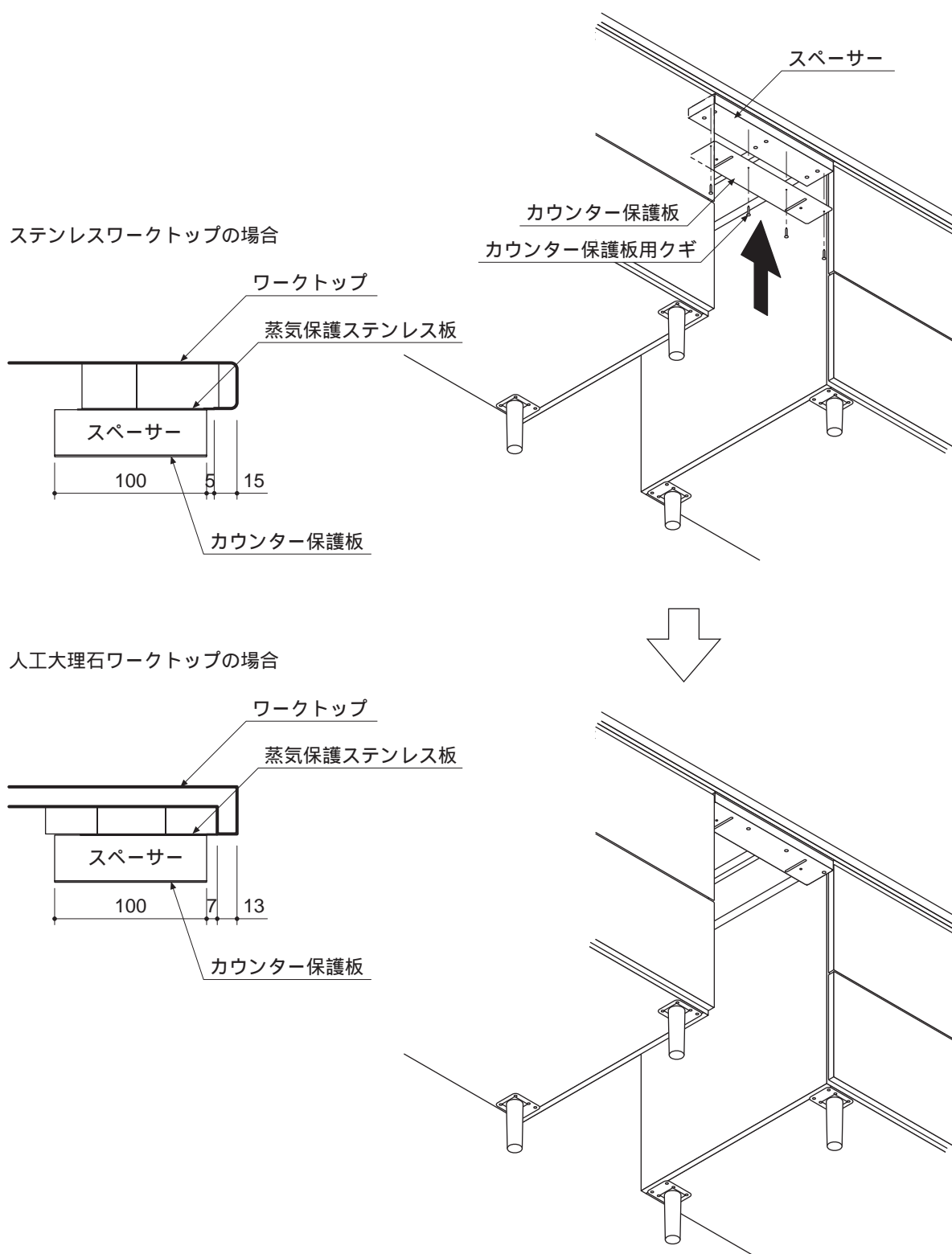
カウンター保護板の取付け

ワークトップ上面まで H=900 の場合

- ・ 付属のカウンター保護板を付属のクギおよび接着剤（市販品）にてスペーサーに取付けます。

【推奨接着剤：コニシ G-17】

クギ穴には、付属のコーキング材を施してください。（付属の「設置・施工手順書」に従ってください。）



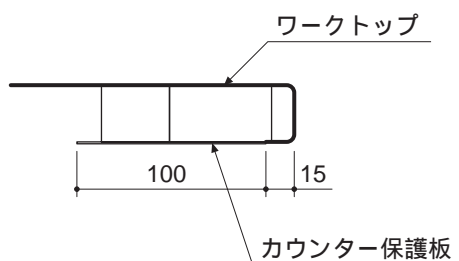
ワークトップ上面まで H=850 の場合

- ・ 付属のカウンター保護板を付属のクギおよび接着剤（市販品）にてワークトップ裏面の天板下地に取付けます。

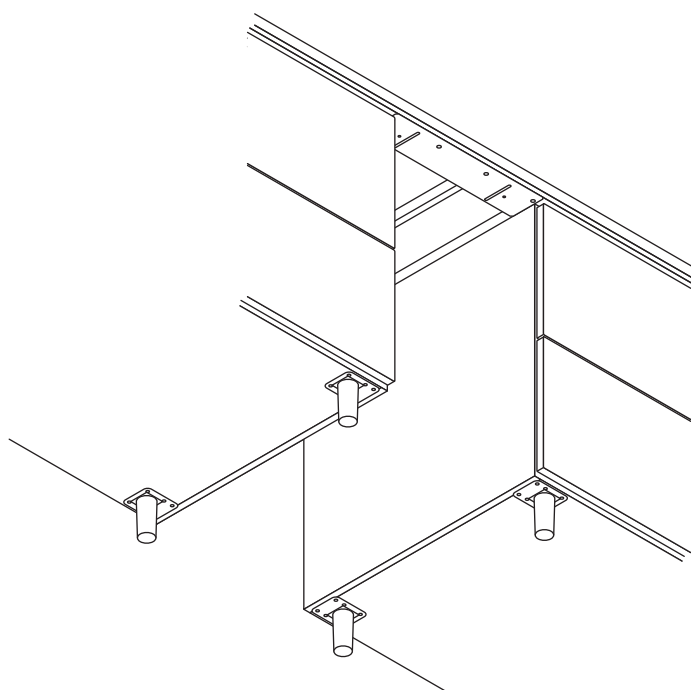
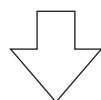
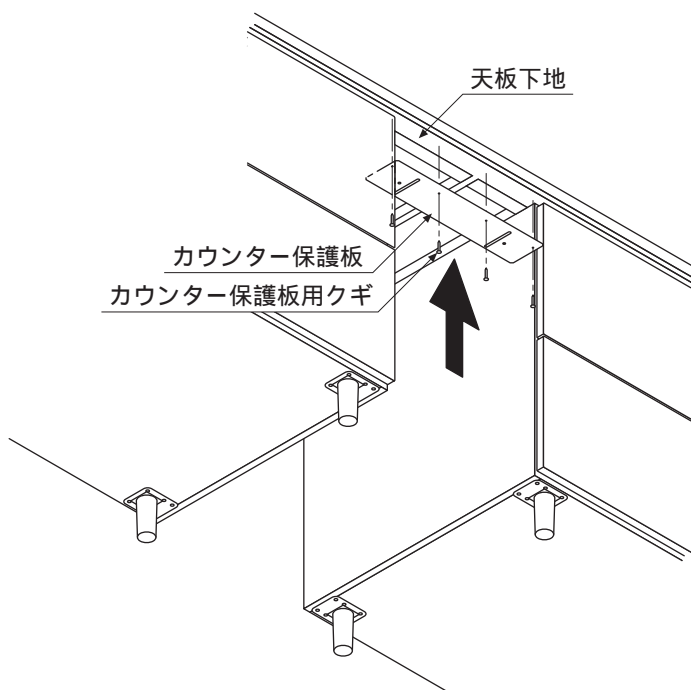
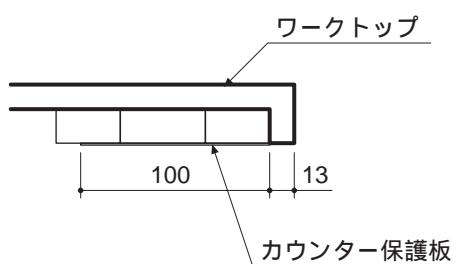
【推奨接着剤 ： コニシ G - 17】

クギ穴には、付属のコーキング材を施してください。（付属の「設置・施工手順書」に従ってください。）

ステンレスワークトップの場合

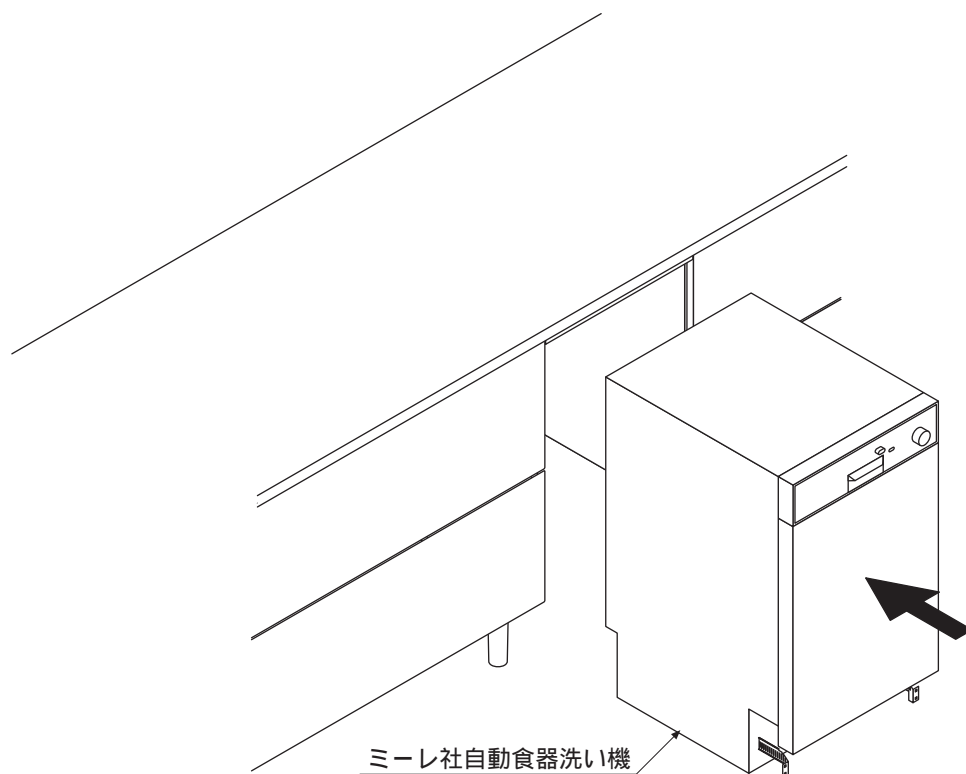


人工大理石ワークトップの場合



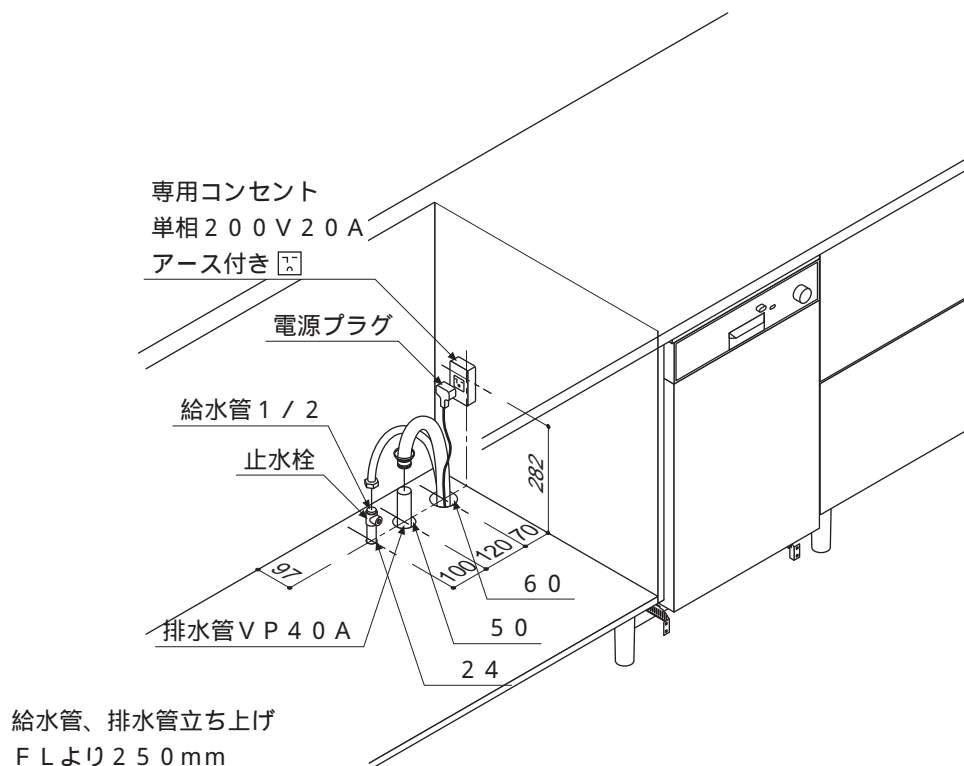
ミーレ社自動食器洗い機の取付け

- ・ミーレ社自動食器洗い機を取付けます。
付属の「設置・施工手順書」に従って取付けてください。



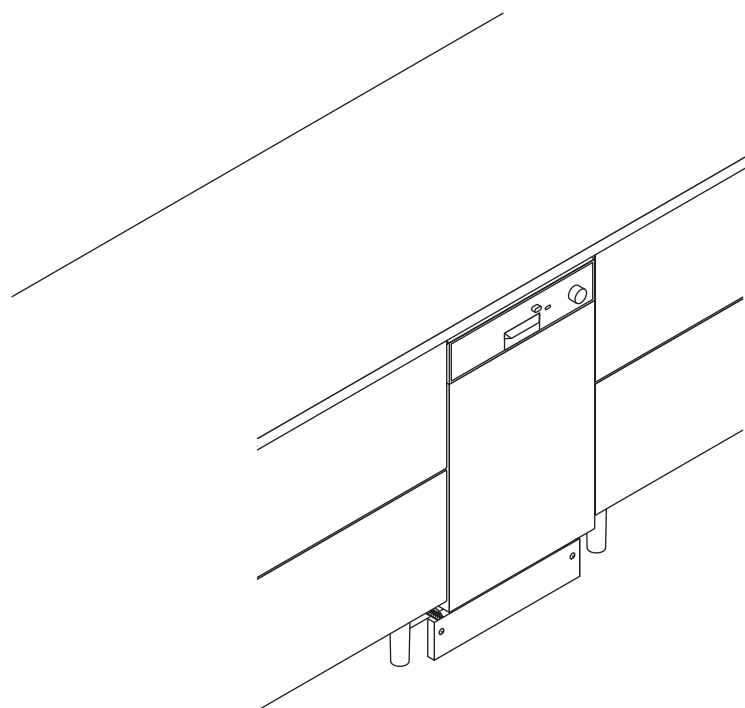
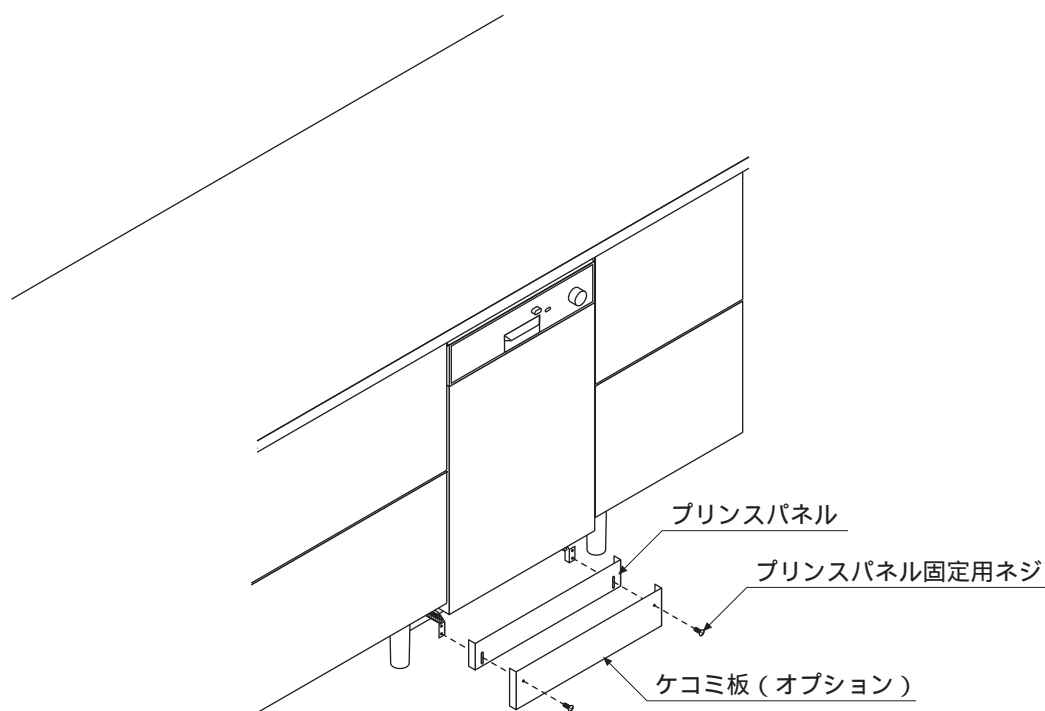
電源の接続、給排水の接続

- ・電源プラグを専用コンセントに差し込みます。
【専用コンセント : 松下電工(株) WKS294 [露出型] (相当品)】
- ・ミーレ社自動食器洗い機に隣接するユニットで給排水の接続を行ってください。
付属の「設置・施工手順書」に従ってください。



プリンスパネル、ケコミ板の取付け

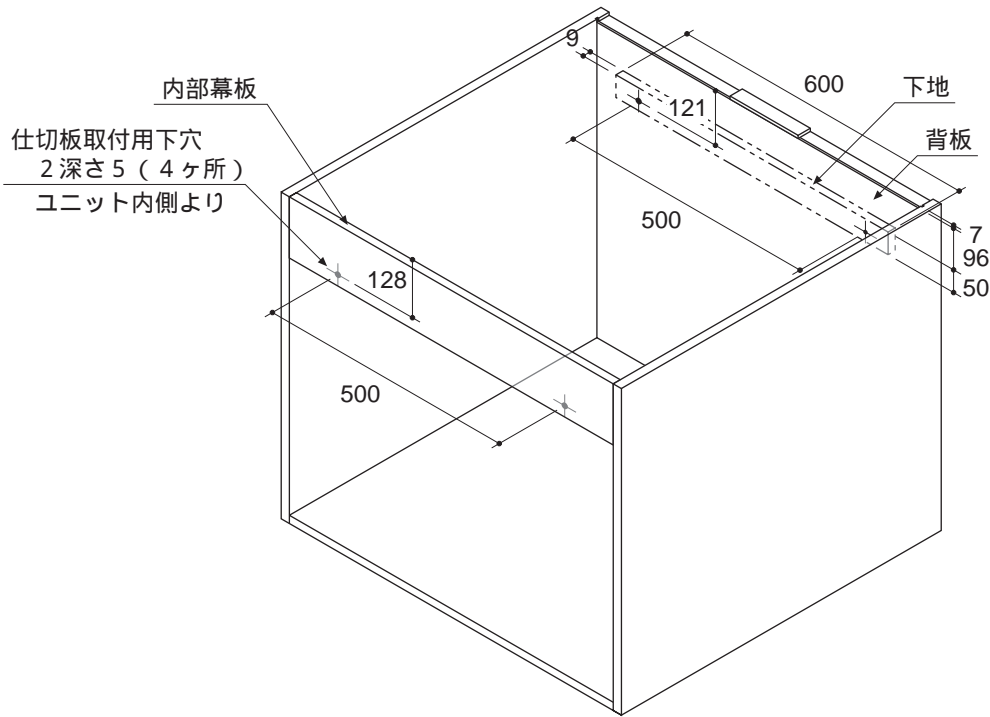
- ・ミーレ社自動食器洗い機に付属のプリンスパネル、ケコミ板（オプション）を付属のプリンスパネル固定用ネジにて取付けます。
- ・付属の「設置・施工手順書」に従って取付けてください。



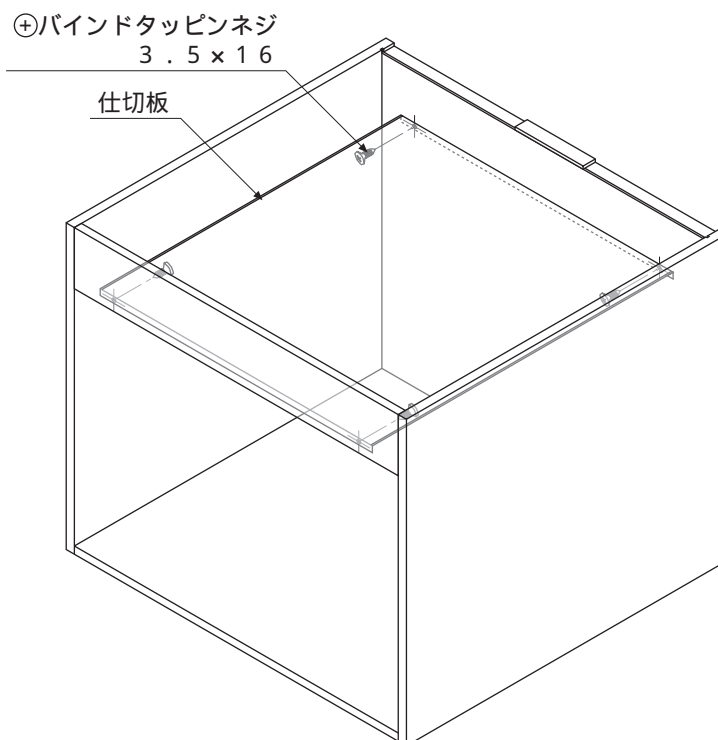
仕切板の取付け

上面操作のIH機器（CHM-TS30A、68001K-MN）を設置する場合、ユニットに仕切板を取付けてください。

- ・ 背板背面の指定位置に下地 6 0 0 x 5 0 mm 厚さ 1 8 mm (別途準備品) を両面テープで貼り付けてください。
- ・ ユニット内部から内部幕板と背板の指定位置に仕切板取付用の下穴 2 深さ 5 を 4 ヶ所開けます。
下地の取付位置と仕切板取付用下穴の位置は、加熱機器取付穴に合わせて左右均等に振り分けてください。



- ・ユニットに仕切板を取付けます。
上記で開けた仕切板取付用下穴の位置に仕切板の取付穴を合わせて、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 (4本) にて固定してください。



A F仕様【H = 100】の場合

1. ケコミカバーの両側外面（隣のユニットに接する面）の上端に両面テープ（幅 10mm）を貼ります。（図 1）
2. ケコミカバーを図 2 の位置に設置し、両面テープ貼り付け位置を押さえて、隣接するユニットに固定します。
3. オープンを設置します。（付属の設置工事説明書に従ってください。）
4. シュウノウフタBをシュウノウフタAに取付ける際に、付属のタッピンネジ（黒） 4 × 12 にてケコミ前板も同時に取付けます。（図 3）
5. シュウノウフタをストッカーに取付け、台枠Uに装着します。（付属の設置工事説明書に従ってください。）

図 1

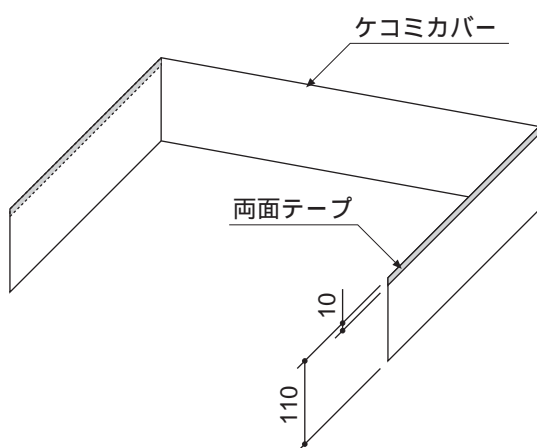


図 2

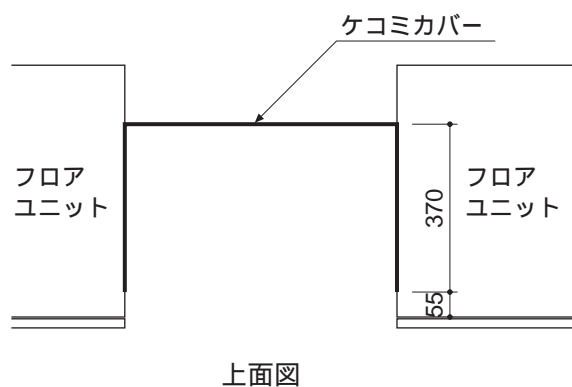
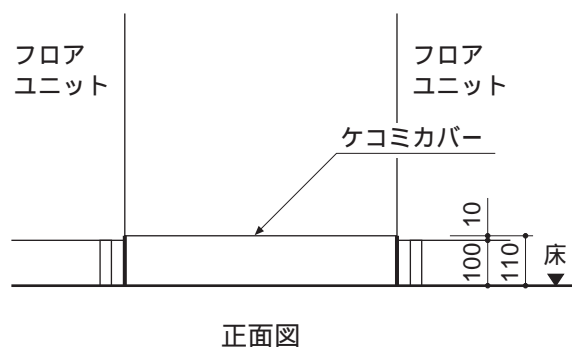
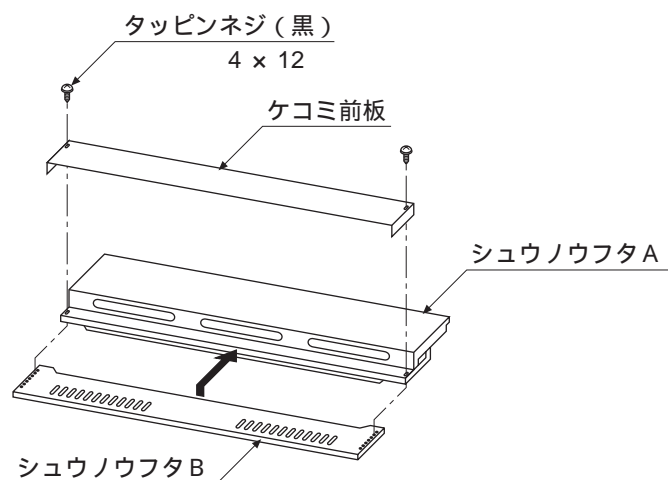


図 3



A F仕様【H = 150】の場合

1. 木製台輪の枠の両側面に両面テープを貼り、図2の位置にケコミカバーの下部を固定します。(図1)
2. 枠を図2の位置で床面に固定し、木製台輪を設置します。(付属の設置工事説明書に従ってください。)
3. オープンを設置します。(付属の設置工事説明書に従ってください。)
4. シュウノウフタBをシュウノウフタAに取付ける際に、付属のタッピンネジ(黒) 4 × 12にてケコミ前板も同時に取付けます。(図3)
5. シュウノウフタをストッカーに取付け、台枠Uに装着します。(付属の設置工事説明書に従ってください。)

図1

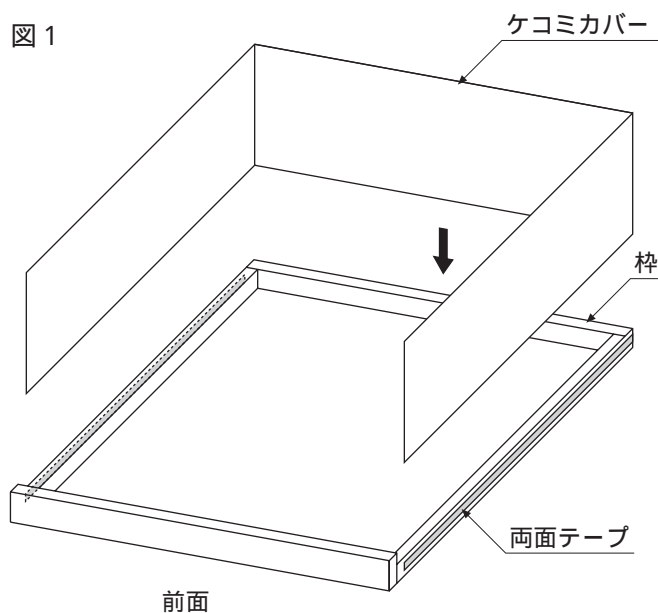


図2 設置位置

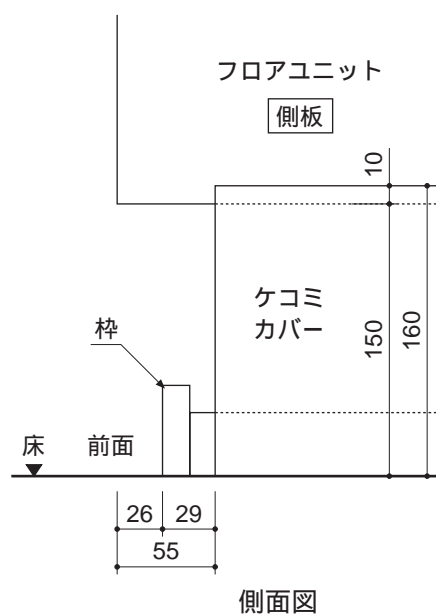
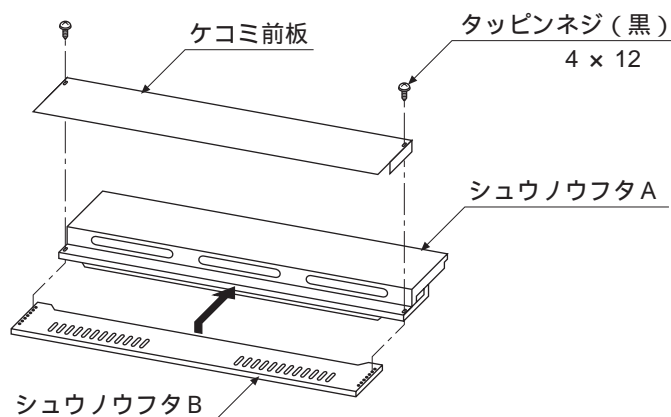
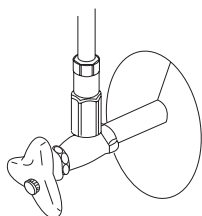


図3



配管カバーの取付け

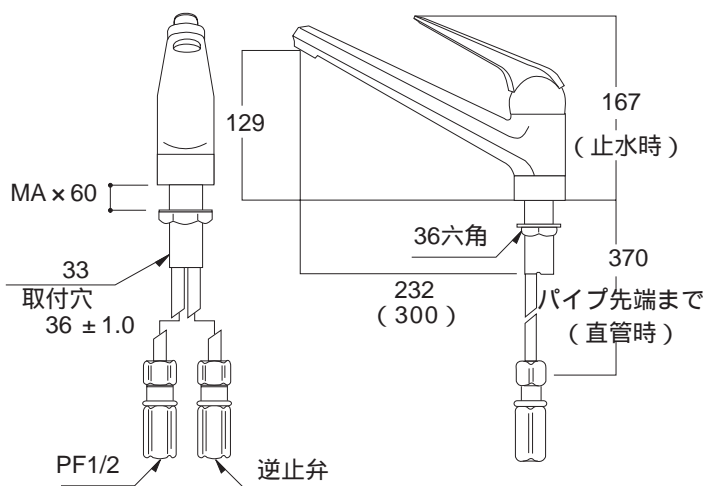


シンクユニット内に、給水・給湯管の取り出しを行い、止水栓取付け後、配管カバーの接着テープをはがして配管と背板の隙間をふさぐように貼り付けてください。

水栓の取付け 1

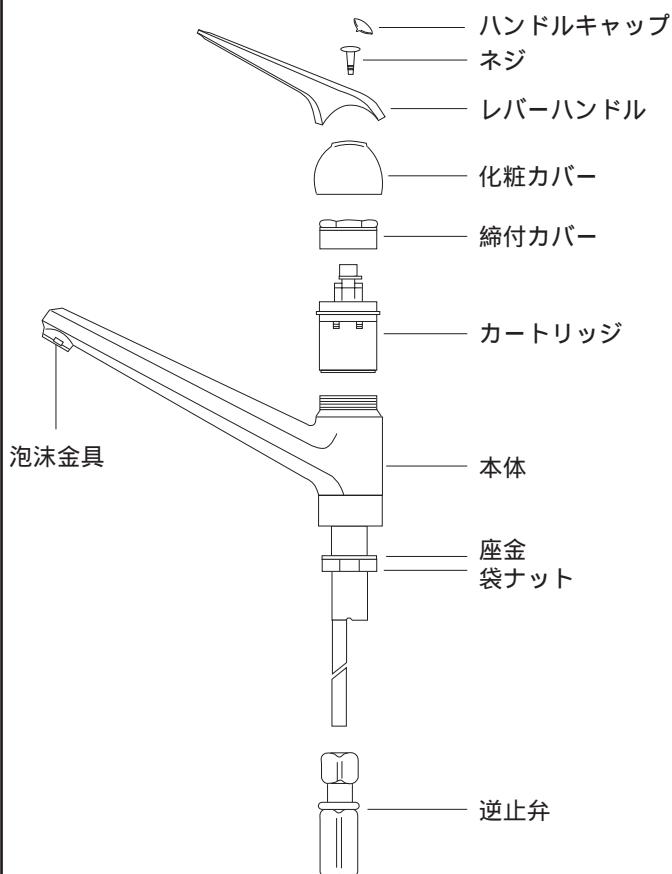
シングルレバー混合水栓 K106123・106124

外観寸法図



・万一故障等で分解する時は下記の要領で行ってください。

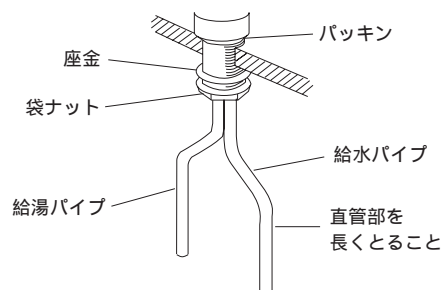
分解図



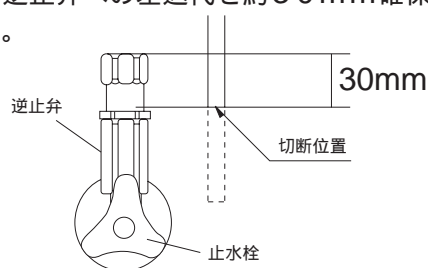
水栓の取付け

・取付け順に従って確実に取付けてください。
取付け後は本管止水栓を開き、締付け各部から漏れが無いことを確認し実用テストを必ず実施してください。

- 1 ・水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げ広げます。この時出来るだけ直管部分が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプはつぶさないように注意してください。

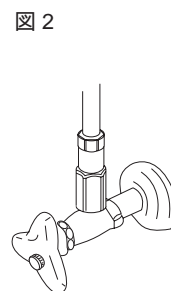
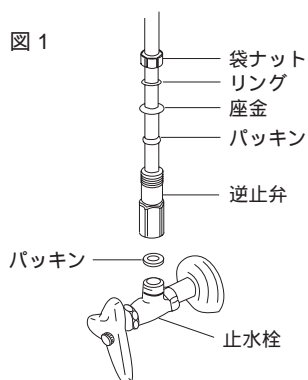


- 2 ・逆止弁を止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要長さははかり切断します。この時逆止弁への差込代を約30mm確保してください。



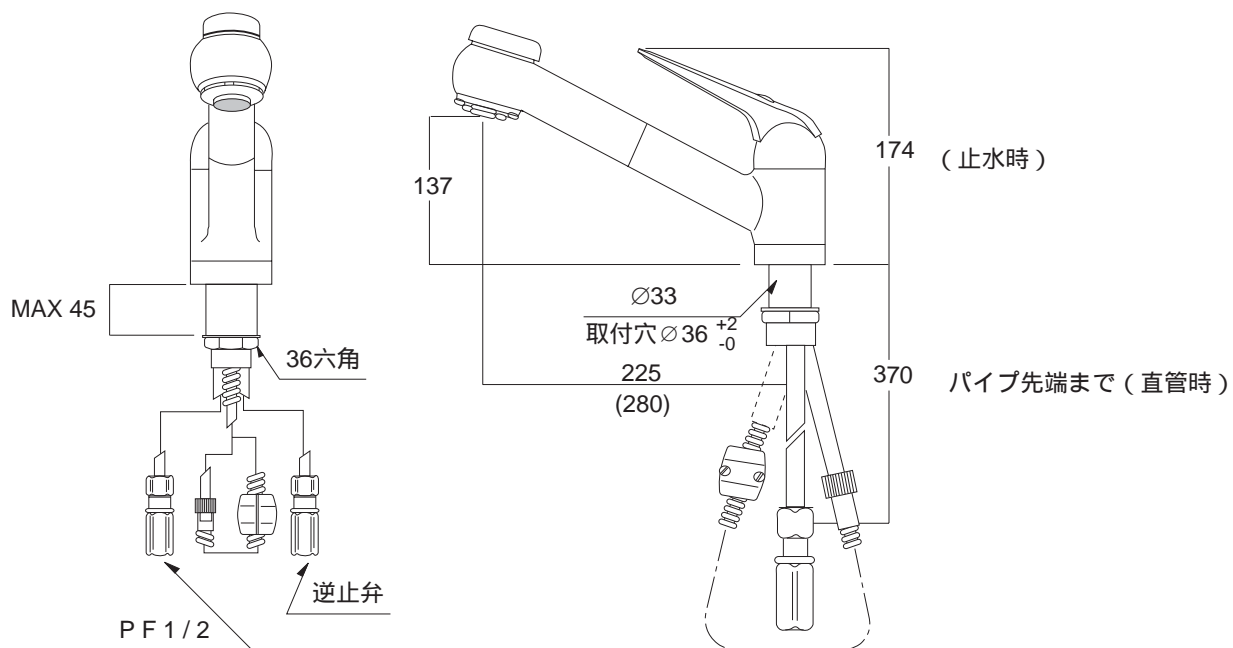
- 3 ・給水・給湯パイプに図1の順に入れ、逆止弁に差し込みます。次に逆止弁を止水栓にねじ込み、水栓本体を本固定し、パイプを逆止弁に押しつけ袋ナットを十分に締め付けてください。(図2)
止水栓を開いて各部から漏れが無いことを確認してください。

注 給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水給湯配管は動かないように確実に固定してください。



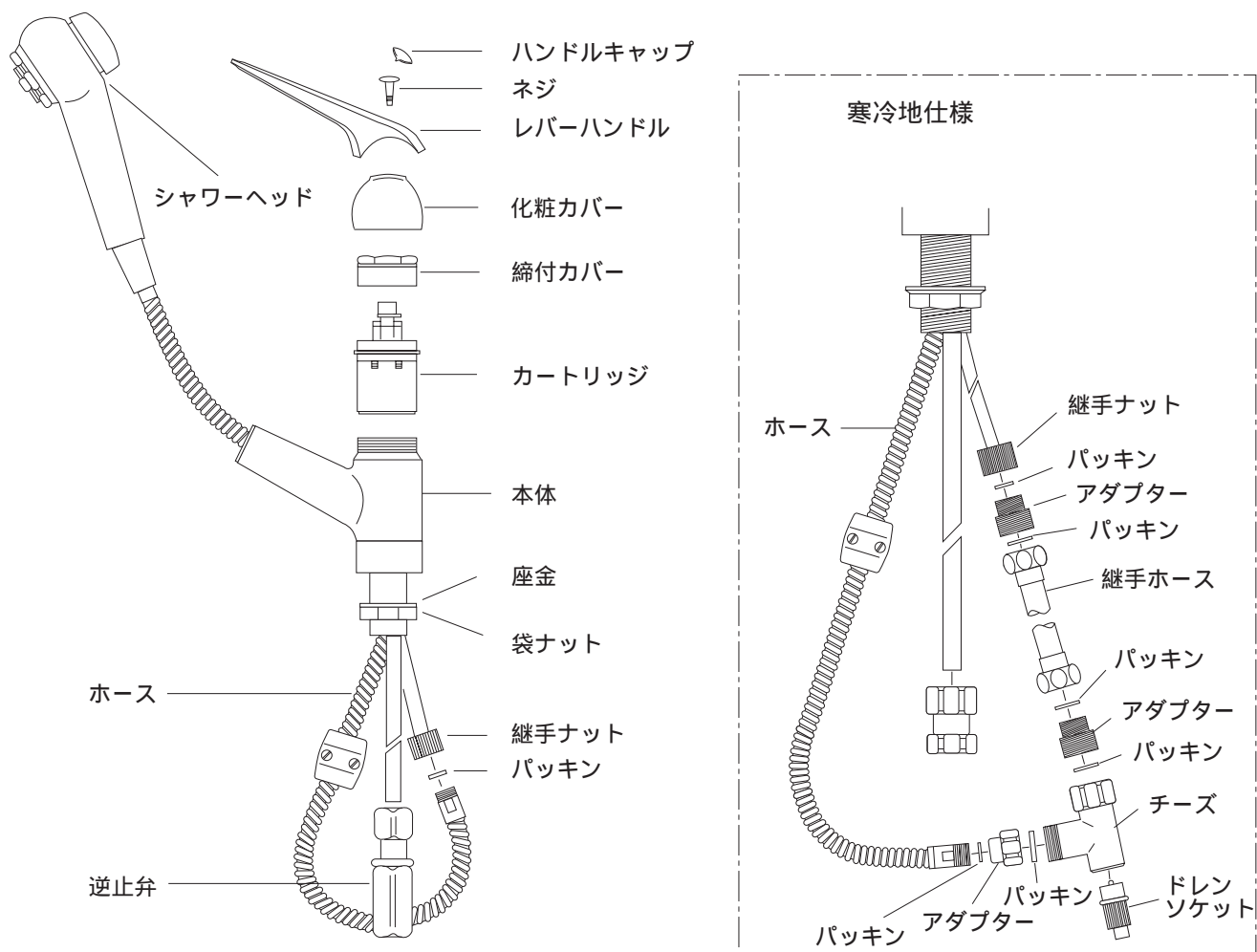
シングルレバーシャワー混合水栓 K106133・K106134 寒冷地仕様 K106133DAH・K106134DAH

外觀寸法図



分解図

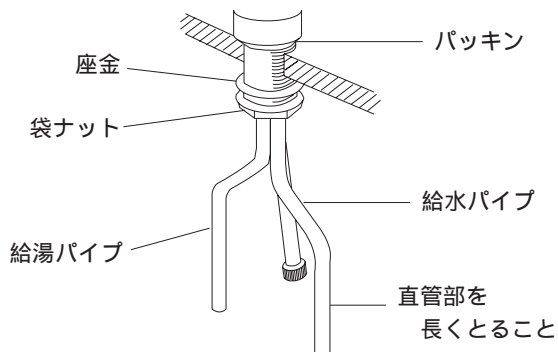
・万一故障等で分解する時は下記の要領で行ってください。



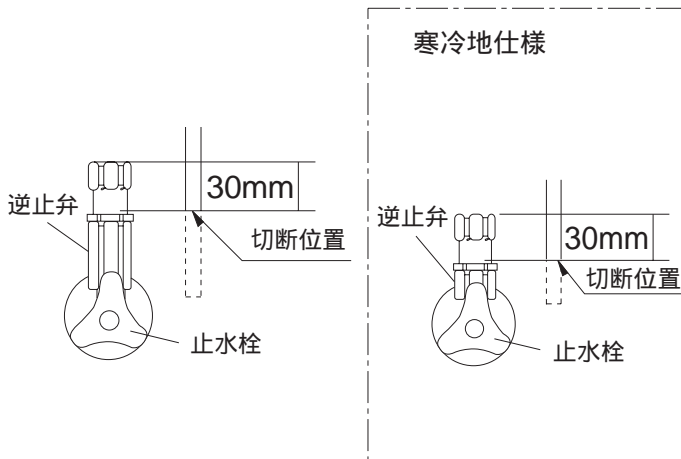
水栓の取付け 3

シングルレバーシャワー混合水栓 K106133・K106134 寒冷地仕様 K106133DAH・K106134DAH

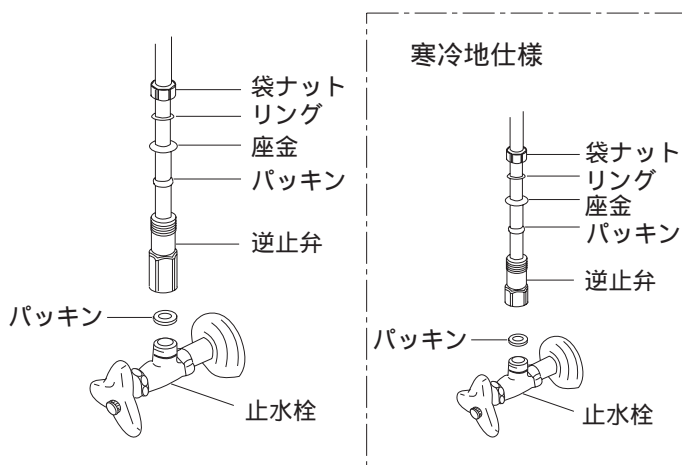
- 1 水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水、給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げて広げます。この時、出来るだけ直管部分が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプはつぶさないように注意してください。



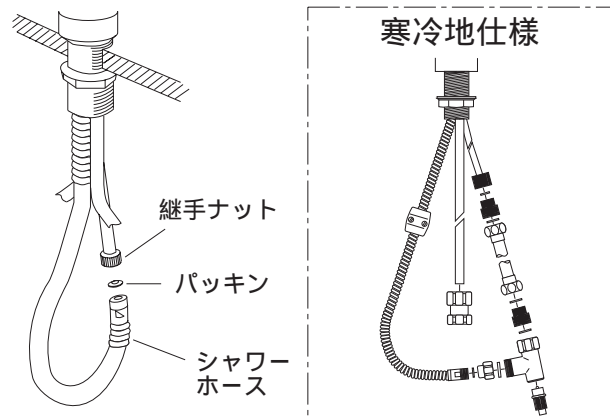
- 2 逆止弁を止水栓に仮固定し、給水、給湯パイプの必要な長さを割り出し切断します。(混合栓のパイプは長めに設定してありますので施工現場に合わせて必要な長さに切断してください。)
この時、逆止弁への差込代を約30mm確保してください。



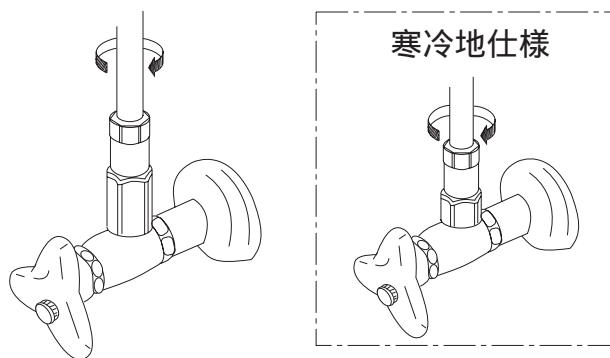
- 3 給水・給湯パイプに袋ナット、リング、座金、パッキンを順に入れ逆止弁に差し込み止水栓に取付けます。
次に2で仮固定した混合水栓を本固定します。



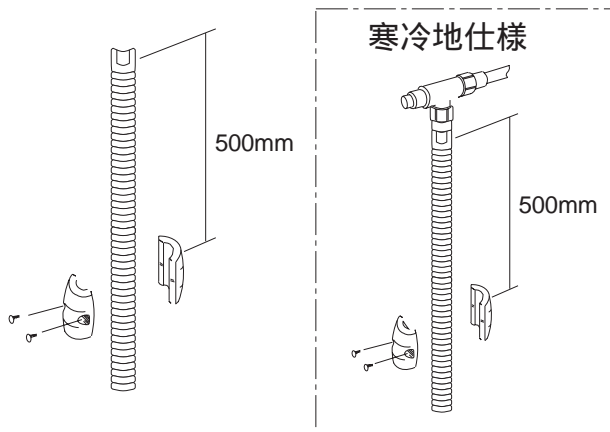
- 4 シャワーホースを水栓本体の中を通し、本体部中央の継手ナットと接続します。この時、パイプ部がねじれないよう、継手ナットを締め付けてください。



- 5 最後に給水・給湯側の袋ナットを締め付けます。これで取付けは完了しました。本管止水栓を開いて各部から漏れが無いことを確認してください。



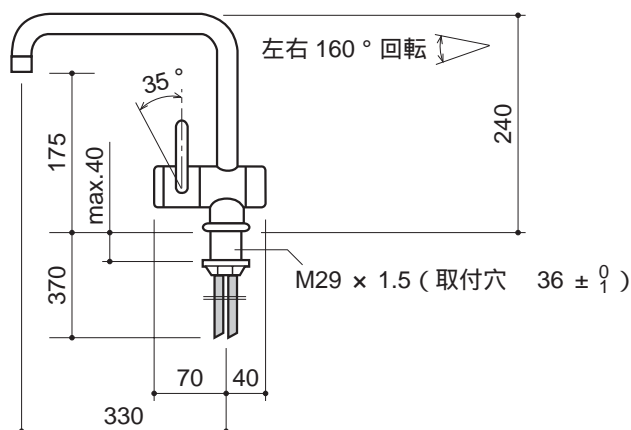
- 6 おもりは、シャワーヘッドの納まりをよくするためと、引出した時のストッパーの役目をします。図の位置にしっかりと取付け、シャワーヘッドをいっぱいに出した状態でホースにゆとりがない時は、おもりの位置を適当にずらしてください。



- 7 水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。配管内のゴミが詰まり故障の原因になる可能性があります。

シングルレバー混合水栓 A89532NS

外観寸法図



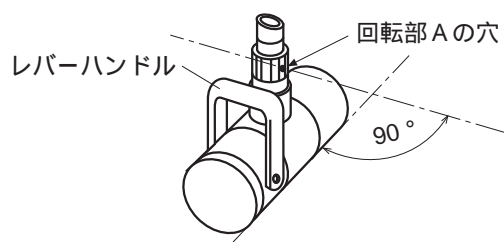
(1) 水栓の組立て

<組立付属品>

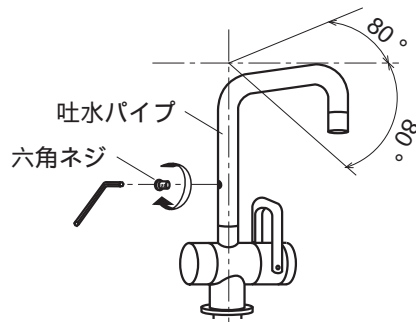
六角レンチ (大) 六角レンチ (小)



- 1 本体の回転部 A の穴を本体と垂直になるように設定します。



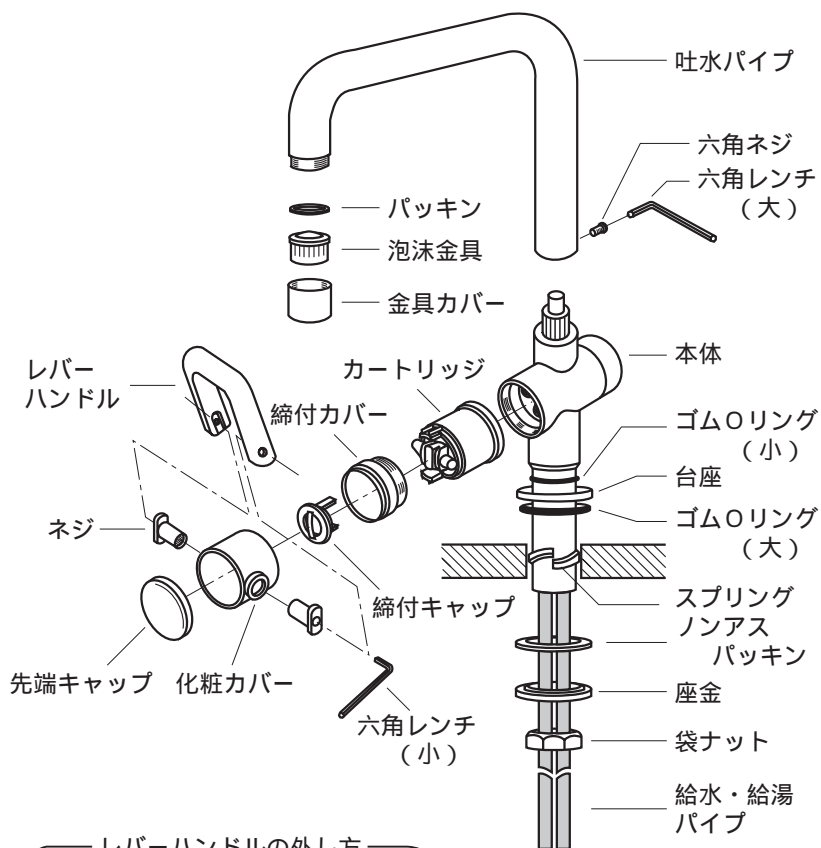
- 2 吐水口はレバーハンドルの方へ、吐水パイプの六角ネジ固定部が背部へくるように、吐水パイプを回転部へ接続し、六角レンチ (大) で固定します。



注意：組立後に吐水パイプがレバーハンドルを中心に左右均等に 80 度の回転が滑らかにできることを確認してください。

分解図

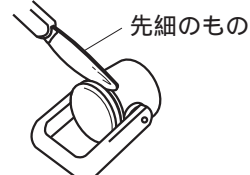
万一故障等で分解する時は、下記の要領で行ってください。



レバーハンドルの外し方
六角レンチ (小) にてネジを
右へ回転させてください。



先端キャップの外し方



取付け順に従って確実に取付けてください。
取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水濡れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。
水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。
配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

(2) 水栓本体の取付け (図1)

- 水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げ広げます。この時、できるだけ直管部分が長くなるようにしてください。また給水・給湯パイプはつぶさないように注意してください。スプリングは水栓を中心に固定するためのプラスチック部品です。これはシンクが斜面になっている場合でも、水栓を垂直に取付けることを可能にする部品です。

直接配管する場合

- 銅管アダプターを止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要長さを測り、切断します。(図2)
銅管アダプターへの差込代を約 30 mm 確保してください。
- 給水・給湯パイプに図3の順に入れ、給水・給湯パイプの下端から樹脂リングの上端まで 24 mm に合わせ、止水栓にねじ込みます。水栓本体を本固定し、給水・給湯パイプを銅管アダプターに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。(図4)
袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。

注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

分岐ヘッダ止水栓を使用する場合

- ブレードホースを分岐ヘッダ止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要長さを測り、切断します。(図5・6)
ブレードホースへの差込代を約 30 mm 確保してください。(図7)

図7

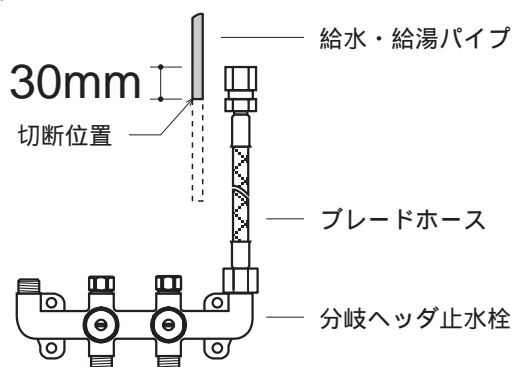


図1

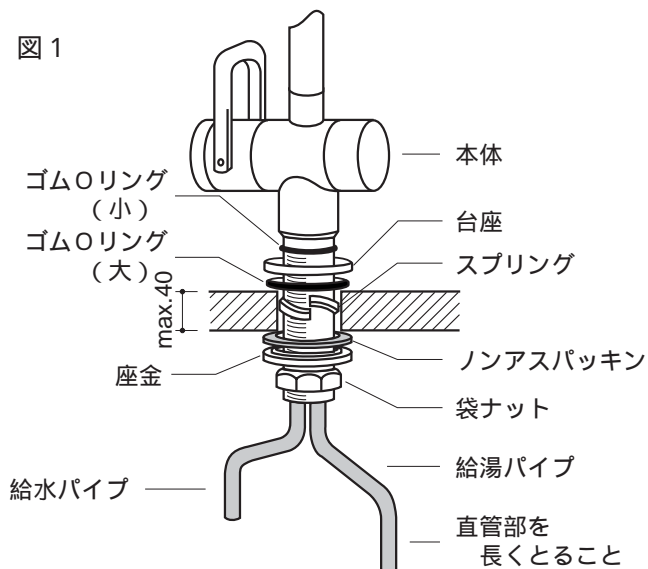


図2

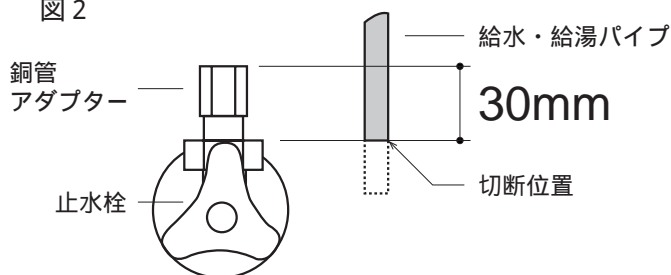


図3

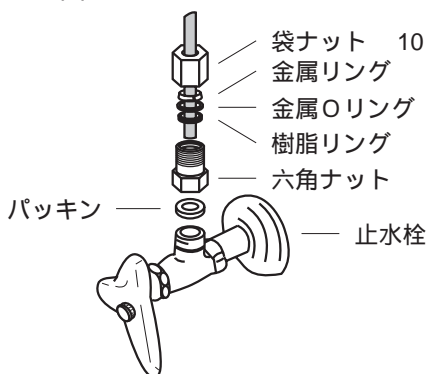
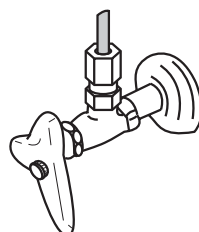


図4



水栓1本使用の場合の取付け

水栓2本使用の場合の取付け

図5

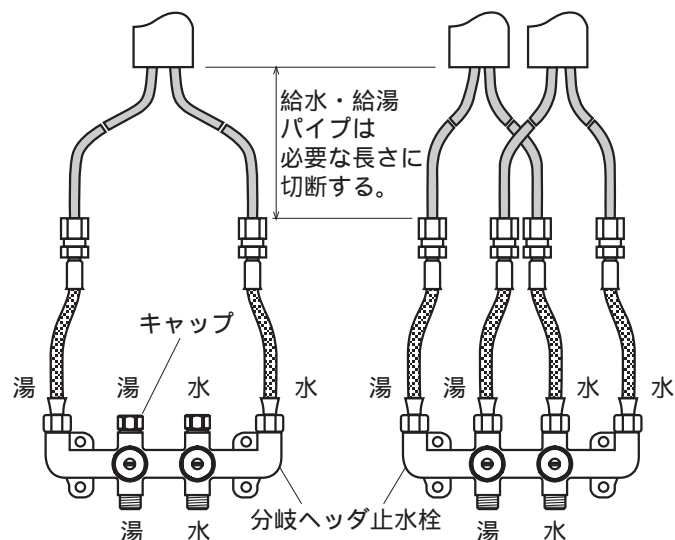
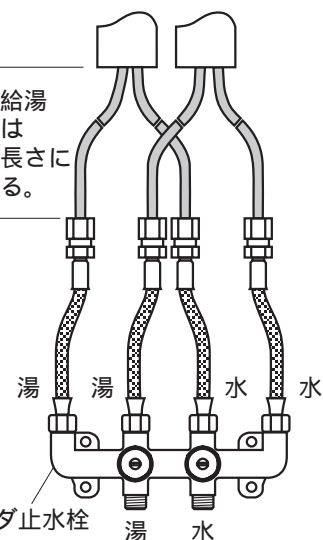


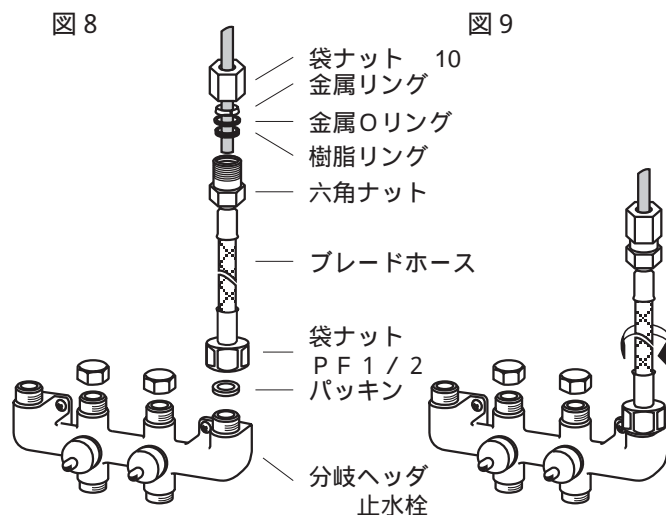
図6



水栓の取付け 6

- 給水・給湯パイプに図8の順に入れ、給水・給湯パイプの下端から樹脂リングの上端まで24mmに合わせます。
水栓本体を本固定し、給水・給湯パイプをブレードホースに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。
ブレードホースを分岐ヘッド止水栓にねじ込み、固定してください。(図9)
袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。

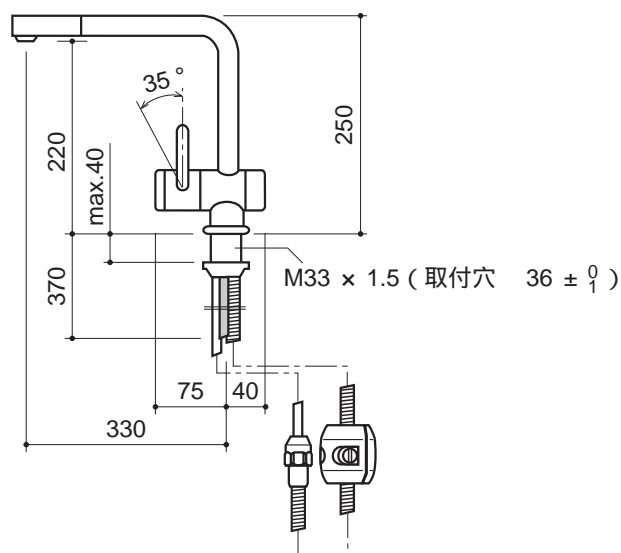
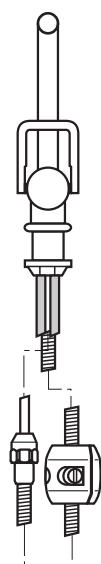
注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯パイプとブレードホースの接続部分（袋ナット）が確実に締まっているか確認してください。また分岐ヘッド止水栓は動かないように確実に固定してください。



水栓の取付け 7

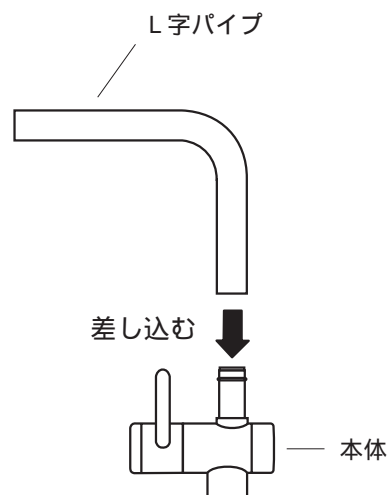
メタルホース付シングルレバー混合水栓 A89673NS

外観寸法図



(1) 水栓の組立て

- L字パイプを、本体へしっかりと差し込みます。

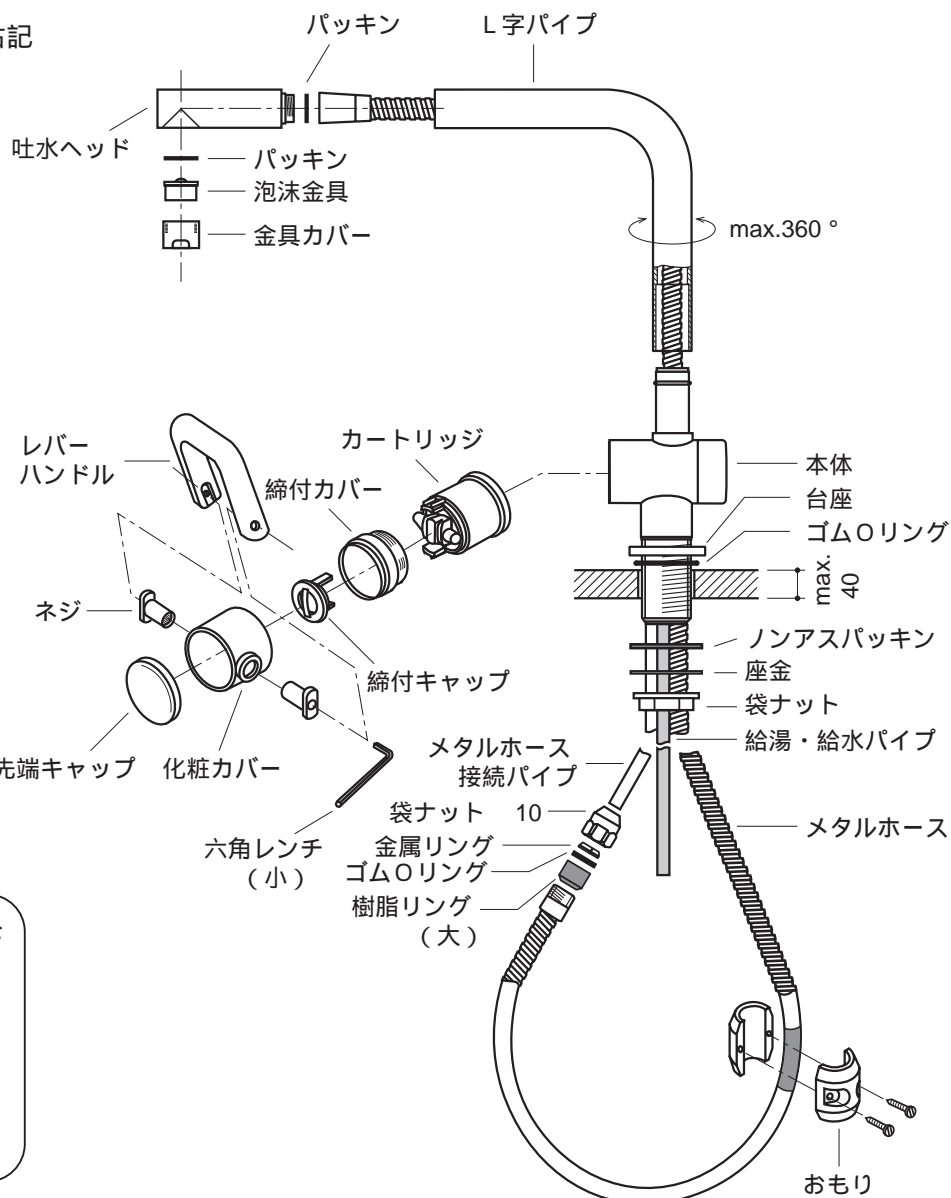


分解図

万一故障等で分解する時は、右記の要領で行ってください。

<組立付属品>

六角レンチ（小）



先端キャップの外し方



レバーハンドルの外し方
六角レンチ（小）にてネジを右へ回転させてください。

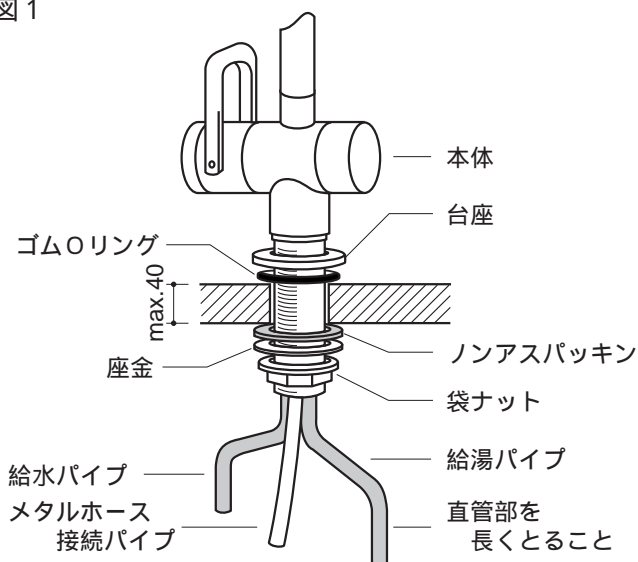


図 1

取付け順に従って確実に取付けてください。
取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水濡れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。
水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。
配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

(2) 水栓本体の取付け (図 1)

- 水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げ広げます。この時、できるだけ直管部分が長くなるようにしてください。また給水・給湯パイプはつぶさないように注意してください。



直接配管する場合

- ・ 逆止弁と銅管アダプターを止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要長さを測り、切断します。(図2)

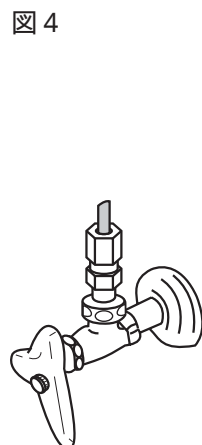
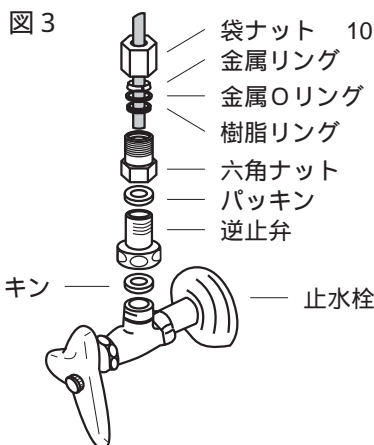
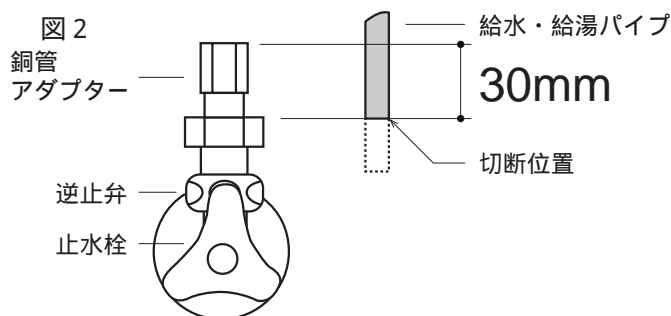
銅管アダプターへの差込代を約 30 mm 確保してください。

- ・ 逆止弁を止水栓に取付けます。給水・給湯パイプに図3の順に入れ、給水・給湯パイプの下端から樹脂リングの上端まで 24 mm に合わせ、逆止弁にねじ込みます。

水栓本体を本固定し、給水・給湯パイプを銅管アダプターに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。(図4)

袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。

注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

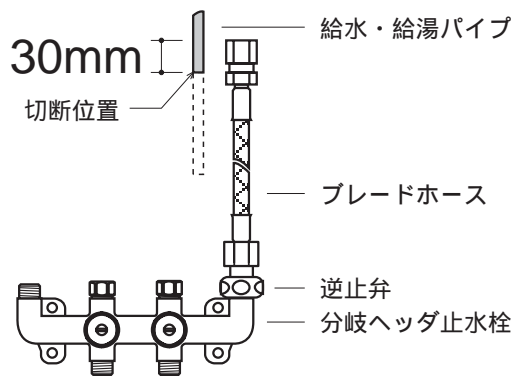


分岐ヘッダ止水栓を使用する場合

- 1 逆止弁とブレードホースを分岐ヘッダ止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要長さを測り、切断します。(図5・6)

ブレードホースへの差込代を約 30 mm 確保してください。(図7)

図7



- ・ 逆止弁を分岐ヘッダ止水栓に取付けます。給水・給湯パイプに図8の順に入れ、給水・給湯パイプの下端から樹脂リングの上端まで 24 mm に合わせます。

水栓本体を本固定し、給水・給湯パイプをブレードホースに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。(図9)

袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。

注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯パイプとブレードホースの接続部分（袋ナット）が確実に締まっているか確認してください。また分岐ヘッダ止水栓は動かないように確実に固定してください。

水栓1本使用の場合の取付け

水栓2本使用の場合の取付け

図5

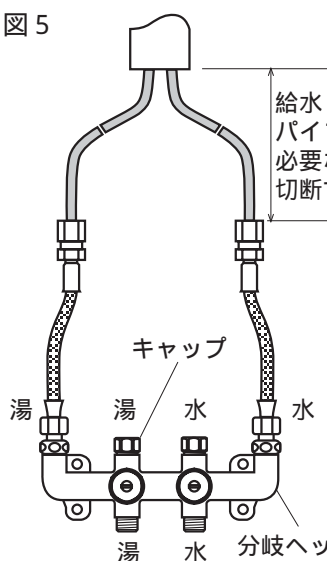


図6

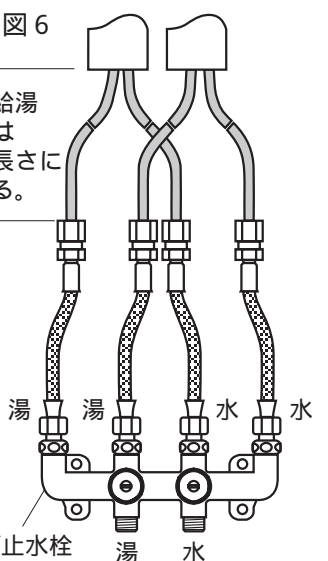


図8

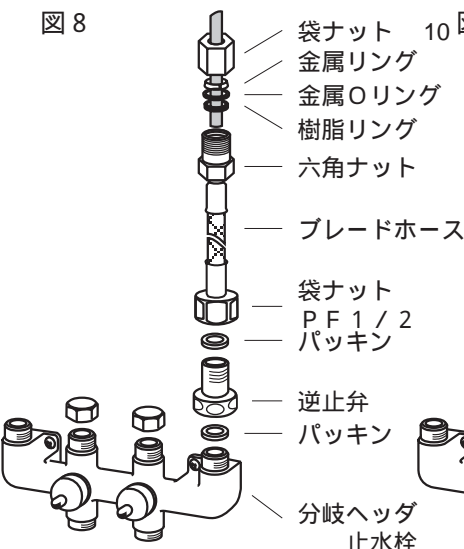
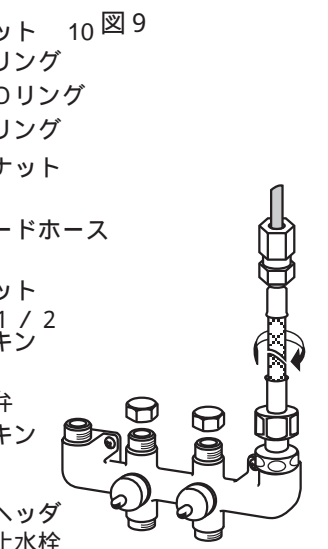


図9



(4) メタルホースの取付け

- 1 メタルホースをL字パイプと本体の中に通した後、吐水ヘッドと接続します。(図2)
- 2 メタルホース接続パイプの先端から約 15 mm の位置にマーキングをしてください。(図3) メタルホース接続パイプを先ほどマーキングした 15mm の位置までメタルホースにしっかりと押しつけ、メタルホースを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。この時、パイプ部がねじれないように締め付けてください。
袋ナットを締め付ける際に、樹脂リングの向きに注意してください。
- 3 おもりは、吐水ヘッドの納まりを良くするためと、引出した時のストッパーの役目をします。
黄色テープの位置にしっかりと取付け、吐水ヘッドをいっばいに引出した状態でメタルホースにゆとりがない時は、おもりの位置を適当にずらしてください。(図4)

図 2

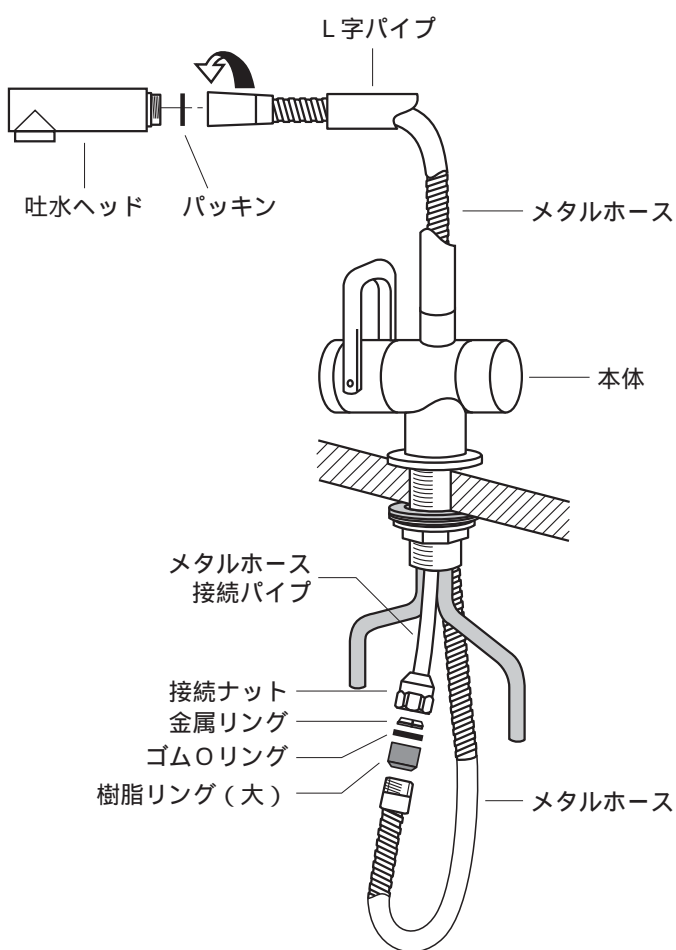


図 3

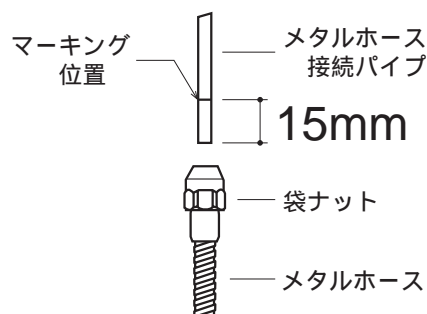
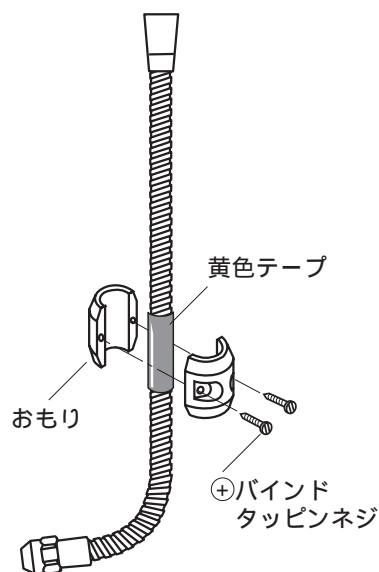


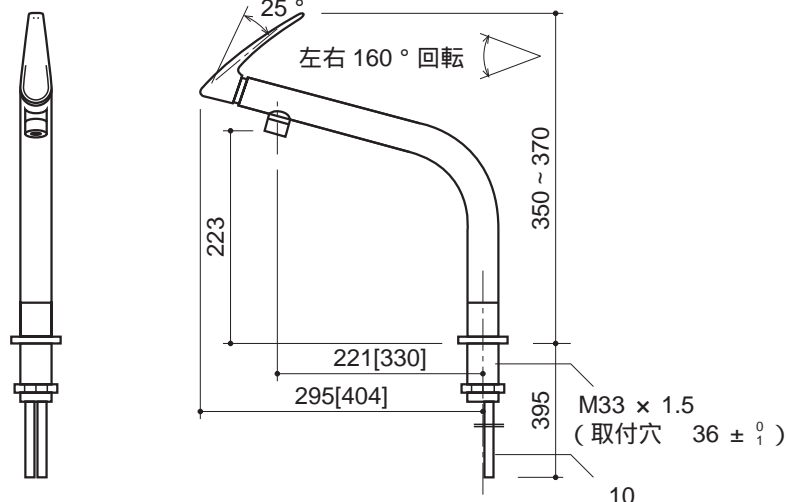
図 4



シングルレバー混合水栓【U S A G I】 A29529NVS・A29529NVLS

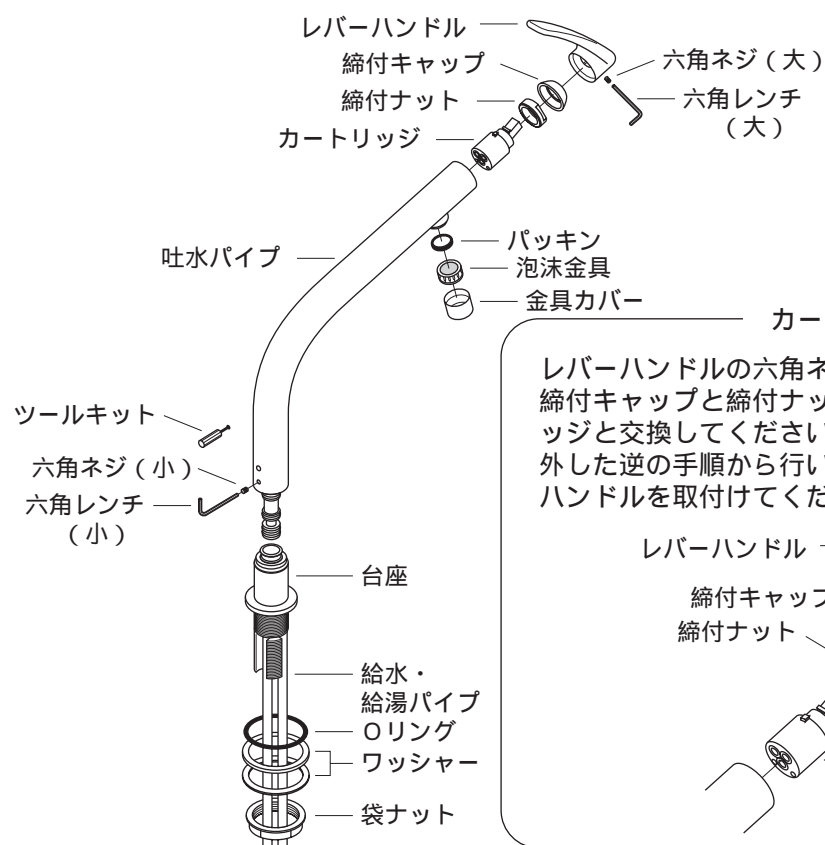
外観寸法図

[] 内寸法は、A29529NVLSの場合を示す。



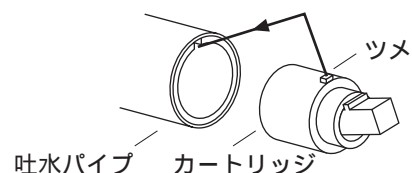
(1) 分解図

万一故障等で分解する時は、下記の要領で行ってください。
ただし、吐水パイプは台座から取り外さないでください。



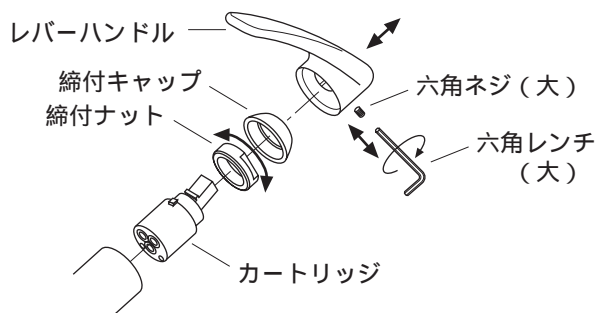
カートリッジの取付け詳細図

カートリッジのツメを吐水パイプの溝に合わせて差し込んでください。



カートリッジの交換方法

レバーハンドルの六角ネジ(大)を六角レンチ(大)にて外し、締付キャップと締付ナットを外してください。新しいカートリッジと交換してください。
外した逆の手順から行い、締付ナット、締付キャップ、レバーハンドルを取付けてください。

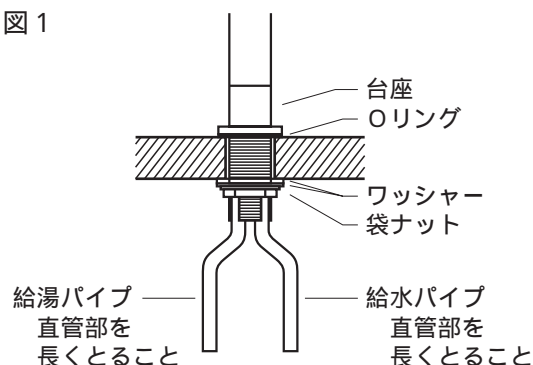


取付け順に従って確実に取付けてください。
取付け後は本管止水栓を開き、締め付け各部から水濡れが無いことを確認し、実用テストを必ず実施してください。
水漏れ試験の後、通水を十分に行ってください。
配管内のゴミが詰まり、故障の原因になります。

(2) 水栓本体の取付け (図1)

- ・水栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げ広げます。この時、できるだけ直管部分が長くなるようにしてください。また給水・給湯パイプはつぶさないように注意してください。

図1



直接配管する場合

- 銅管アダプターを止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要長さを測り、切断します。(図2)

銅管アダプターへの差込代を約 30 mm 確保してください。

- 給水・給湯パイプに図3の順に入れ、給水・給湯パイプの下端から樹脂リングの上端まで 24 mm に合わせ、止水栓にねじ込みます。水栓本体を本固定し、給水・給湯パイプを銅管アダプターに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。(図4)

袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。

注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

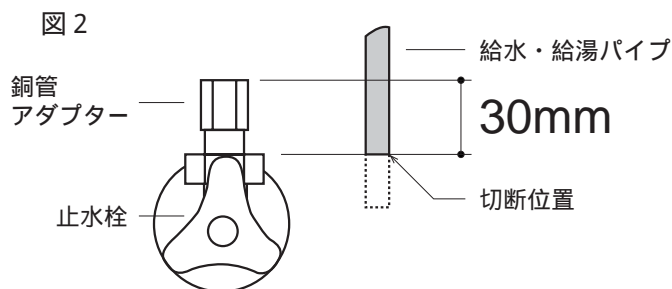


図3

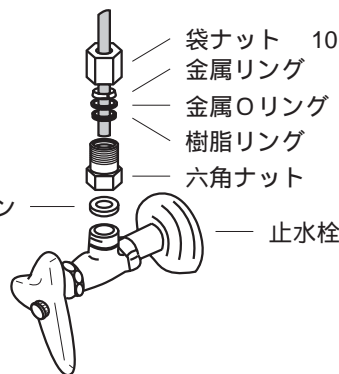
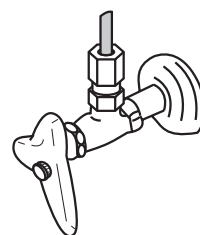


図4



分岐ヘッダ止水栓を使用する場合

- ブレードホースを分岐ヘッダ止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要長さを測り、切断します。(図5・6)

ブレードホースへの差込代を約 30 mm 確保してください。(図7)

水栓1本使用の場合の取付け

水栓2本使用の場合の取付け

図5

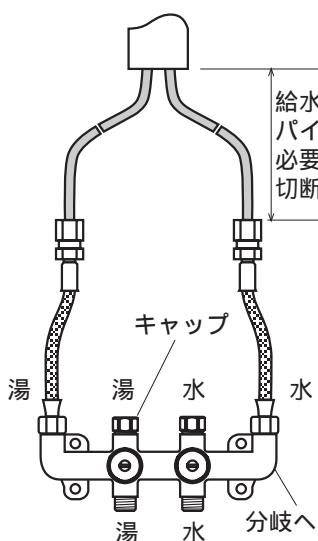


図6

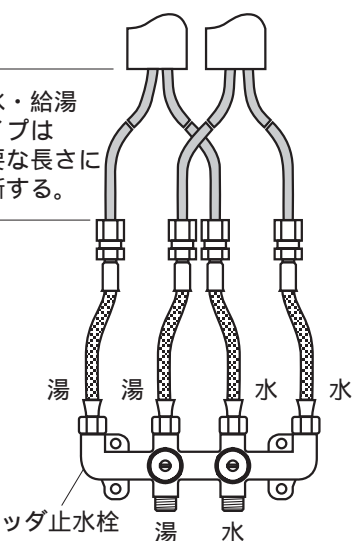
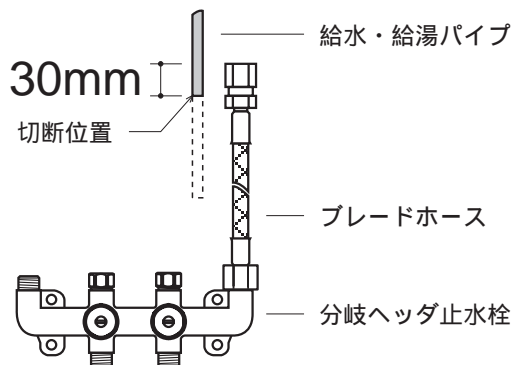


図7



- 給水・給湯パイプに図8の順に入れ、給水・給湯パイプの下端から樹脂リングの上端まで 24 mm に合わせます。水栓本体を本固定し、給水・給湯パイプをブレードホースに押しつけ、六角ナットを固定しながら、袋ナットを十分に締め付けてください。ブレードホースを分岐ヘッダ止水栓にねじ込み、固定してください。(図9)

袋ナットを締め付ける際、金属リングの向きに注意してください。

注意：給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯パイプとブレードホースの接続部分（袋ナット）が確実に締まっているか確認してください。また分岐ヘッダ止水栓は動かないように確実に固定してください。

図8

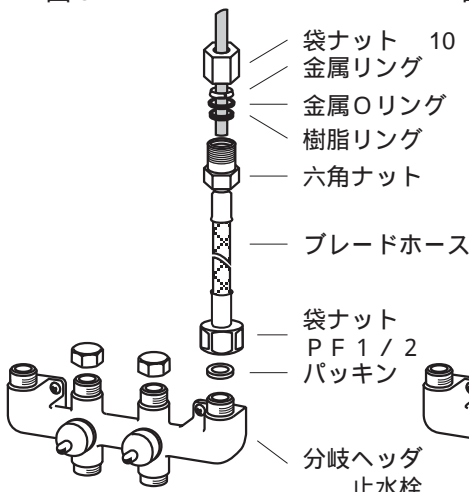
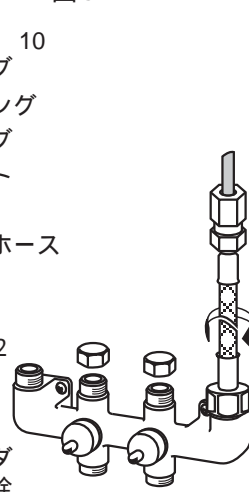


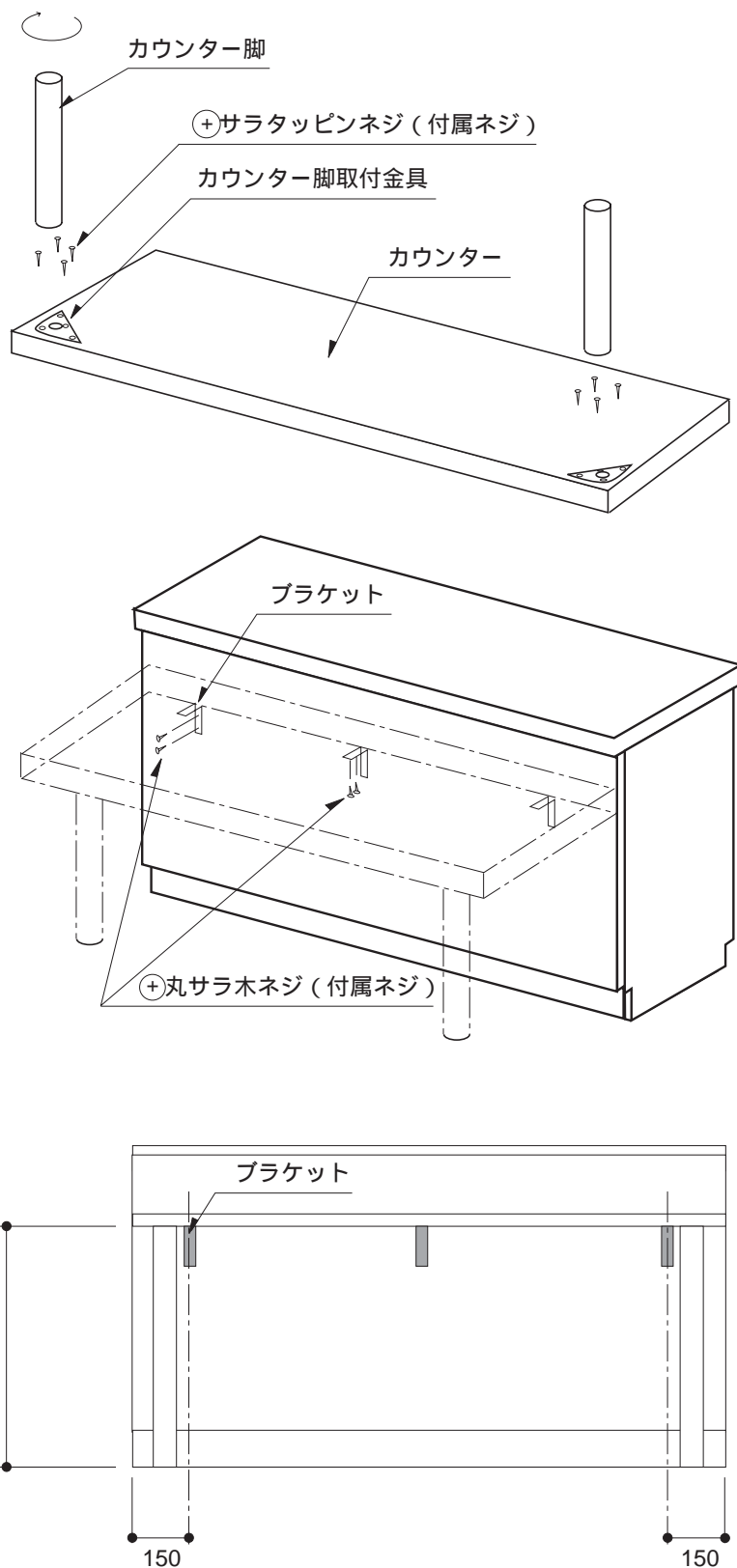
図9



カウンターの取付け 1

[ブラケット固定タイプ]

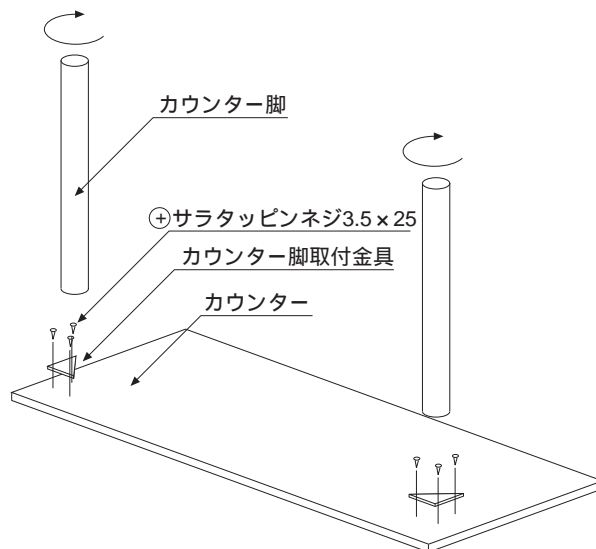
- ・ブラケットの長い方を縦にして、付属ネジでフロントパネルに固定してください。
- ・カウンターの裏面にカウンター脚取付金具を、指定の位置に⊕サラタッピンネジ（付属ネジ）で固定し、カウンター脚をネジ込んでください。
- ・カウンター脚を取付けたカウンターをブラケットに乗せ、アジャスター調整で高さを決め、ブラケットより付属ネジにて固定してください。



カウンターの取付け 2

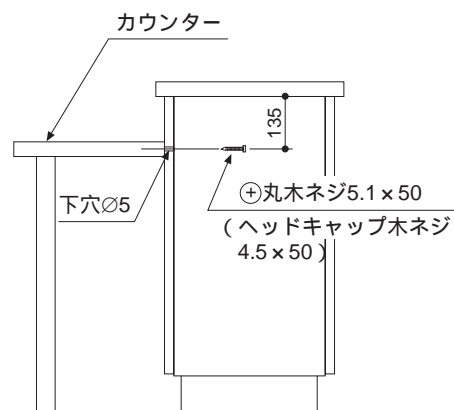
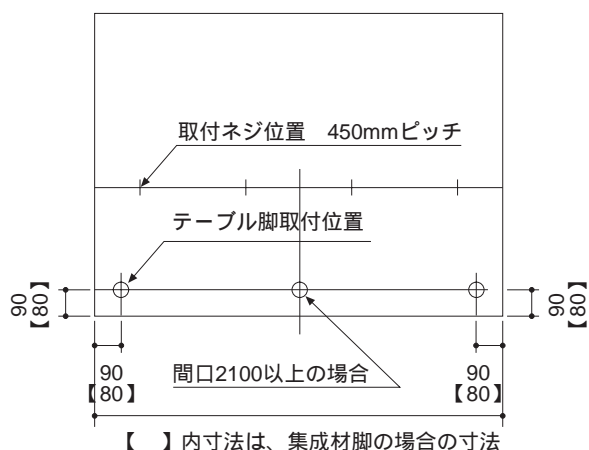
- ・図1のようにカウンター裏面にカウンター脚取付金具を指定の位置に⊕サラタッピンネジ3.5×25で固定し、カウンター脚を回してネジ込んでください。（メラミンの場合）
- ・集成材の場合はカウンター裏面にカウンター脚取付金具が付いていますので、木製のカウンター脚を回してネジ込んでください。

図1



- ・図2の位置に $\varnothing 5$ の下穴を取付ネジの数だけあけてください。
- ・カウンターユニット内部より⊕丸木ネジ5.1×50でカウンター木口に固定してください。（ヘッドキャップ木ネジ4.5×50）

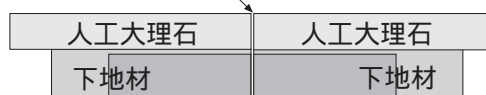
図2



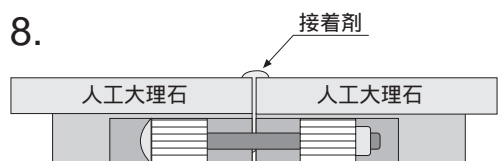
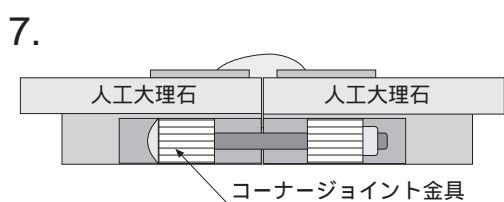
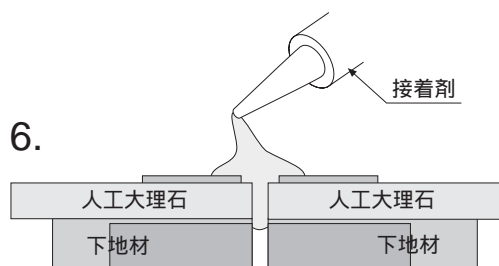
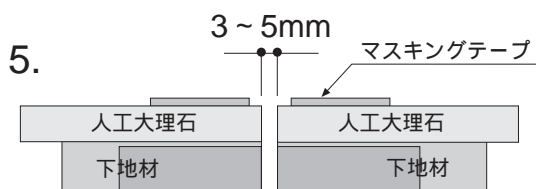
L 型天板の連結

1. フロアユニットを据付けてレベルの確認をします。
2. 天板をセットして、L 型の片側をフロアユニットに取付けます。（固定側とする）
3. もう片側の天板をフロアユニットの上にのせます。（この時には固定しません）
4. すり合わせを行い、2つの天板の段差がなくなるよう、調整してください。

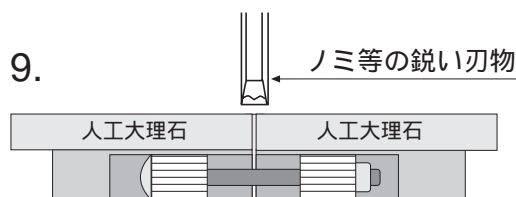
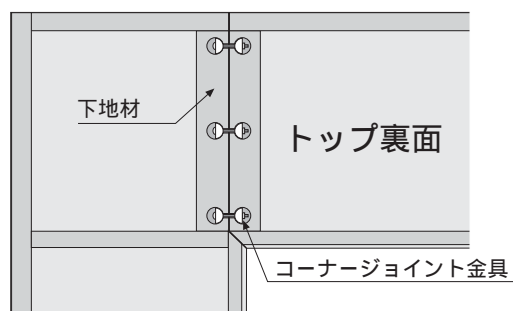
4. 段差が出ないよう、調整を行ってください



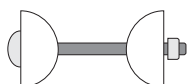
5. イソプロピルアルコール（イソプロパノール）または水を使用して、接着部を掃除、脱脂し、十分に乾燥させてください。シンナー・ベンジンは接着力が低下しますので使用しないでください。天板上面に、マスキングテープを貼り付けます。
6. 天板の間に3～5mmほどの隙間を開けておき、接着剤（別売品）を流し込みます。
7. コーナージョイント金具を締め込み、天板どうしを固定します。接着剤が全て押し出されてしまうような過多のクランプ圧力をかけないでください。（奥行き600トップ3ヶ所、奥行き750トップ4ヶ所）（奥行き750トップの場合、人大トップ奥のジョイント金具は、コーナーユニットを後ろへずらして固定します。）
8. 接着剤が完全に硬化する前に、マスキングテープを取り除きます。（5～15分で硬化が始まります。）
9. 接着剤が完全に硬化する前に、ノミ等の鋭い刃物ではみ出した接着剤を削り取ります。（天板に傷を付けないよう、注意してください。）
10. 固定していなかった天板をユニットに固定します。



接着剤が完全に硬化する前に作業してください。



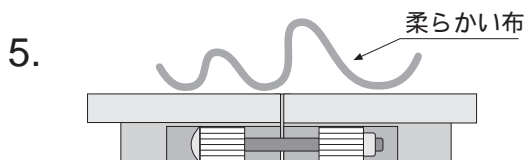
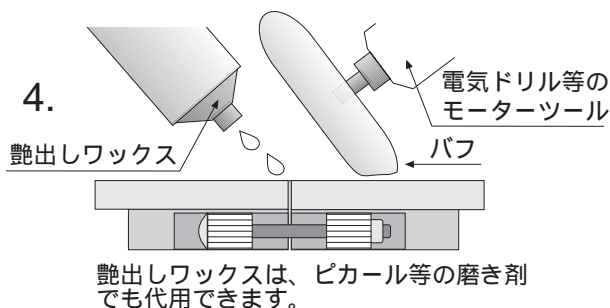
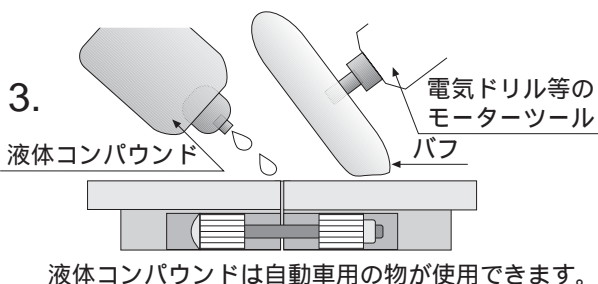
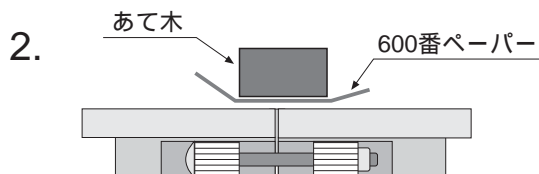
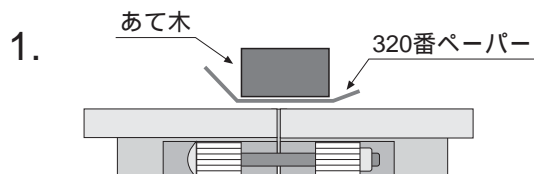
接着剤が完全に硬化する前に作業してください。
天板に傷を付けないよう、注意してください。



人工大理石【アクアストーン】【ゼリーストーン】【カームストーン】接合部の仕上げおよび補修方法

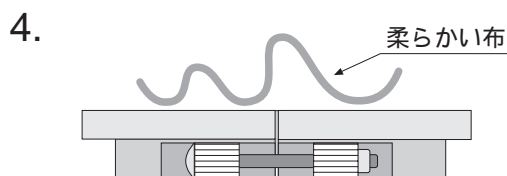
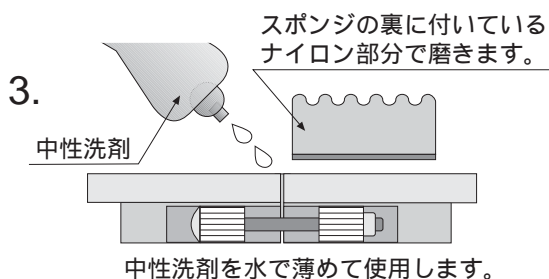
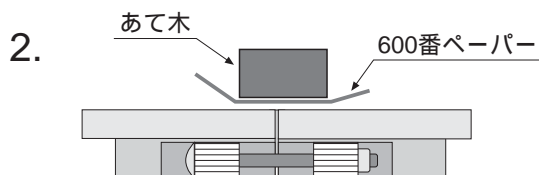
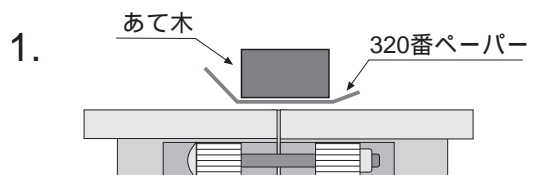
・アクアストーン、ゼリーストーンの場合【鏡面仕上げ】

1. ジョイント部分を320番ペーパーでサンディングします。【あて木を使用するときれいに仕上がります】
2. 次に600番ペーパーでサンディングします。
【ジョイント部分の段さ・傷が小さな場合は600番ペーパーのサンディングから始めてください】
3. 市販の研磨材入り液体コンパウンドを使用し、パフをかけてください。
4. 市販の艶出し用ワックスを使用し、パフをかけます。
5. 最後に、きれいな柔らかい布で拭き取り、ワックスを拭き取ります。



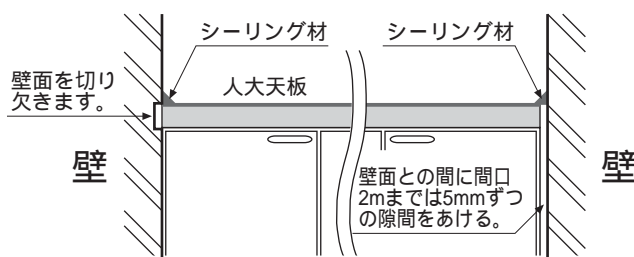
・カームストーンの場合【艶消し仕上げ】

1. ジョイント部分を320番ペーパーでサンディングします。【あて木を使用するときれいに仕上がります】
2. 次に600番ペーパーでサンディングします。
【ジョイント部分の段さ・傷が小さな場合は600番ペーパーのサンディングから始めてください】
3. スコッチブライトに中性洗剤をつけて磨きます。
【食器洗い用のスポンジの裏に付いている、ナイロン部分も使用できます】
4. 最後に、きれいな柔らかい布で拭き取ってください。



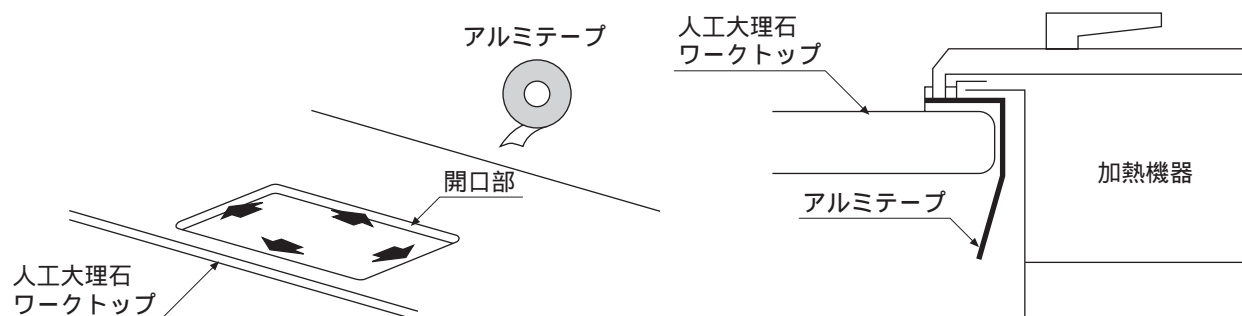
人工大理石【アクアストーン】【ゼリーストーン】【カームストーン】の施工上の注意

人工大理石は熱により膨張します。壁と壁の間に設置する場合は、必ず両側に間口2mまでは5mmずつの逃げ、以後1mごとに+3mmずつの逃を設けてください。壁面の加工が不可能な場合は、ユニットと壁面の間に間口2mまでは5mmずつの隙間、以後1mごとに+3mmずつの隙間をあけて、天板を逃がすようなレイアウトにしてください。人大天板と壁との隙間の全周をシーリング材等で仕上げてください。



加熱機器設置前の準備（人工大理石ワークトップの場合）

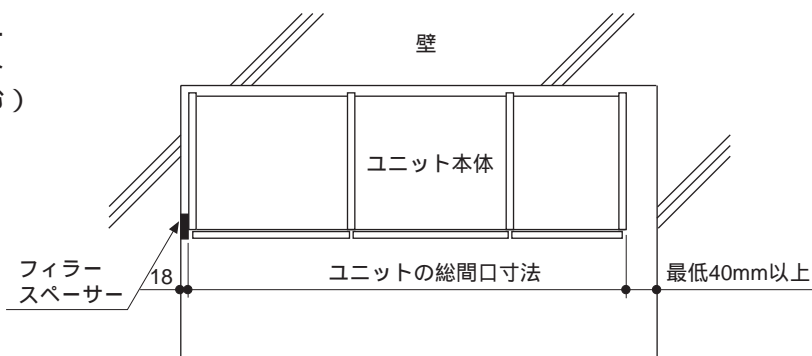
- ・ 人工ワークトップの場合、加熱機器を設置する前に開口部全周に付属のアルミテープを貼ります。アルミテープは加熱機器からはみ出ない程度に人工ワークトップの上面に貼り、下側は少し折り曲げてください。
- ・ アルミテープを貼らないで加熱機器を設置すると、開口部からヒビや割れが発生する恐れがあります。加熱機器は開口部の中心に設置し、人工ワークトップに接触させないでください。



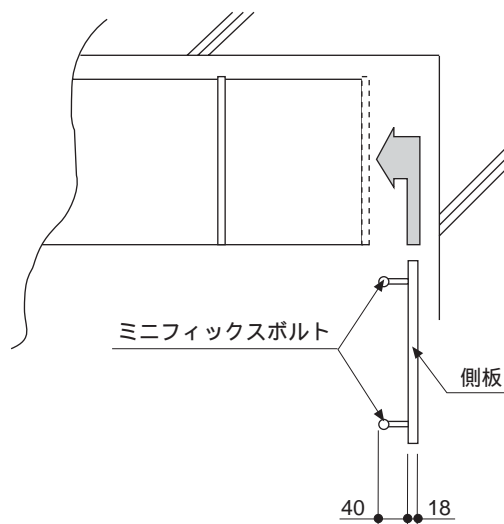
ロックダウン収納の据付けスペースの確認・付属工具

間口方向の納まり

- ・ ユニット据付けに必要な間口スペースは、据付けしようとするユニットの総間口寸法（化粧パネル等を含む）より最低40mm以上の寸法が必要です。

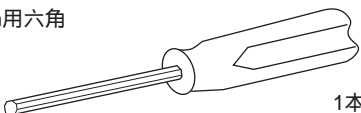


- ・ 側板には、天板・底板と連結するためのミニフィックスボルトを取付けますので、ミニフィックスボルトの長さ分だけのクリアランス（40mm以上）が必要です。



付属工具

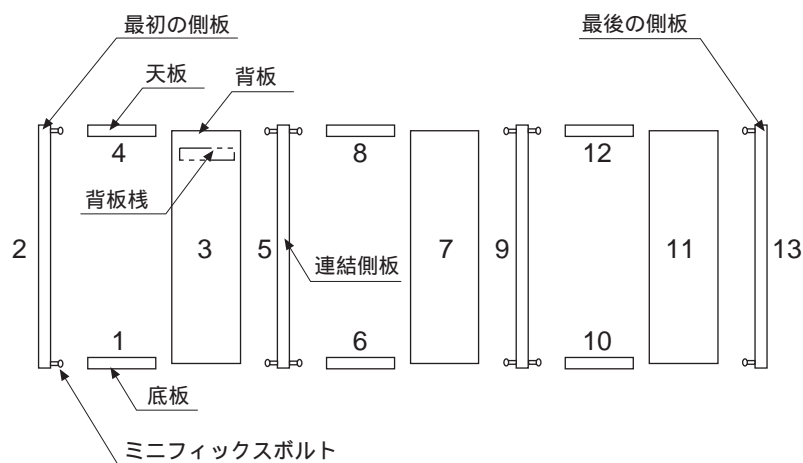
- ・ ユニット組立てに必要な工具として下記の物が付属されています。組始める前に確認してください。

| | |
|------|--|
| 名 称 | 六角ドライバー |
| 姿 図 | 4mm用六角  1本 |
| 使用用途 | 底板、天板の連結金具（ミニフィックス）の連結用 |

ノックダウン収納ユニット本体の組立て

基本的な収納ユニット本体の組立順序

- ・収納ユニットはミニフィックスボルトを使用して側板・底板・背板・天板を組立てます。



[AF仕様の場合]

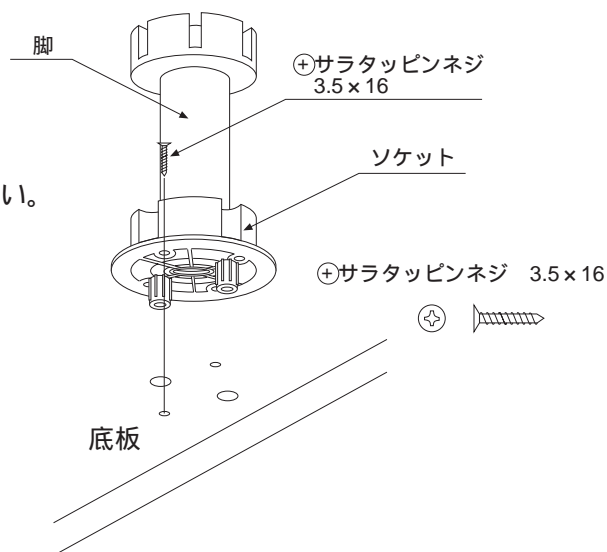
収納が連続する場合、左側から取付けてください。
(どちらか壁になる場合は壁側から取付けてください。)
また、コーナーユニットがある場合はコーナーユニットから取付けてください。

アジャスターの取付け

[樹脂製アジャスターの場合]

- ・底板にアジャスターを取付けてください。

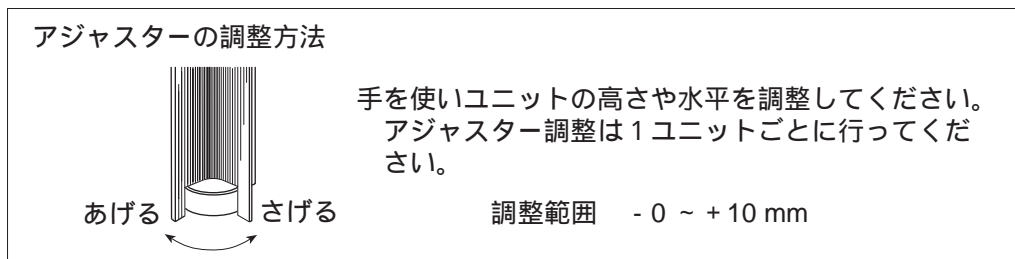
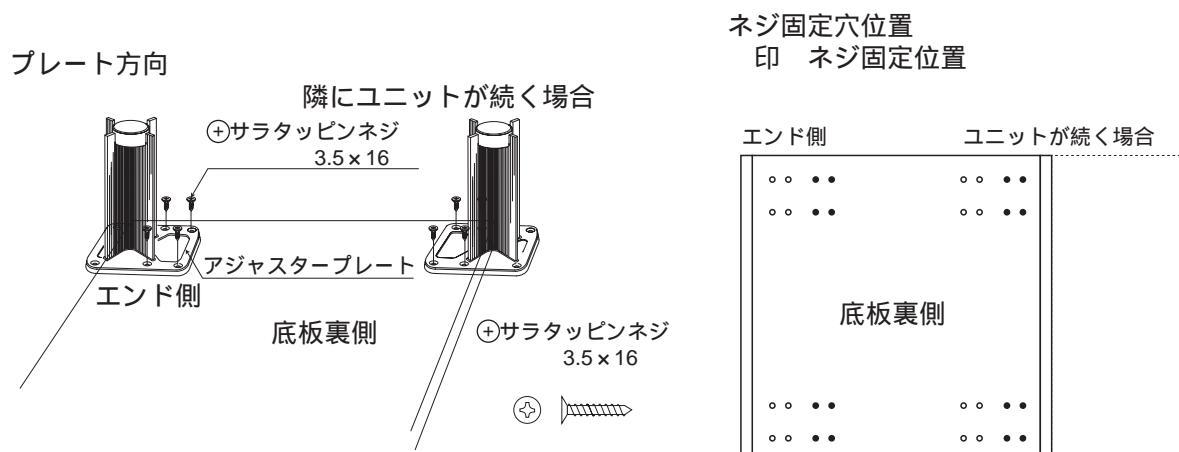
- ① 底板にソケットを打ち込み取付ネジ
(⊕サラタッピンネジ 3.5 × 16) 1本で底板に
固定してください。
- ② 次に脚をソケットの取付穴にはめ込んでください。



[AF仕様の場合]

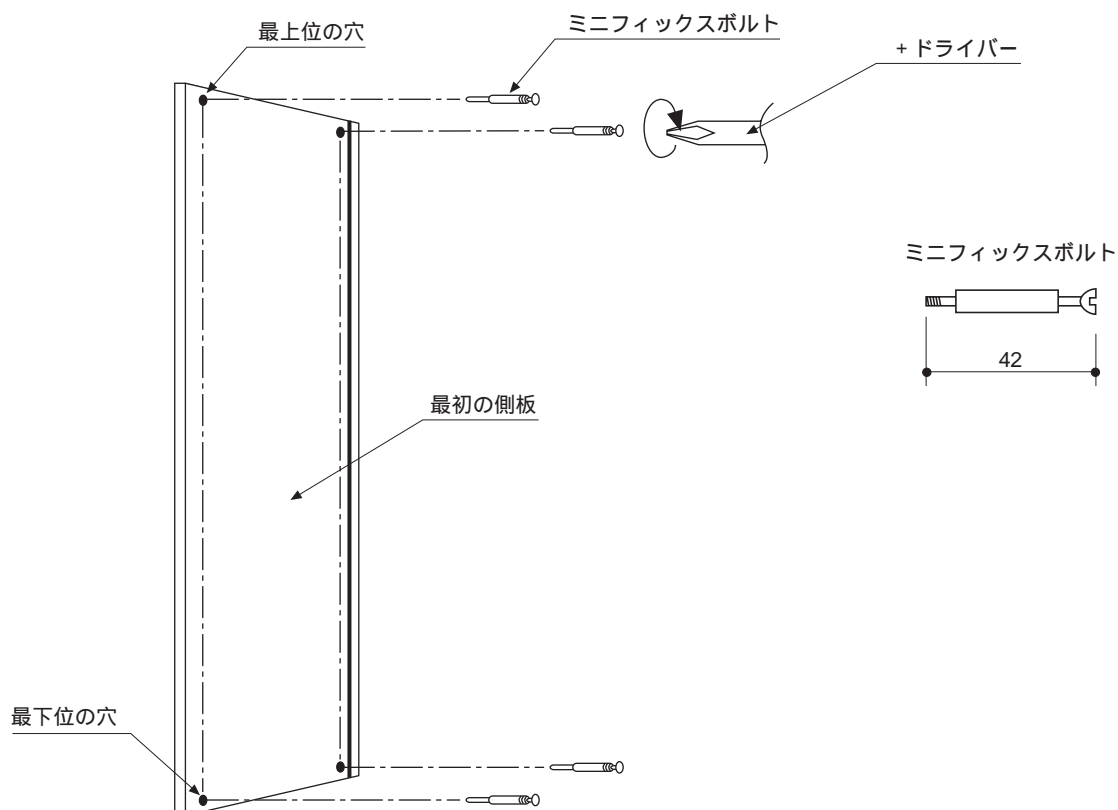
イラストはアルミAF仕様ですが、その他のAF仕様も同じです。

- ・底板の下穴にアジャスタープレートを合わせ、⊕サラタッピンネジ3.5×16にて固定します。



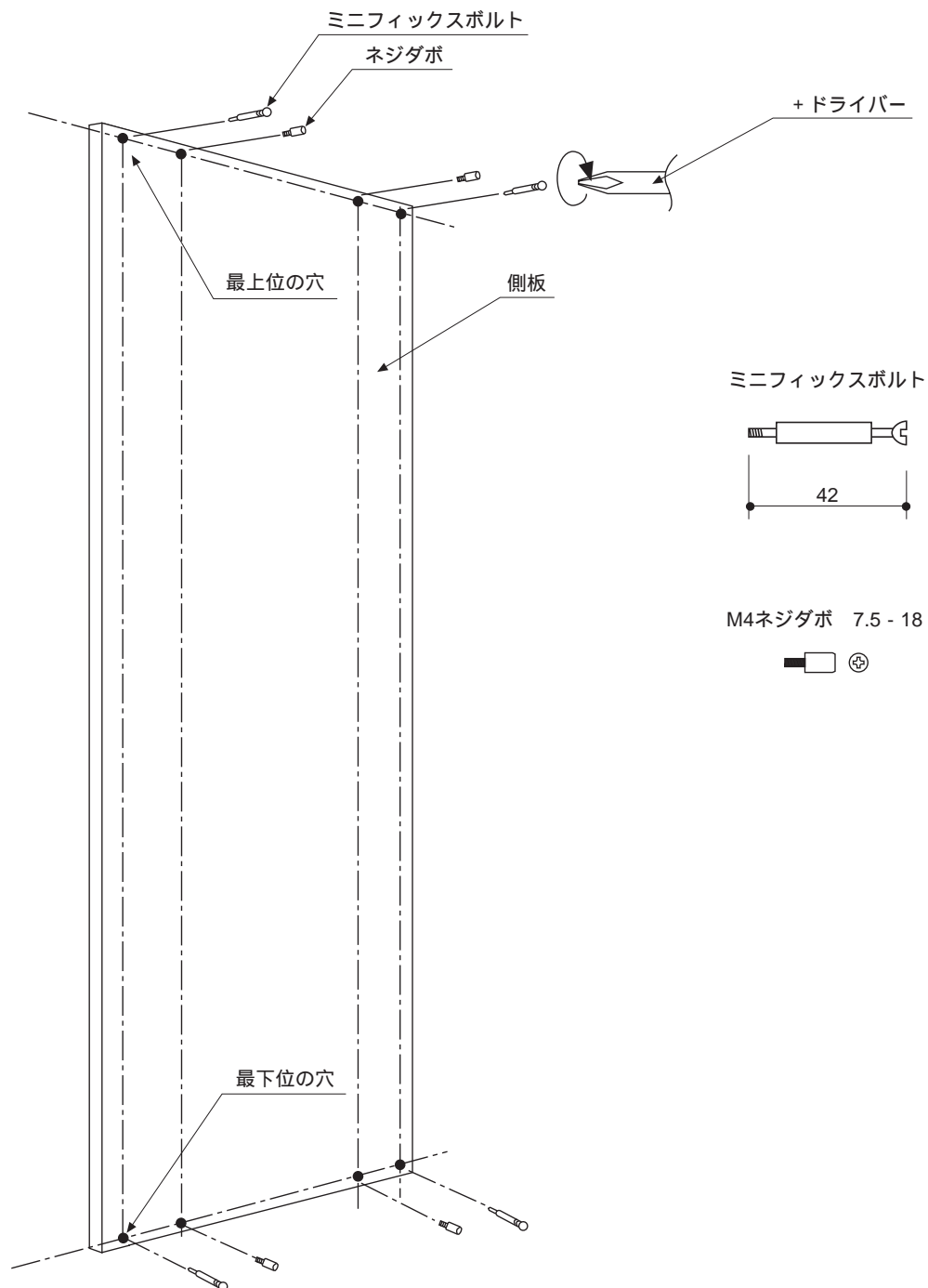
D = 405・555の場合

- ・最初の側板（片面のみ穴があいている）に、天板・底板取付用のミニフィックスボルトを、側板にあいているダボ穴の最上位と最下位の穴（インサートナットが打ち込んであります）に + ドライバーで取付けてください。

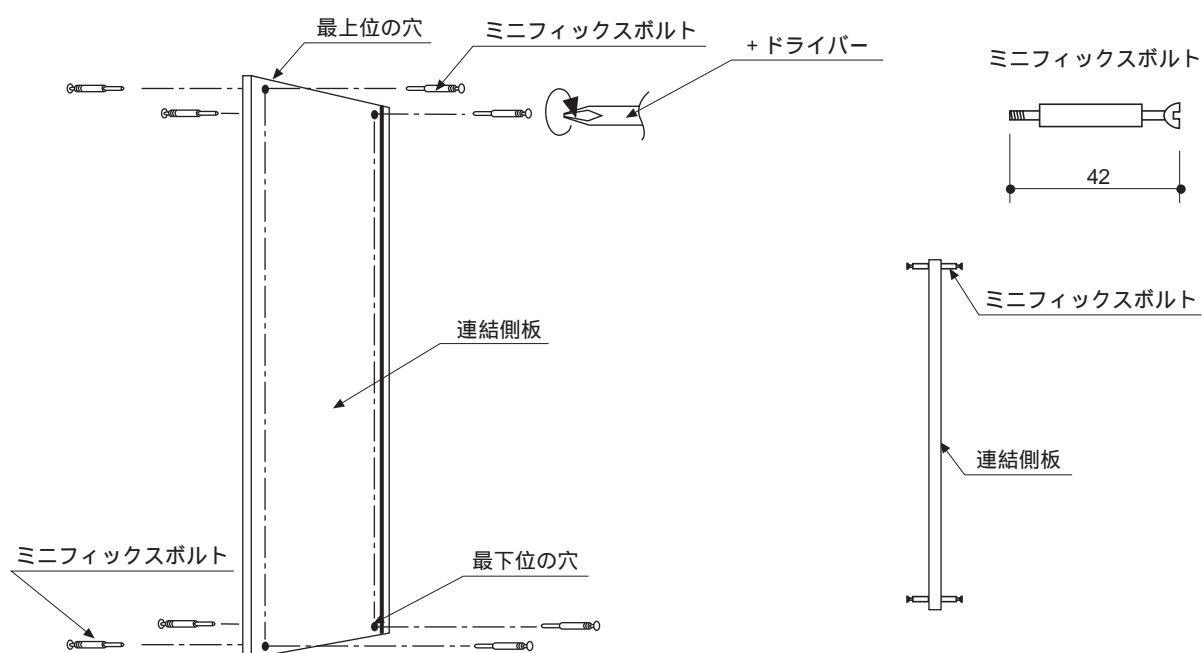


D = 705の場合（ドアポケット付ユニット、大型食品庫）

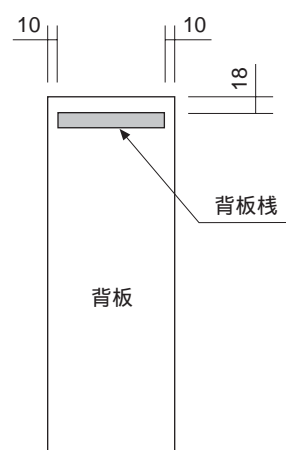
- ・D = 705タイプは、天板・底板取付用のミニフィックスボルトの間にネジダボが2個ずつ追加されます。



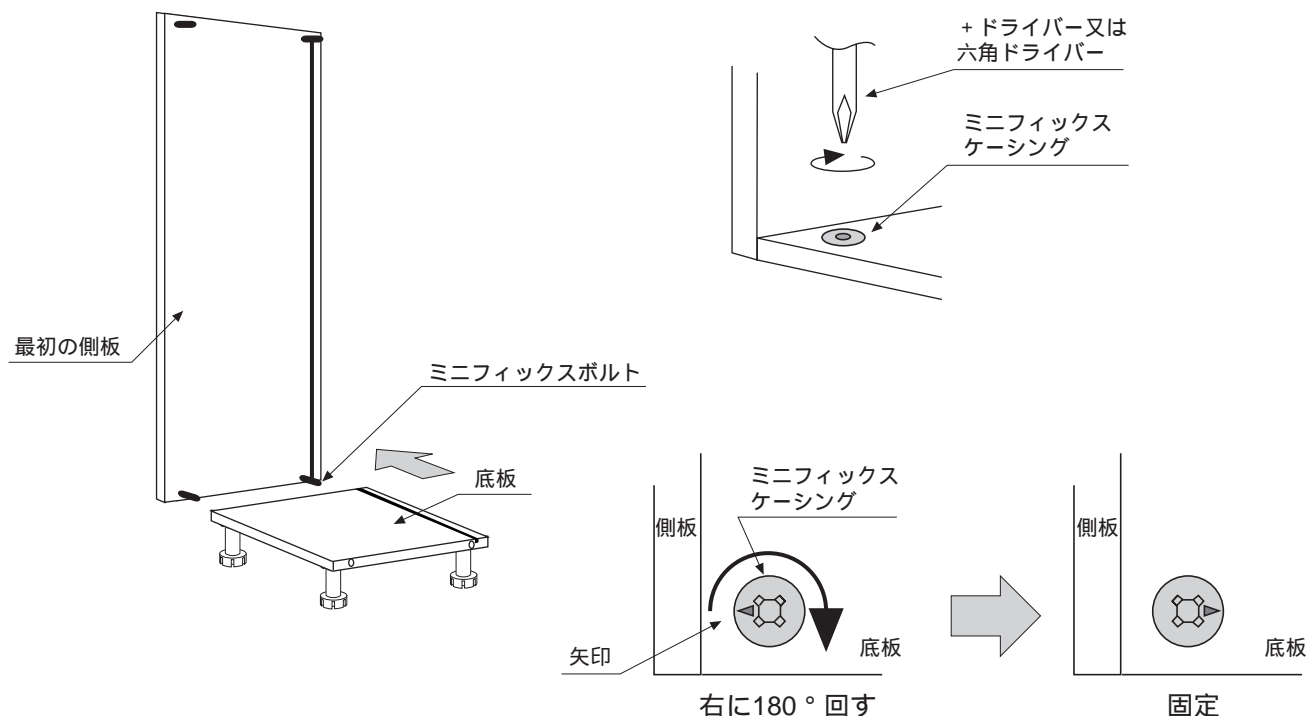
- ・連結側板（側板の両面に穴があいている）の両面に、天板・底板取付用のミニフィックスボルトを取付けてください。



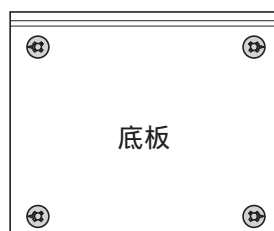
- ・背板に背板棧を、図に示す位置に両面テープで貼り付けてください。
- ・壁面の取付棧の位置が指定位置でない場合には、取付棧の位置に合わせて背板棧を貼り付けてください。



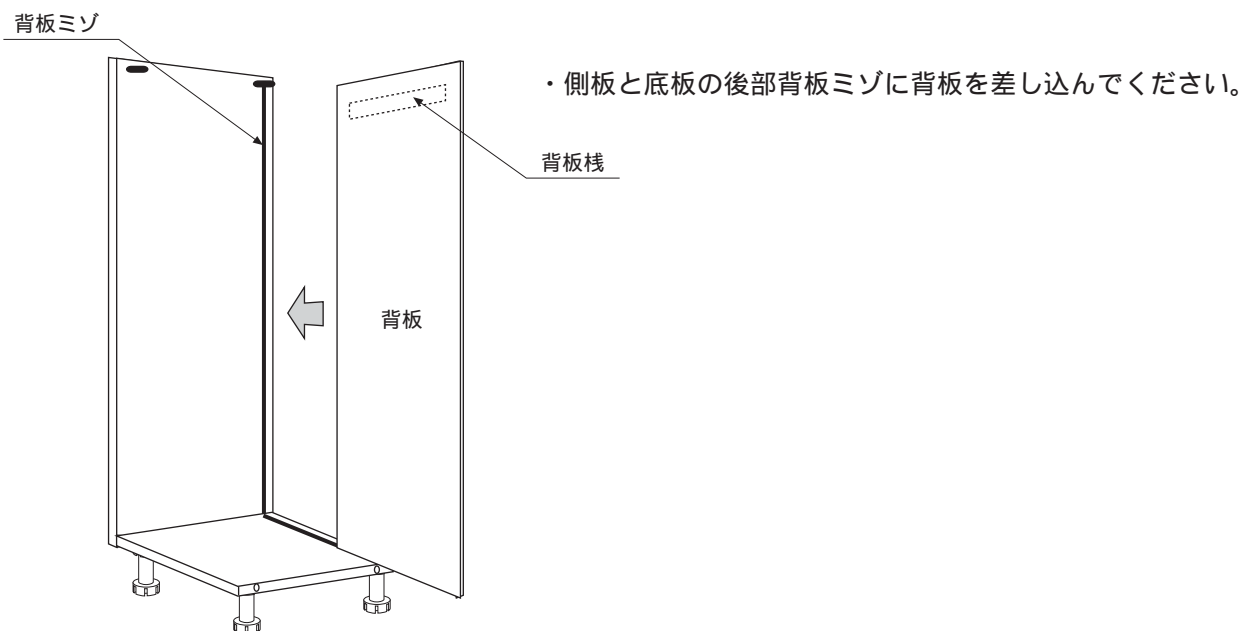
- ・底板を床面に置いてください。
- ・側板に取付けたミニフィックスボルトに、底板の側面木口にあけてある穴を合わせてしっかりと差し込んでください。
(ミニフィックスケーシングに付いている矢印が側板側に向いているか確認してください。)
- ・底板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで図に示すように締め付けてください。



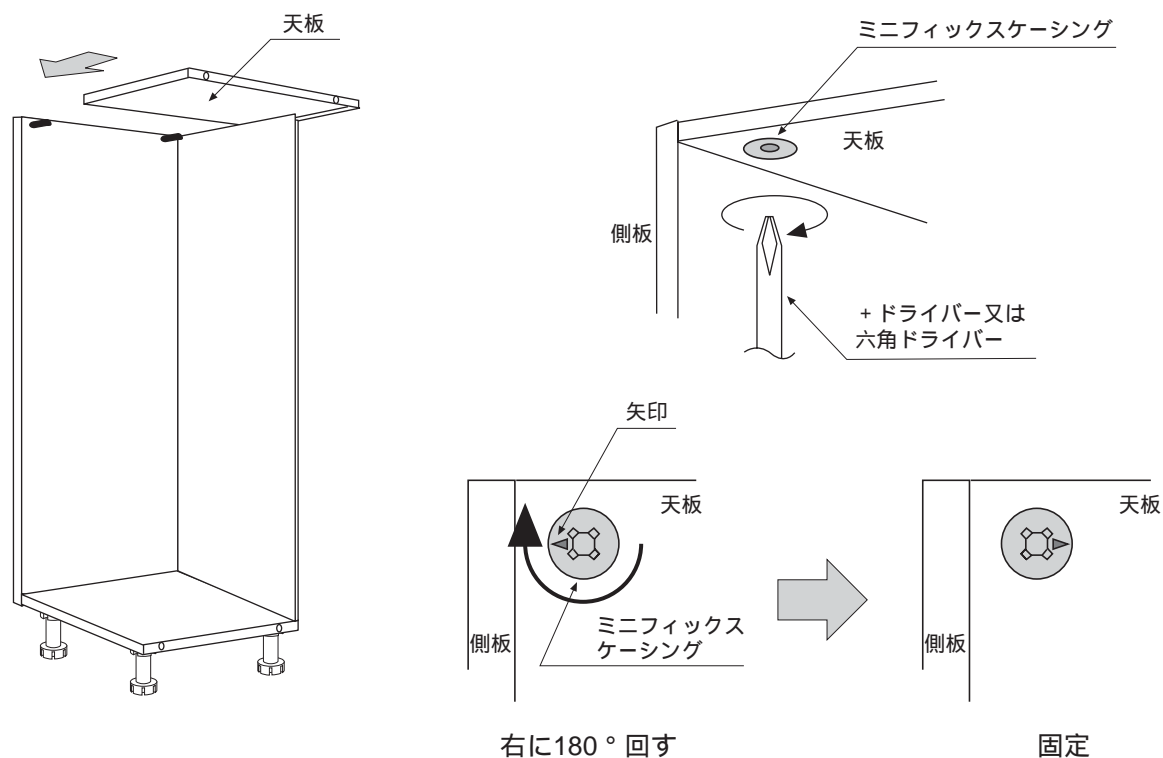
天板と底板はよく似ていますので取付けの時は、注意してください。



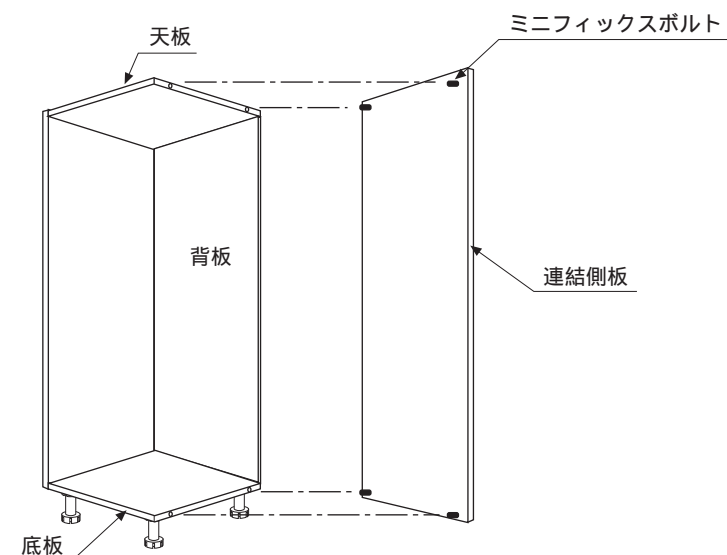
底板の裏にはアジャスター取付用の穴が4隅にあいています。



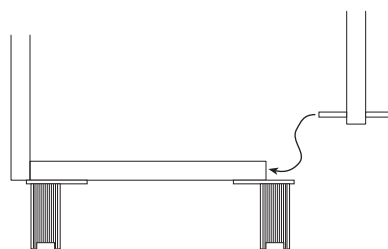
- ・天板の後部のミゾを背板に乗せてすべらせるようにして移動させ、側板に取付けたミニフィックスボルトに天板の側面木口にあけてある穴を合わせて差し込んでください。
(ミニフィックスケーシングに付いている矢印が側板側に向いているか確認してください。)
- ・天板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで図のように締め付けてください。



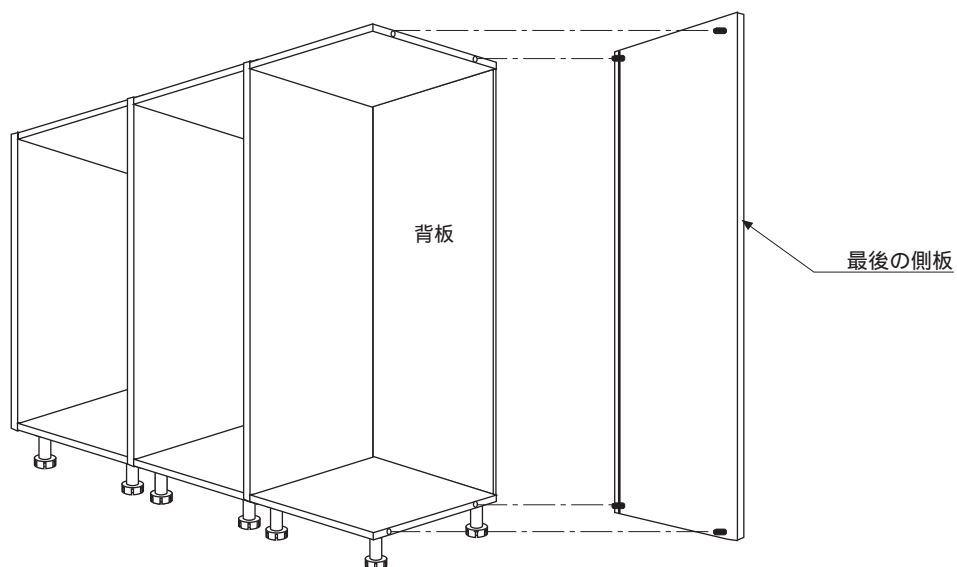
- ・連結側板に取付けたミニフィックスボルトを、底板・天板の側面木口にあけてある穴に合わせてしっかりと差し込んでください。
- ・底板・天板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで締め付けてください。



[AF仕様の場合]



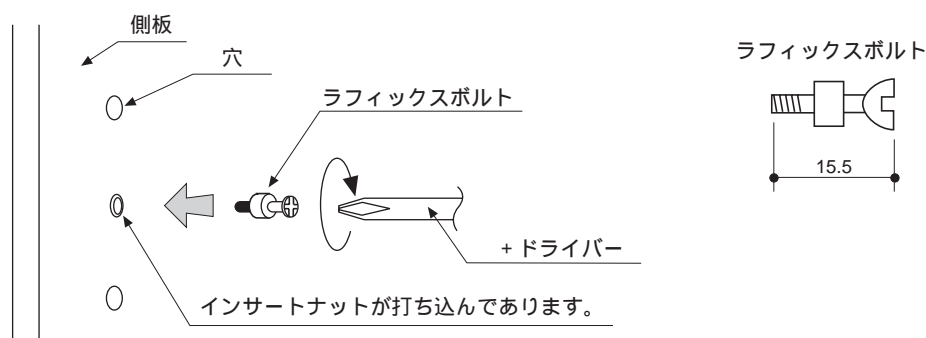
- ・ P78 ~ P83の施工を繰り返し行うことによりユニットの連結をしてください。
- ・ 最後の側板は最初の側板と同様に側板の片面のみ穴があいています。
- ・ それぞれの側板は、ユニットの種類によってインサートナットの打込位置が異なります。
組立て順に注意して組立ててください。



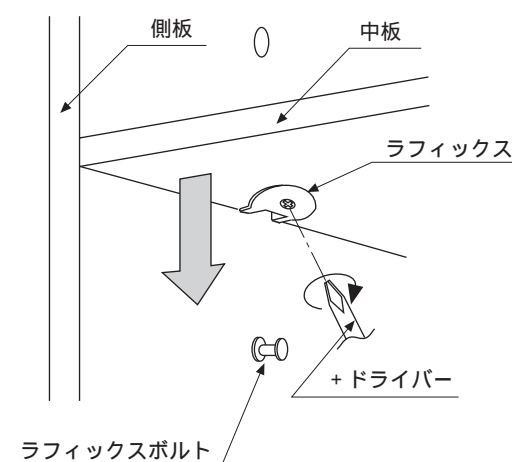
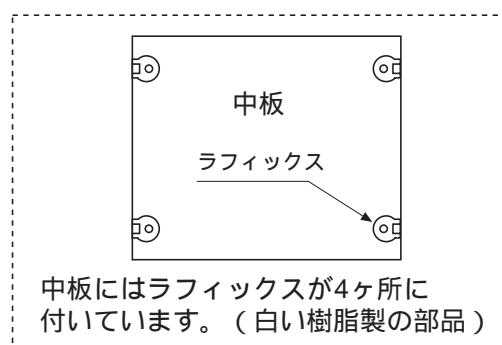
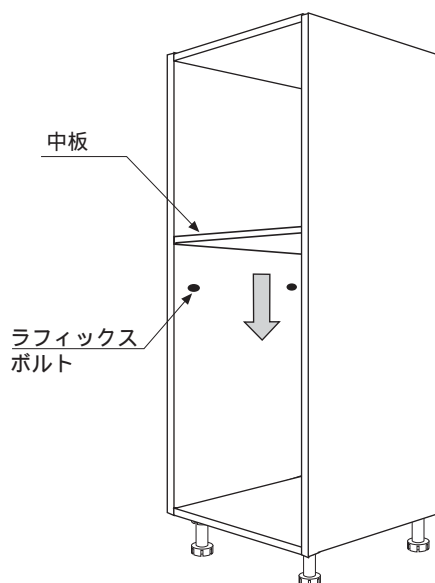
中板の取付け

- ・ラフィックスボルトを側板の指定位置に取付けます。

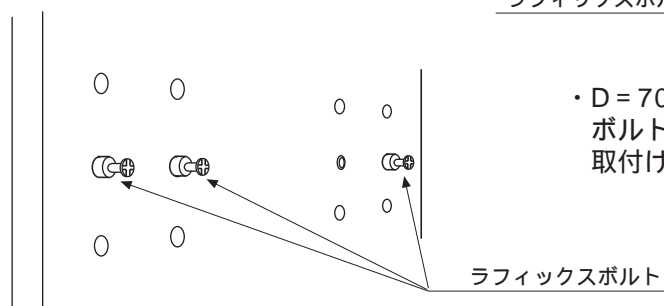
ラフィックスボルト・中板の取付け位置はユニットによって異なります。
「中板の取付け位置」を参照して取付けてください。



- ・側板に取付けたラフィックスボルトに、中板に取付けてあるラフィックスの穴を合わせて中板を落とし込んでください。
- ・ラフィックスのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。



D = 705の場合

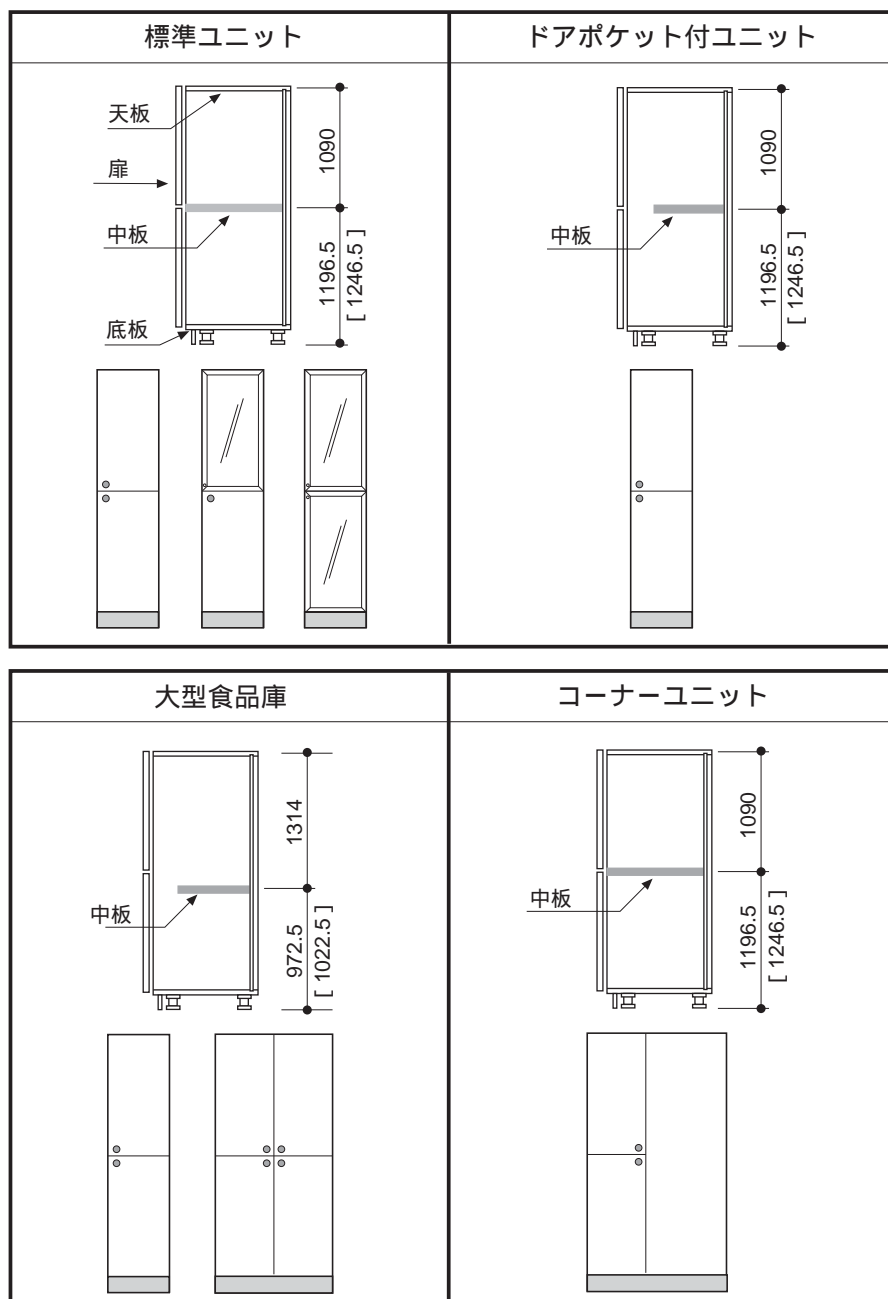


- ・D = 705タイプは、中板取付用のラフィックスボルトを片側に3ヶ使用します。左記の位置に取付けてください。



中板の取付け位置

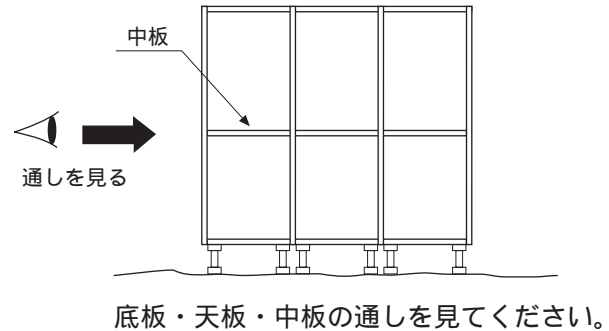
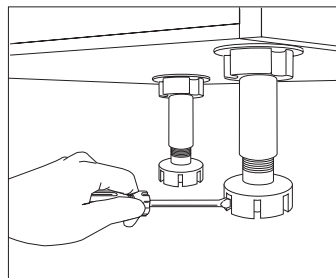
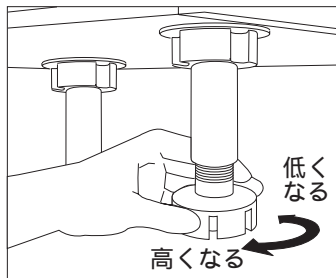
- ・中板の取付け位置は収納ユニットの機種によって異なりますので、下図を参照して取付けてください。
[]内寸法は、AF仕様【H=150】の場合を示す。AF仕様の場合は、ケコミ板なしとする。



アジャスター（樹脂製）の調整方法

- ・手やドライバーを使いユニットの高さや水平を調整してください。

調整範囲 - 0 ~ +15 mm

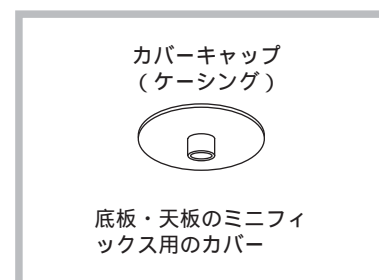
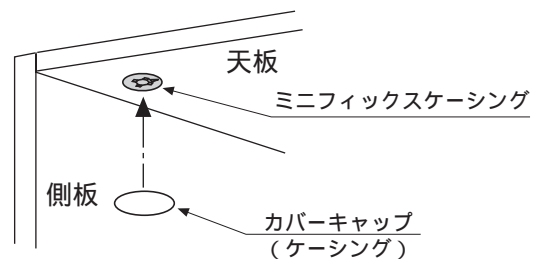
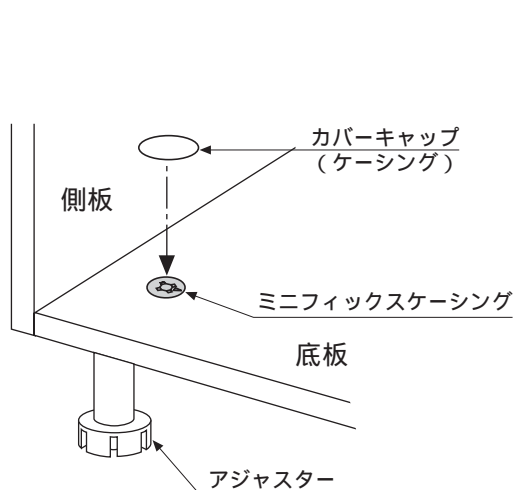


ユニットのレベル出しの方法

- ・取付けスペースの床面で一番高い場所を探して、その床面から1メートル高さを計り、墨を打ちます。側板後側の下端から900mm（AF仕様【H=150】の場合850mm）の所に印を付けます。レベル墨にその印を合わせて側板後側を調整し、建て起こしを確認してから側板前側を調整しユニットを組立てていきます。

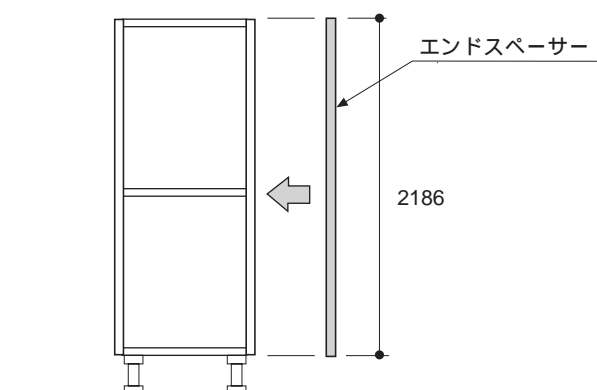
キャップ類の取付け

- ・ユニットの調整が終了した後、下記のキャップ類を取付けてください。



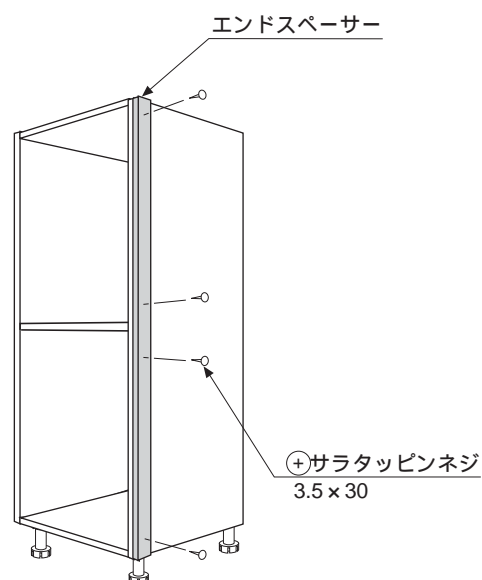
ノックダウン収納用エンドスペーサーの取付け

- ・エンドスペーサーは収納庫本体と同色のパーツです。下図に従って取付けてください。

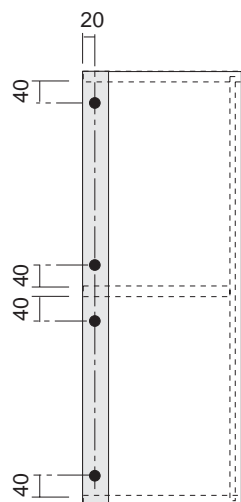


エンドスペーサーは2186mmの長さで作られています。
ユニットの上面に合わせて取付けてください。

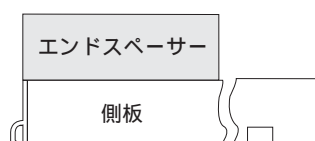
⊕サラタッピンネジ 3.5×30



- ・エンドスペーサーを固定する時は下記の位置に⊕サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。



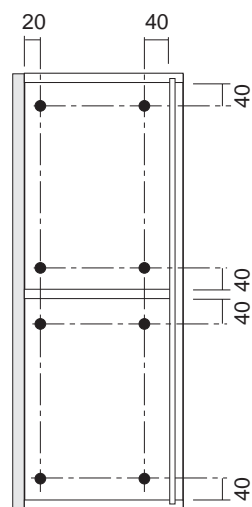
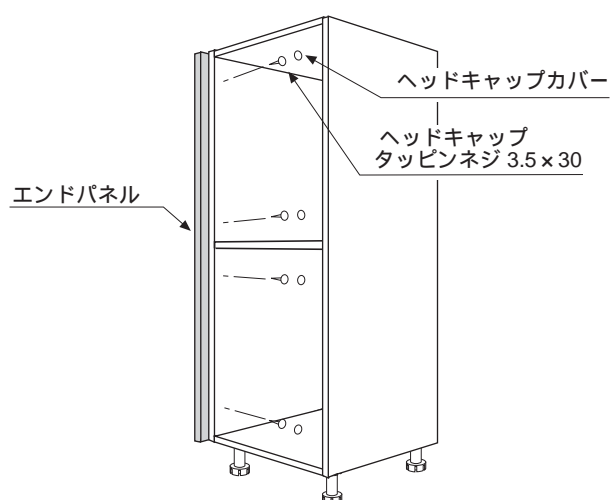
- ・エンドスペーサーは側板の前面に合わせて取付けます。



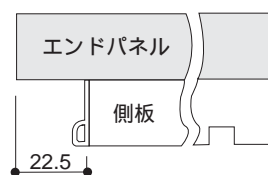
ノックダウン収納用エンドパネルの取付け

- ・ 収納庫用エンドパネルは2186mmの長さで作られています。
- ・ エンドパネルを固定する時は、下記の位置に $\phi 4$ の下穴をあけヘッドキャップタッピンネジ3.5×30で固定してください。

ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30

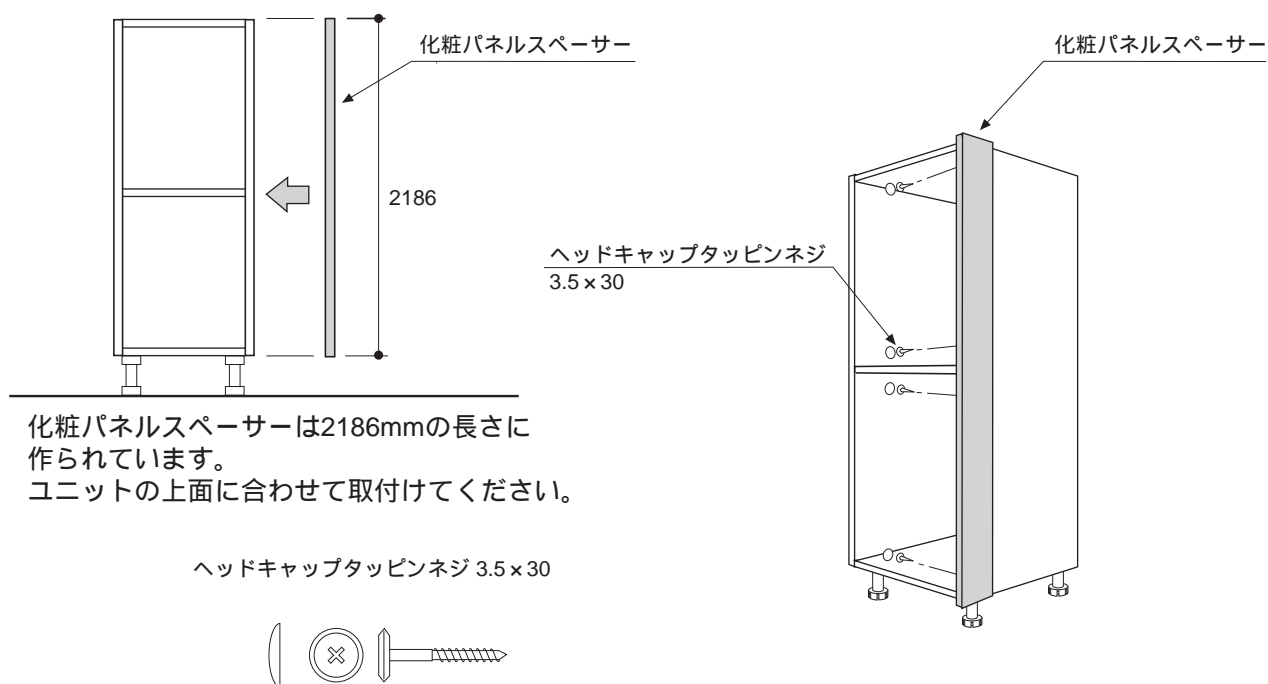


- ・ エンドパネルは側板より22.5mmのちりを設けて取付けます。

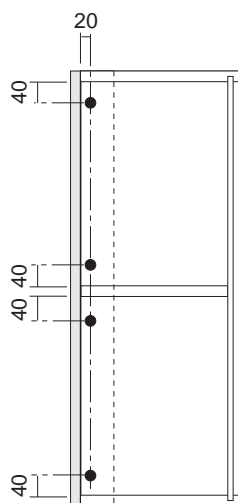


ノックダウン収納用化粧パネルスペーサーの取付け

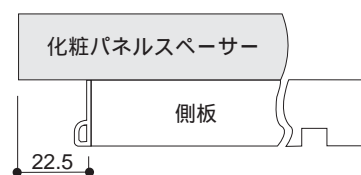
- 化粧パネルスペーサーはエンドパネルと同色のパーツです。
下図に従って取付けてください。



- 化粧パネルスペーサーを固定する時は、下記の位置に $\phi 4$ の下穴をあけヘッドキャップタッピンネジ3.5×30で固定してください。

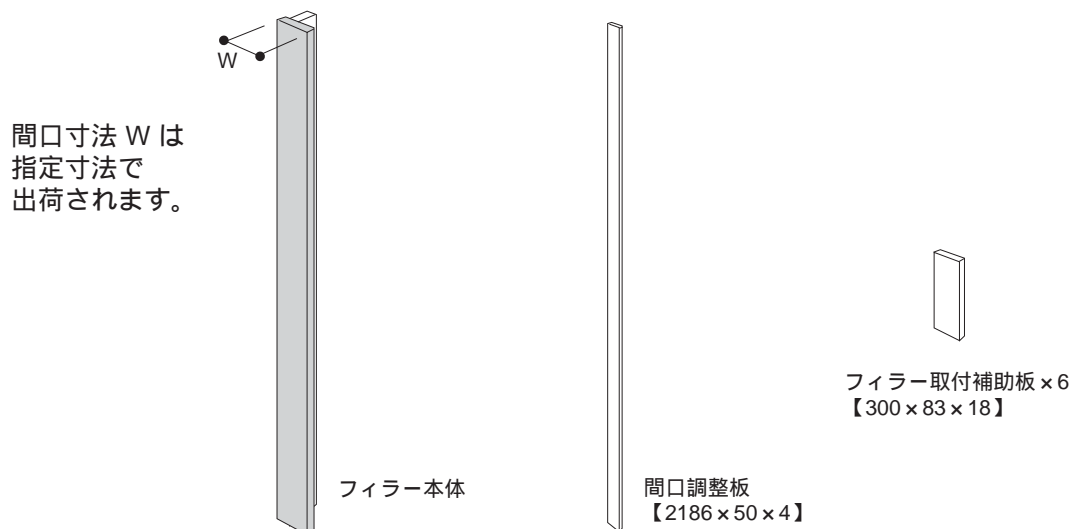


- 化粧パネルスペーサーは側板より22.5mmのちりを設けて取付けます。

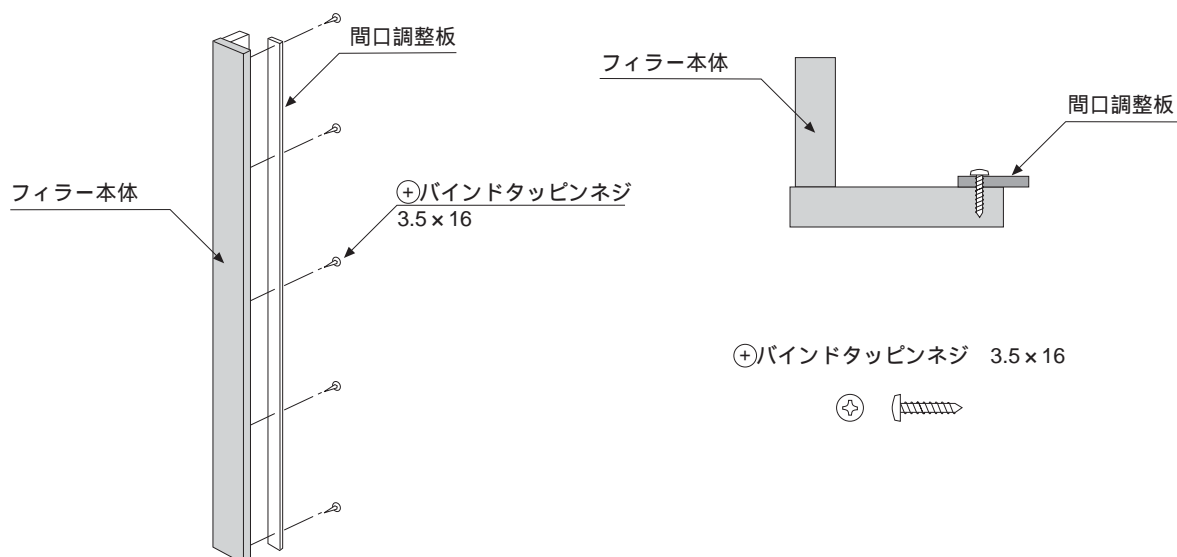


ノックダウン収納用化粧フィラーの取付け 1

- 化粧フィラーには下記の部品が付属しています。



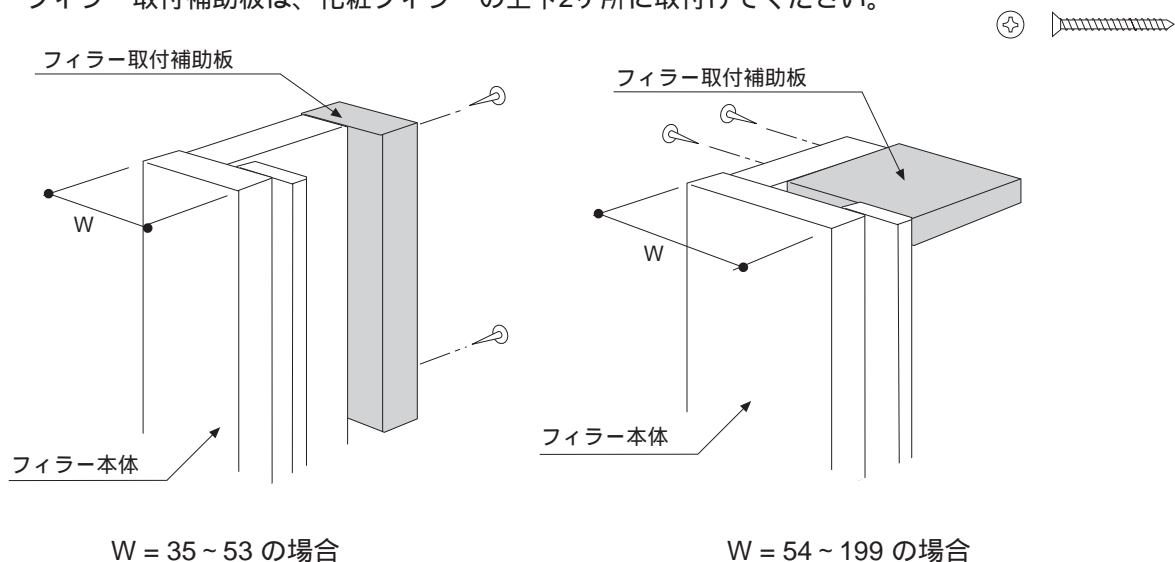
- 化粧フィラーは指定寸法で出荷されます。壁との間に隙間が出る場合は間口調整板を取付けてください。



- 化粧フィラーの間口【W寸法】に合わせて、下図のようにフィラー取付補助板を適当な寸法にカットして補強に使用してください。

フィラー取付補助板は、化粧フィラーの上下2ヶ所に取付けてください。

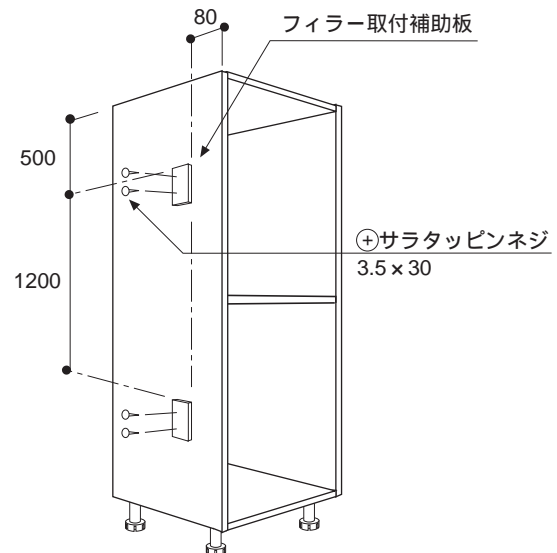
⊕ サラタッピンネジ 3.5×30



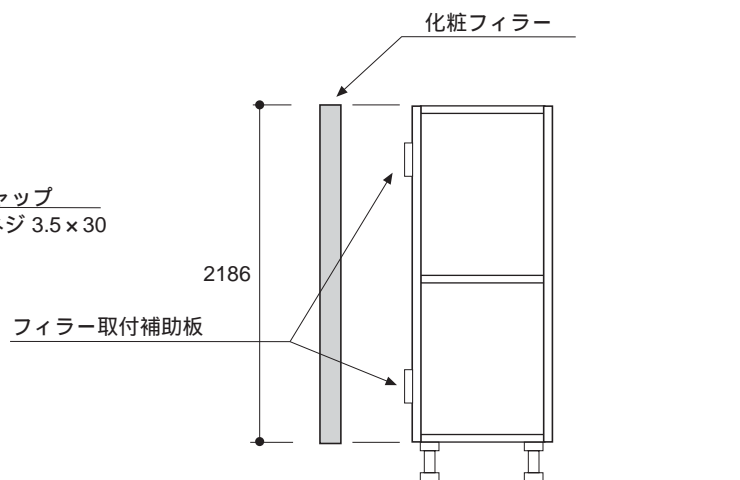
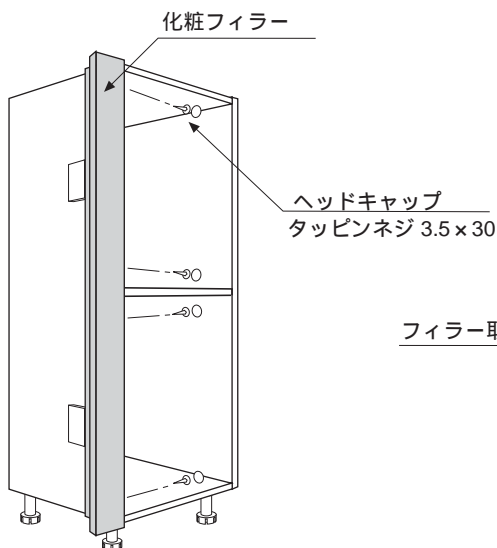
ノックダウン収納用化粧フィラーの取付け 2

- 化粧フィラーを取付けるユニットにフィラー取付補助板を取付けます。
右図の位置に取付けてください。

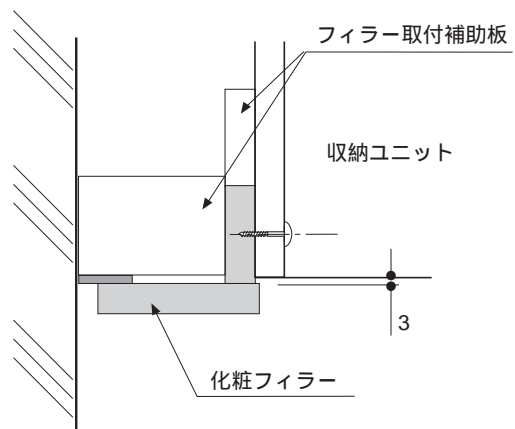
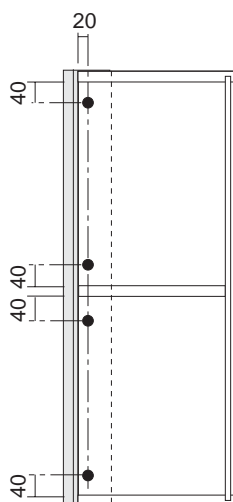
④サラタッピンネジ 3.5×30



- 化粧フィラーを下図に従って取付けます。



化粧フィラーは2186mmの長さで作られています。
ユニットの上面に合わせて取付けてください。



ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30

- 化粧フィラーを固定する時は、上記の位置に
Ø4の下穴をあけヘッドキャップタッピンネジ
3.5×30で固定してください。





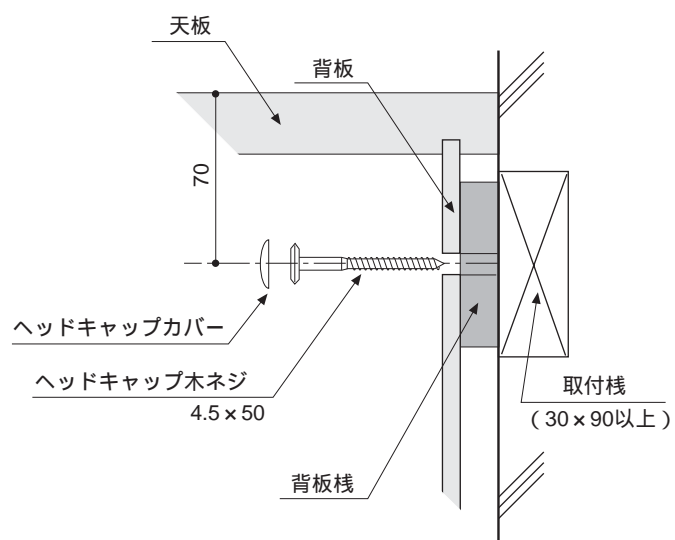
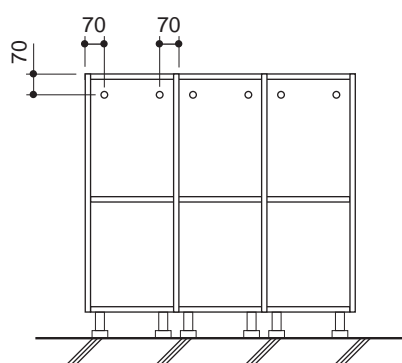
警告

収納ユニットの据付けは建築壁の構造を確かめて正しく固定してください。

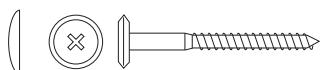


据付けを誤ると、転倒してケガをする恐れがあります。

- ・ユニット内側から図に示す位置に下穴 $\phi 4.6 \sim \phi 5.0$ をあけヘッドキャップ木ネジ 4.5×50 で壁面に固定してください。

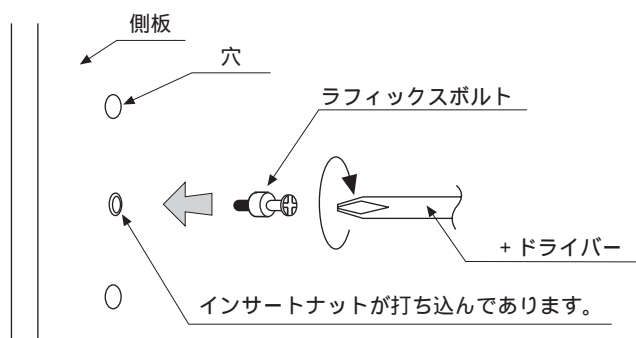


ヘッドキャップ木ネジ 4.5 x 50

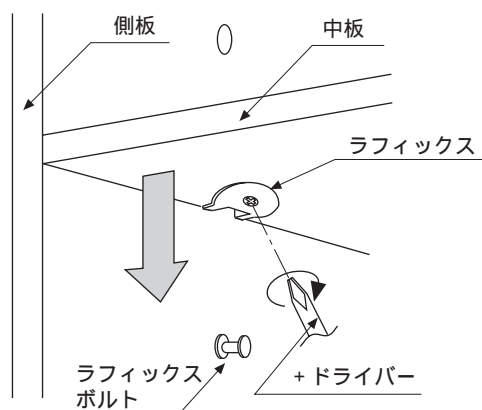
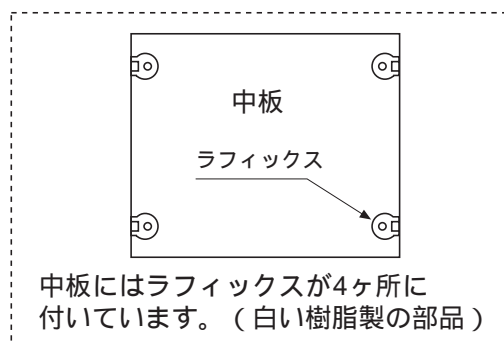
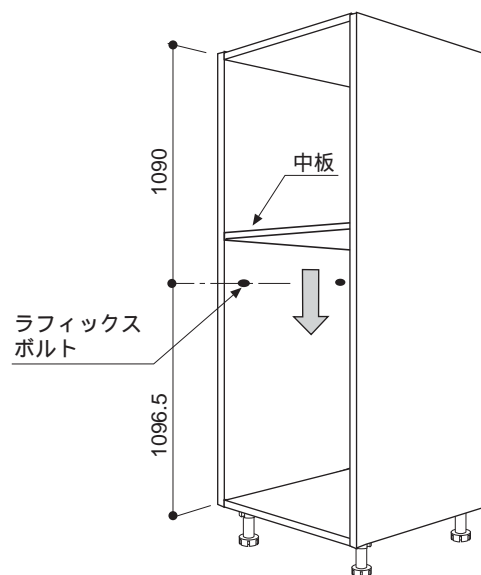


標準ユニットの組立て

- ・下図にある中板取付け指定位置にラフィックスボルトを取付けます。取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

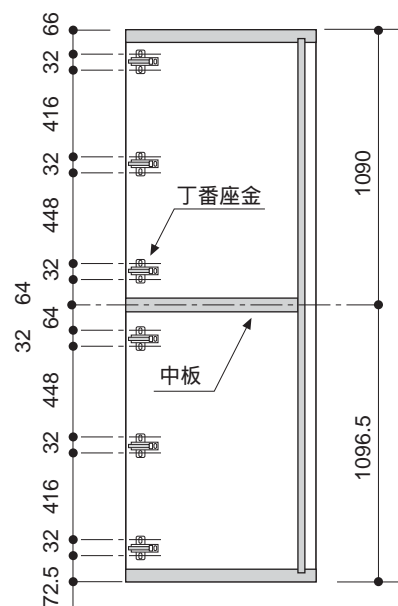
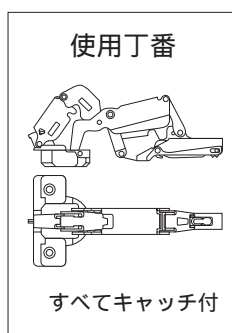
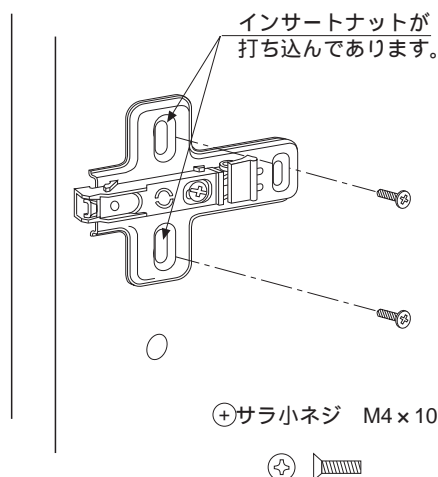


- ・側板に取付けたラフィックスボルトに、中板のラフィックスの穴を合わせて落とし込んでください。
- ・ラフィックスボルトのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。



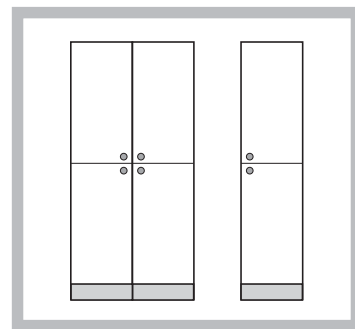
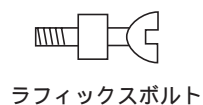
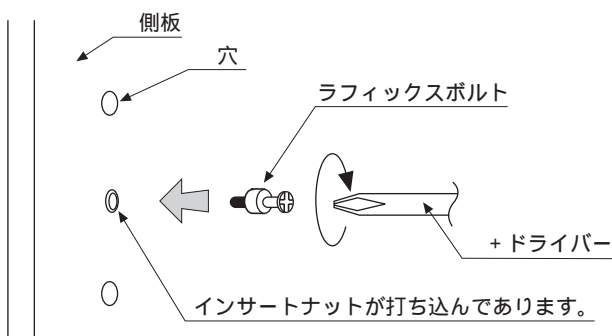
取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

- ・右図の位置に丁番座金を取付けます。取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

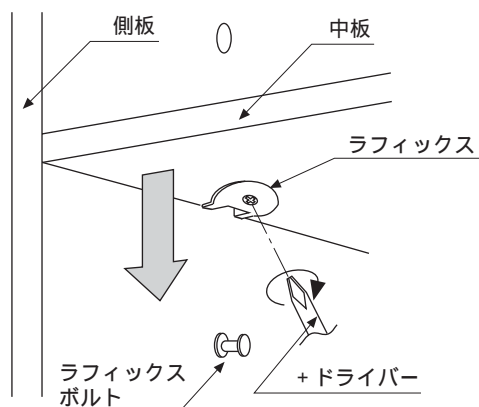
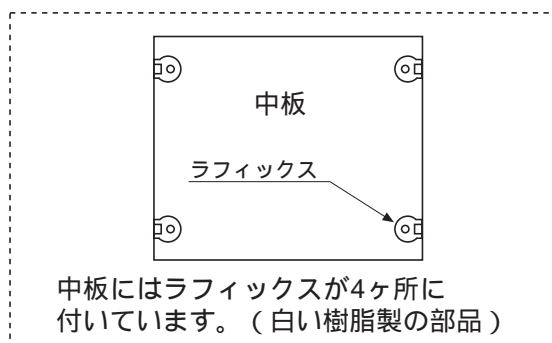
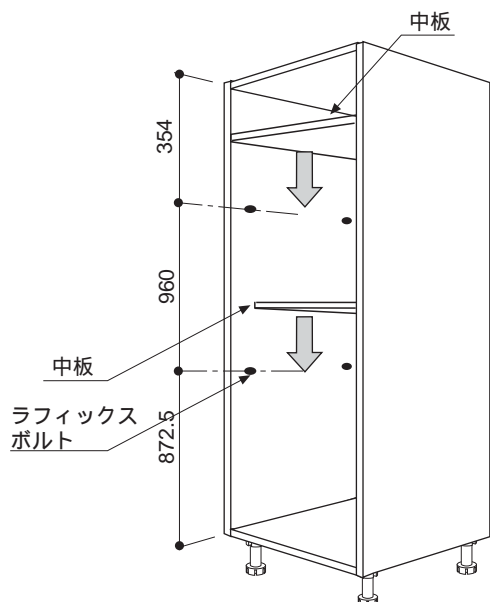


大型食品庫の組立て

- ・ 下図にある中板取付け指定位置にラフィックスボルトを取付けます。
取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

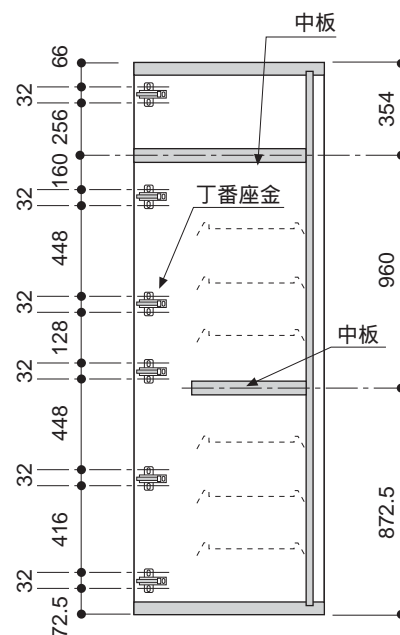
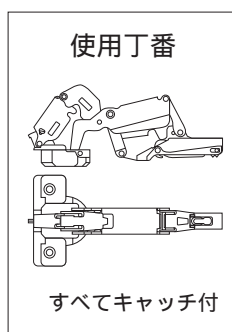
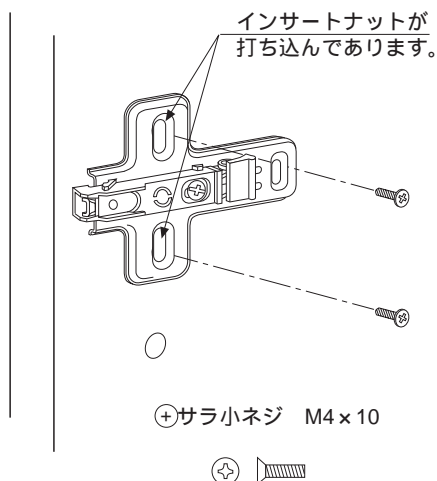


- ・ 側板に取付けたラフィックスボルトに、中板のラフィックスの穴を合わせて落とし込んでください。
- ・ ラフィックスボルトのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。



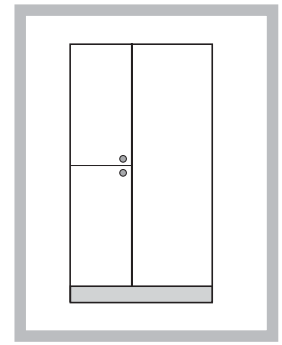
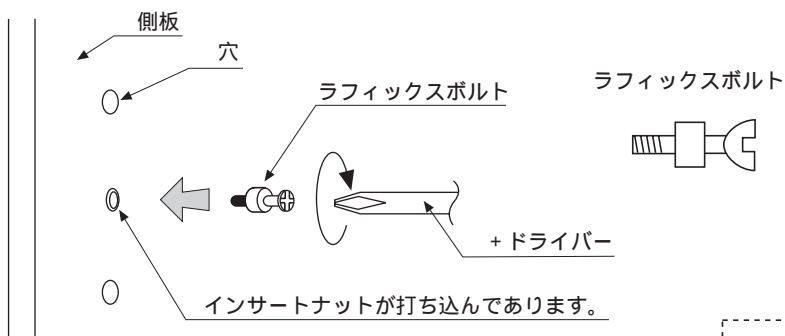
取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

- ・ 右図の位置に丁番座金を取付けます。
取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

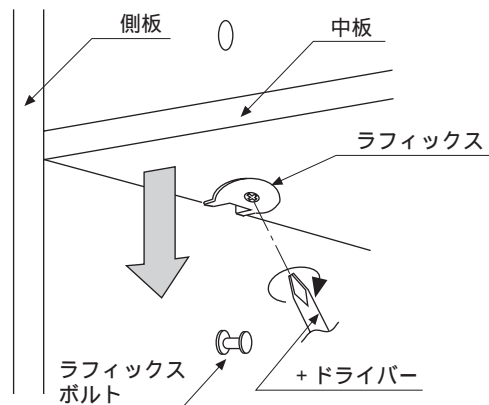
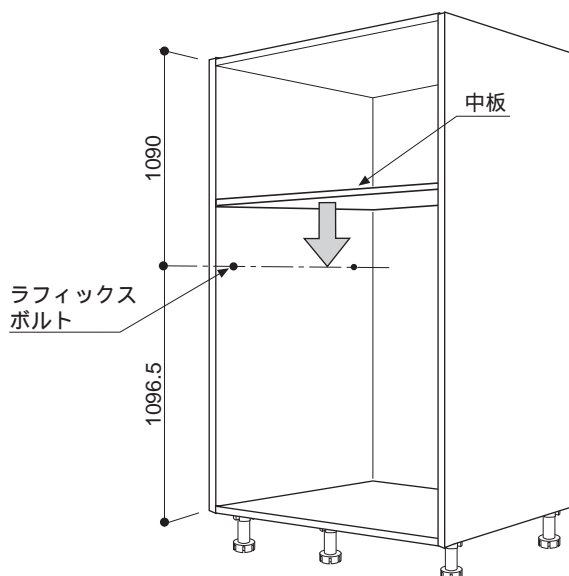
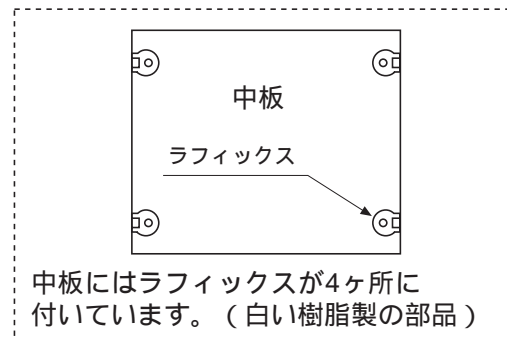


コーナーユニットの組立て 1

- ・ 下図にある中板取付け指定位置にラフィックスボルトを取付けます。
- ・ 取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

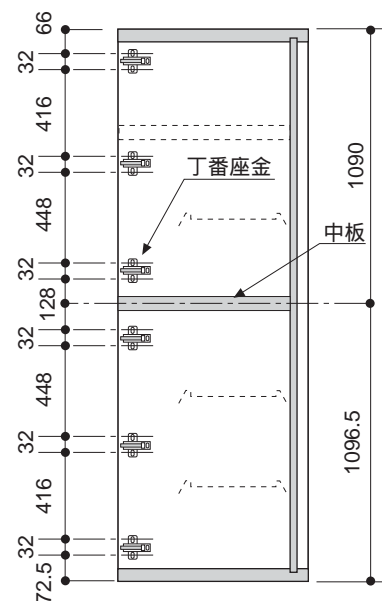
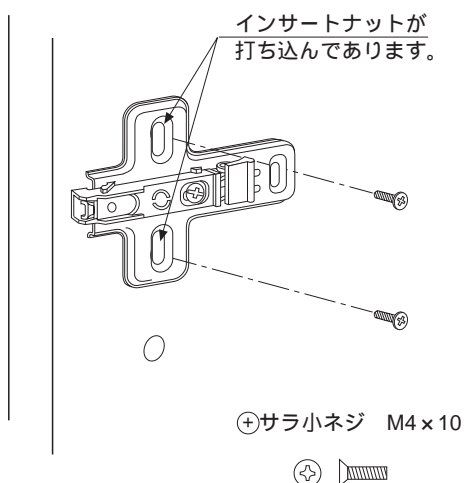


- ・ 側板に取付けたラフィックスボルトに、中板のラフィックスの穴を合わせて落とし込んでください。
- ・ ラフィックスボルトのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。

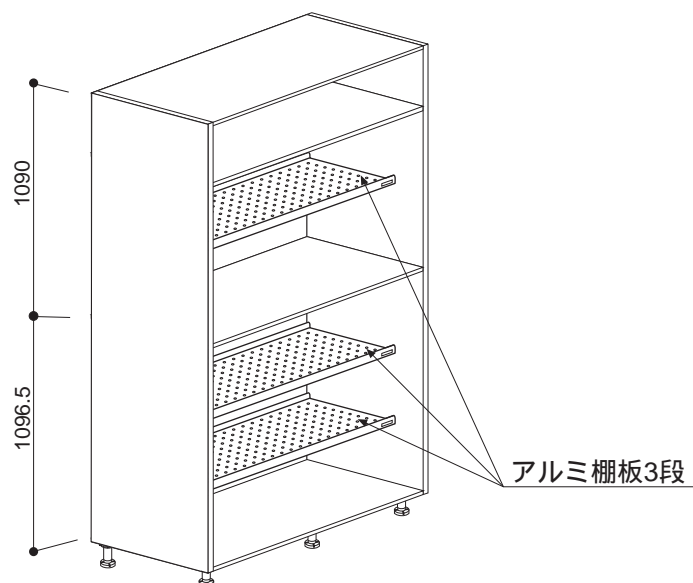


取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

- ・ 右図の位置に丁番座金を取付けます。取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

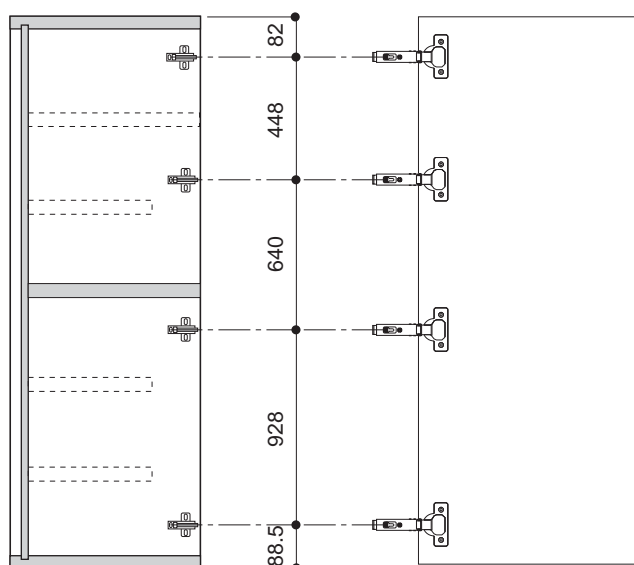


棚板の取付け

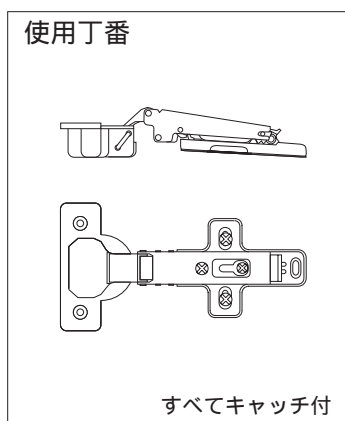


フサギ板の取付け

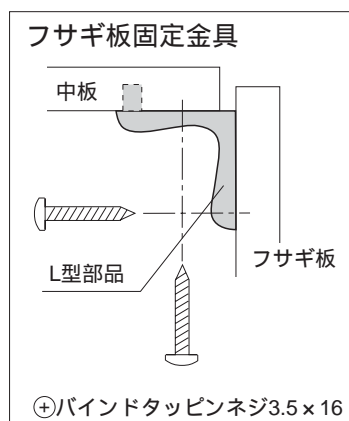
・フサギ板は、丁番を使用して取付けます。



・フサギ板の取付けには右図の全カブセ丁番を使用します。



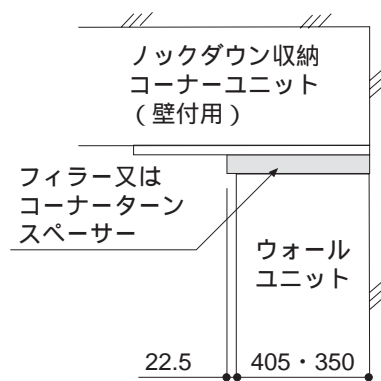
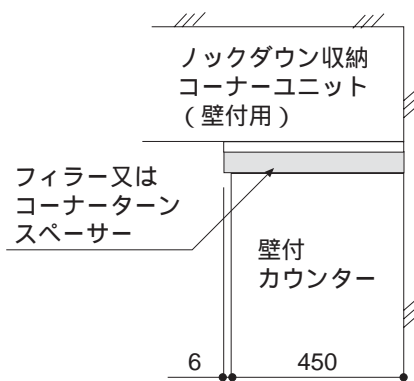
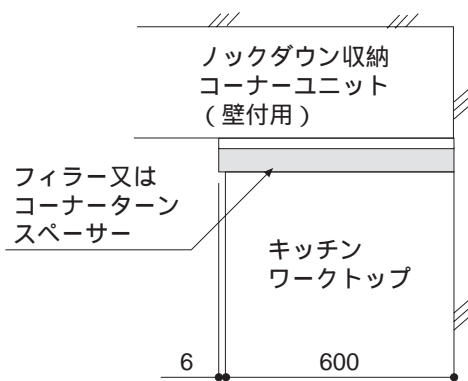
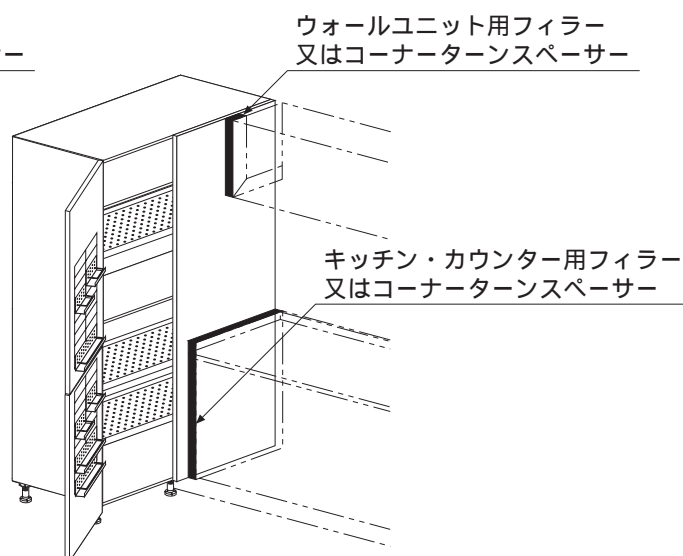
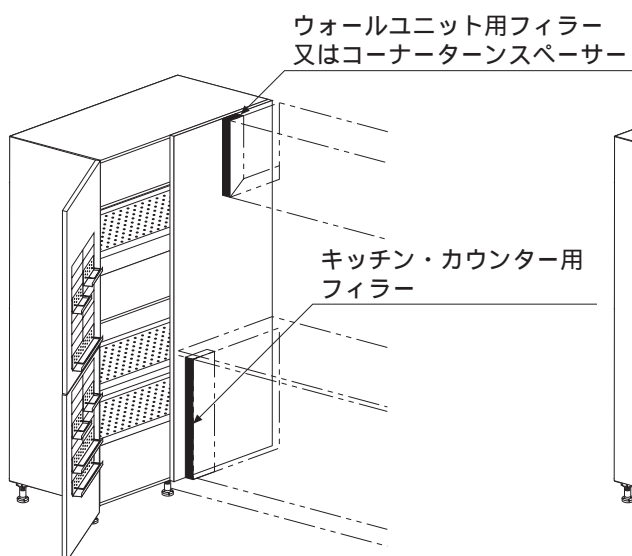
・フサギ板と中板をL型部品を使用して固定してください。



キッチン・カウンターとノックダウン収納コーナーユニットとの接合

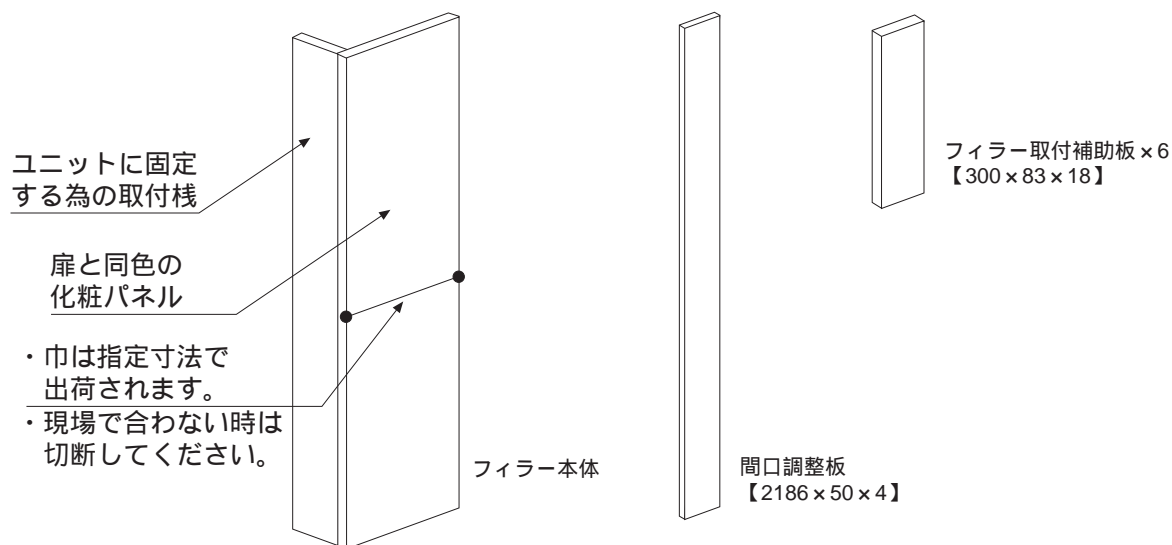
B G無しワークトップの場合

B G付きワークトップの場合



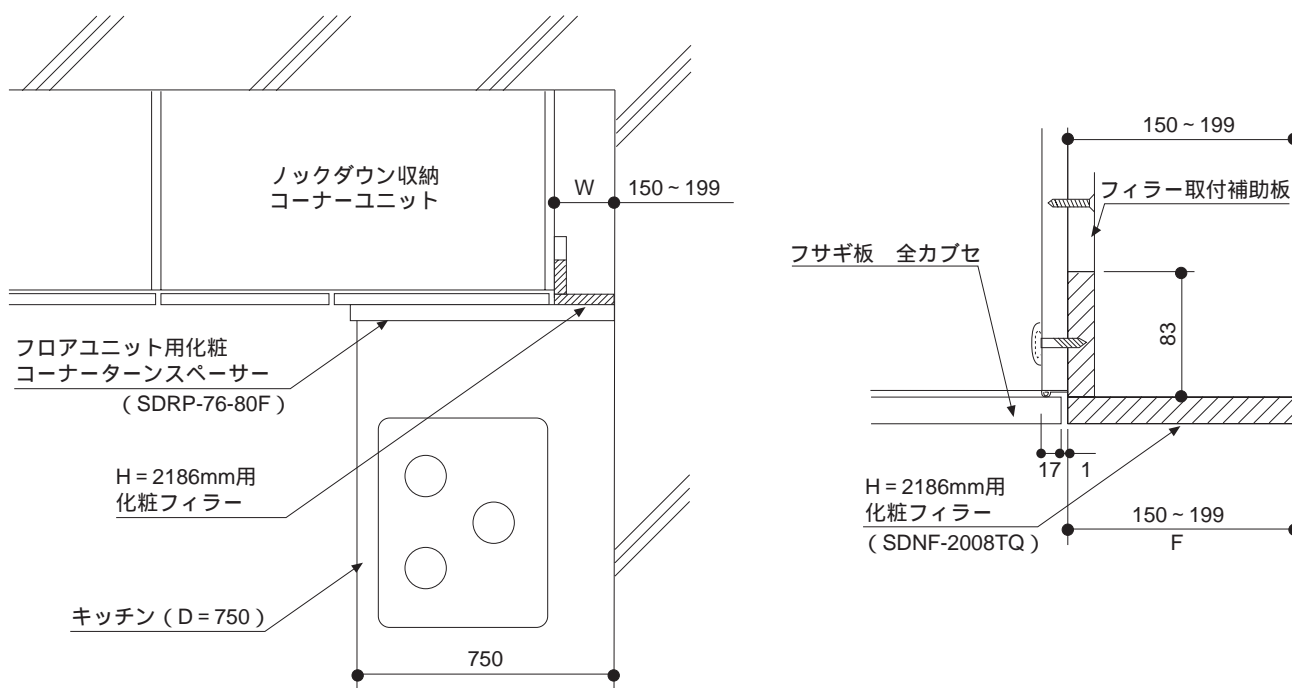
D = 750のキッチンとロックダウン収納コーナーユニットとの接合

1. H = 2186用化粧フィラーを使用します。



2. H = 2186用化粧フィラーの納まり図

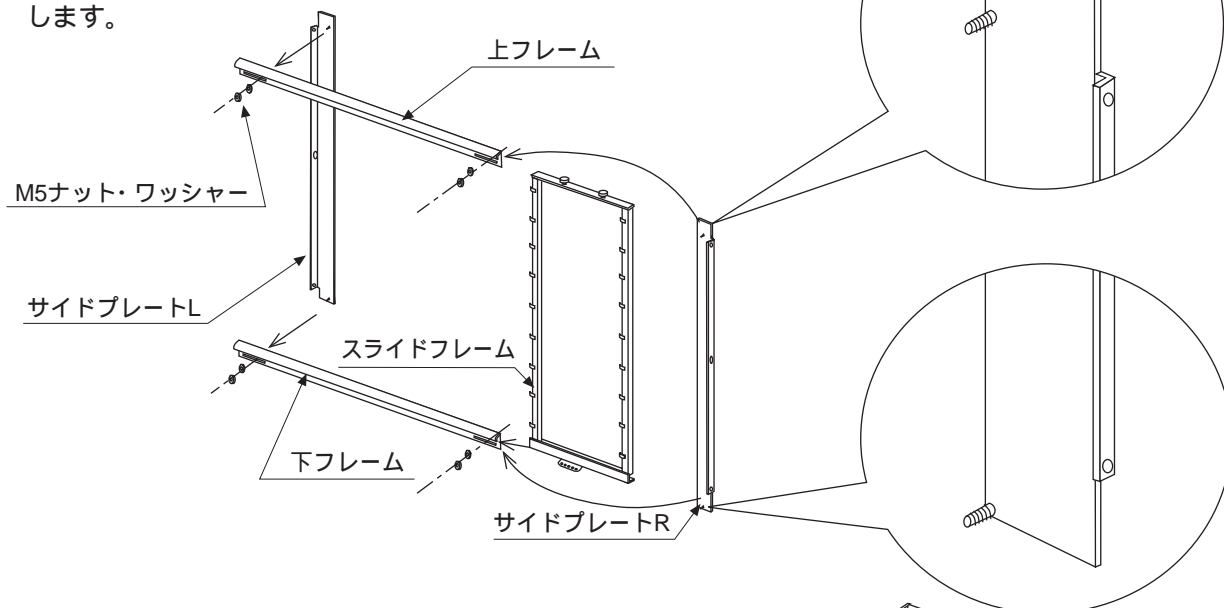
- ・化粧フィラーの納まりは上から見ると下図のようになります。
- ・化粧フィラーの取付け方は「ロックダウン収納化粧フィラーの取付け」を参照してください。
- ・発注時のW 寸法の指定によりF 寸法で出荷されます。



マジックコーナーバスケットにはR・Lがあります。
以下の説明の図はRを示し、Lは図と対称とする。

背面フレームの組立て方

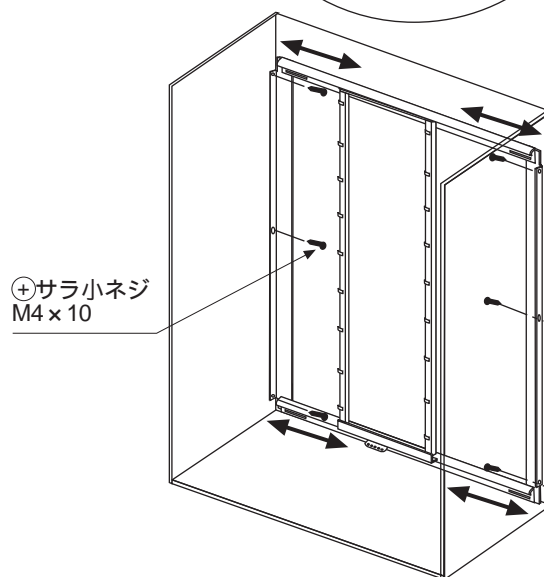
- ・下フレームと上フレームにスライドフレームをはめ込んだ後、サイドプレートR・LをM5ナット、ワッシャーにて4ヶ所を仮固定します。



背面フレームの取付け

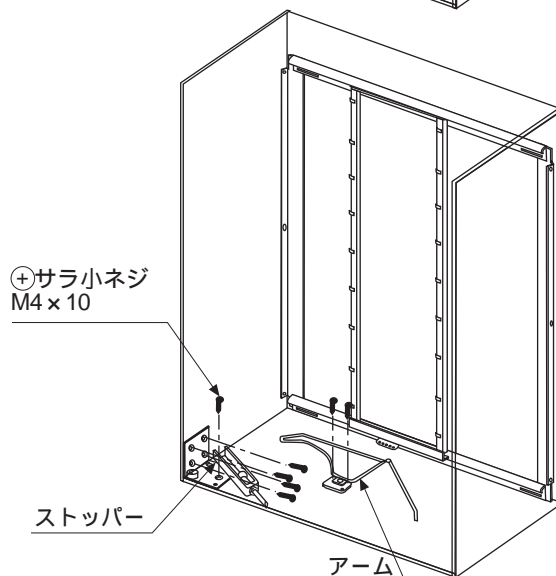
- ・ユニット内に組立てた背面フレームを合わせ、
⊕サラ小ネジM4×10（6ヶ所）で、ユニット側にサイドプレートを固定します。
左右の均等を計ったら、背面フレームを仮固定したM5ナットで4ヶ所を固定します。

必ず仮固定の状態で行って、左右の微調整を行ってください。固定レール取付け誤差で本体を引出すのに負荷がかかるとレール破損の原因になります。



アームとストッパーの取付け

- ・アームとストッパーを⊕サラ小ネジM4×10で、底板および、側板に固定します。

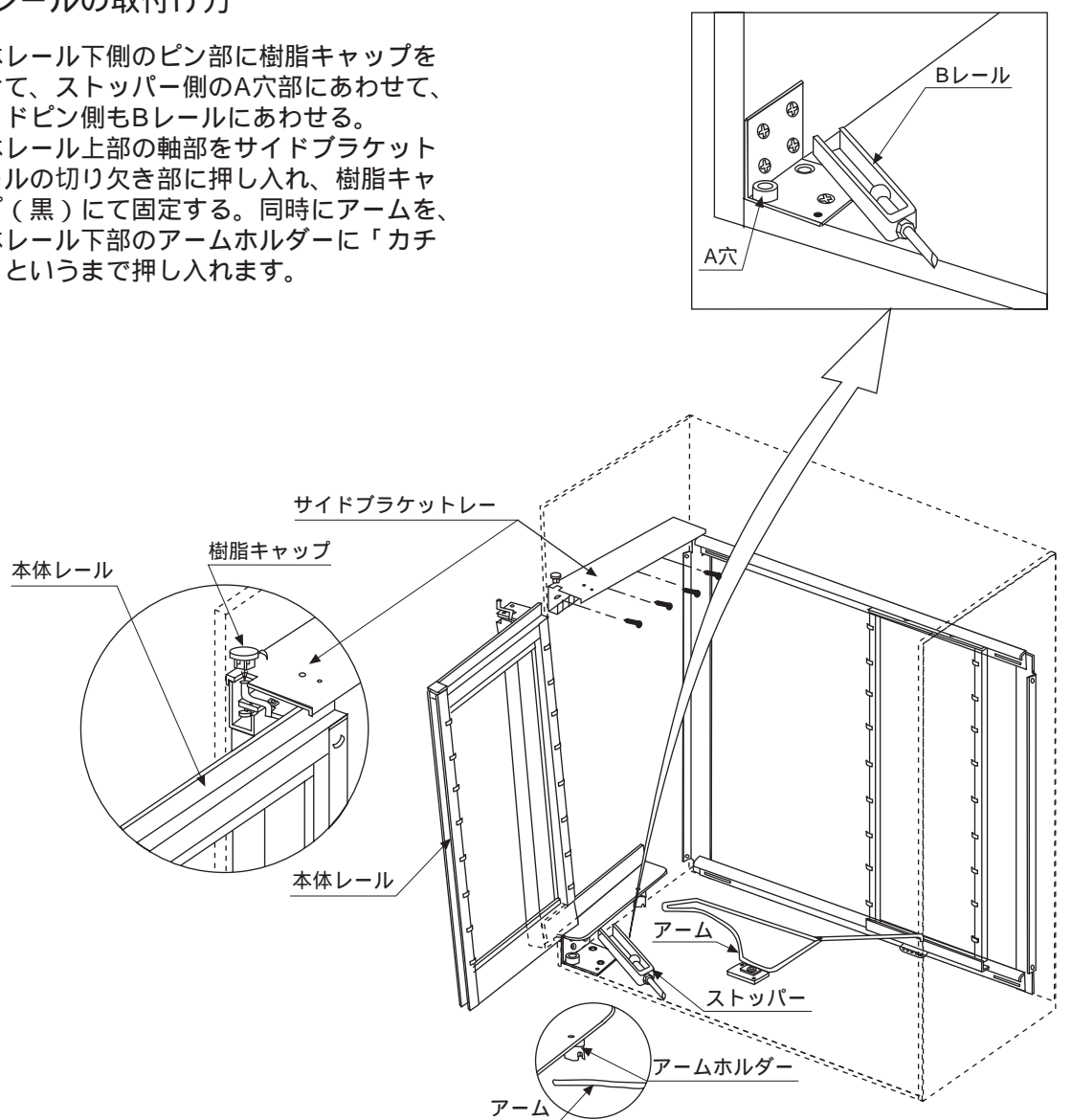


サイドブラケットレールの取付け方

- ・④サラ小ネジM4×10で4ヶ所固定する。
(下図参照)

本体レールの取付け方

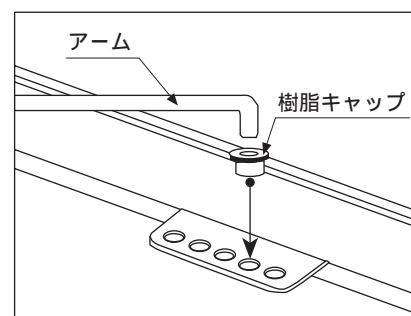
- ・本体レール下側のピン部に樹脂キャップを付けて、ストッパー側のA穴部にあわせて、ガイドピン側もBレールにあわせる。
- ・本体レール上部の軸部をサイドブラケットレールの切り欠き部に押し入れ、樹脂キャップ(黒)にて固定する。同時にアームを、本体レール下部のアームホルダーに「カチッ」というまで押し入れます。



図は R タイプを示す

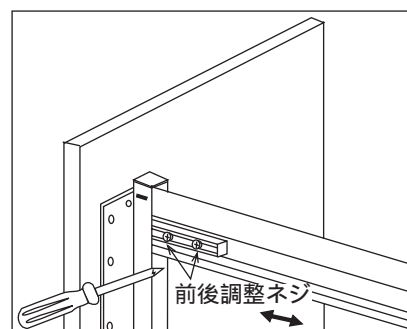
アームの固定方法

- ・アーム端部に付属の樹脂キャップを付け、スライドフレームの穴開け部の右側から2つ目に差し入れる。(Lタイプは対称)
(900・1050タイプ共通)



扉の取付け方

- ・フロントブラケットを扉の裏面より、⊕サラ小ネジ M4×10で14ヶ所止めます。
- ・本体レールをいっばいに押し込んでから、フロントブラケットを差し込み、前後調整ネジにて固定します。



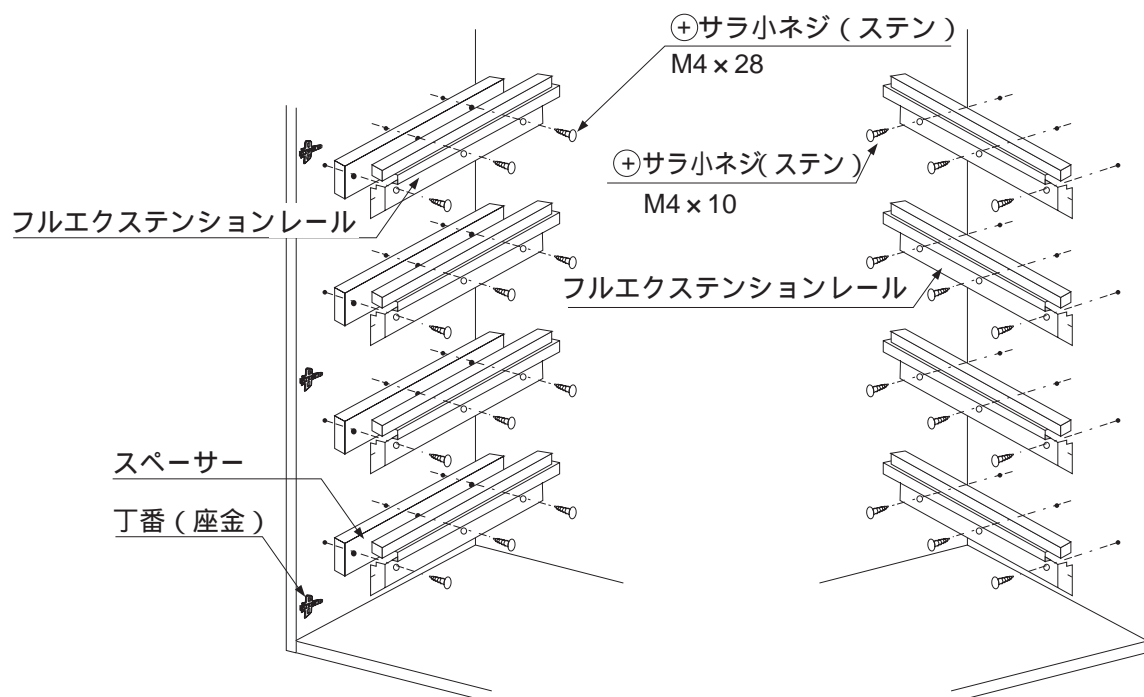
バスケットの取付け

- ・フロントバスケットとリアバスケットは、本体レール、スライドフレームのフックに確実に引っ掛けてください。

野菜ストッカーの取付け

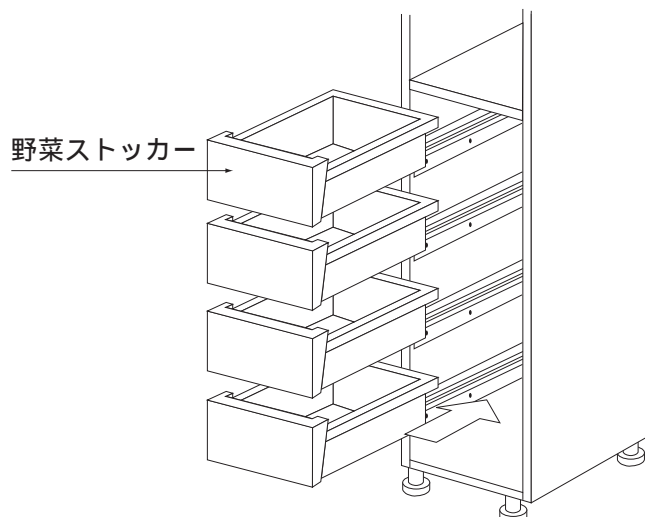
フルエクステンションレールの取付け

- ・丁番がついている側板にはフルエクステンションレールと側板の間に、スペーサーをはさみ、⊕サラ小ネジM4×28を使用してフルエクステンションレールを取付けます。
- ・丁番なしの側板には、⊕サラ小ネジM4×10を使用してフルエクステンションレールを取付けます。



野菜ストッカーの取付け

- ・野菜ストッカーを下から順に取付けます。

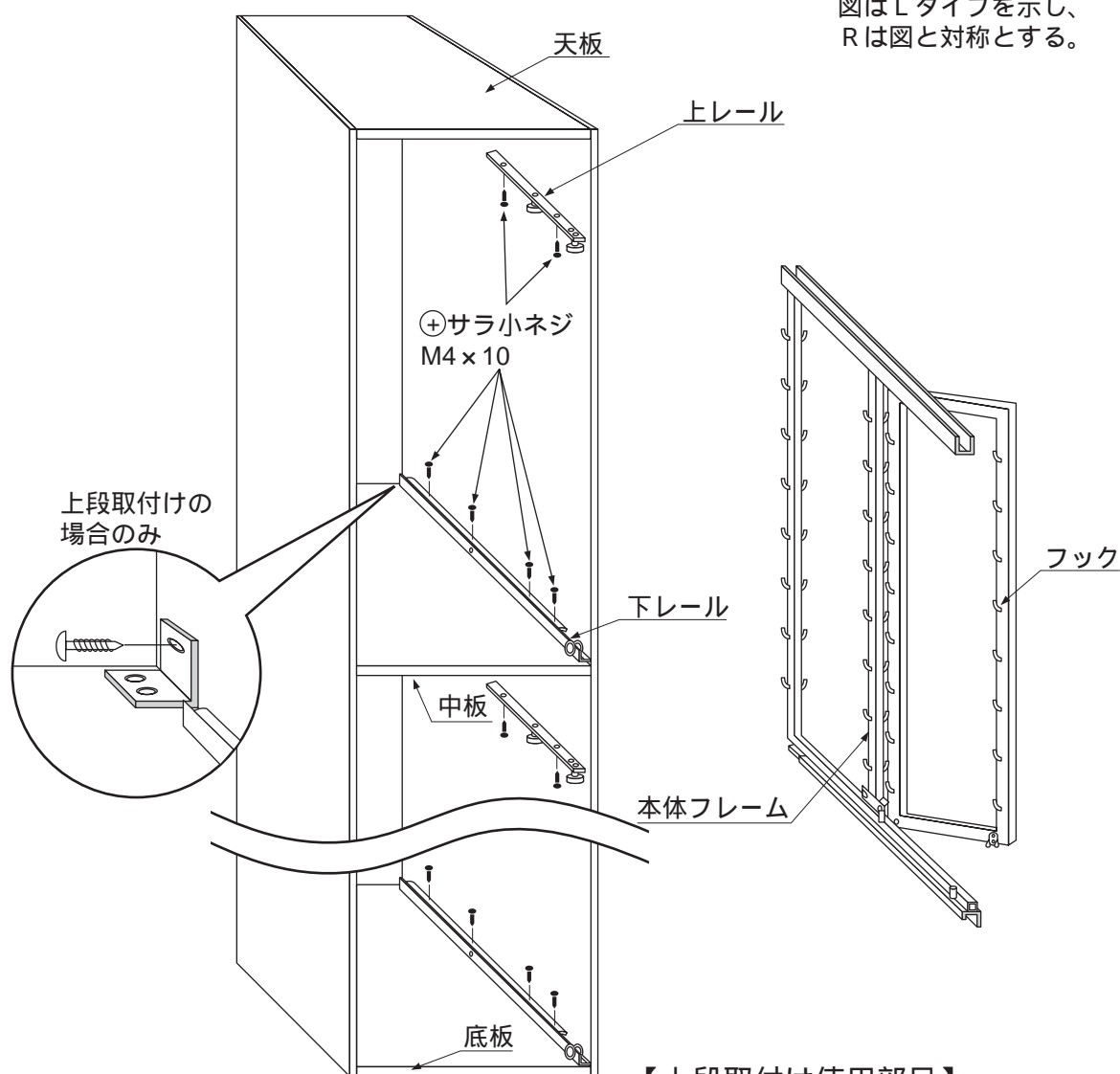


スライドスイングバスケットの取付け

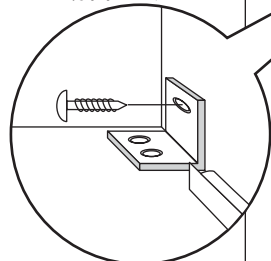
スライドスイングバスケットの取付け

- ・ユニットをすべて組立てた後にセットしてください。

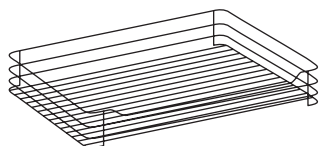
図はLタイプを示し、
Rは図と対称とする。



上段取付けの
場合のみ

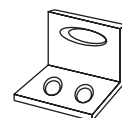


バスケット×8
(間口450・600タイプ用)



【上段取付け使用部品】

L型金具 25×22×25 - 1ヶ



④トラスタッピンネジ 3.5×12 - 1ヶ



【上段取付けの場合】

- ・天板と中板へ上レールと、下レールを④サラ小ネジM4×10にて固定してください。
(上レールは2ヶ所、下レールは4ヶ所)
- ・下レール側の奥側にL型金具を④トラスタッピンネジ3.5×12でユニットの側板に1ヶ所固定してください。
- ・本体フレームを下側より、下レールに差し入れ、上レール側をはめ込み、押し入れてください。
- ・バスケットを本体フレームのフックに確実に引っ掛けてください。

【下段取付けの場合】

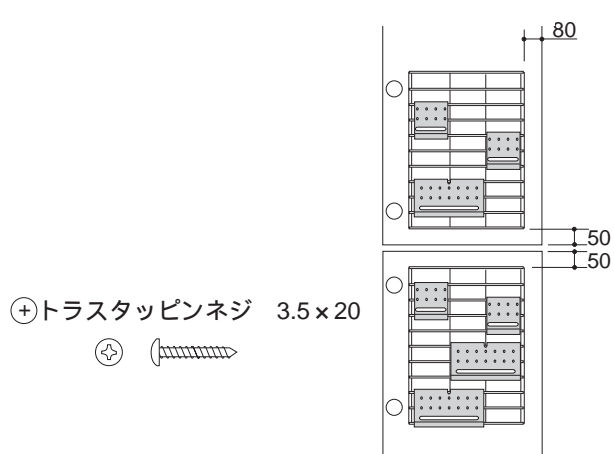
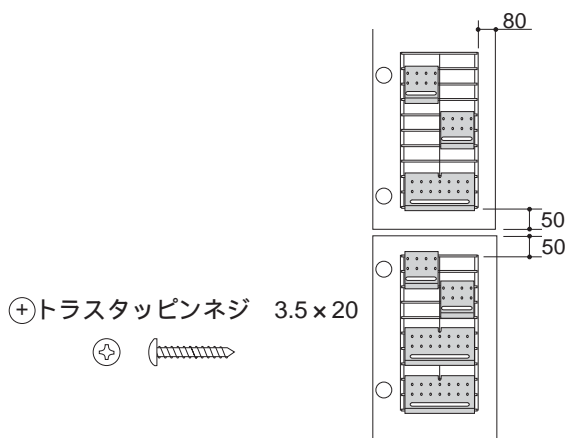
- ・中板と底板へ上レールと、下レールを④サラ小ネジM4×10にて固定してください。
(上レールは2ヶ所、下レールは4ヶ所)
- ・本体フレームを下側より、下レールに差し入れ、上レール側をはめ込み、押し入れてください。
- ・バスケットを本体フレームのフックに確実に引っ掛けてください。

ワイヤーハンガーとハンガーバスケットの取付け

- ・ 図中に示す寸法位置にワイヤーハンガーを取付けてください。
(図中寸法はワイヤーの端から扉の木口までの寸法を表します。)
- ・ ハンガーバスケットを図中に示すようにワイヤーハンガーに取付けてください。
- ・ ハンガーバスケットは自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。

扉間口450mm

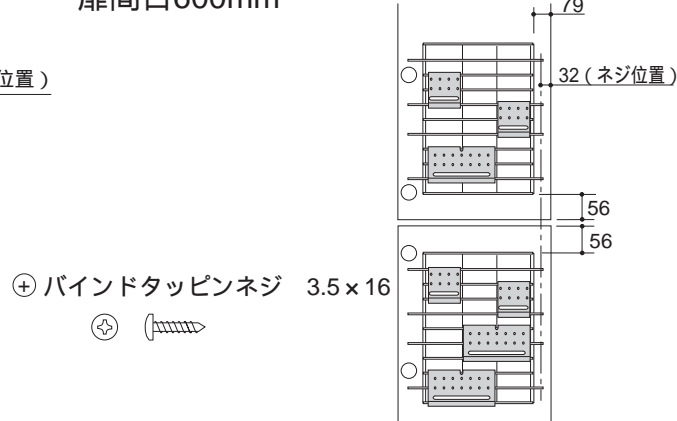
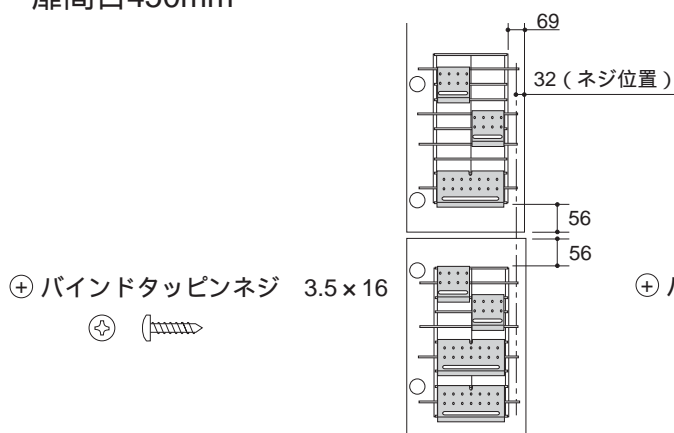
扉間口600mm



< メロの場合 >

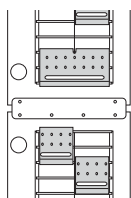
扉間口450mm

扉間口600mm



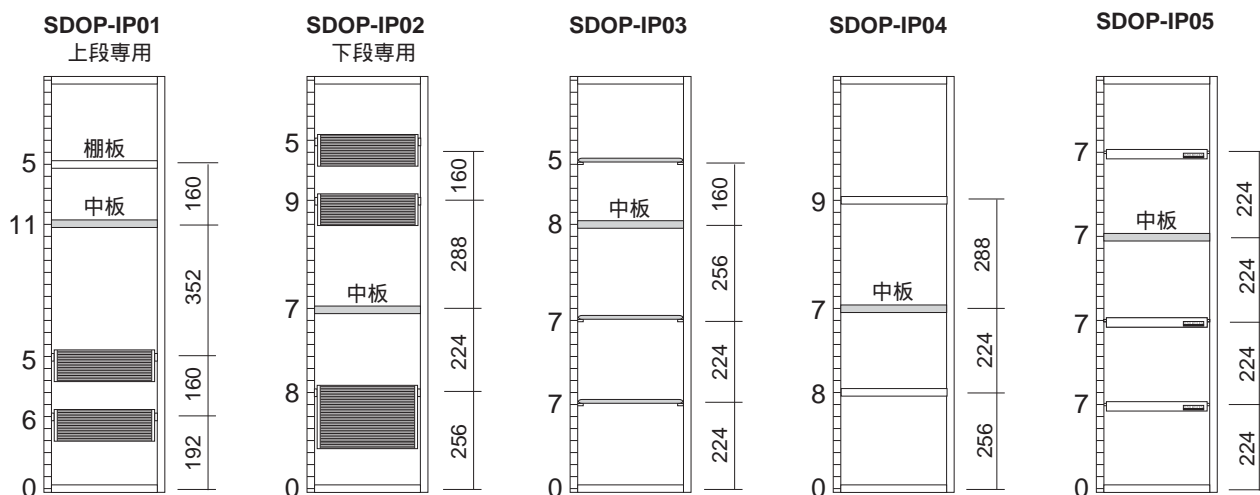
図はRを示し、Lは図と対称となります。
食品庫 W=900は観音開きのためR,Lはありません。
コーナーユニットのR,Lは他のユニットの扉開きと逆になります。

大型食品庫の場合扉の調整を行った後にジョイントプレートを使用して上下の扉を連結します。



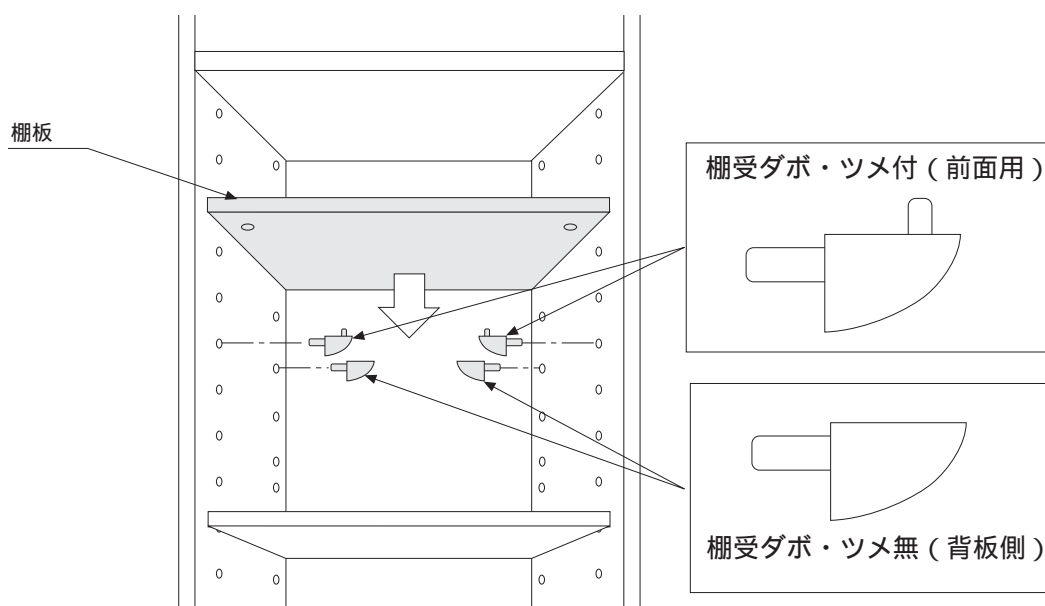
収納用インナーパーツ取付け位置図

SDOP-IP01,02以外は収納の上段、下段とも共通です。



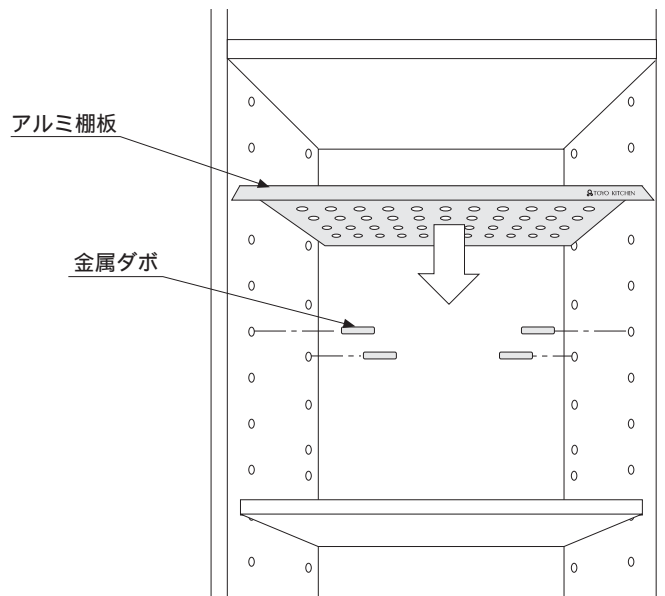
棚板の取付け

- ・コーナーユニット以外の棚板は、ユニットをすべて組立てた後にセットしてください。
- ・側板の任意の穴位置に棚受ダボ（色：グレイ）を差し込んでください。
取付け詳細は下図のように前面にツメ付きダボを差し込んで背板側はツメ無しを差し込んでください。
- ・棚板を棚受ダボに乗せてください。
- ・棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



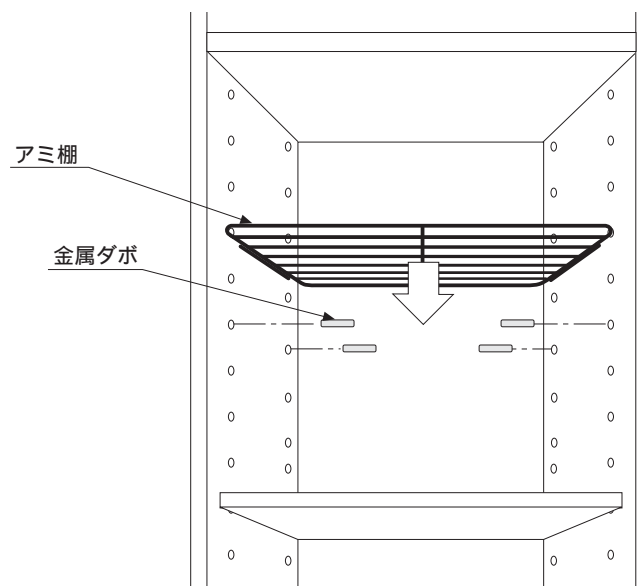
アルミ棚板の取付け

- ・ コーナーユニット以外のアルミ棚板は、ユニットをすべて組立てた後にセットしてください。
- ・ 側板の任意の穴位置に金属ダボを差し込んでください。
- ・ アルミ棚板を金属ダボに乗せてください。
- ・ アルミ棚板は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



アミ棚の取付け

- ・ 側板の任意の穴位置に金属ダボを差し込んでください。
- ・ アミ棚を金属ダボに乗せてください。
- ・ アミ棚は自由に移動できますので、使用用途に合わせてお使いください。



スチール製引出しの取付け

スチール製引出しレール（以下レール）の取付け

- ・側板にレール取付用の穴（ 5 ）を開け、インサートナットを打ち込んでください。
- ・扉丁番側のレールは右図のように 3 ヶ所とも金属スペーサーをユニットとの間にはさみ、⊕サラ小ネジ M4 × 30 で固定してください。

⊕サラ小ネジ M4 × 30

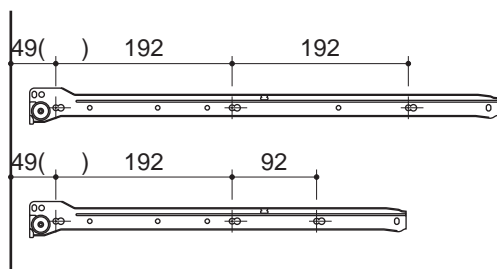


- ・扉開き側のレールは右図のように 3 ヶ所とも樹脂スペーサーをユニットとの間にはさみ、⊕サラ小ネジ M4 × 10 で固定してください。

⊕サラ小ネジ M4 × 10



レール取付位置



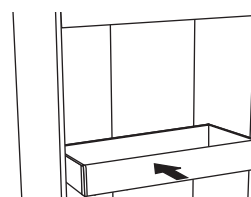
ドアポケットユニットの場合は、199mm で取付けてください。

引出しの取付け

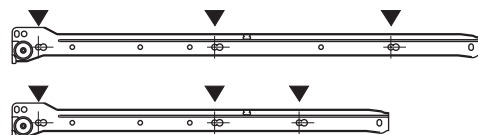
- ・引出しを少し斜めに持ち上げて、レールの位置に合わせて差し込み、中へゆっくりスライドさせます。

引出しを取り外すときは、逆の手順で行います。

引出しの出し入れが固い場合は、扉開き側の樹脂スペーサーを手前の 2 つ外してください。



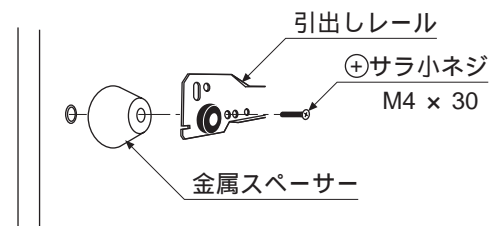
レール取付穴（丁番側、扉開き側共通）



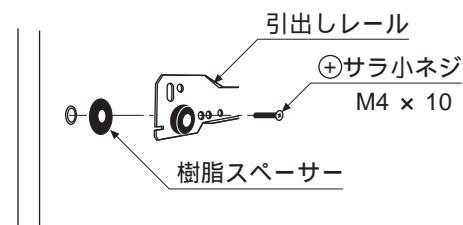
▼ 取付用穴

図は L を示す。R は対称です。

丁番側レール取付け



扉開き側レール取付け



引出しの出し入れが固い場合（扉開き側）

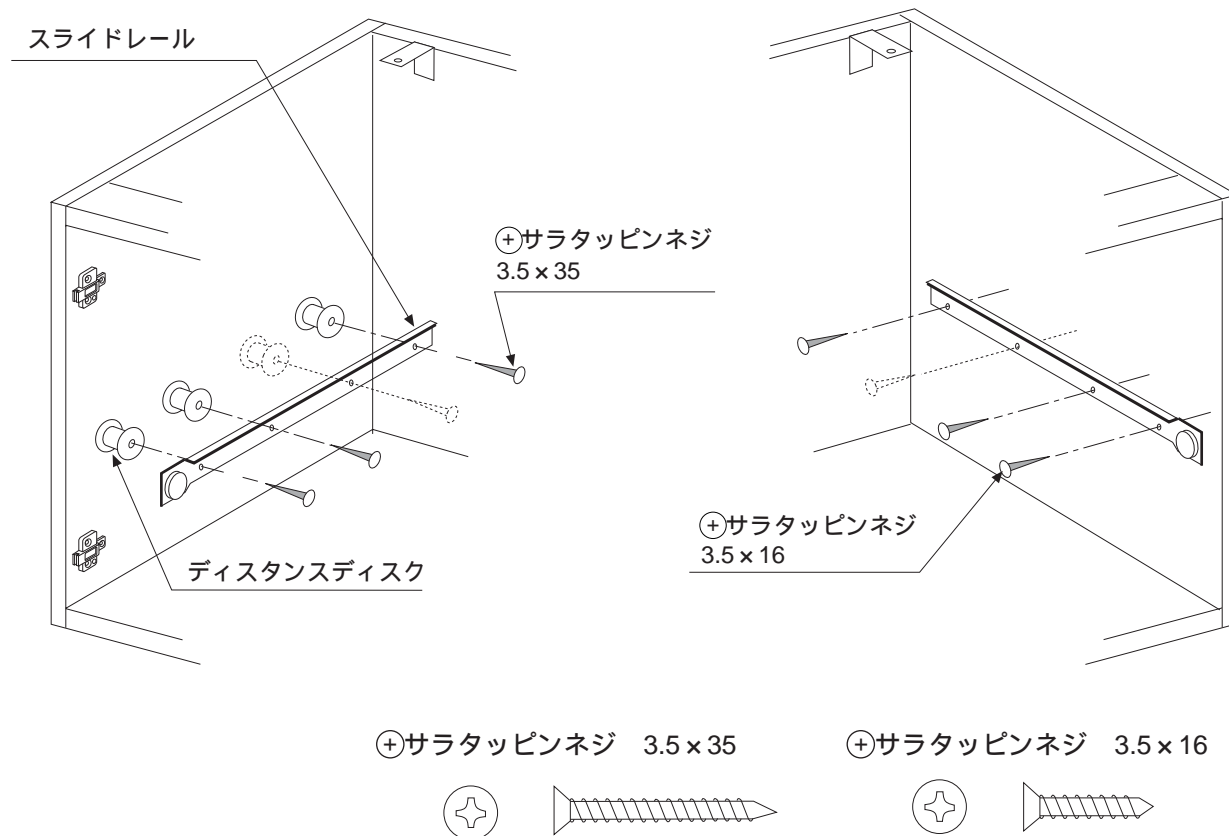


▼ 部分の樹脂スペーサーを外す

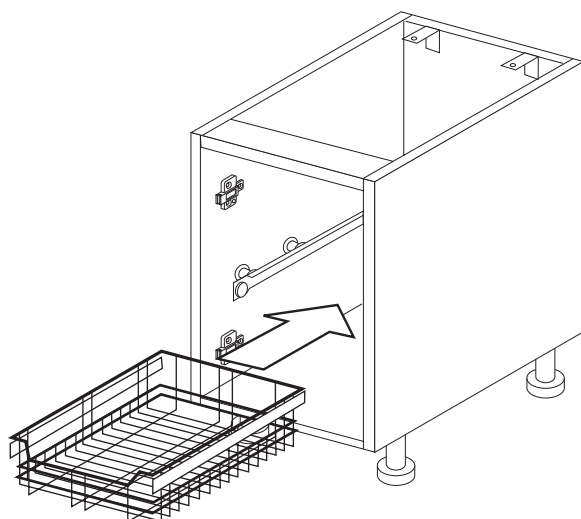
図は L を示す。R は対称です。

スライドアミカゴ (スライドボード) の取付け

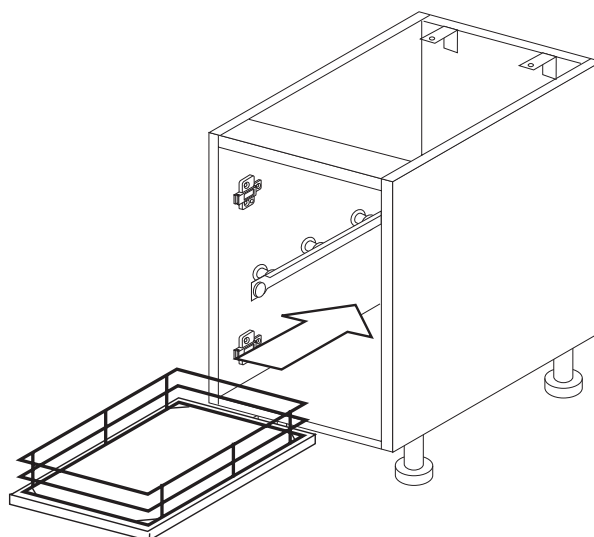
- ・スライドレールを指定位置に、丁番がついている側板には、側板とレールの間にディスタンスディスクをはさみ、④サラタッピンネジ3.5×35を使用し取付けます。丁番なしの側板には、④サラタッピンネジ3.5×16を使用し取付けます。
各3ヶ所固定します。(スライドボードは各4ヶ所固定)



- ・スライドアミカゴを取付けます。



- ・スライドボードを取付けます。

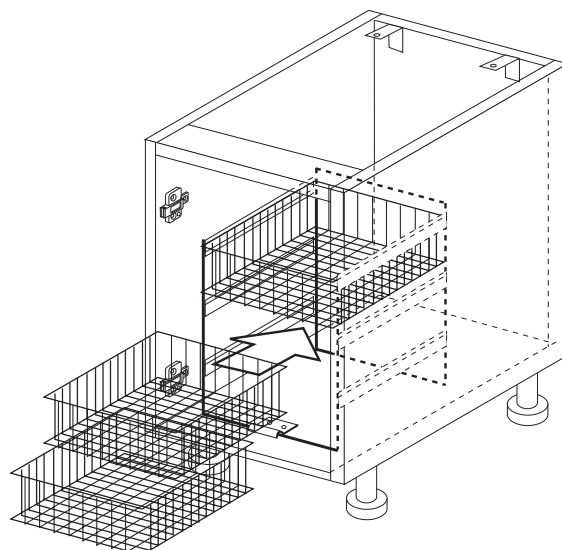
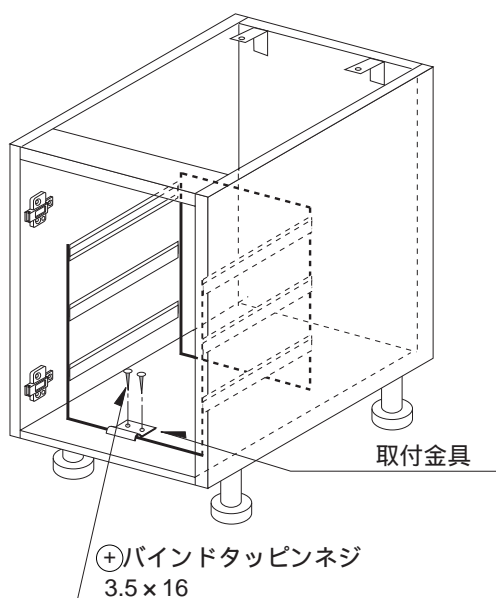
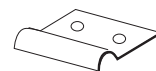


スライドバスケットの取付け

スライドバスケット (3段)

- ・取付金具を使用し、フレームを指定位置に固定してください。
 - ・カゴをフレームに差し込みます。
- (取付け位置は、オプションパーツの組み合わせ例を参照してください。)

取付金具

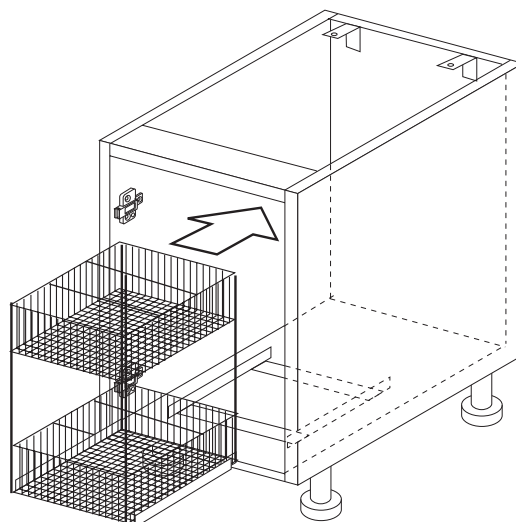
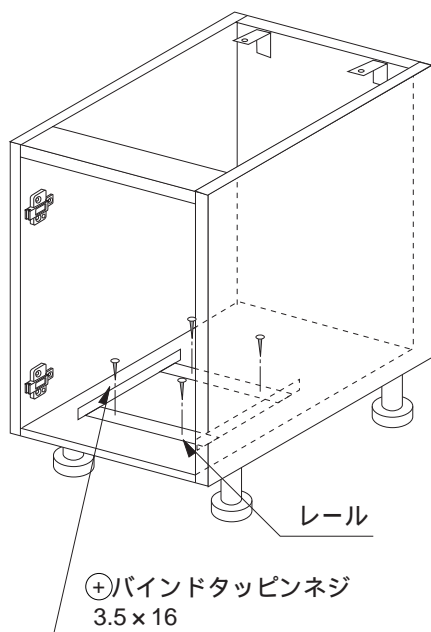


⊕ バインドタッピンネジ 3.5 x 16



スライドバスケット (2段) D=750用のみ

- ・レールを、指定位置に固定してください。
 - ・カゴをレールに差し込みます。
- (取付け位置は、オプションパーツの組み合わせ例を参照してください。)

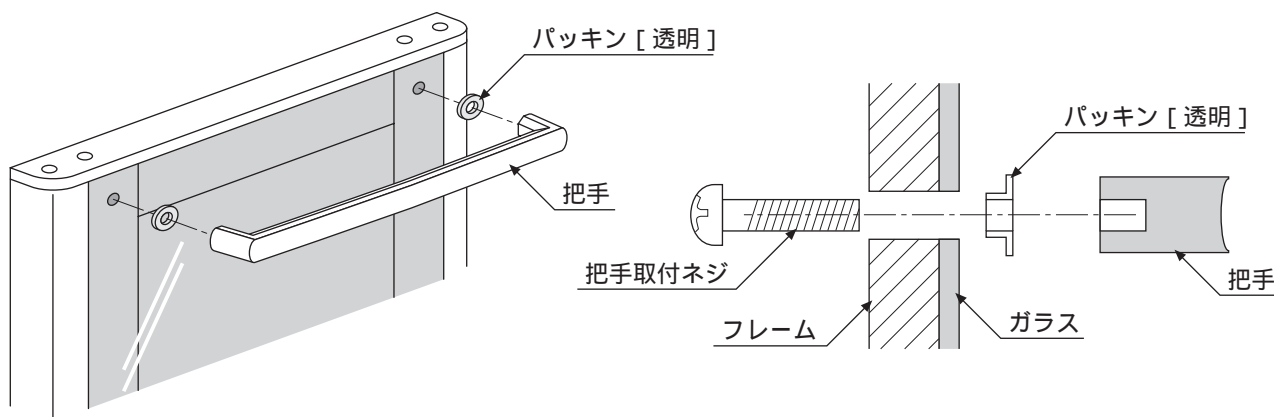


⊕ バインドタッピンネジ 3.5 x 16



ガラス扉の把手の取付け

- ・ガラス扉の把手を取付ける場合は、パッキン【透明】を使用します。

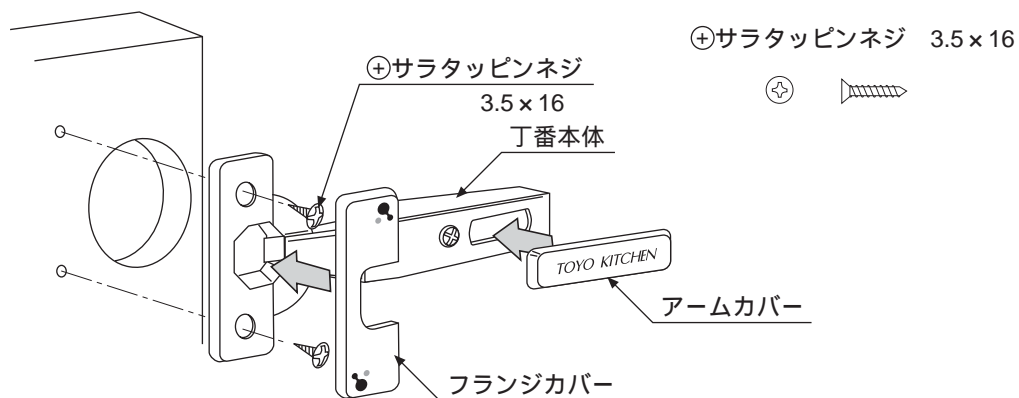


丁番の取付けと着脱

丁番の取付け

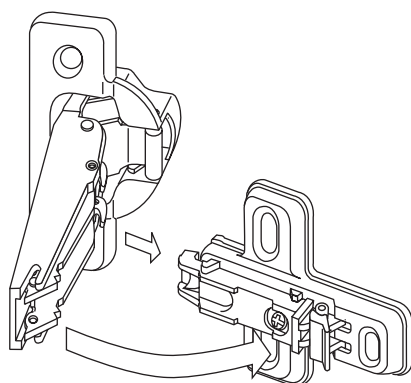
取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

- ・丁番本体を扉、フサギ板の下穴に合わせ、⊕サラタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。
- ・丁番を取付けた後、アームカバーとフランジカバーを取付けてください。

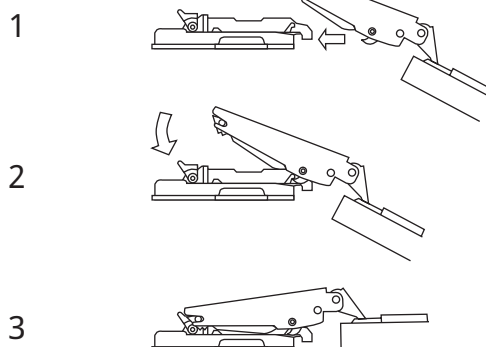


丁番の着脱

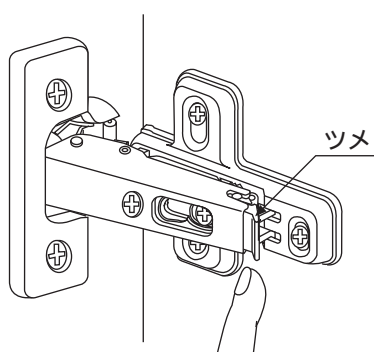
取付け方



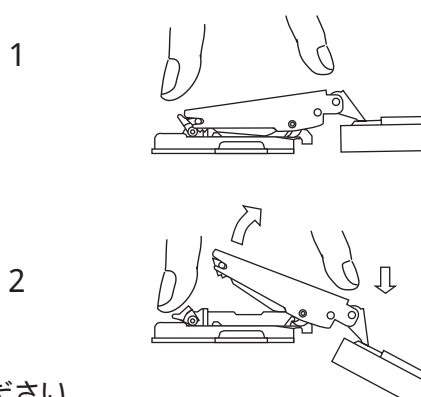
- ・上図に従って丁番本体を座金に取付けます。



外し方

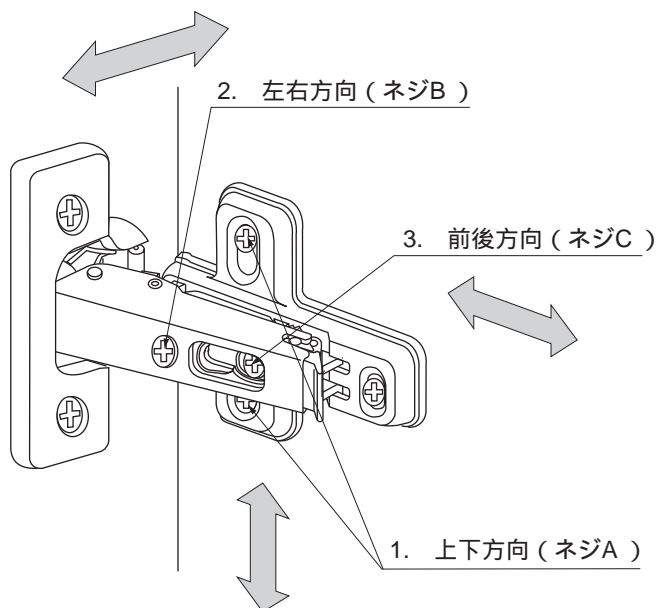


- ・丁番を外す場合は本体後部にある「ツメ」を押してください。



扉（丁番）の調整

調整方法



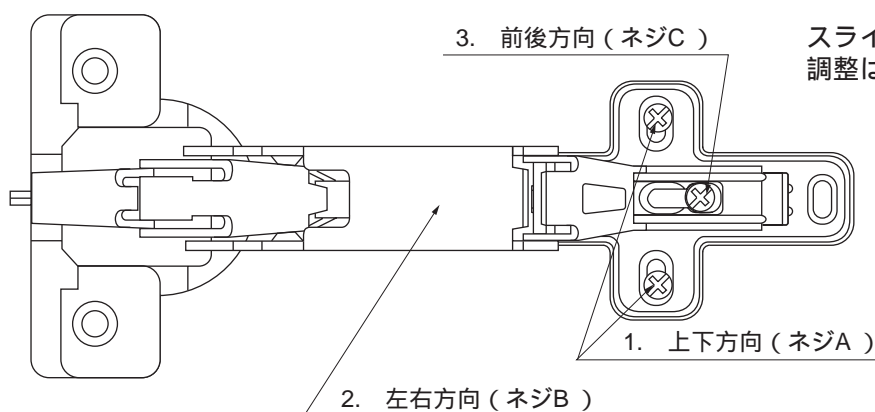
調整は、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用
して行ってください。

調整を行う前に、アームカバーとフランジカバー
を外してください。（P110、丁番の取付けを
参照）

調整を行う場合、1. 上下方向 2. 左右方向
3. 前後方向の順番で行ってください。

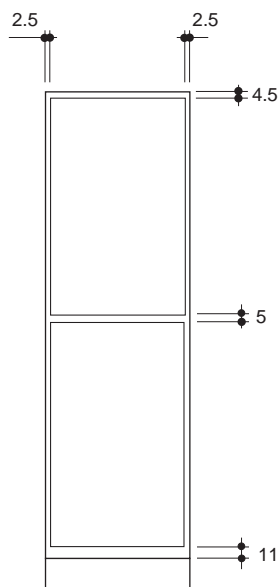
1. 上下方向
 - ・座金のネジAをゆるめ上下の位置を定め固定
します。
2. 左右方向
 - ・ネジBで調整します。
3. 前後方向
 - 前後方向は基本的には動かしません。

（スライド丁番165°・全カブセタイプ）



スライド丁番165°全カブセタイプの
調整は扉を90°開いた状態で行います。

・目地を下図の寸法に合わせ調整してください。

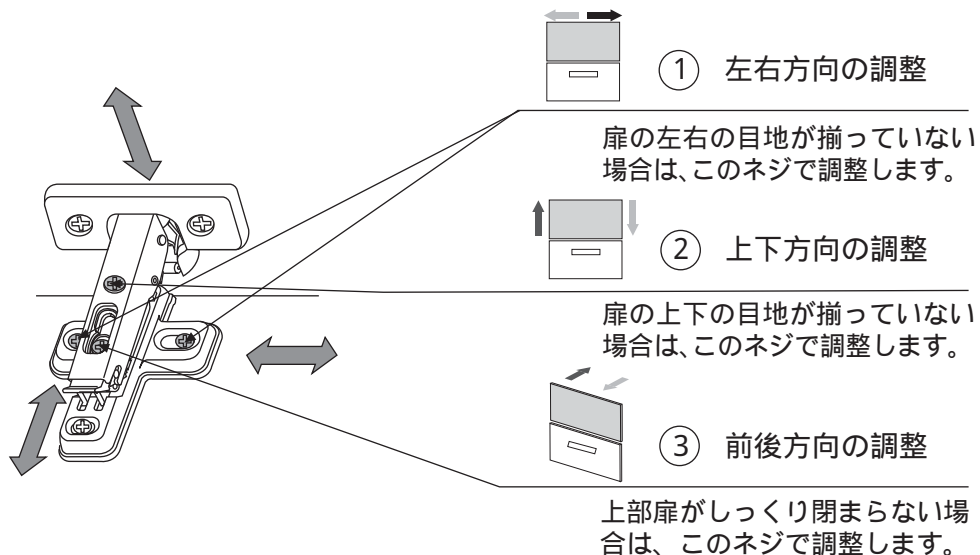


扉の調整（リフティングドアウォールユニット）

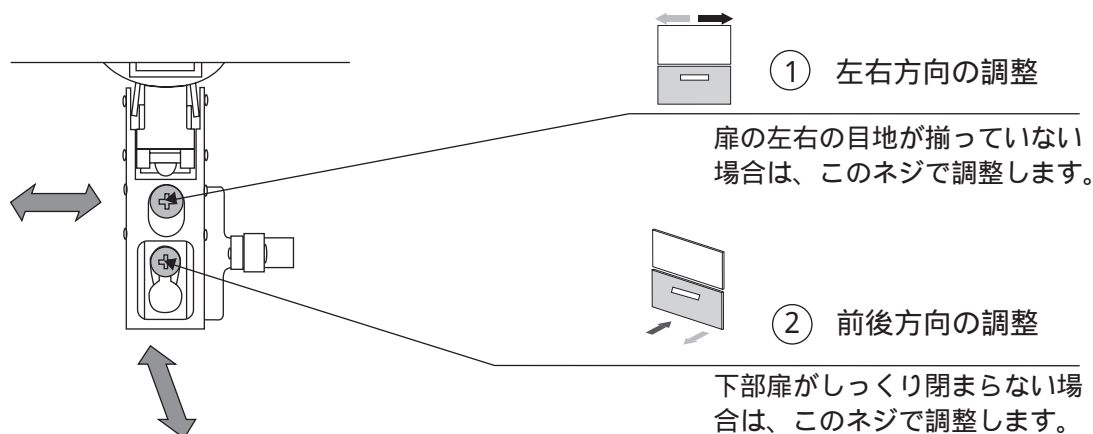
調整は、トルク9kgf以下で、+ドライバーを使用して行ってください。

[上部扉の調整]

上部扉の調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください（P110、丁番の取付けを参照）



[下部扉の調整]



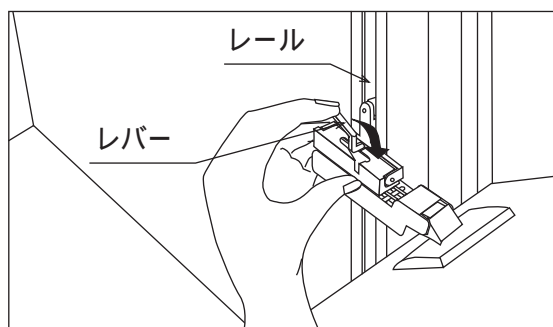
扉（丁番）の調整は、上部扉と下部扉のバランスをとりながら行ってください。
扉の開閉時に、扉が本体パッキンに当たらないよう、前後方向の調整を行ってください。

扉の外し方（リフティングドアウォールユニット）

1. 扉を半分ぐらい開けた状態でスライディングブロックのレバーを起し、ロックを解除します。

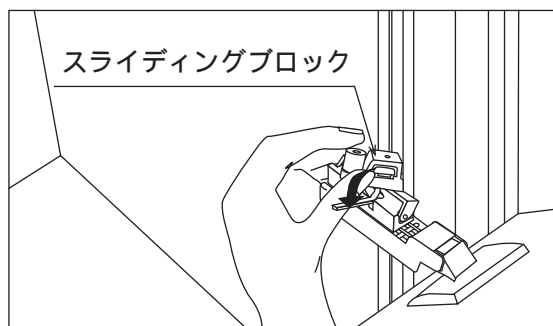
（図 1）

図 1



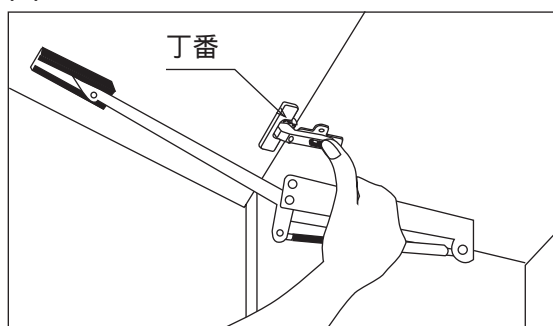
2. レバーを内側へ倒し、スライディングブロックをレールから外します。その際に、下部扉をしっかりと持って行ってください。スライディングブロックを外すと、下部扉が勢いよく外れ、ケガをする恐れがあります。（図 2）

図 2



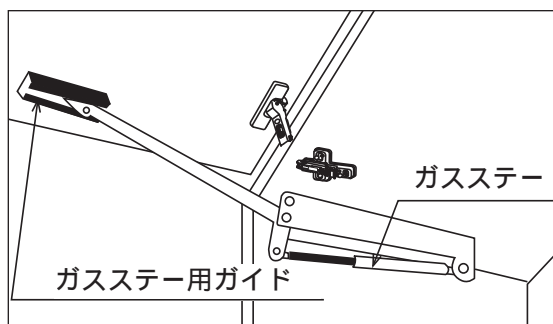
3. 上部扉を持ちながら、丁番を外します。（図 3）
（P110、丁番の着脱の「外し方」を参照）

図 3



4. ガスステー用ガイドから、ガスステーを外します。（図 4）

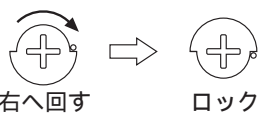
図 4



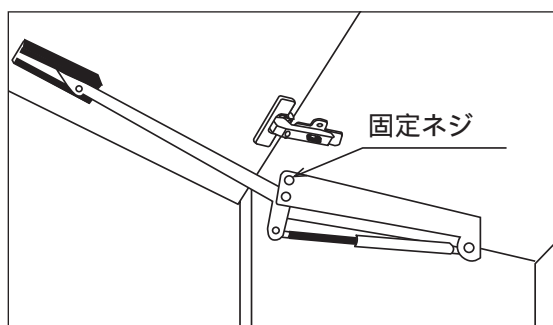
扉を取付ける場合は、上記「扉の外し方」の手順を逆から行ってください。

ガスステーがロックされているか確認してください。ロックされていない場合は、固定ネジを回してロックしてください。

左側にガスステーが付く場合



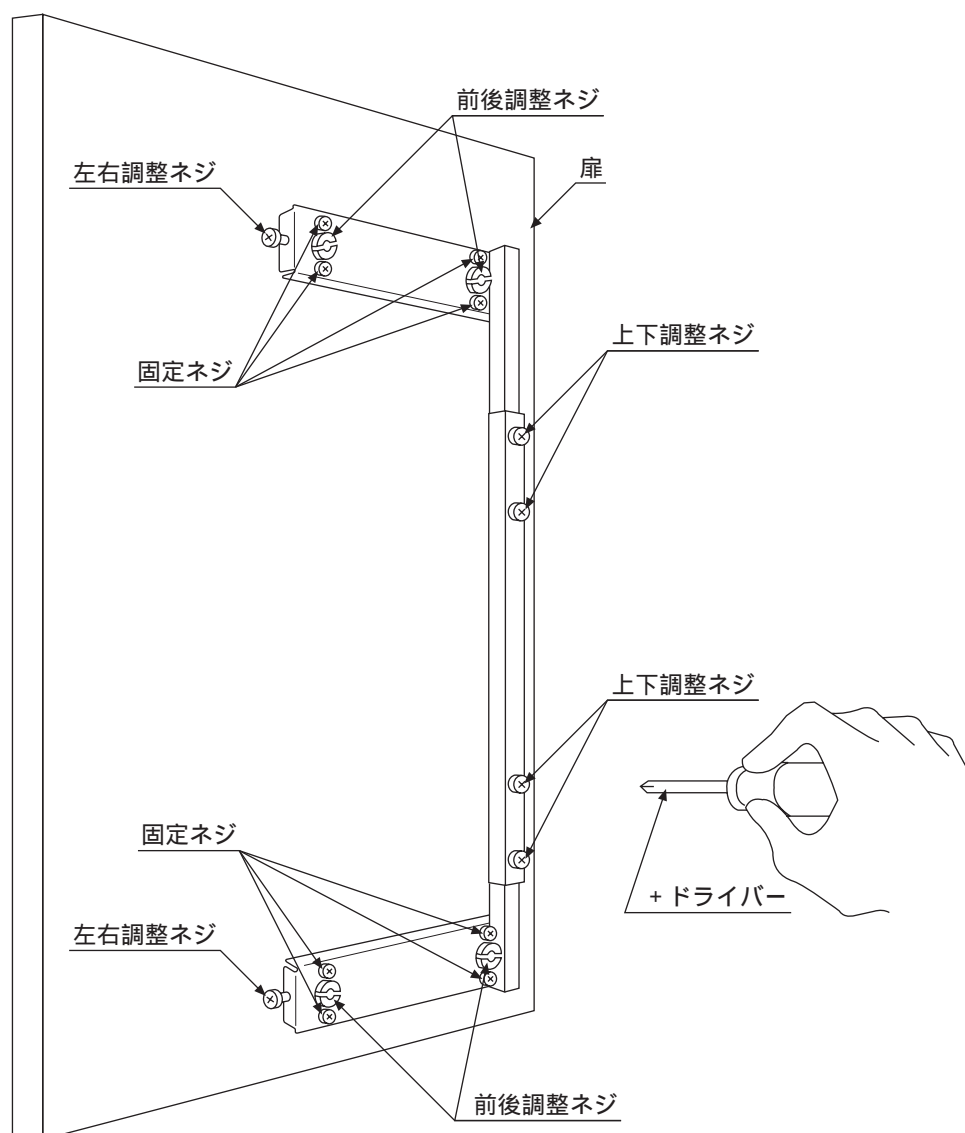
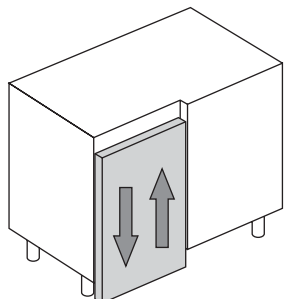
右側にガスステーが付く場合



【フロアユニットの場合】

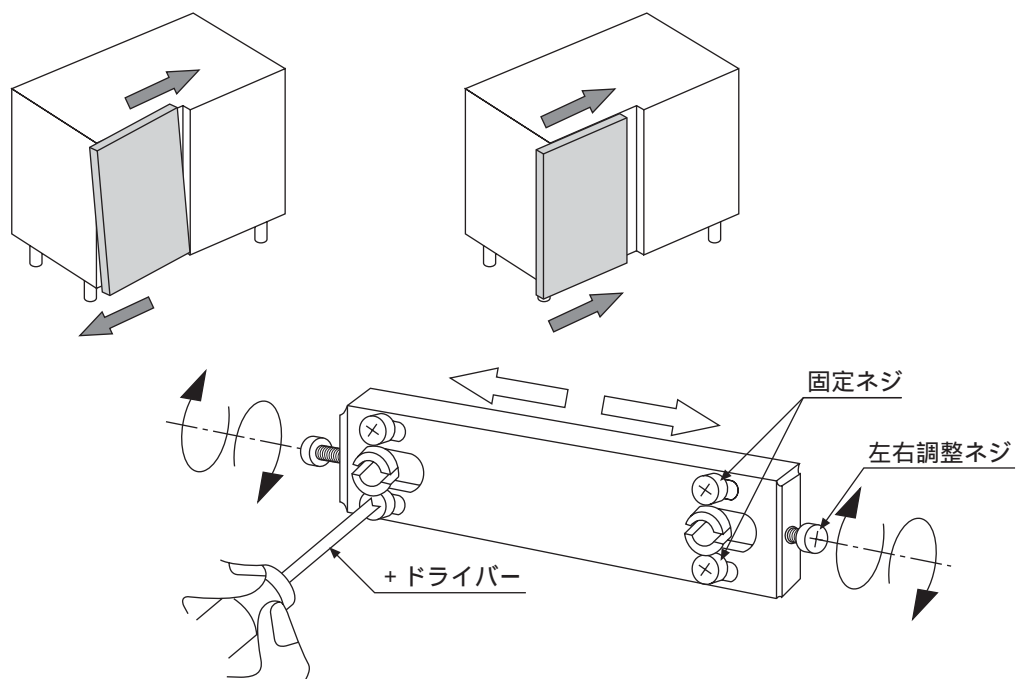
上下方向の調整

- ・ 上下調整ネジを 4 本ともゆるめます。(注：上下調整ネジは外さないでください。)
- ・ 扉を上下に移動させ、扉の上下方向を調整します。
- ・ 調整が終わりましたら、上下調整ネジを全て締め付けて固定します。



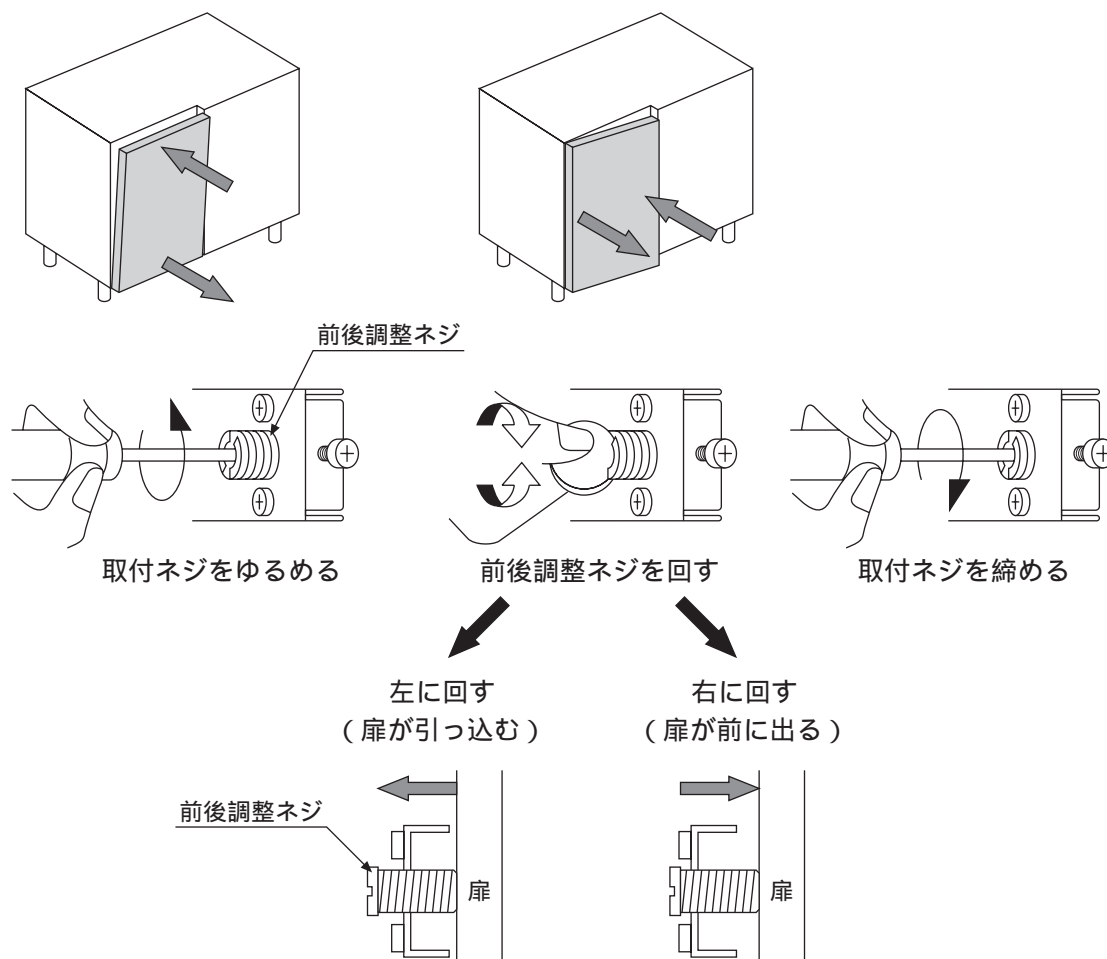
左右方向の調整

- ・ 固定ネジを4本ともゆるめめます。(注: 固定ネジは外さないでください。)
- ・ 左右調整ネジを回して、扉の左右方向の調整をします。
- ・ 調整が終わりましたら、固定ネジを全て締め付けて固定します。

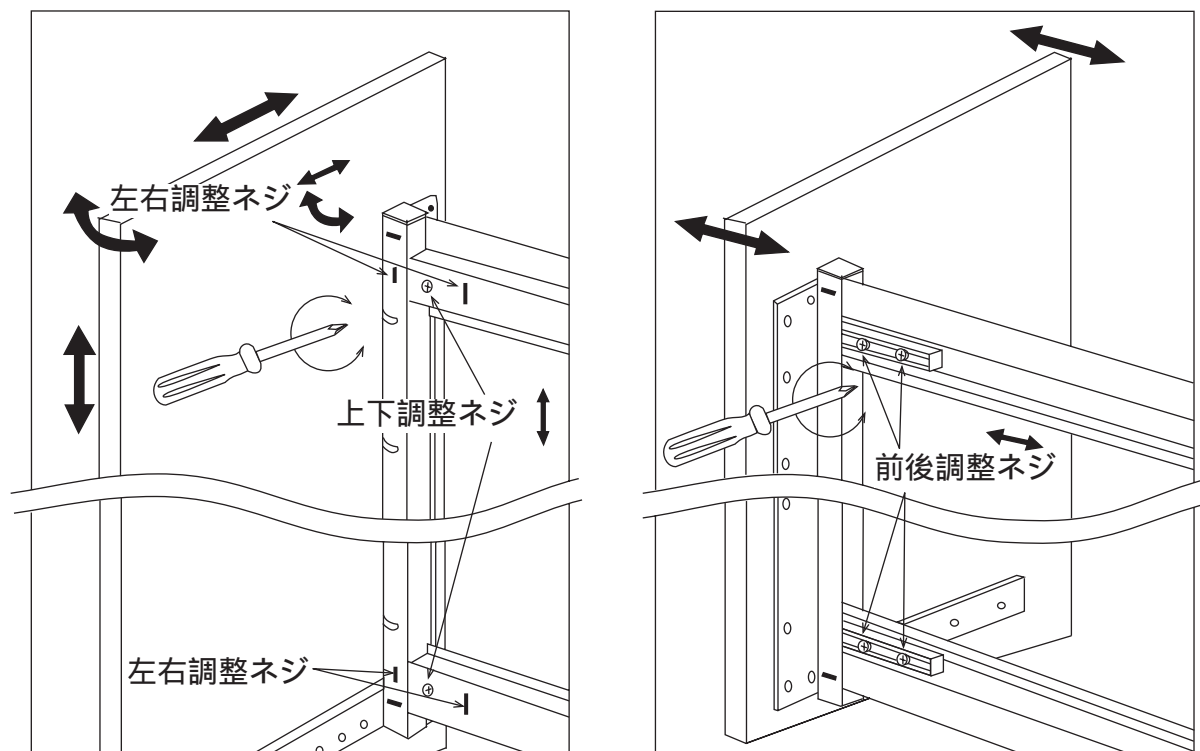


前後方向の調整

- ・ 前後調整ネジの穴にある取付ネジをゆるめめます。(注: 取付ネジは外さないでください。)
- ・ 前後調整ネジをコイン等で回して、扉の前後方向の調整をします。
- ・ 調整が終わりましたら、取付ネジを全て締め付けて固定します。



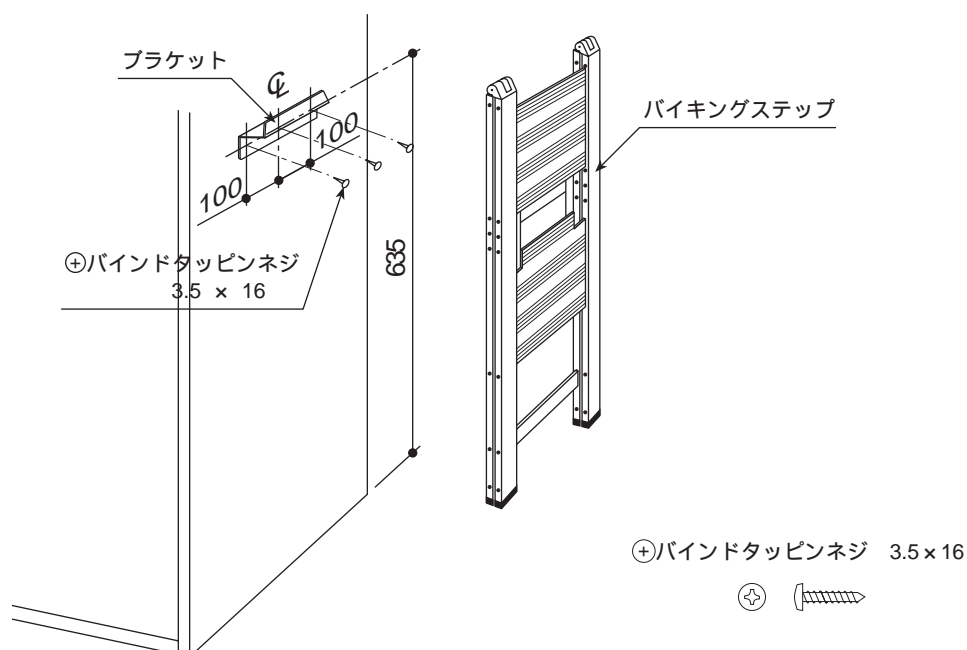
【収納ユニットの場合】



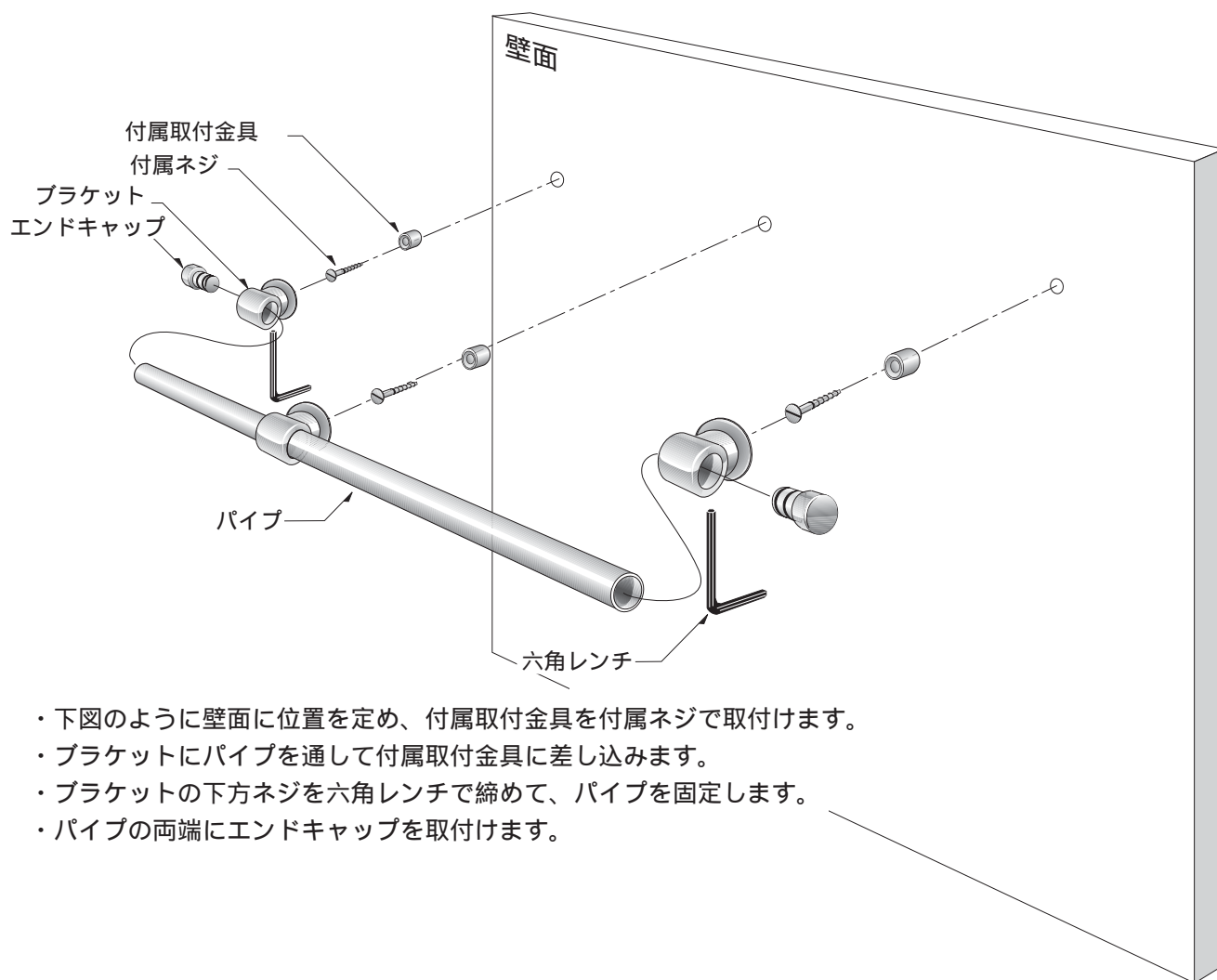
1. 前後調整ネジをゆるめます。（注：前後調整ネジは外さないでください。）
2. 上下調整ネジを上下 2 本ともゆるめます。（注：上下調整ネジは外さないでください。）
3. 扉の前後・高さを任意に調整します。
4. 上下調整ネジをかるく固定します。
5. 左右調整ネジを上下 4 本で扉の傾きと左右の調整をします。
6. 前後調整ネジと上下調整ネジをしっかり固定します。

バイキングステップの取付け（フロアユニット・収納共通）

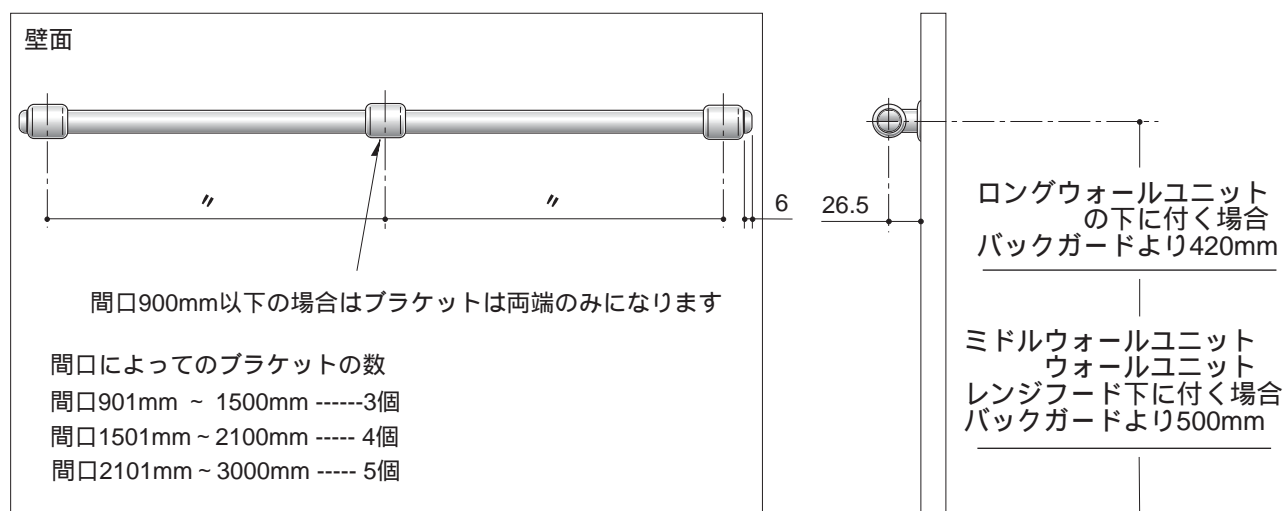
- ・ ブラケットを⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 にて、側板の指定位置に取付けてください。
- ・ 取付けたブラケットにバイキングステップを引っ掛けます。



パイラックパーツの取付け



- ・下図のように壁面に位置を定め、付属取付金具を付属ネジで取付けます。
- ・ブラケットにパイプを通して付属取付金具に差し込みます。
- ・ブラケットの下方ネジを六角レンチで締めて、パイプを固定します。
- ・パイプの両端にエンドキャップを取付けます。

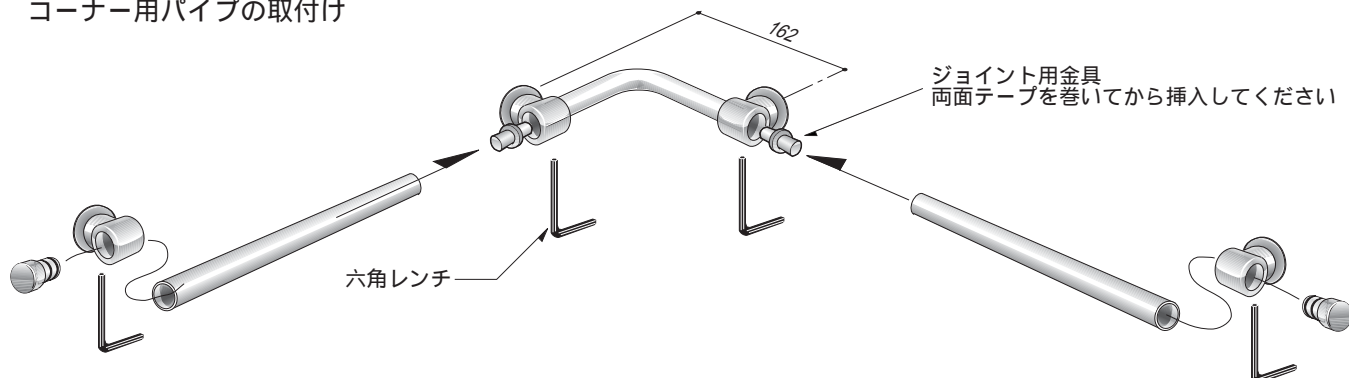


注意 !!

中間ブラケットの位置は基本的に均等割ですが、間口によっては均等割にすると使用できないラックが出てきますので、選んだラックの種類により中間ブラケットの位置を考慮してください。
 またブラケット間最大寸法は900mmまでです。

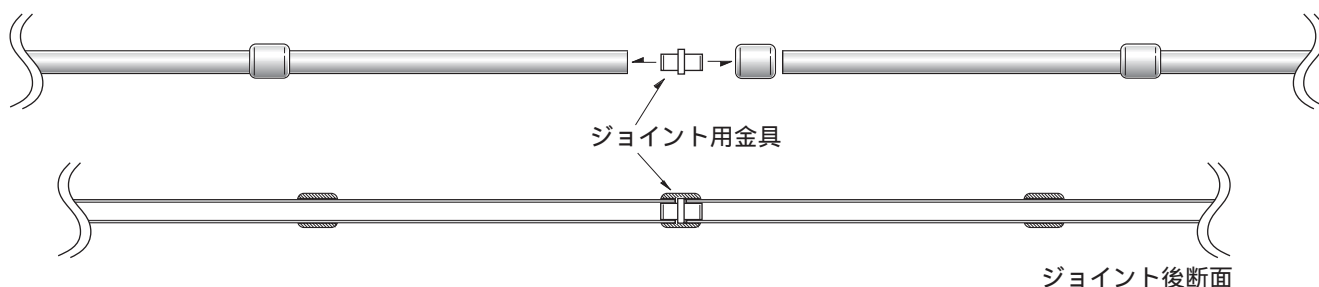
パイプラックパーツの取付け（コーナー用）

コーナー用パイプの取付け

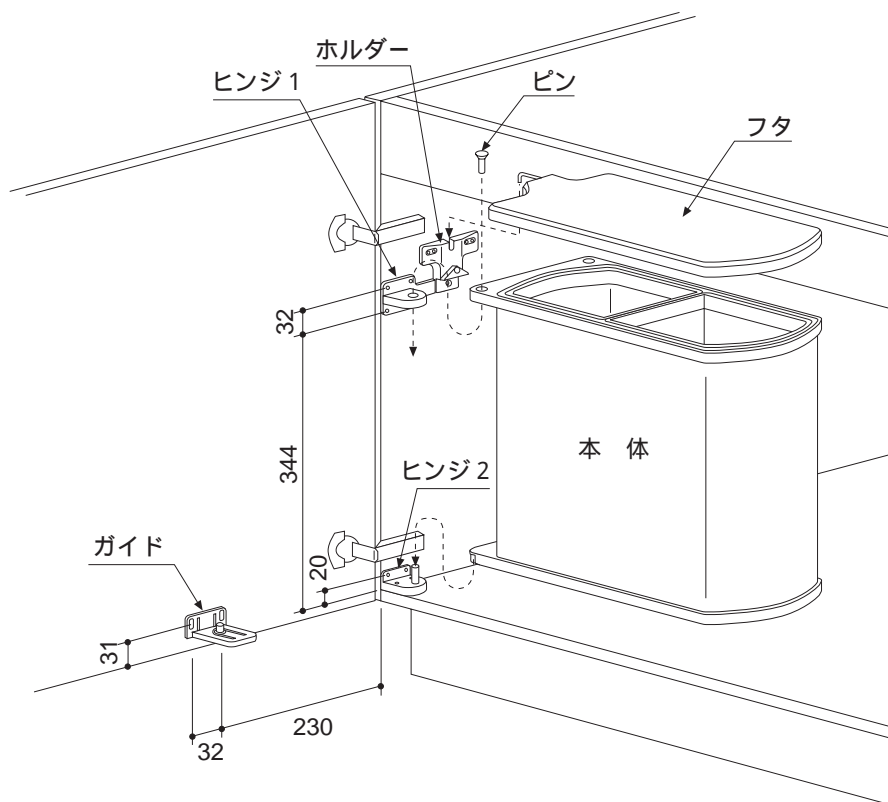


- ・イモネジを六角レンチで締めて、コーナー用パイプを固定します。
(コーナー用パイプにつながる側の直線パイプの固定はジョイント用金具に差し込むだけです。)
- ・コーナー用パイプと直線パイプをつなぎ、ブラケットを通します。そして壁面に固定した付属取付金具にブラケットを固定した後、パイプとブラケットの固定をすると施工が簡単です。

パイプとパイプをジョイントする（直線パイプの延長）



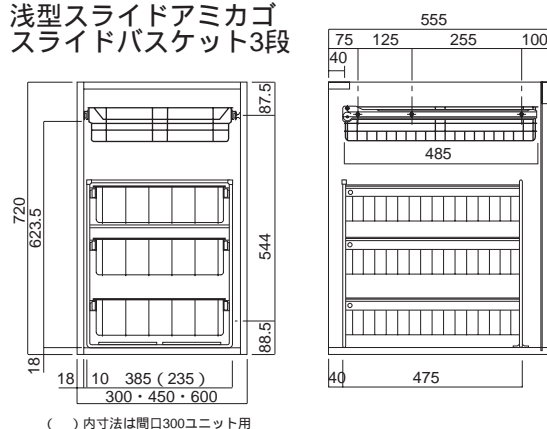
ダストカンの取付け



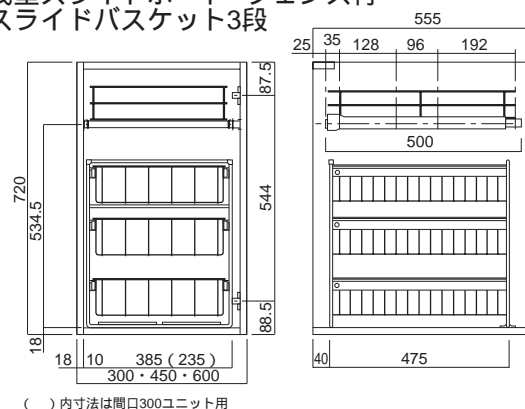
1. 図の位置にヒンジ 1・ヒンジ 2 を取付けます。
2. 図の位置にガイドを取付けます。
3. 図の位置にホルダーを取付け、フタを差し込み抜け止めのネジで固定します。
4. 本体をヒンジ 2 へ乗せながらガイドに付いているピンを本体底の溝に入れ、ヒンジ 1 へピンを差し込みます。

高さ **820 [870]**mm

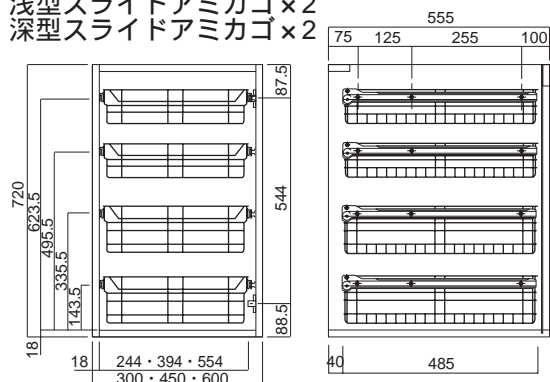
浅型スライドアミカゴ
スライドバスケット3段



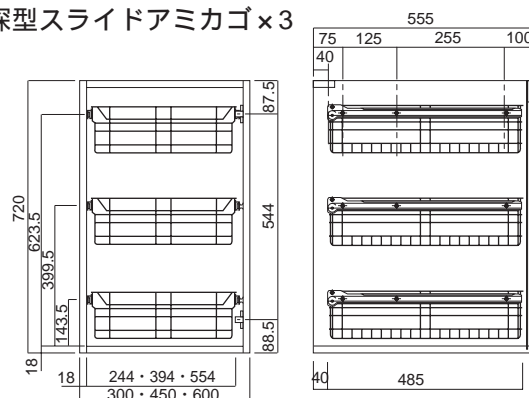
浅型スライドボード フェンス付
スライドバスケット3段



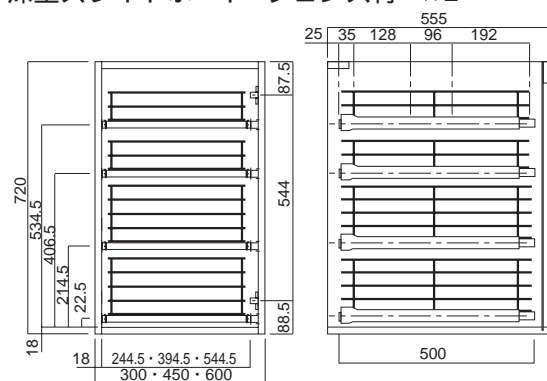
浅型スライドアミカゴ×2
深型スライドアミカゴ×2



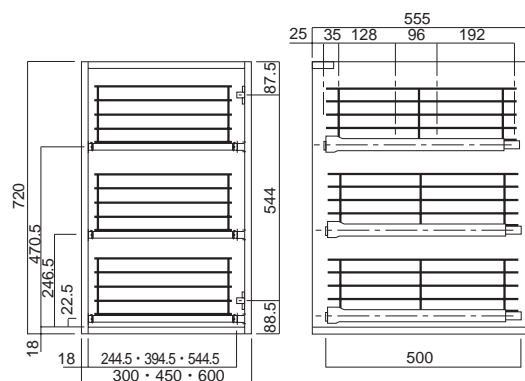
深型スライドアミカゴ×3



浅型スライドボード フェンス付 ×2
深型スライドボード フェンス付 ×2

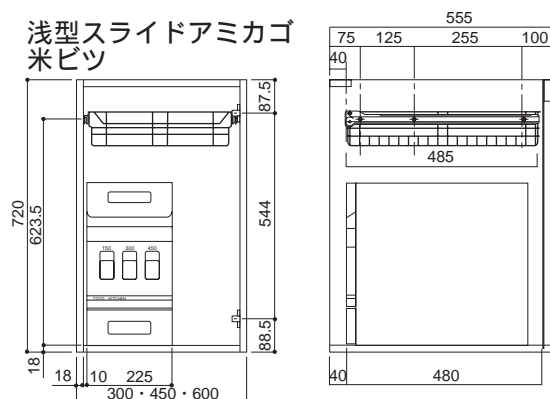


深型スライドボード フェンス付 ×3

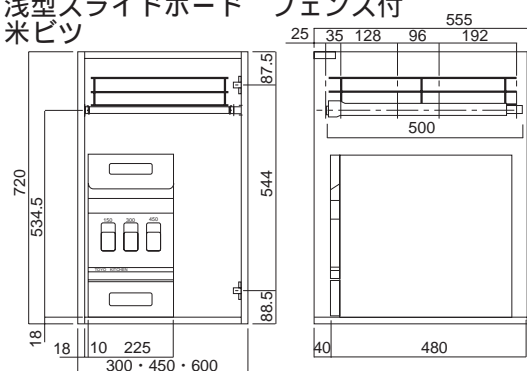


高さ **820 [870]**mm

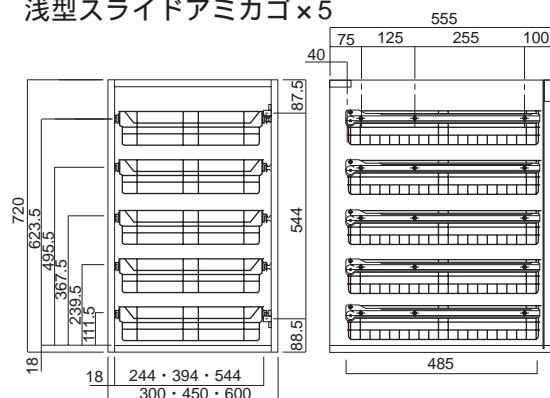
浅型スライドアミカゴ
米ビツ



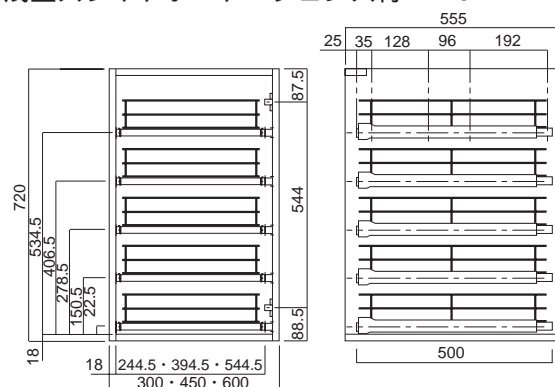
浅型スライドボード フェンス付
米ビツ



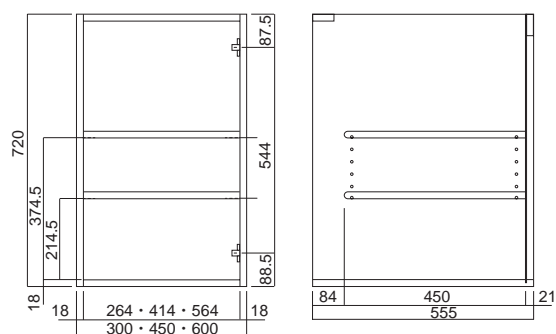
浅型スライドアミカゴ×5



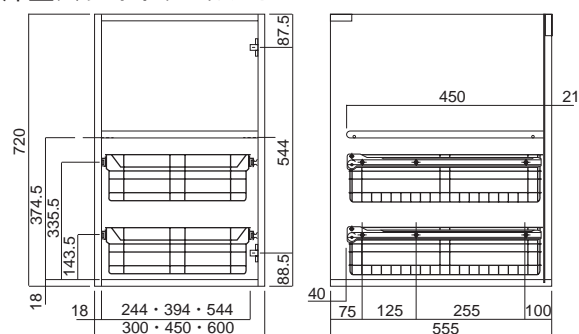
浅型スライドボード フェンス付 ×5



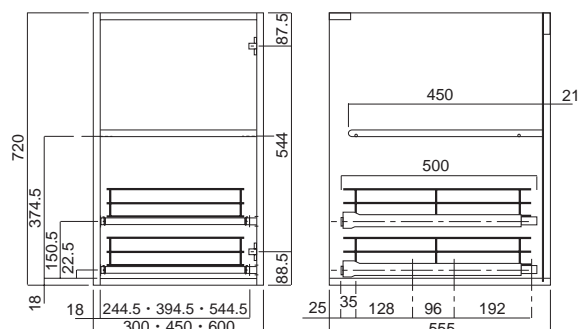
棚板×2



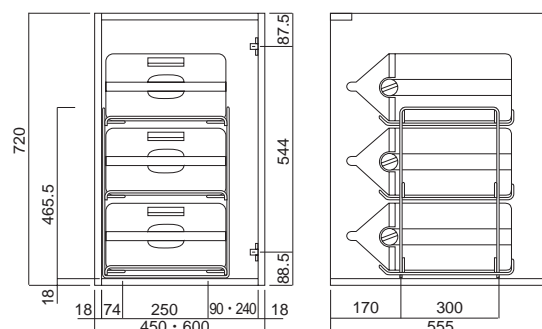
棚板
深型スライドアミカゴ×2



棚板
浅型スライドボード フェンス付 ×2

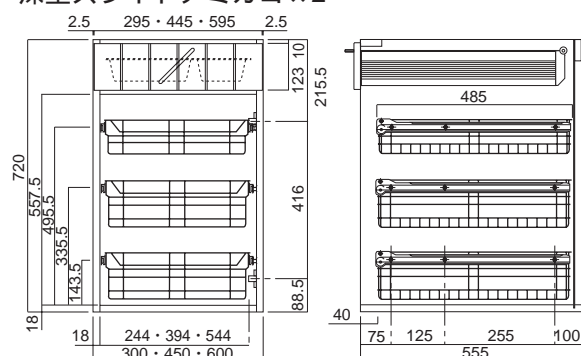


ダストボックス3段

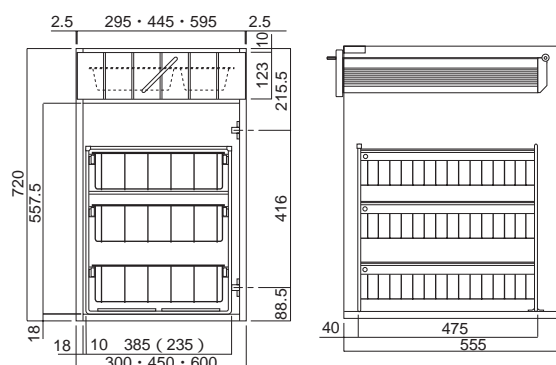


高さ **820 [870]**mm

インナートレイ・浅型スライドアミカゴ
深型スライドアミカゴ×2

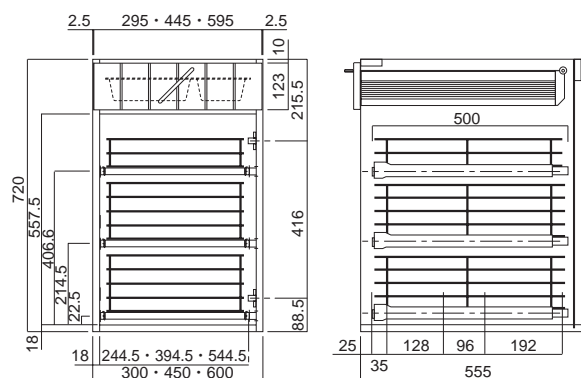


インナートレイ・スライドバスケット3段

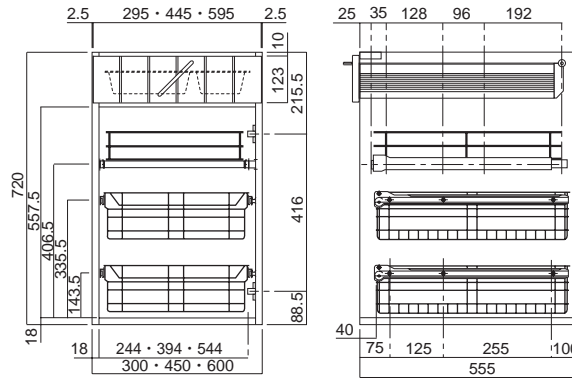


() 内寸法は開口300ユニット用

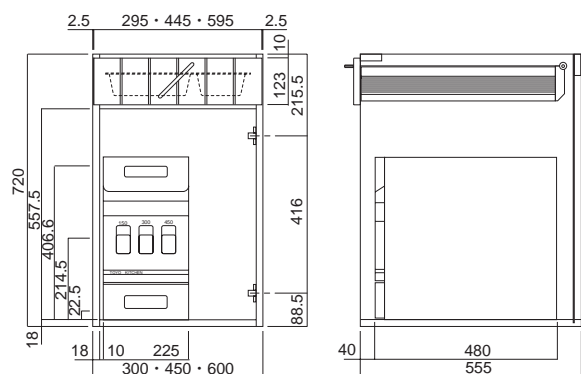
インナートレイ・浅型 スライドボード フェンス付
深型 スライドボード フェンス付 ×2



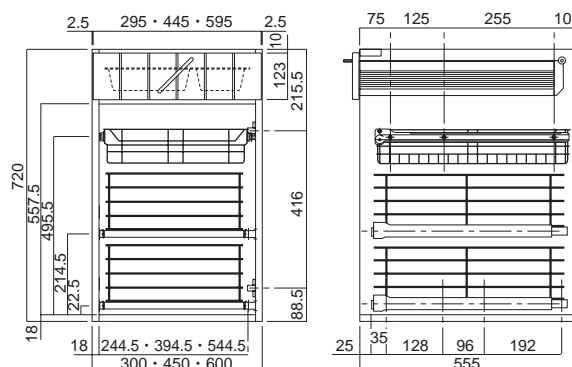
インナートレイ・浅型スライドボード フェンス付
深型スライドアミカゴ×2



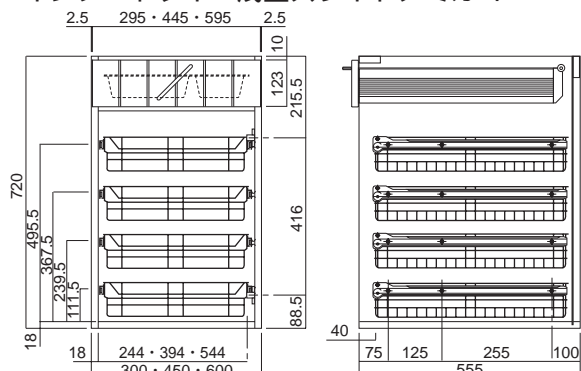
インナートレイ・米ビツ



インナートレイ・浅型スライドアミカゴ
深型スライドボード フェンス付 ×2

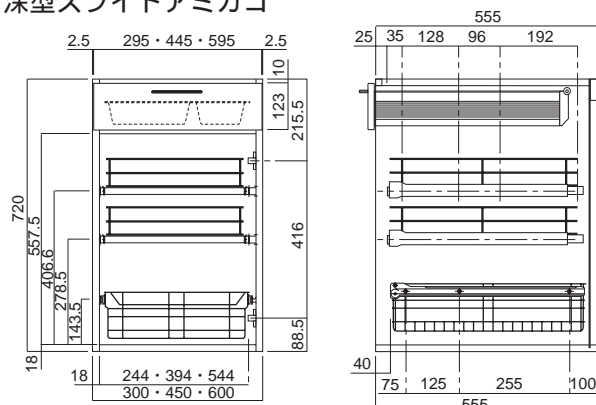


インナートレイ・浅型スライドアミカゴ×4

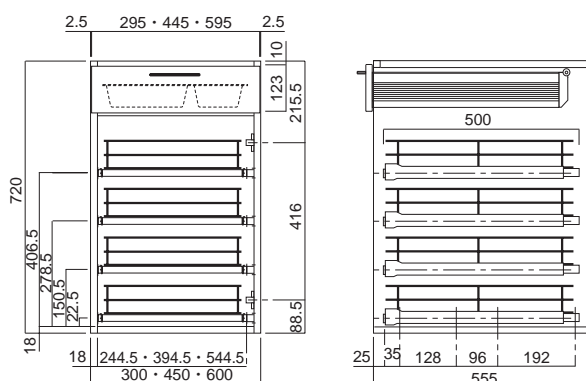


高さ **820 [870]**mm

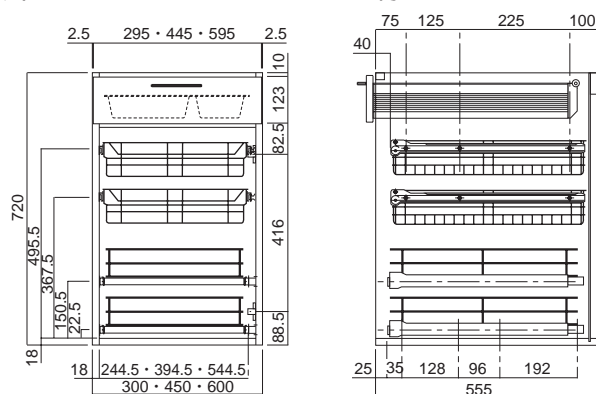
インナートレイ
浅型スライドボード フェンス付 ×2
深型スライドアミカゴ



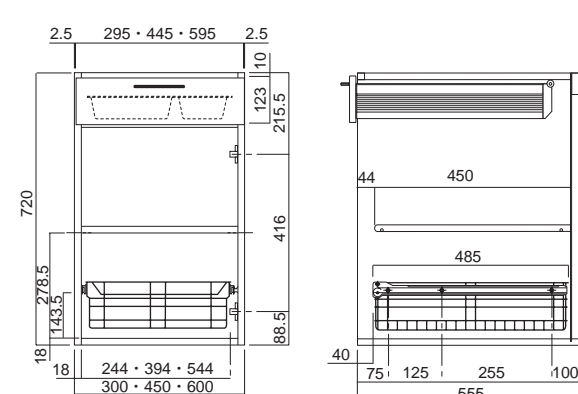
インナートレイ
浅型スライドボード フェンス付 ×4



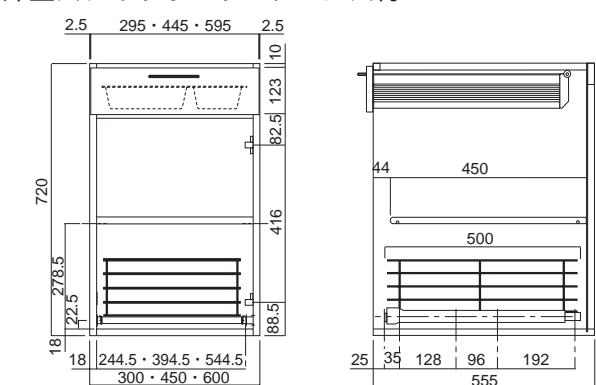
インナートレイ・浅型スライドアミカゴ×2
浅型スライドボード フェンス付 ×2



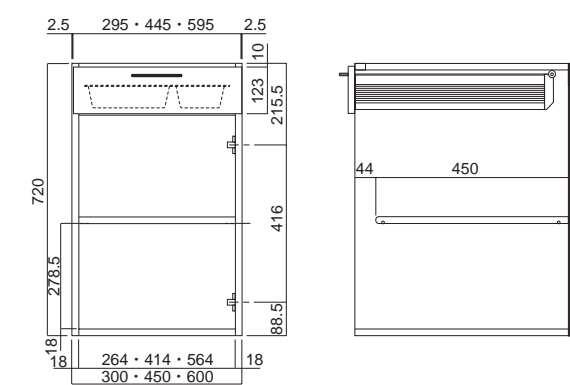
インナートレイ・棚板
深型スライドアミカゴ



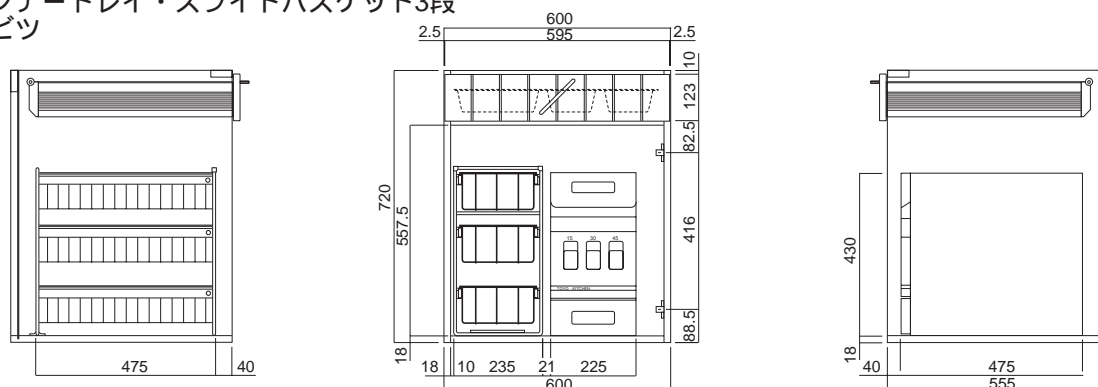
インナートレイ・棚板
深型スライドボード フェンス付



インナートレイ・棚板



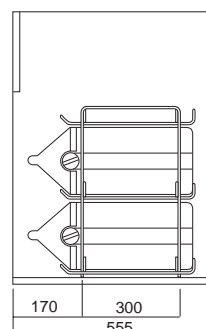
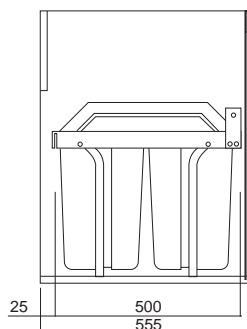
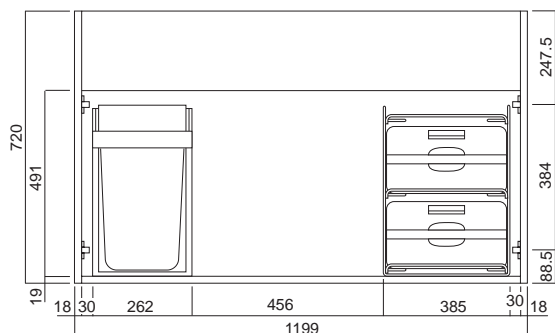
インナートレイ・スライドバスケット3段
米ピツ



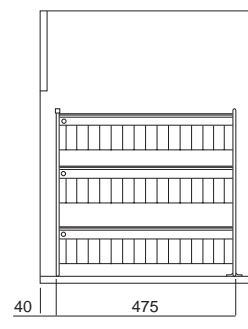
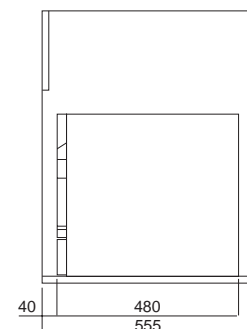
高さ **820 [870]** mm

奥行 **600** mm

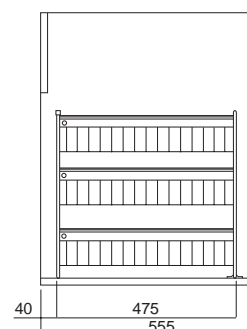
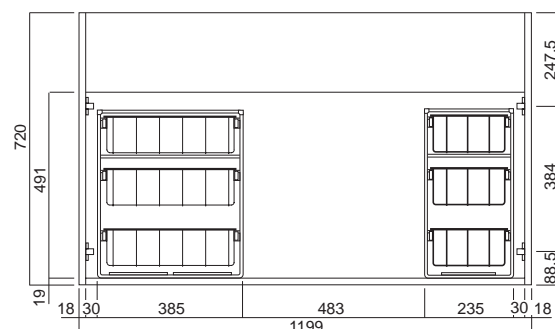
ダブルダストカン
ダストボックス2段



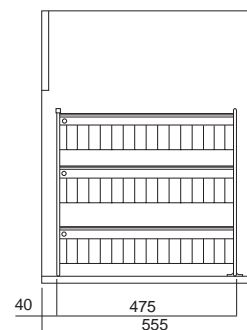
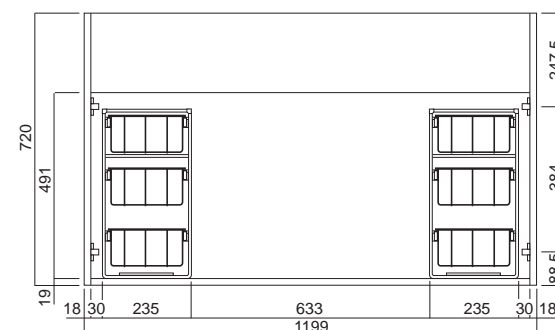
スライドバスケット3段
米びつ



スライドバスケット3段 間口450
スライドバスケット3段 間口300



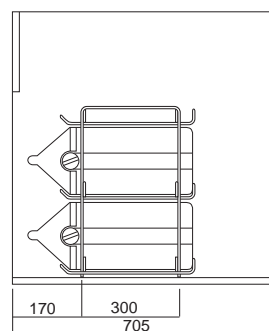
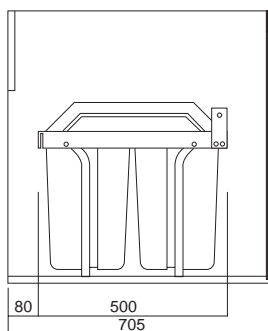
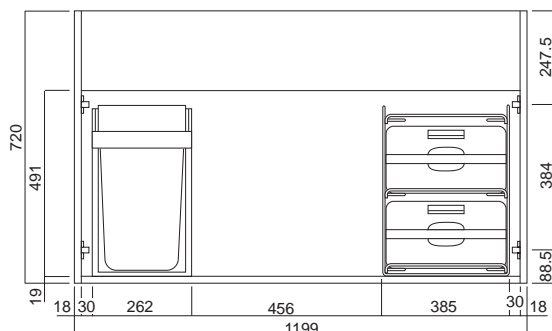
スライドバスケット3段×2



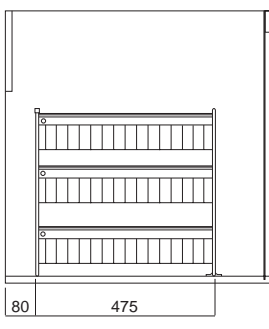
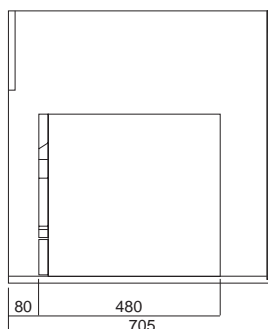
高さ **820 [870]** mm

奥行 **750** mm

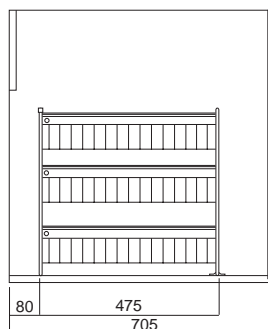
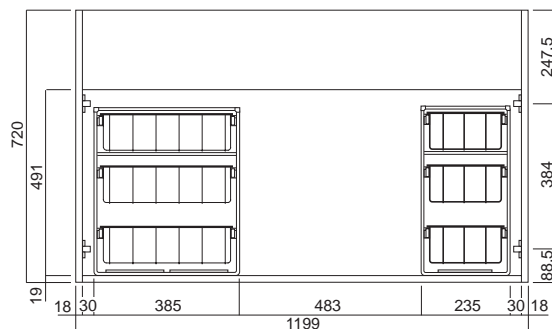
ダブルダストカン
ダストボックス2段



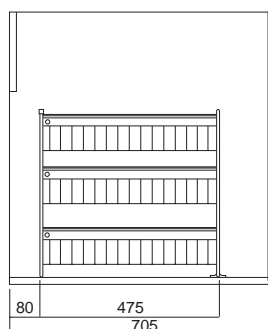
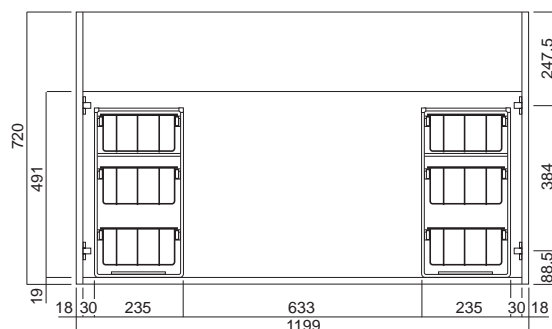
スライドバスケット3段
米びつ



スライドバスケット3段 間口450
スライドバスケット3段 間口300



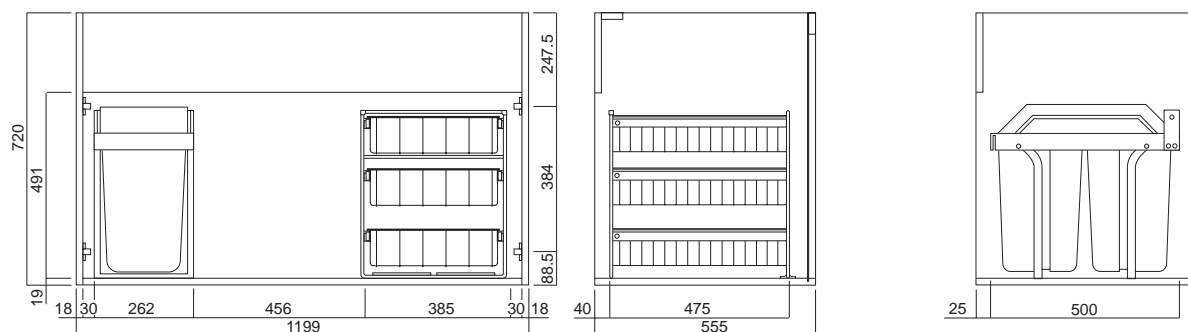
スライドバスケット3段×2



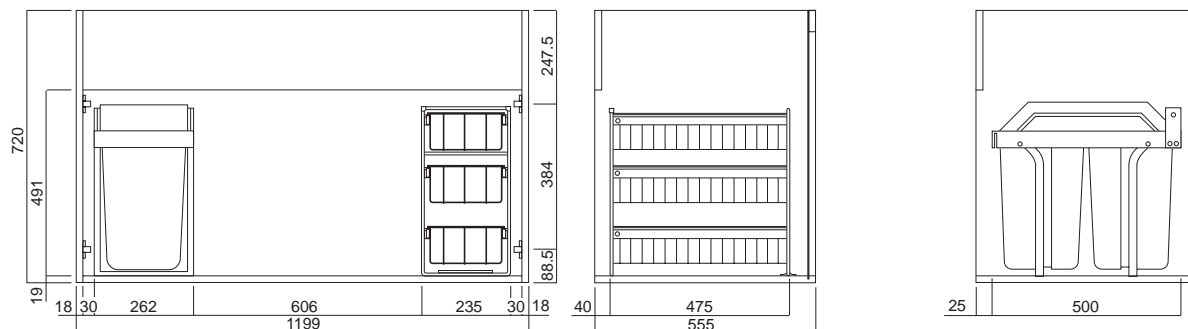
高さ **820 [870]** mm

奥行 **600** mm

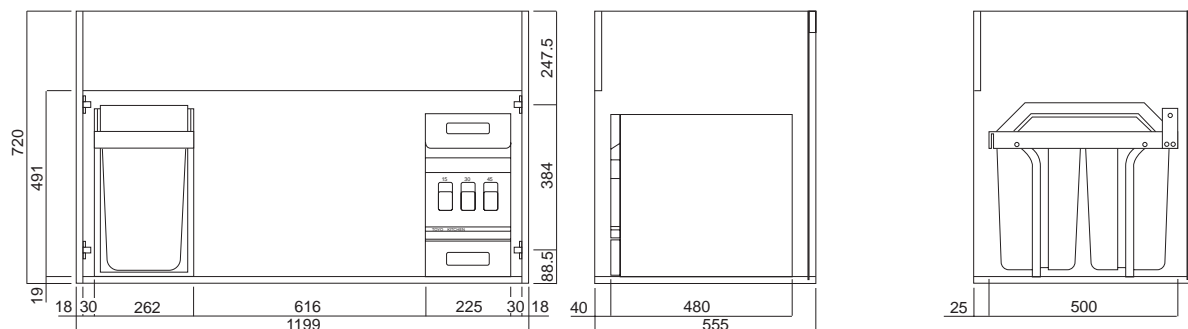
ダブルダストカン
スライドバスケット3段



ダブルダストカン
スライドバスケット3段



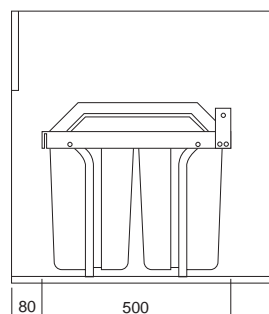
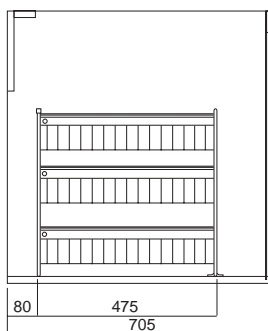
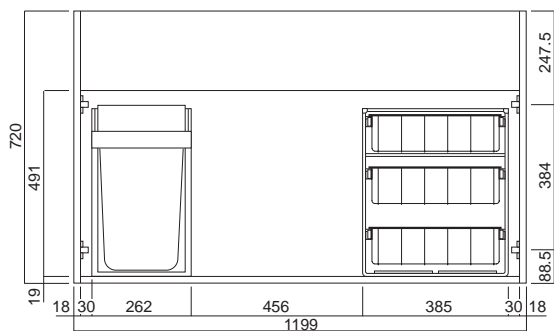
ダブルダストカン
米ピツ



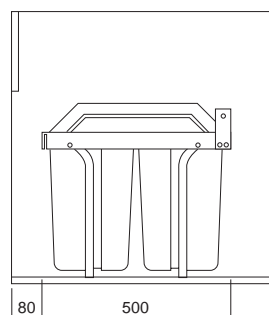
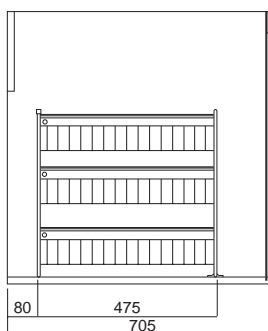
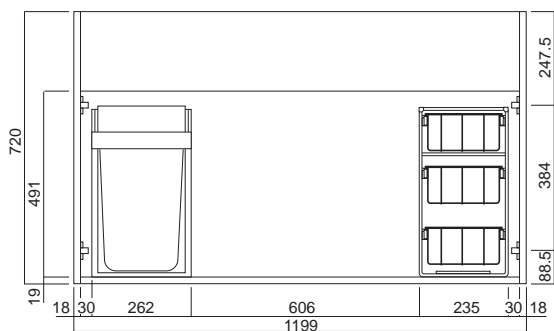
高さ **820 [870]** mm

奥行 **750** mm

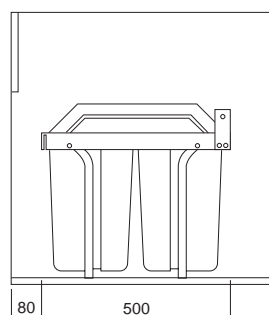
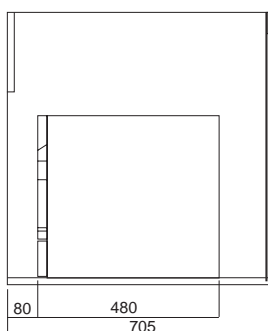
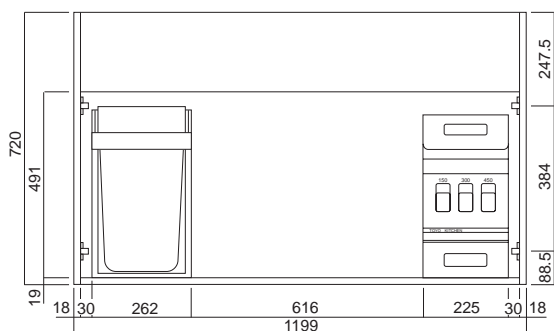
ダブルダストカン
スライドバスケット3段



ダブルダストカン
スライドバスケット3段



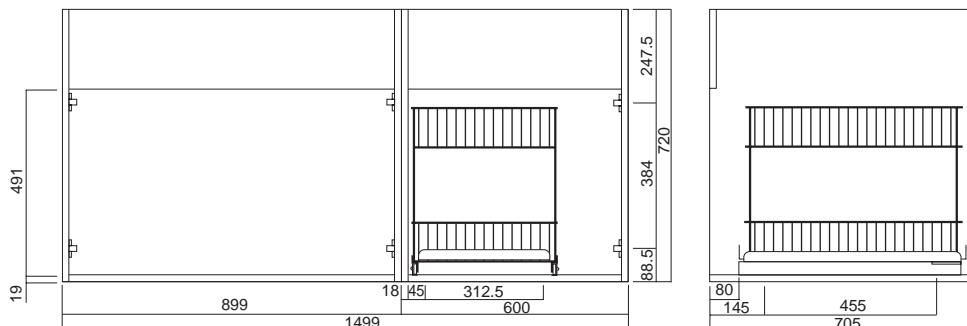
ダブルダストカン
米ピツ



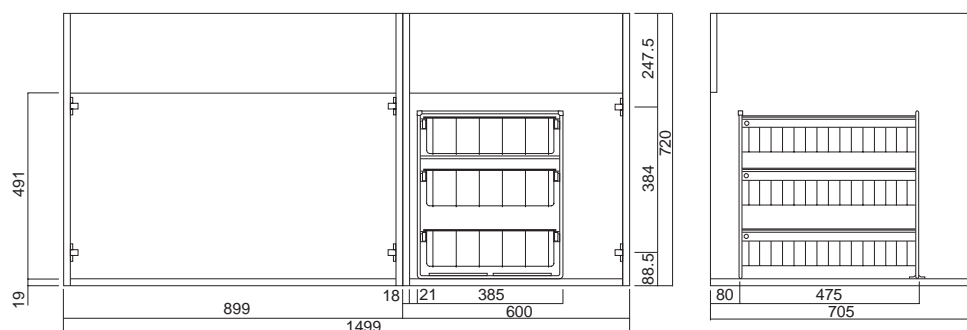
高さ **820 [870]** mm

奥行 **750** mm

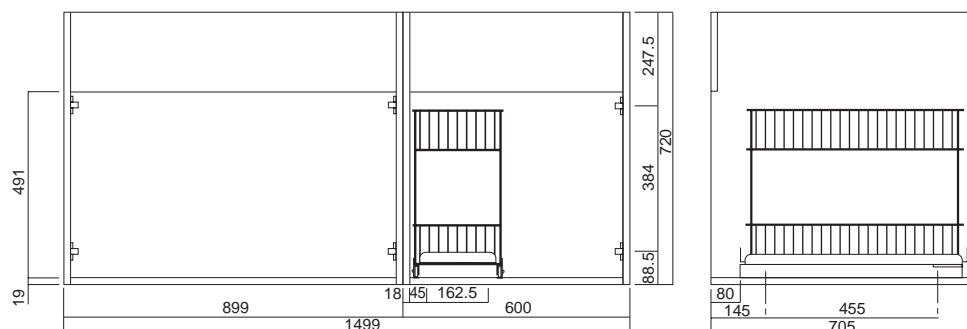
スライドバスケット2段



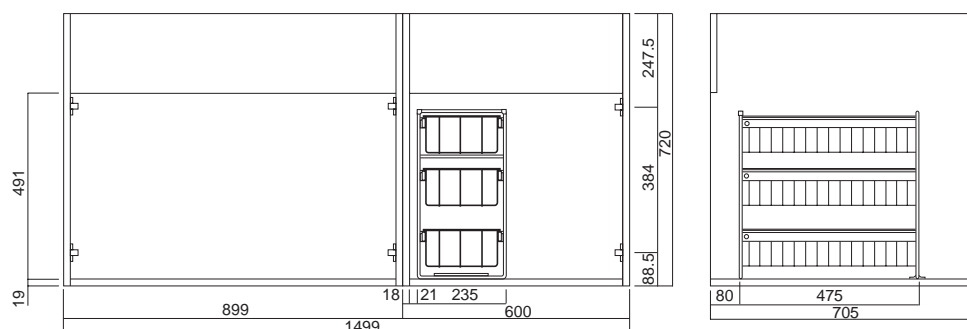
スライドバスケット3段



スライドバスケット2段



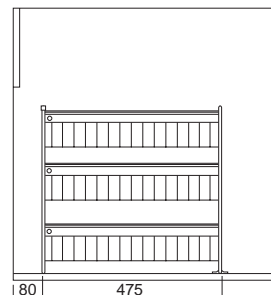
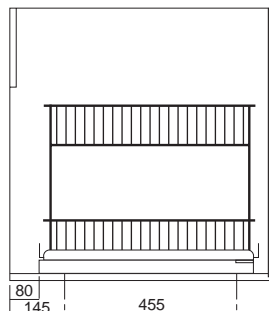
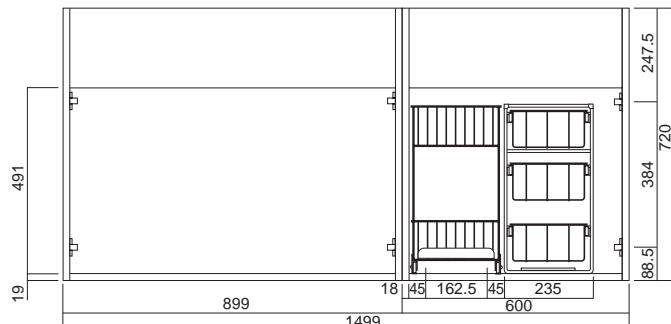
スライドバスケット3段



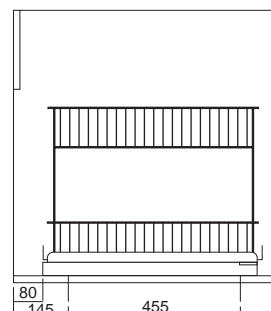
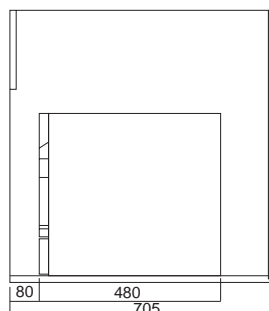
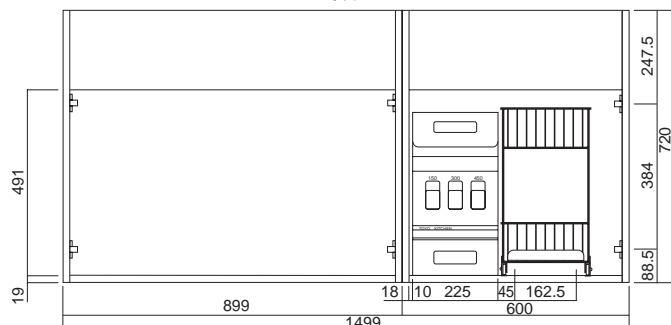
高さ **820 [870]** mm

奥行 **750** mm

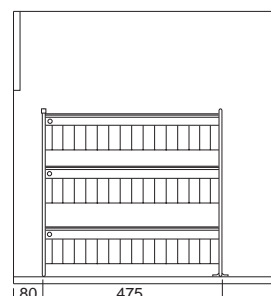
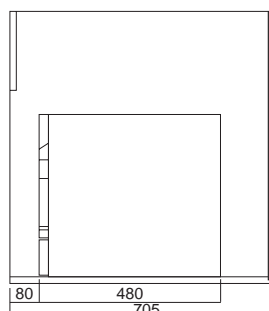
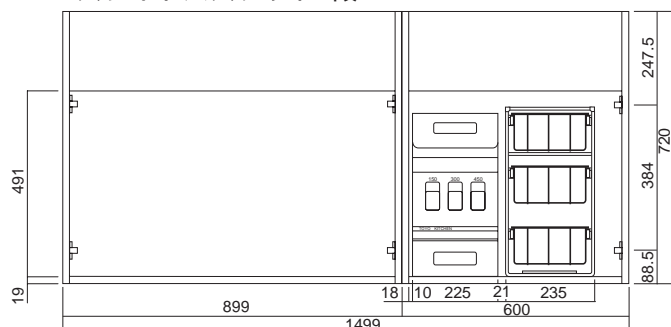
スライドバスケット2段
スライドバスケット3段



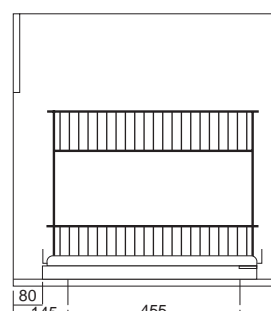
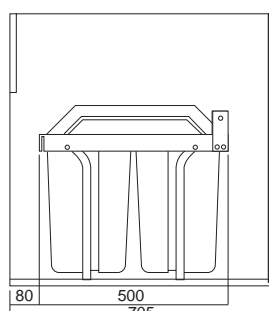
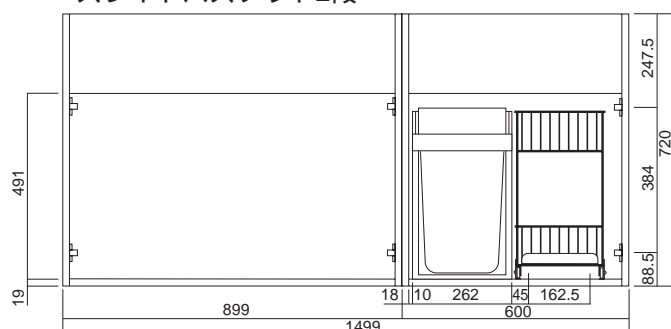
米ピツ
スライドバスケット2段



米ピツ
スライドバスケット3段



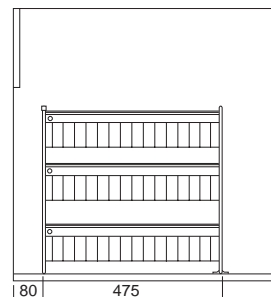
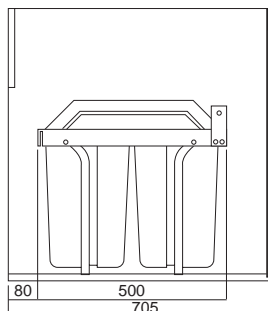
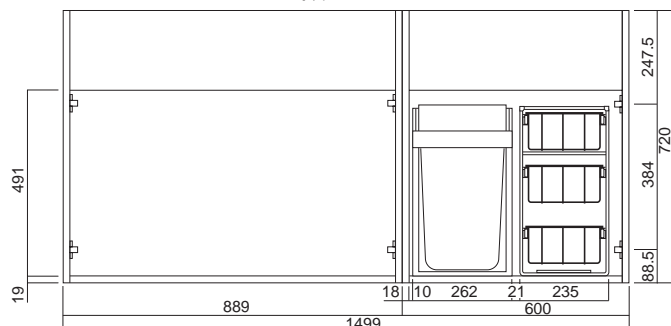
ダブルダストカン
スライドバスケット2段



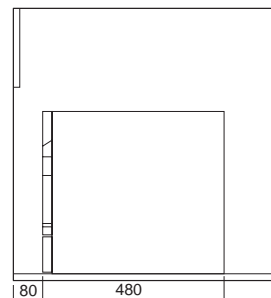
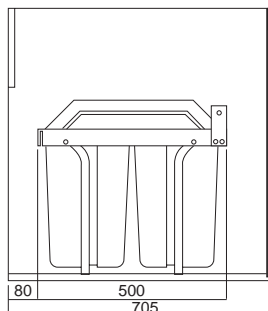
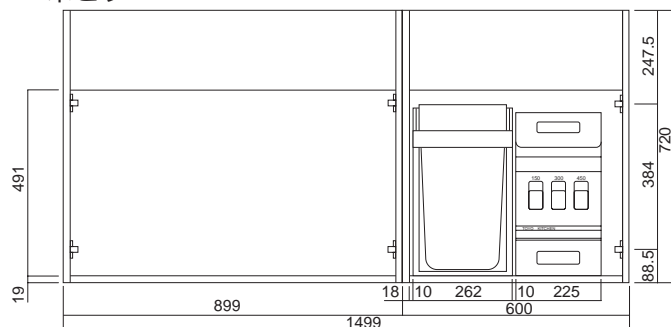
高さ **820 [870]**mm

奥行 **750**mm

ダブルダストカン
スライドバスケット3段

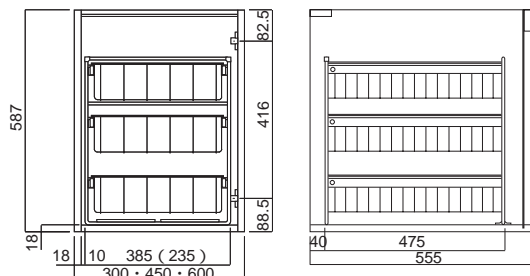


ダブルダストカン
米びつ



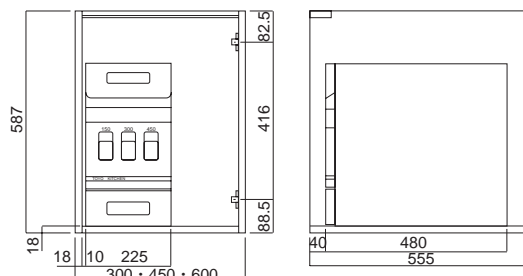
高さ **687 [737]** mm

スライドバスケット3段



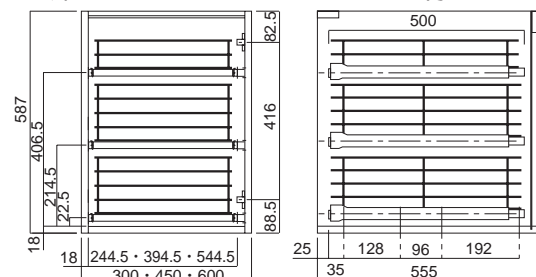
() 内寸法は間口300ユニット用

米ビツ

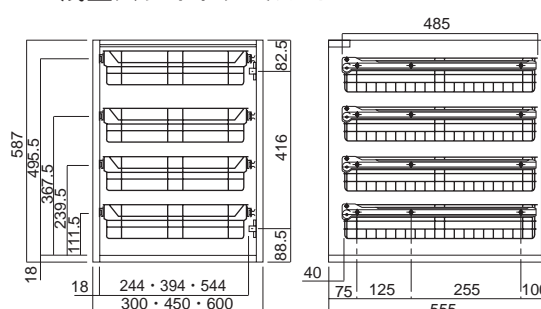


浅型スライドボード
深型スライドボード

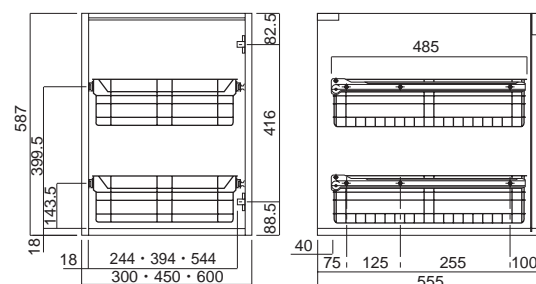
フェンス付
フェンス付 ×2



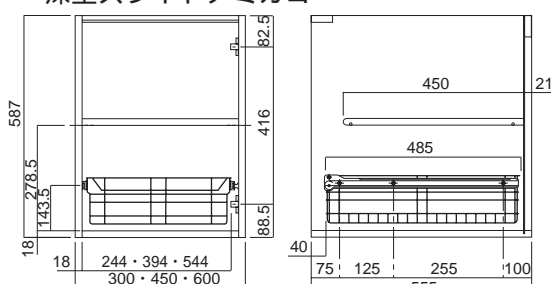
浅型スライドアミカゴ×4



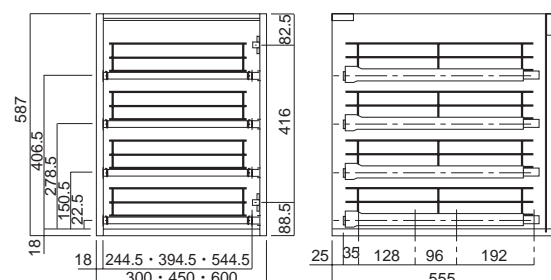
深型スライドアミカゴ×2



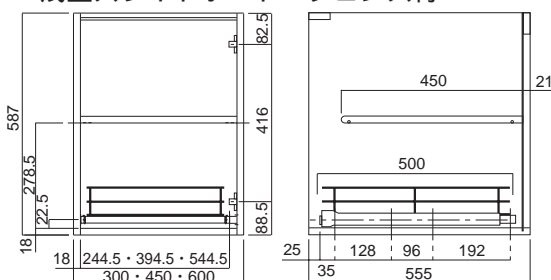
棚板
深型スライドアミカゴ



浅型スライドボード フェンス付 ×4

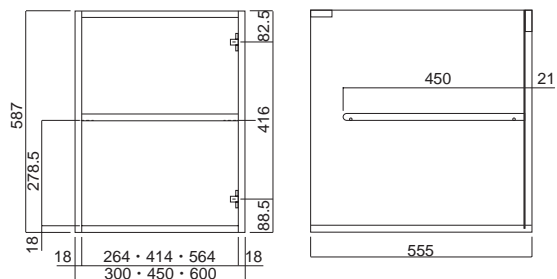


棚板
浅型スライドボード フェンス付

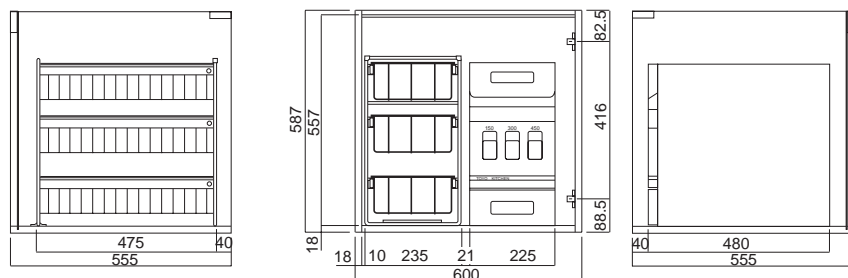


高さ **687 [737]** mm

棚板

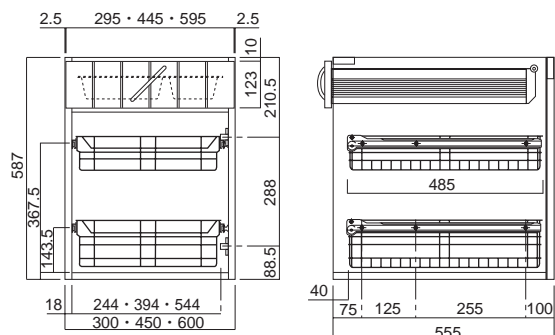


スライドバスケット3段
米ピツ

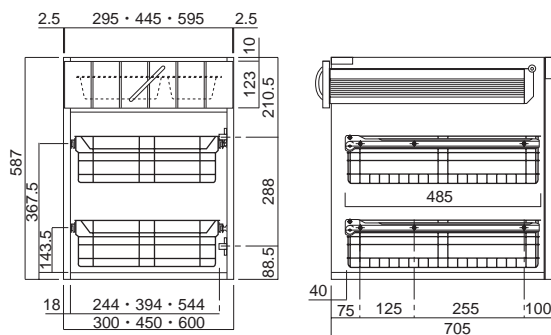


高さ **687 [737]** mm

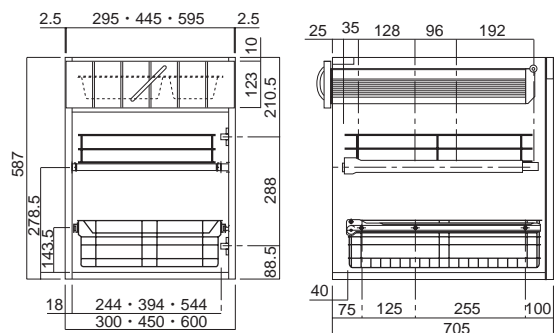
インナートレイ
浅型スライドアミカゴ
深型スライドアミカゴ



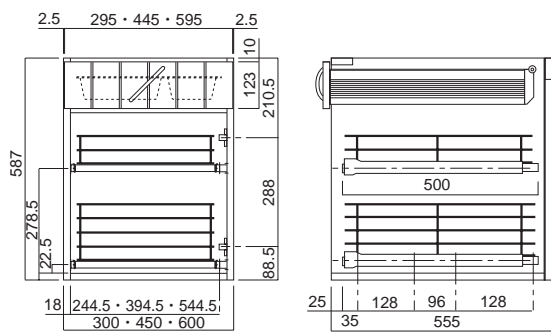
インナートレイ
深型スライドアミカゴ×2



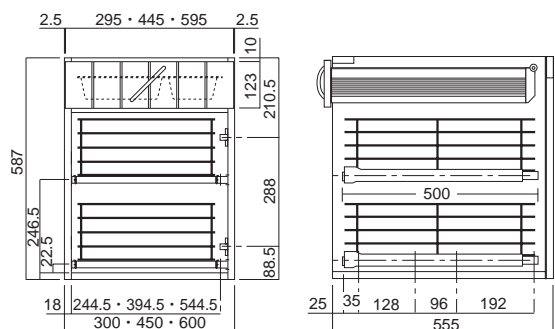
インナートレイ
浅型スライドボード フェンス付
深型スライドアミカゴ



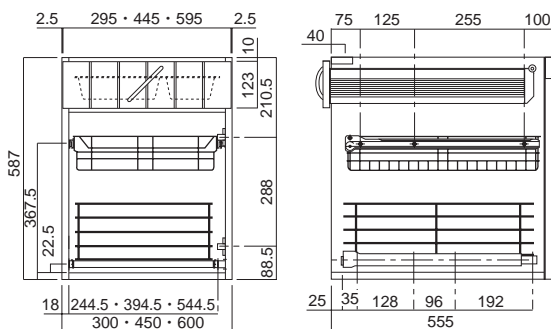
インナートレイ
浅型スライドボード フェンス付
深型スライドボード フェンス付



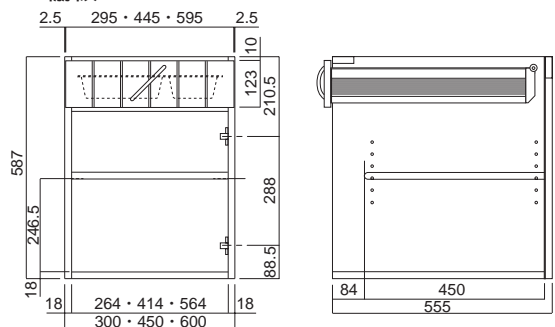
インナートレイ
深型スライドボード フェンス付 ×2



インナートレイ
浅型スライドアミカゴ
深型スライドボード フェンス付



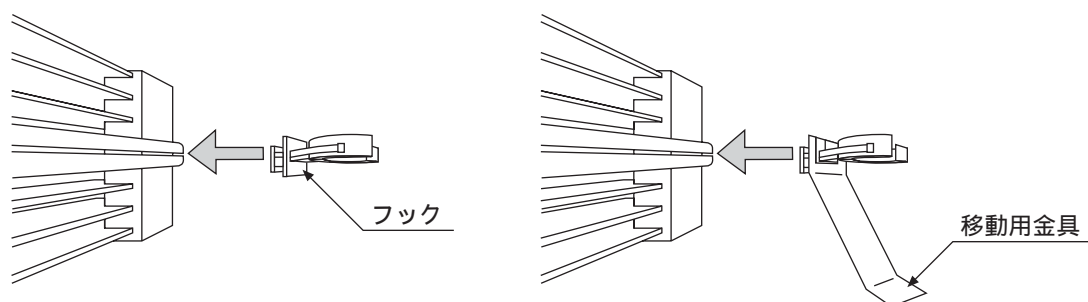
インナートレイ
棚板



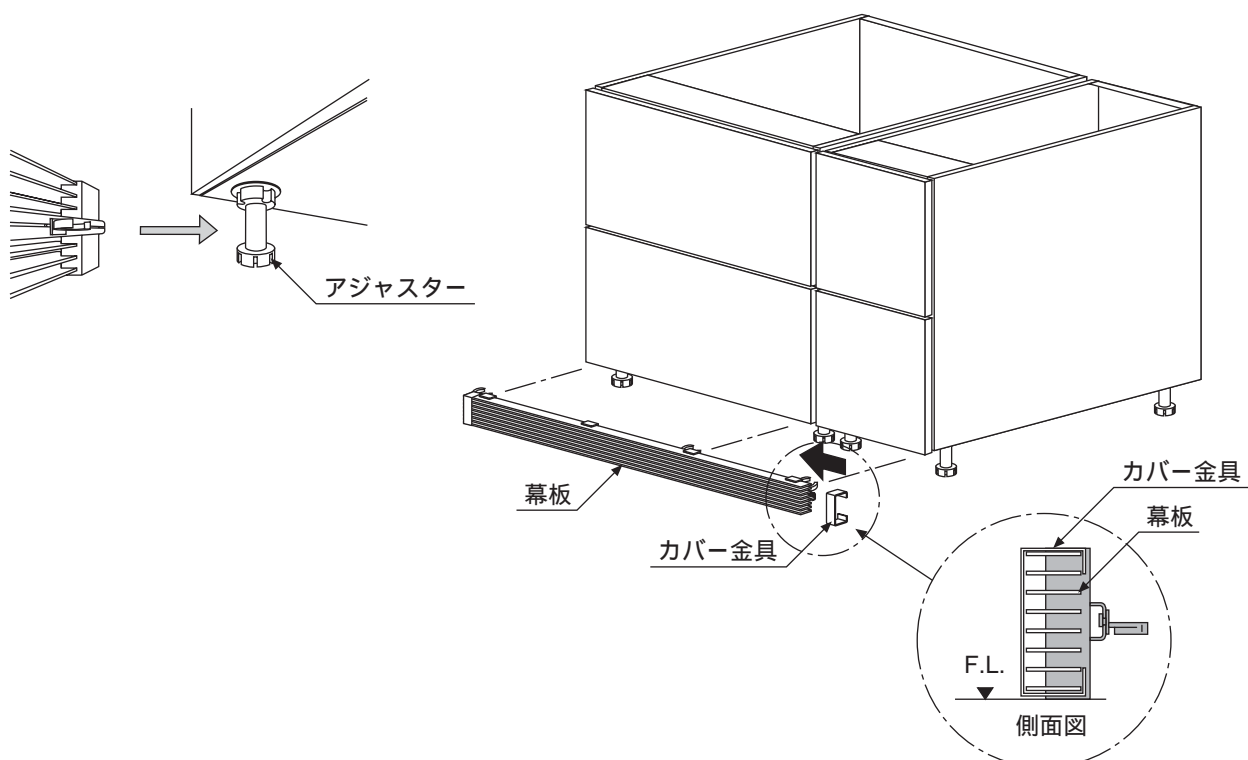
B-BAY

幕板の取付け

1. アジャスターの位置に合わせてフックを取付けます。
フックの間隔は 1050mm 以下になるように取付けてください。
2. フックとフックの間に移動用金具を取付けます。
移動用金具の間隔は幕板の両端に近い位置と中央付近に均等になるように取付けてください。
幕板間口 1500、1800、2100 には 3 個、間口 2250、2400、2700 には 4 個つきます。
移動用金具は、アジャスターには固定しませんので、アジャスターに当たらない位置へ取付けてください。



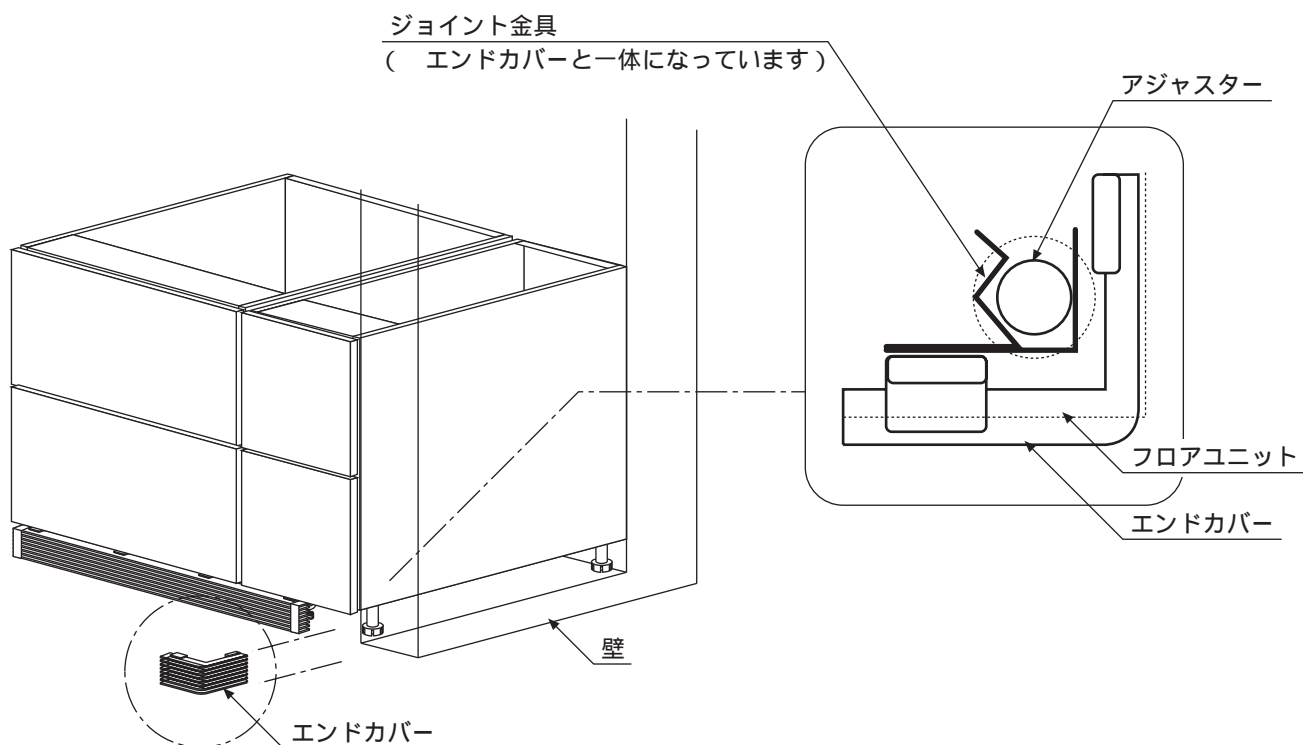
3. 幕板の両サイドにカバー金具を取付けます。
4. フックをアジャスターにはめ込みます。



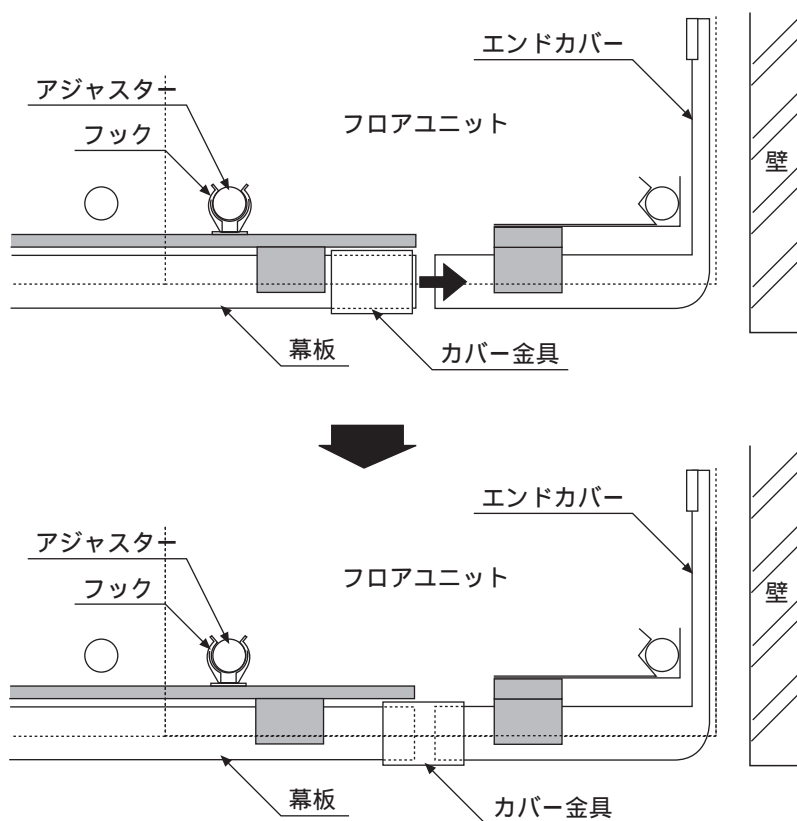
エンドカバーの取付け

壁に接する場合は エンドカバーを使用します。

1. アジャスターとジョイント金具の位置を合わせてエンドカバーを取付けます。



2. 幕板に取付けておいたカバー金具をエンドカバー側へスライドさせます。

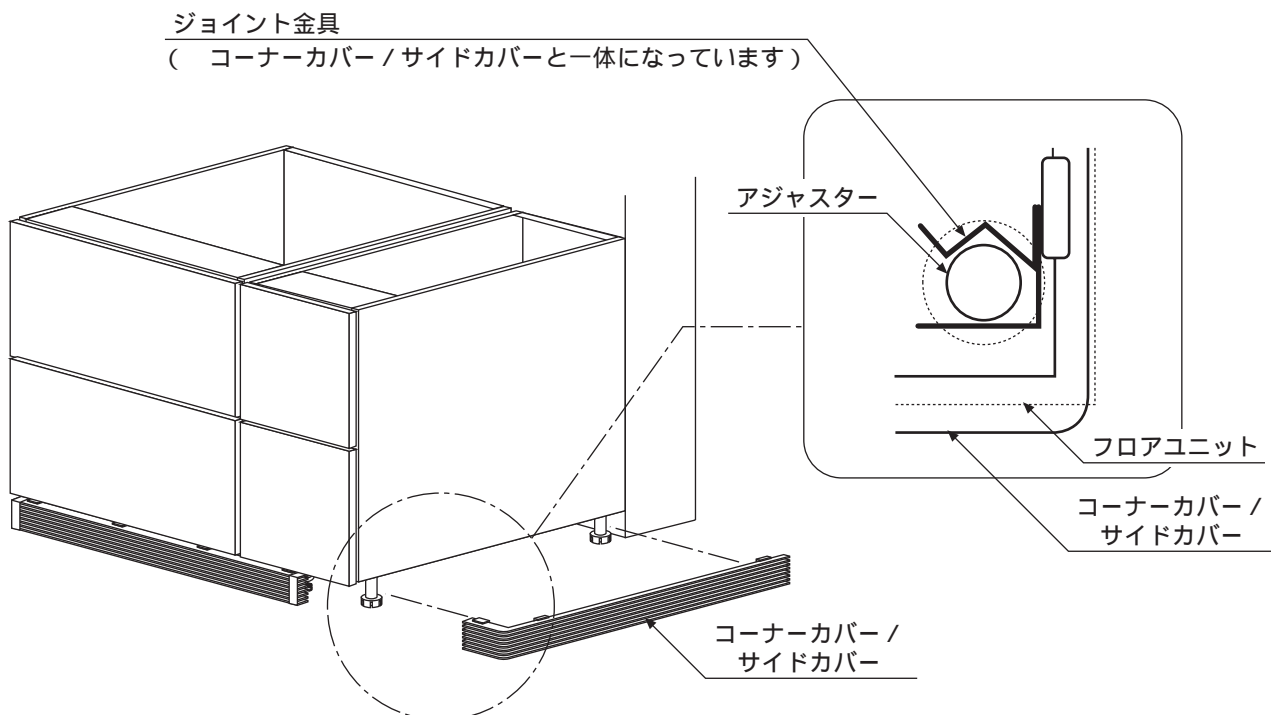


サイドカバー / コーナーカバーの取付け

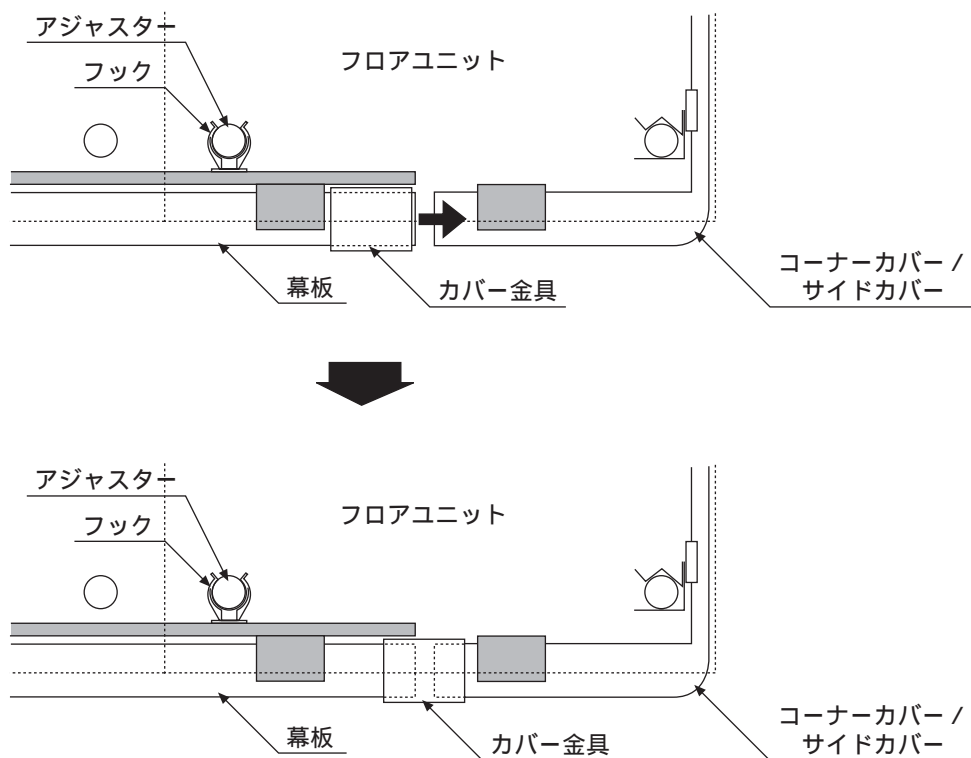
側面がオープンで、背面が壁の場合はコーナーカバーを使用します。

アイランドの場合はサイドカバーを使用します。

1. アジャスターとジョイント金具の位置を合わせてコーナーカバー / サイドカバーを取付けます。



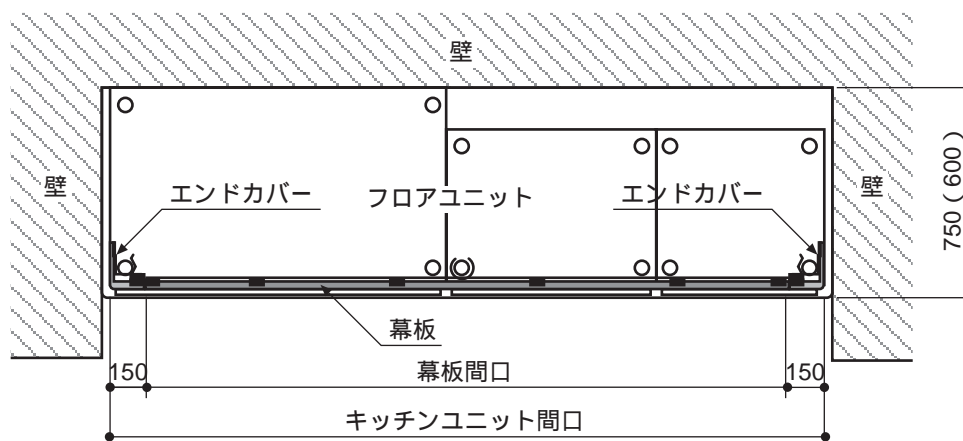
2. 幕板に取り付けておいたカバー金具をコーナーカバー / サイドカバー側へスライドさせます。



壁付けキッチンの場合

キッチンの両側が壁の場合

幕板 1 台とエンドカバー 2 台を使用します。



キッチンの片側もしくは両側がオープンの場合

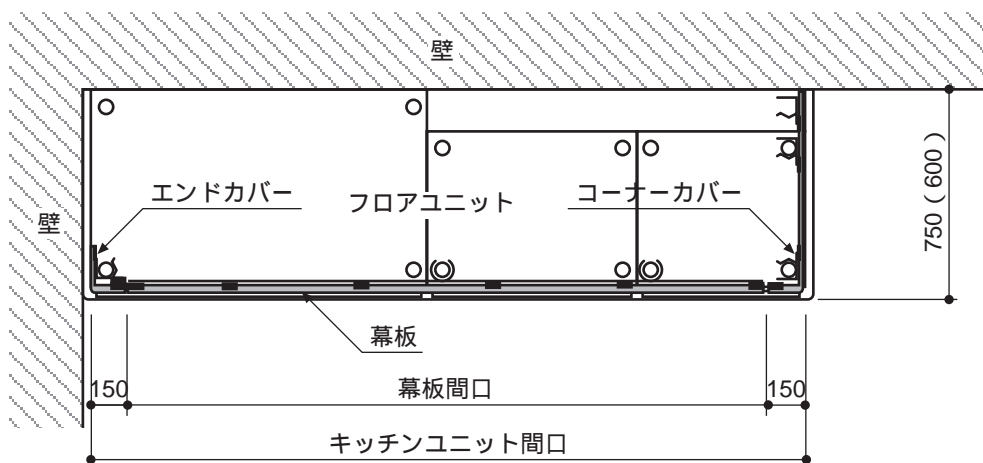
片側がオープンの場合、幕板 1 台とコーナークバー 1 台とエンドカバー 1 台を使用します。

オープン側にコーナークバーを、壁側にエンドカバーを使用します。

両側がオープンの場合、幕板 1 台とコーナークバー 2 台を使用します。

両側にコーナークバーを使用します。

スライドドア収納庫やウイックも同様です。



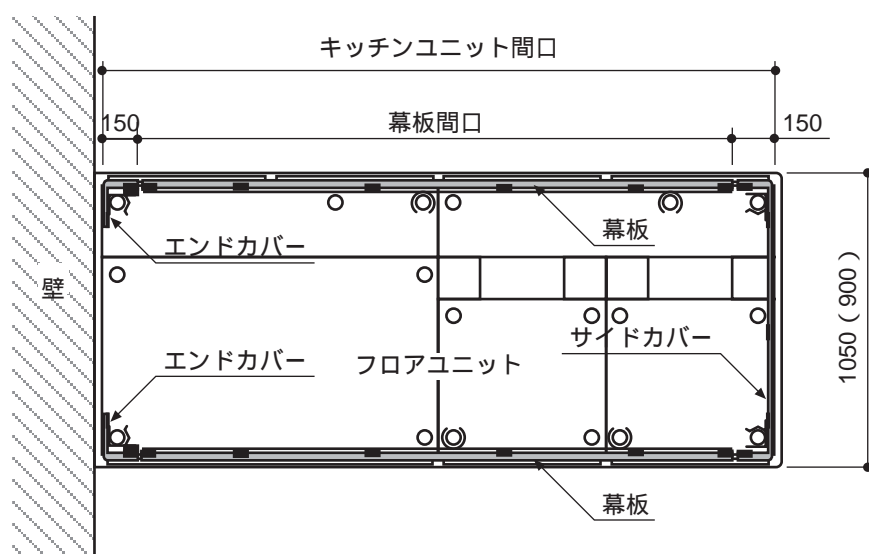
ペニンシュラーキッチンの場合

キッチン側と対面側の両側に幕板が必要となります。

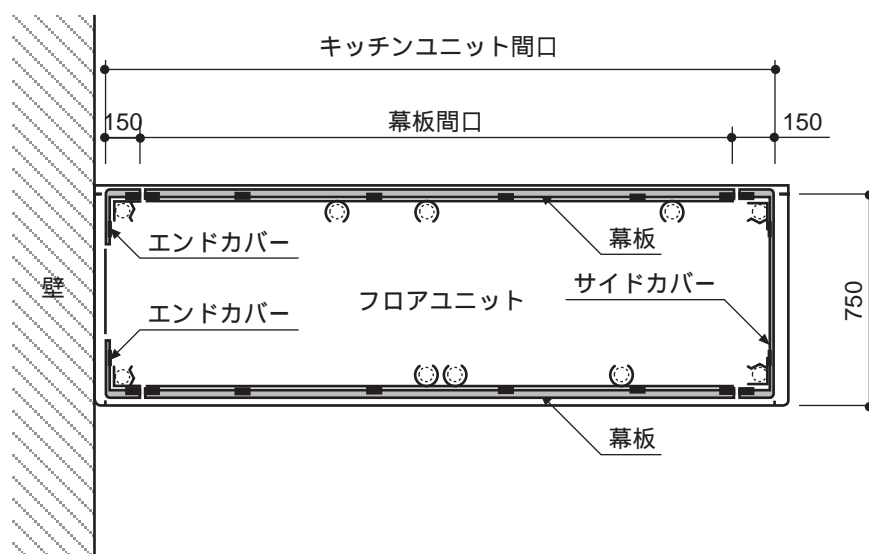
キッチンの片側が壁の場合

幕板 2 台とサイドカバー 1 台とエンドカバー 2 台を使用します。
オープン側にサイドカバーを、壁側にエンドカバーを使用します。

D=900、1050 の場合



D=750 の場合



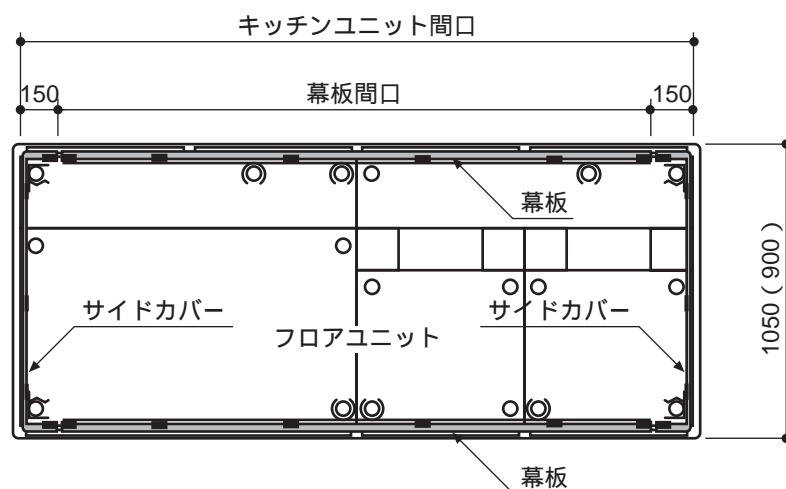
アイランドキッチンの場合

キッチン側と対面側の両側に幕板が必要となります。

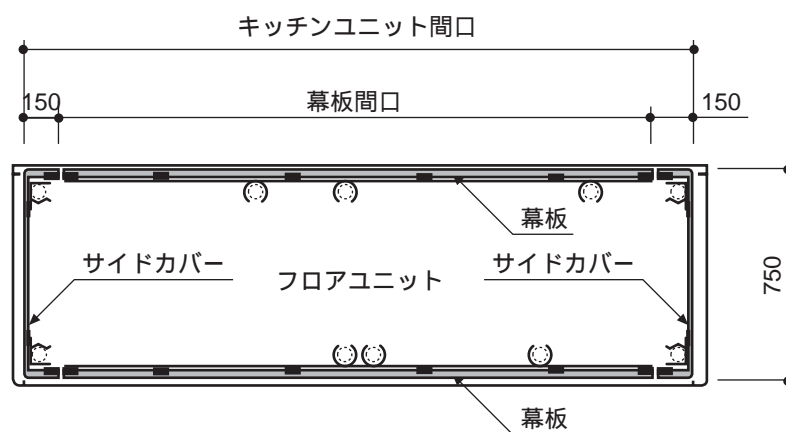
キッチンが壁に接しない場合

幕板 2 台とサイドカバー 2 台を使用します。

D=900、1050 の場合



D=750 の場合



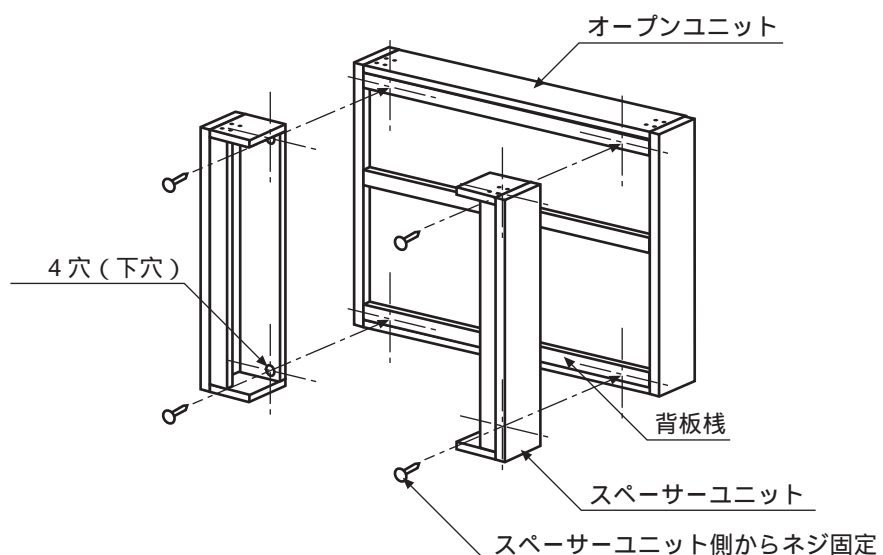
スパーサーユニットの取付け

オープンユニットに取付ける場合（図1）

スパーサーユニットの固定はアジャスターを取付ける前に天地を逆にして行います。

1. スパーサーユニットに 4 の下穴を開けます。
2. スパーサーユニット側からオープンユニットの背板桟に向かってヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にてオープンユニットと固定します。

図 1



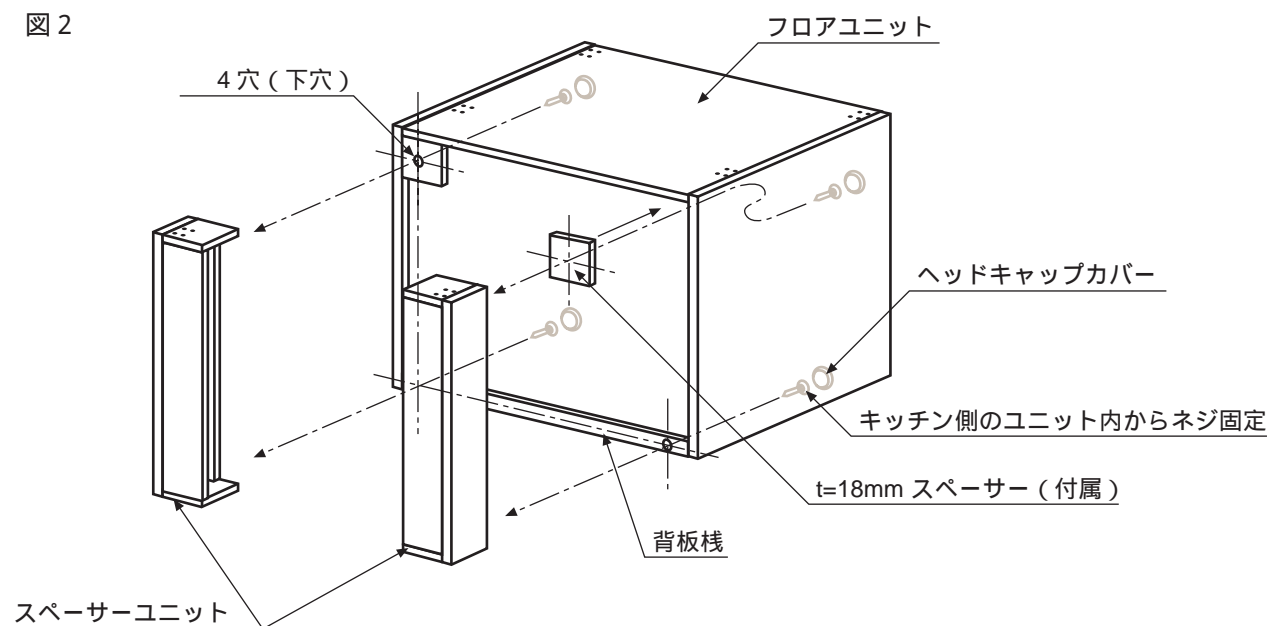
キッチン側のユニットに取付ける場合（図2）

スパーサーユニットの固定はアジャスターを取付ける前にユニットの天地を逆にして行います。

対面側がフロントパネルの場合、キッチン側のユニットにスパーサーユニットを取付けます。

1. キッチン側のユニットに $t=18\text{mm}$ のスパーサーを両面テープで仮止めします。
2. キッチン側のユニットの背板桟と仮止めしたスパーサーに 4 の下穴を開けます。
3. キッチン側のユニット内からヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にてスパーサーユニットと固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。

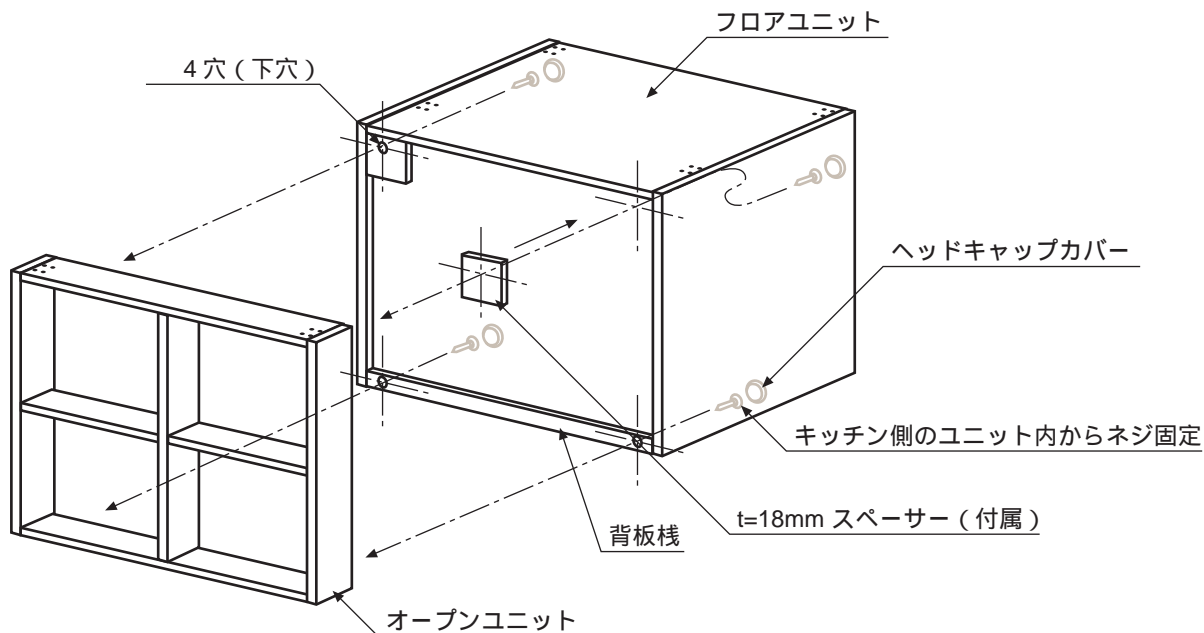
図 2



オープンユニットの取付け

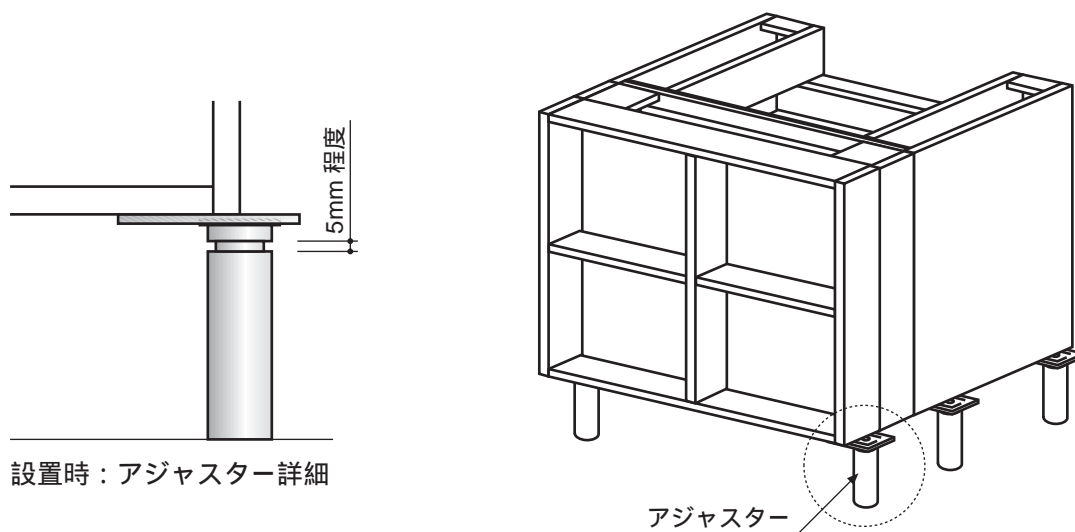
オープンユニットとの固定はアジャスターを取付ける前に天地を逆にして行います。

1. キッチン側のユニットに $t=18\text{mm}$ のスペーサーを両面テープで仮止めします。
2. キッチン側のユニットの背板棧と仮止めしたスペーサーに 4 の下穴を開けます。
3. キッチン側のユニット内からオープンユニットの背板棧に向かってヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30 にてオープンユニットと固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。



ユニットの設置

端になるユニットとした場合で説明。



設置時：アジャスター詳細

1. アジャスターを取付けます。(「アジャスターの取付け」を参照してください。)
アジャスター配置は「レイアウト注意事項」を参照してください。
2. アジャスターのアジャスト部分を 5mm 程度出した状態でユニットを設置します。
(設置後のアジャスト調整のため。)

加熱機器ユニットの取付け

D=555 加熱機器ユニットの背面には D=150mm 以上の配管スペースが必要です。

D=705 加熱機器ユニットはユニットの底板から配管をユニット内へ引き込むようになります。

スペーサーユニットの取付けについては「アイランドキッチンの組立て 1」を参照してください。

- ・アジャスターを取付けた加熱機器ユニットの背板または底板に穴をあけ、元止めコックまでの配管が終了しているガス管をユニット内に引き込み、加熱機器ユニットを設置します。

対面側がオープンユニットの場合 (D=894 / 900 / 1050 の場合)

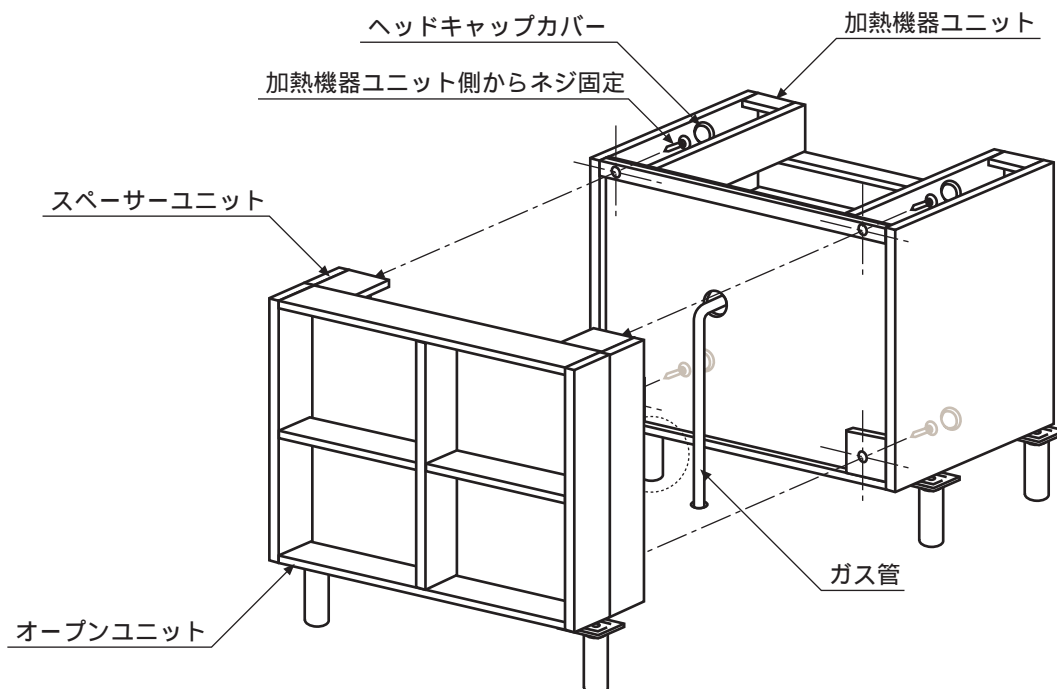
1. スペーサーユニットとオープンユニットを取付けます。
2. アジャスターを取付けます。
3. アジャスターを取付けたオープンユニットを対面側に設置し、位置合わせをして、加熱機器ユニット側からヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にてスペーサーユニットと固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。

対面側がフロントパネルの場合

1. スペーサーユニットと加熱機器ユニットを取付けます。
2. アジャスターを取付けてそのまま設置します。

加熱機器ユニットがアイランドキッチンの端にくる場合 (D=894 / 900 / 1050 の場合)

1. B 部のアジャスターを外します。
(「レイアウト注意事項」の「アイランドキッチンレイアウト注意事項」を参照してください。)
2. 他のユニットに使用するアジャスター等、高さの合うモノを利用して仮の脚にします。
3. 加熱機器ユニットを設置し、スペーサーユニットと固定してから仮の脚を外します。



シンクユニット・引出し標準ユニットの取付け

シンクユニット・引出し標準ユニットは、対面側のユニット（オープンユニット or スペースユニット）と組付けてから、隣接するユニットに連結していきます。

（オープンユニット・スペースユニットの組付けについては、「アイランドキッチンの組立て 1・2」を参照してください。）

1. シンクユニットとオープンユニットを組付けたユニットにアジャスターを取付け、隣接するユニットから延びたアジャスターに乗せて前後の出、水平・垂直を合せます。（図 1）
2. 引出し標準ユニットとオープンユニットを組付けたユニットにアジャスターを取付け、隣接するユニットから延びたアジャスターに乗せて前後の出、水平・垂直を合せます。（図 1）
3. 隣接ユニットどうしをヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にて連結し、ヘッドキャップカバーをはめます。（図 2）

・基準となるユニットへの組立て例

図 1

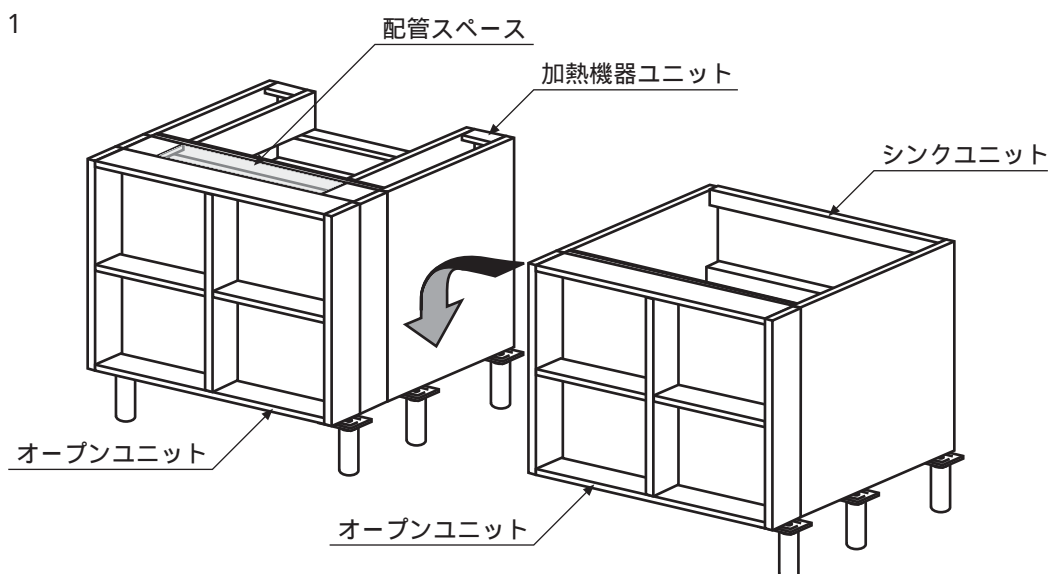
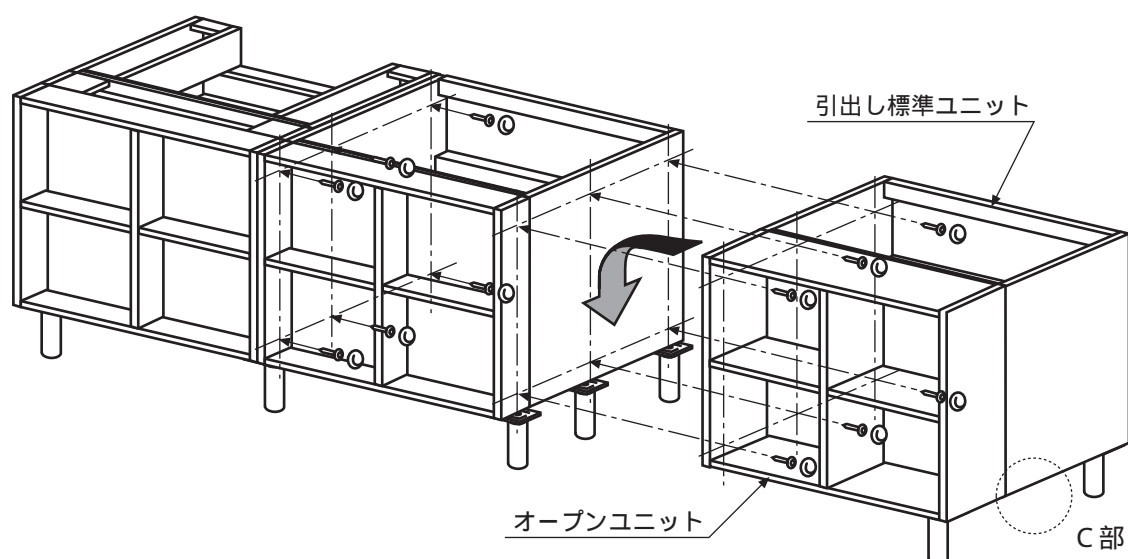


図 2



C部はアイランドキッチンの端になるのでアジャスターを取付けないでください。
（「レイアウト注意事項」の「アイランドキッチンレイアウト注意事項」を参照してください。）

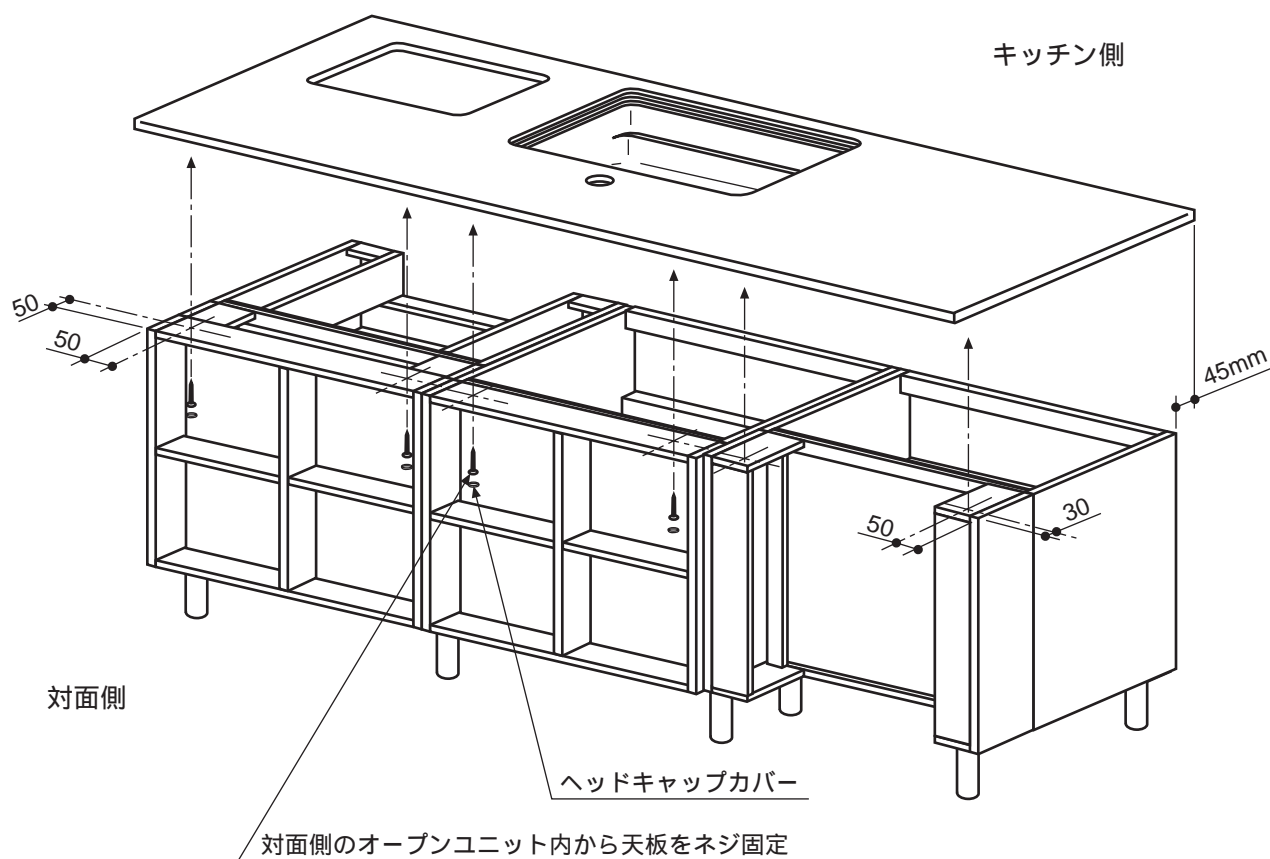
ワークトップの取付け

- ・キッチン側のワークトップ前面をユニット本体前面から 45mm 出た位置に合わせ、オープンユニットの天板（又はスパーサーユニットの天板）からヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にてワークトップを固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。

W=750、900 のオープンユニットは 2 ヶ所、W=1200、1350 のオープンユニットは 3 ヶ所でワークトップを固定してください。

対面側にフロントパネルを取付ける場合は、ワークトップを取付けてから行ってください。

キッチン側ユニットからのワークトップの固定は、「ワークトップの取付け」を参照してください。

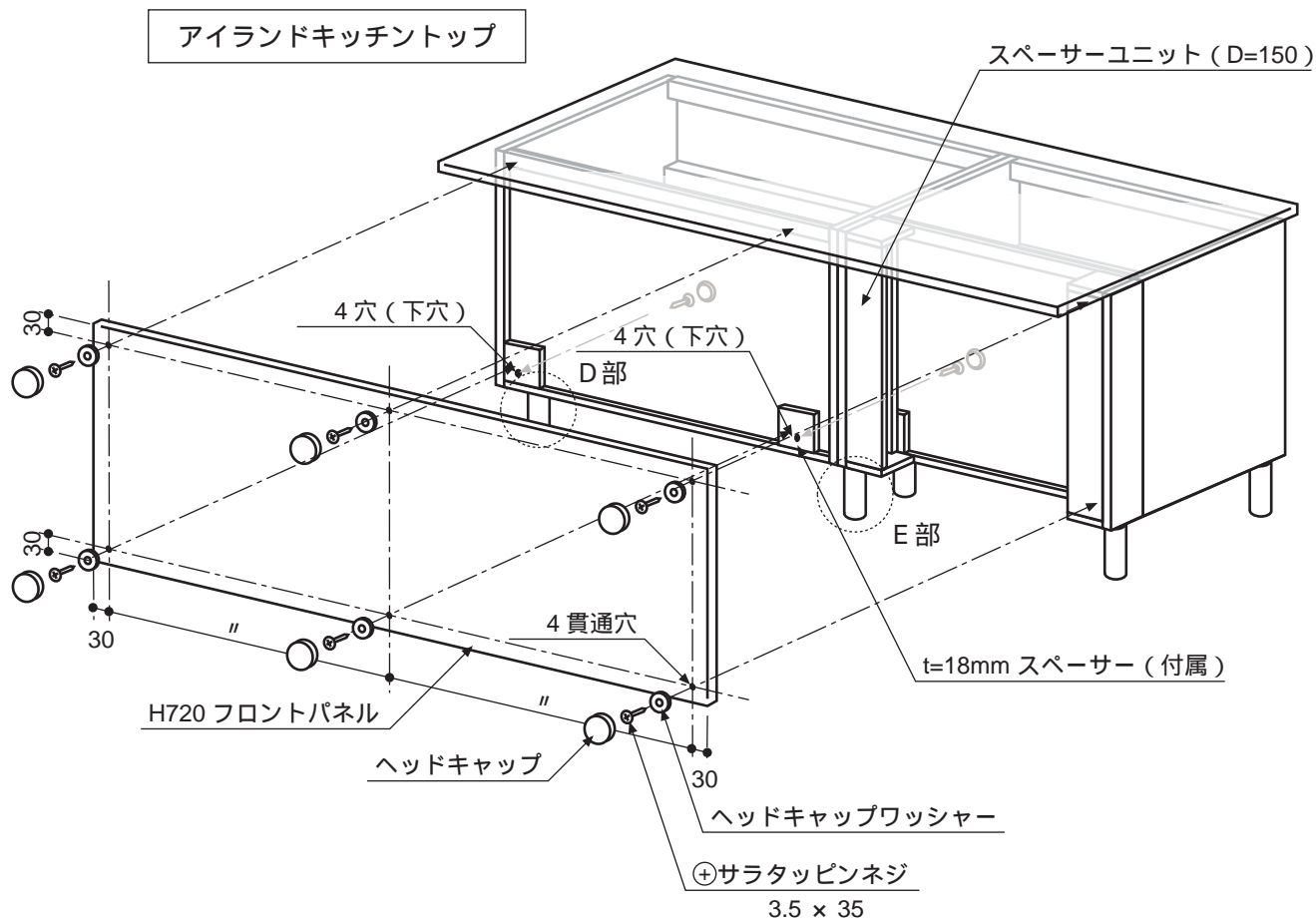


H720 フロントパネルの取付け

D=894 / 900 / 1050 アイランドキッチンにフロントパネルを取付ける場合、H720 フロントパネルを使用してください。

H720 フロントパネルはユニット、ワークトップ、サイドパネルの全ての取付けが終了してから行ってください。

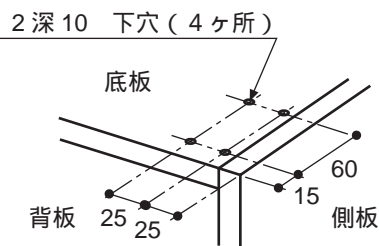
1. 間口 900 以下はヘッドキャップを 4 ヶ所、間口 901 以上は 6 ヶ所固定しますので、下図のように H720 フロントパネルに 4 の貫通穴を開けます。
間口 901 以上の場合は、間口の中心に穴開けをしますが、スペーサー・スペーサーユニットの位置に注意して行ってください。
2. H720 フロントパネルは取付ける両端から 2.5mm ずつ内側に入った位置になります。
(間口は取付けるユニットの全体間口から 5mm 小さくしてあります。)
3. H720 フロントパネルの各取付穴にヘッドキャップワッシャーを当てて、⊕サラタッピンネジ 3.5 × 35 にて H720 フロントパネルを固定し、ヘッドキャップをはめます。
4. D=705 ユニット内からの取付けは、t=18mm のスペーサーにユニット内の背板から 4 の下穴を開けて、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にて固定し、ヘッドキャップカバーをはめます。



D・E 部詳細

- ・上図のように対面側をオープンカウンターにする場合、D=705 ユニットの後方アジャスターをより後方へ付けますので、ユニットの底板に下穴をあけ、D・E 部にアジャスターを取付けてください。
(「レイアウト注意事項」の「アイランドキッチンレイアウト注意事項」を参照してください。)

設置順序によって D 部のみアジャスターを施工現場で下穴を開けて取付ける場合と、D・E 部を施工現場で下穴を開けて取付ける場合がありますのでご注意ください。



D・E 部詳細図

H750 フロントパネルの取付け

D=750 ワークトップの背面が壁に接しない場合、必ず H750 フロントパネルを取付けてください。

1. キッチン側のユニットの奥行きが異なるユニットどうしにパネルを取付ける場合は、フロントパネルの裏面にスペーサーユニットを取付けます。(図1)
ユニットに仮止めする $t=18\text{mm}$ のスペーサーの位置に注意して、間口位置を合わせ、⊕バインドタッピンネジ 3.5×30 にて取付けてください。
2. ユニットの背面に $t=18\text{mm}$ のスペーサーを両面テープで仮止めし、図の位置でユニット内より背板方向へ4の下穴をスペーサーと一緒に開けてください。(図2)
3. ユニットの内側からヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30 にてフロントパネルを固定します。(図2)
フロントパネルには高さ位置合わせのためのステンレス板の耳が付いています。
この耳部分をユニットの背板に乗せて位置を決めるとネジ固定を行うときに作業性が良くなります。
4. フロントパネルの取付けが終了したら、ワークトップを乗せてユニット内からネジ固定してください。

(図3)

フロントパネルに取付けられているノルシールが2mm くらいまでつぶれるように、しっかり押しつけて固定してください。

ワークトップに付属のシール材は破棄してください。

図1

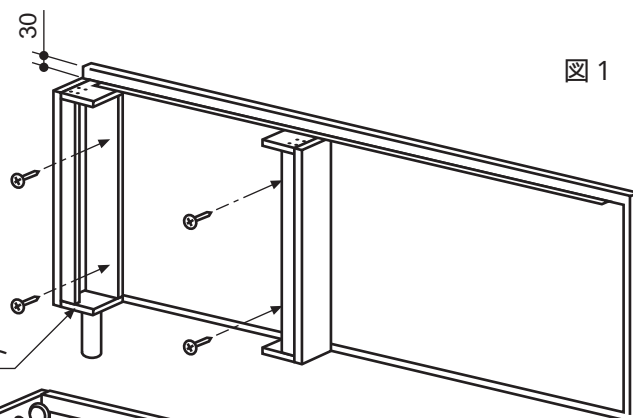


図2

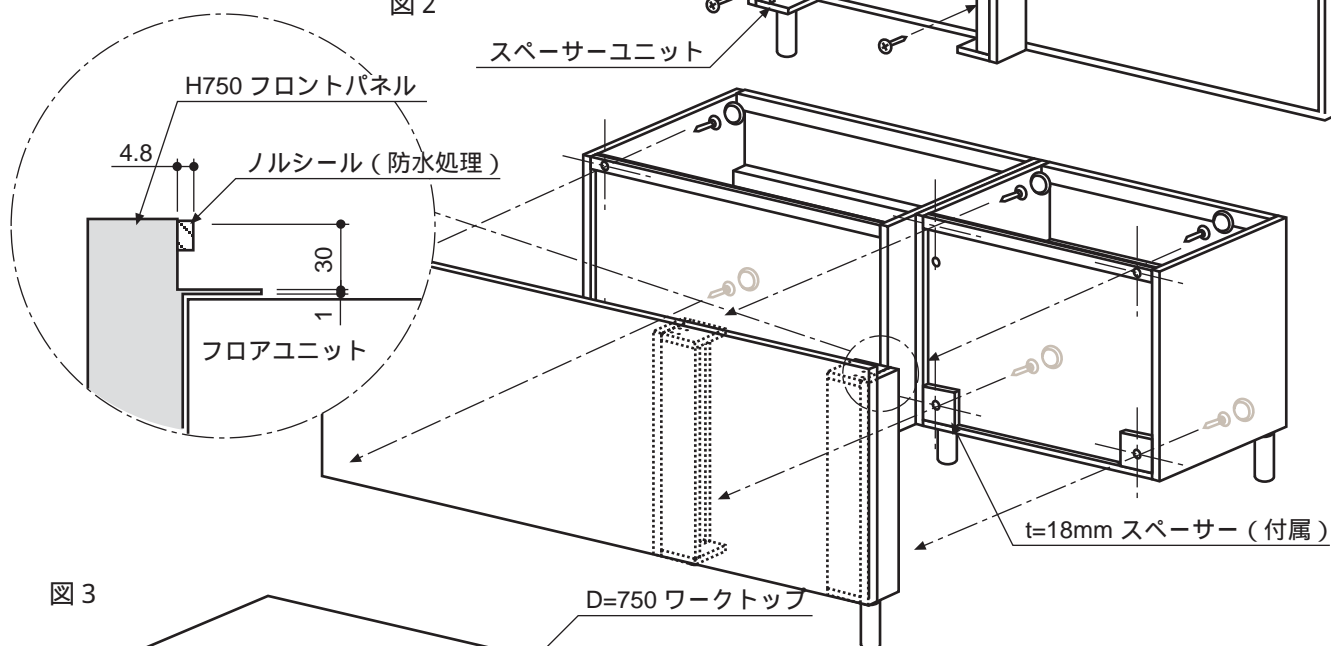
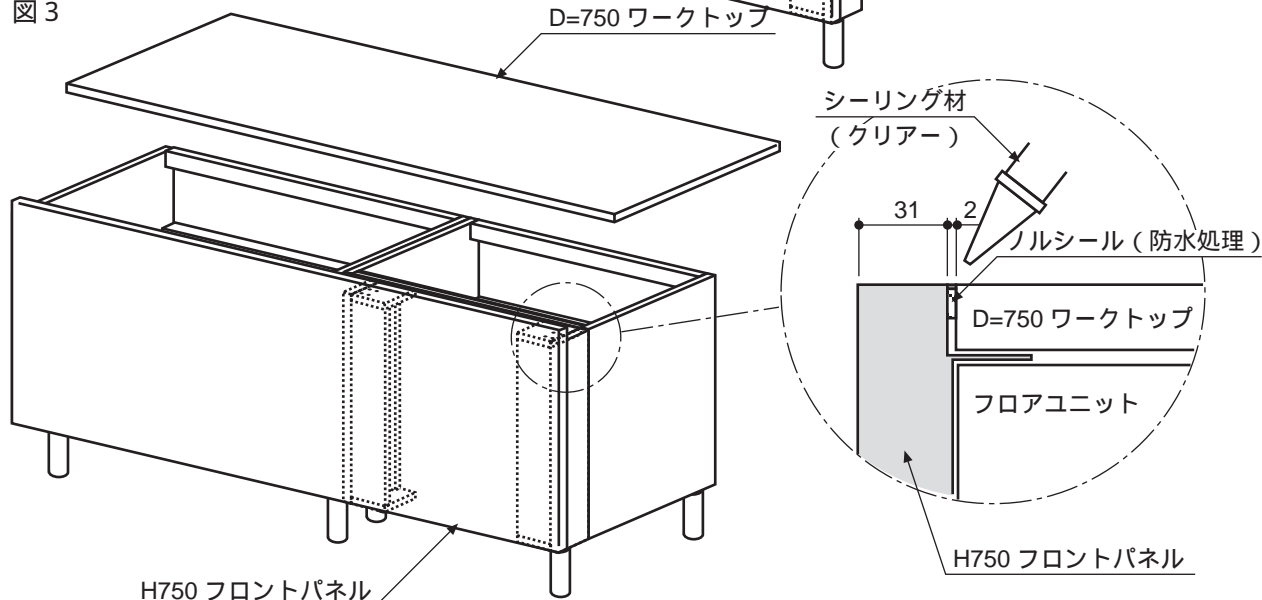


図3



転倒防止金具の取付け（アイランドキッチンの場合）

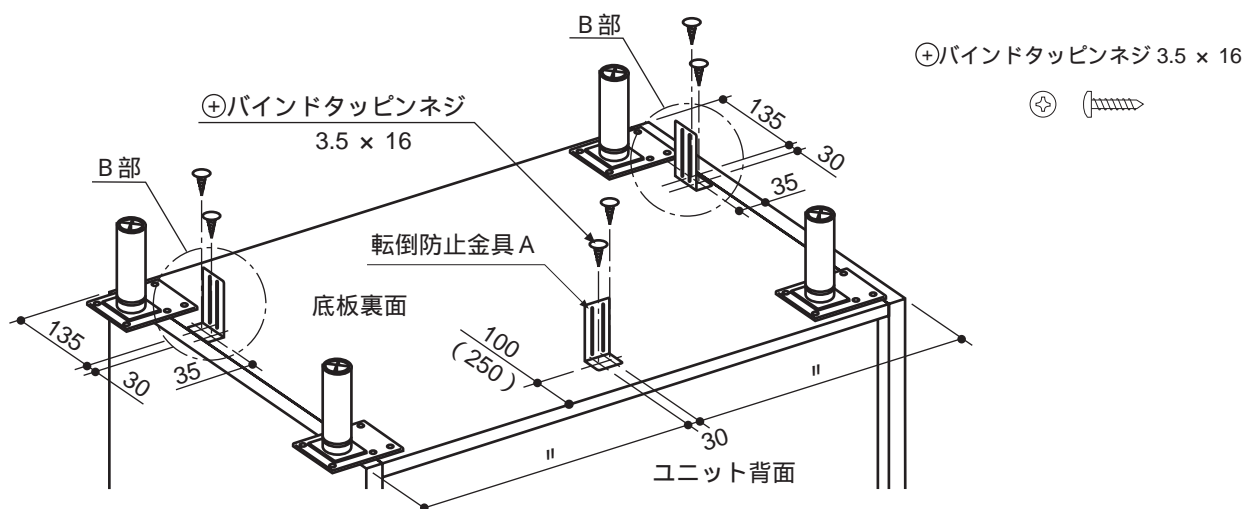
フロントパネルを使用するレイアウトの場合、引出しユニットには転倒防止金具を取付けてください。

1. ユニット底板裏面に転倒防止金具 A（ユニット取付用）を指定位置（下図参照）に、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 16 にて取付けます。

B 部の転倒防止金具は、アイランドキッチンに特殊な機器を組み込む場合に、機器両隣のユニット底板裏面の指定位置（下図参照）に取付けてください。

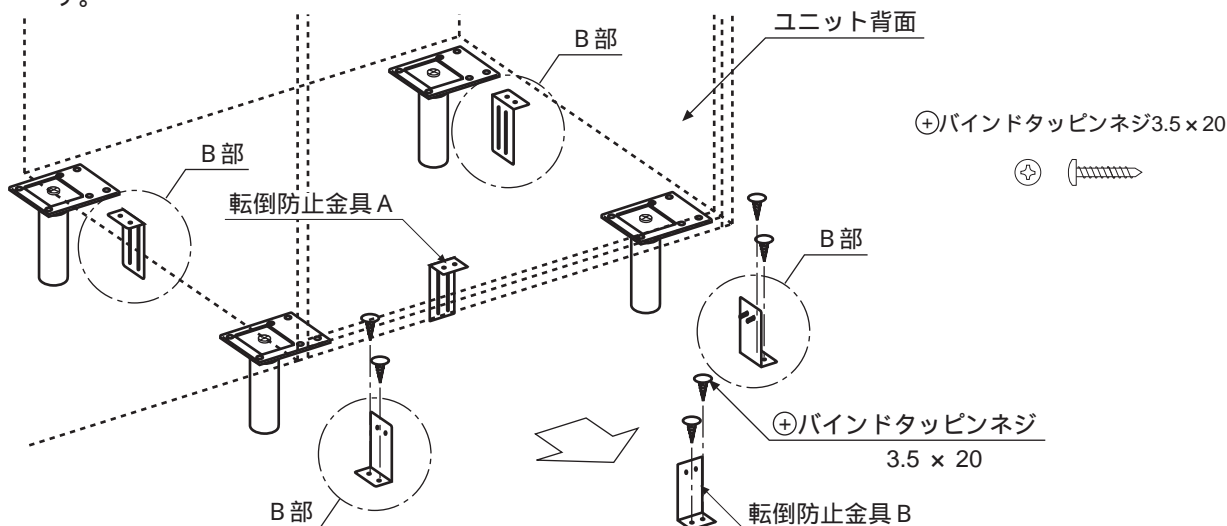
対象となる機器：IV-P60VG(P90G) * / NE-DB * * * / FB6010TD / ML-G601W- * * * S

（ ）内寸法は、D=730 ユニットのケースを示す。

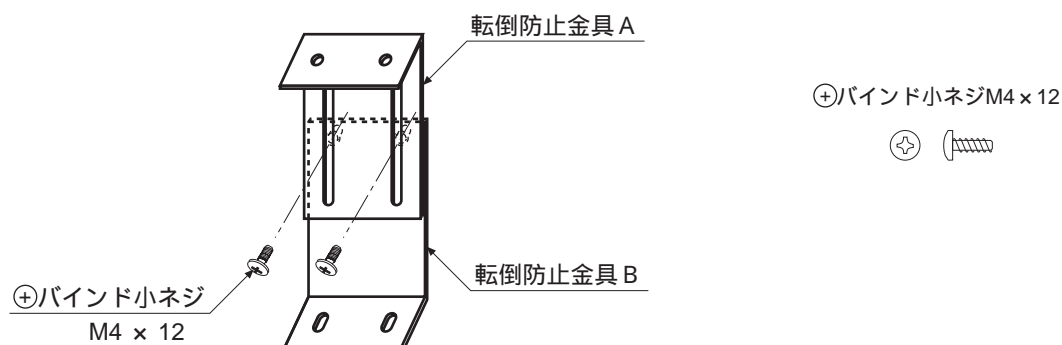


2. 転倒防止金具 B（床取付用）を指定位置（ユニットに取付けた転倒防止金具 A とジョイントができる位置）に、⊕バインドタッピンネジ 3.5 × 20 にて取付けます。

3. ユニットに取付けた転倒防止金具 A と床に取付けた転倒防止金具 B が重なるようにユニットを移動します。



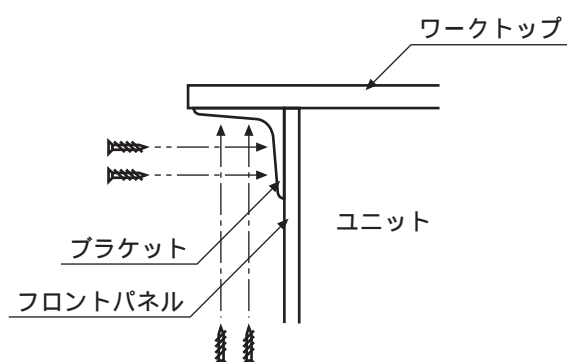
4. 転倒防止金具 A の長穴より、転倒防止金具 B に付いているクリップナットに⊕バインド小ネジ M4 × 12 をねじ込みます。ネジが回らなくなるまで、完全に締め付けてください。



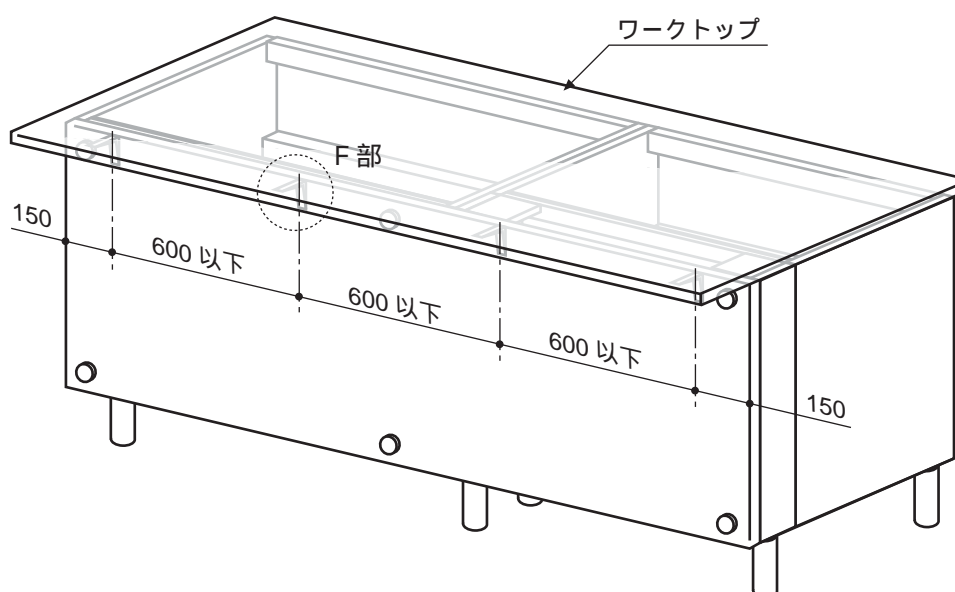
ブラケットの取付け

オープンカウンターの場合、ブラケットを取付けます。

1. ワークトップの補強として下図のように 600mm 以下のピッチで位置決めをします。
2. 設定した位置でブラケットを付属ネジにてユニットへ固定します。
D=1050 ワークトップには MKOP-BT240、D=894 / 900 ワークトップには SDOP-TB02 のブラケットを固定します。
3. ブラケットを付属ネジにてワークトップに固定します。
ブラケットがフロントパネルのヘッドキャップに当たる場合は、ヘッドキャップは取付けずにブラケットで隠れる範囲で、直接フロントパネルをネジ固定してください。



F 部詳細側面図



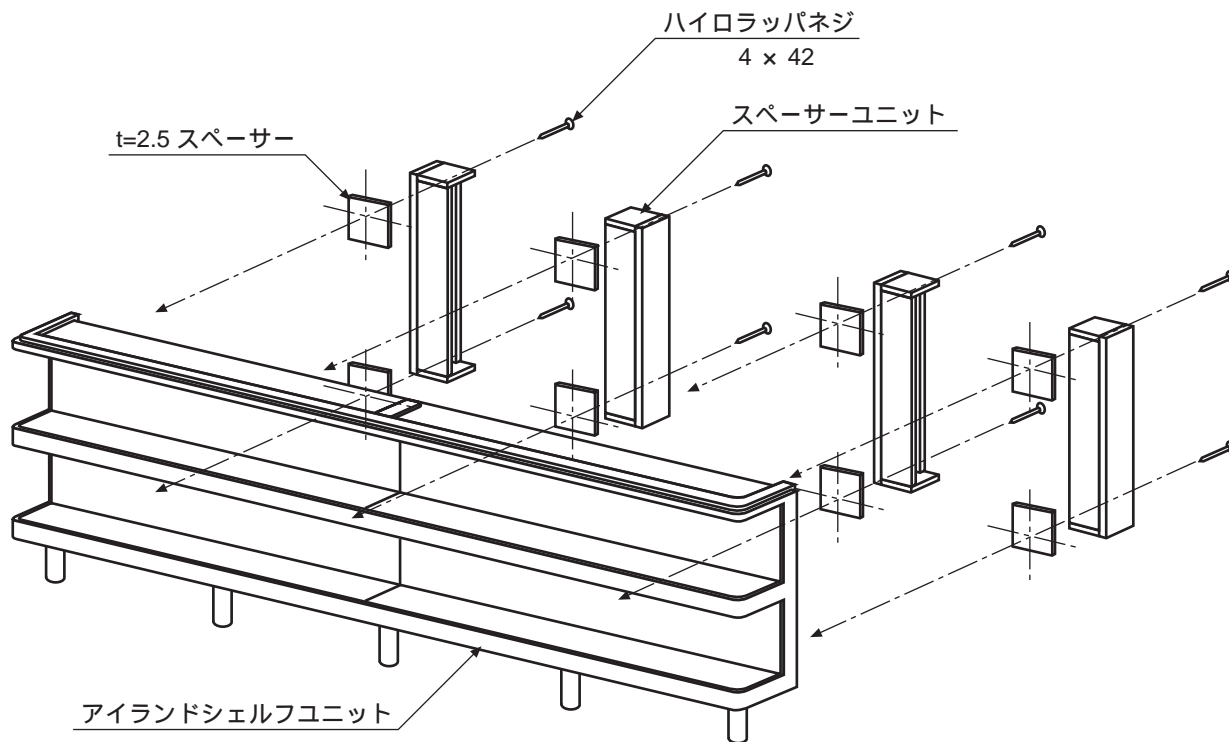
アジャスターの取付け

1. アイランドシェルフユニットの背面を下にして寝かせます。
2. アイランドシェルフユニットにアジャスターを取付けます。
(「アジャスター(樹脂製)の取付け」、「アジャスター【AF仕様】の取付け」を参照してください。)
W=2458、2608、2758、3058のアイランドシェルフユニットはセンターでジョイントしています。
AF仕様の場合、ジョイント部分の真下にアジャスターがくるように取付けてください。
(「アジャスター【AF仕様】の取付け」の「隣にユニットが続く場合」を参照してください。)

スペーサーユニットの取付け

スペーサーユニットが必要になる場合は、「レイアウト注意事項」を参照してください。

1. アイランドシェルフユニットとスペーサーユニットの間に3mmの隙間が発生しますので、ネジの取付位置にt=2.5mmのスペーサーを取付けてください。
この時、取付ネジがアイランドシェルフユニット背面のL金具に当たらないよう、スペーサーの位置を調整してください。
2. キッチン側のユニットの位置に合わせて、スペーサーユニットをハイロラップネジ4×42にてアイランドシェルフユニットに取付けてください。



アイランドシェルフユニットの取付け

1. キッチン側のユニットとアイランドシェルフユニット（またはスパーサーユニット）との間にスパーサーを取付けます。
2. キッチン側のユニットの背板からスパーサーを取付けた位置に 4 の下穴を開けます。
3. キッチン側のユニットとアイランドシェルフユニット（またはスパーサーユニット）をハイロラップネジ 4 × 42 にて固定してください。

キッチン側のユニットの奥行きが D=705mm の場合

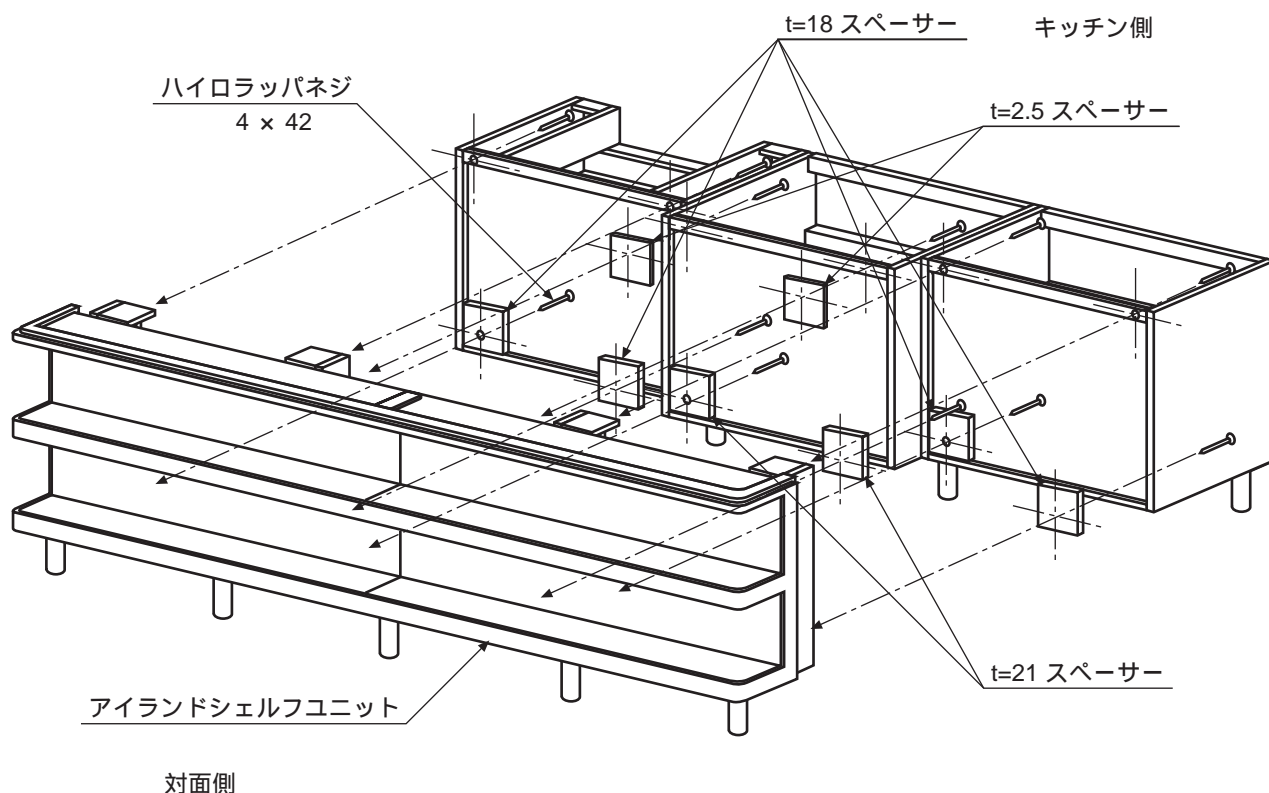
アイランドシェルフユニットとキッチン側のユニットを直接固定します。

- ・キッチン側のユニットの背板に t=2.5mm のスパーサーをユニットからはみ出ないように両面テープで取付けます。
- ・キッチン側のユニットの背板背面下部に t=21mm のスパーサーを底板にのせながら両面テープで貼り付けます。
- ・この時、取付ネジがアイランドシェルフユニット背面の L 金具に当たらないよう、スパーサーの位置を調整してください。

キッチン側のユニットの奥行きが D=555mm の場合

アイランドシェルフユニットに取付けたスパーサーユニットとキッチン側のユニットを固定します。

- ・キッチン側のユニットの背板背面下部で t=18mm のスパーサーを底板にのせながら両面テープで貼り付けます。

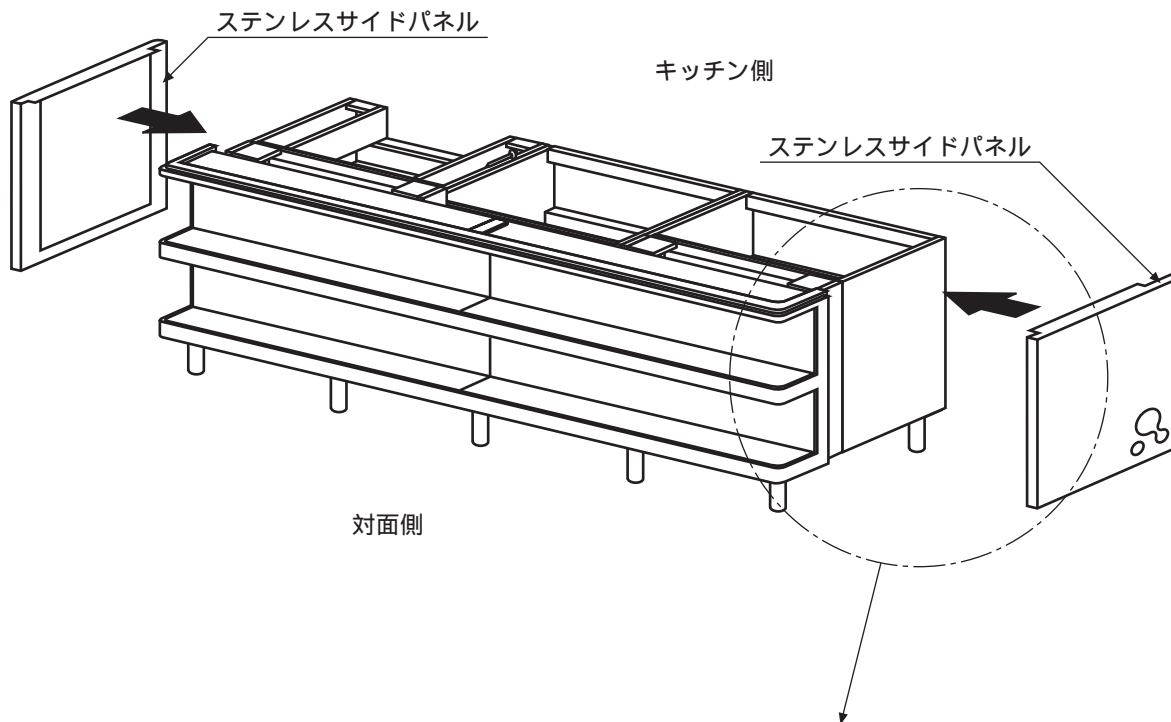


ステンレスサイドパネルの取付け

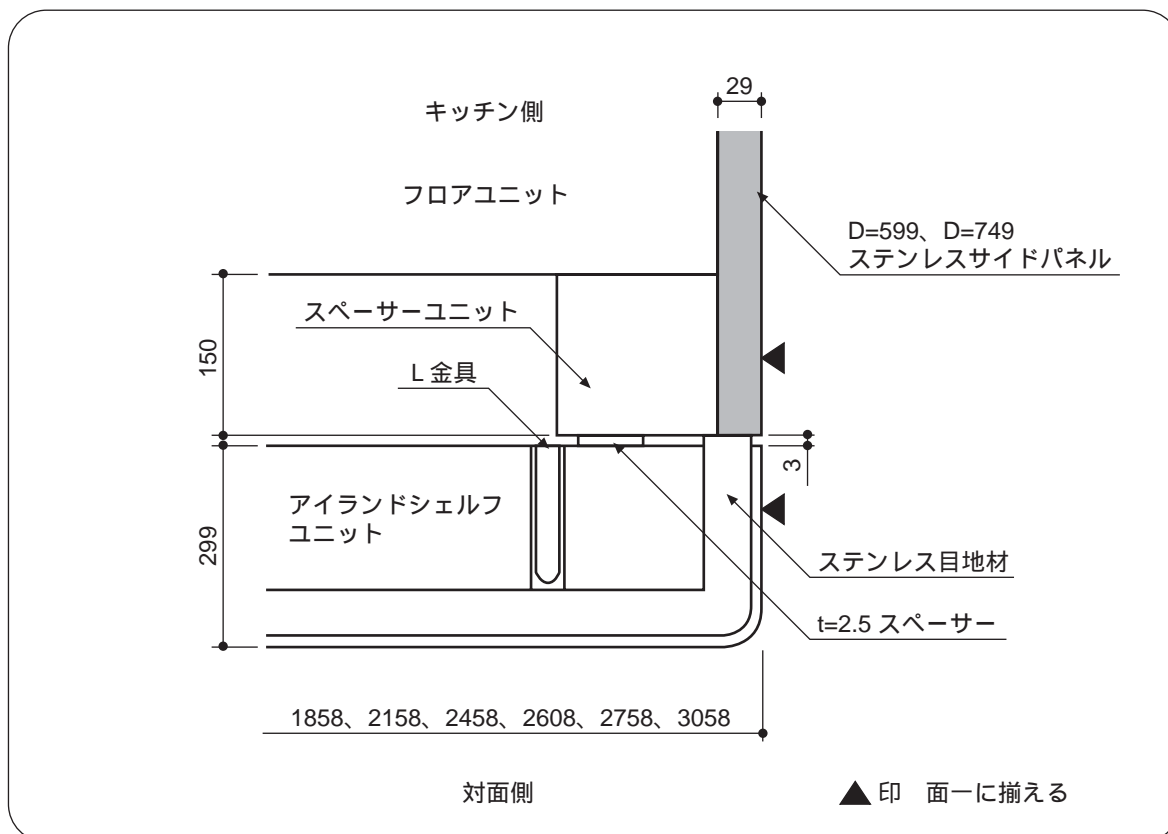
対面側にアイランドシェルフユニットを取付ける場合、D=1050 ソリッドトップには D=749、D=900 ソリッドトップには D=599 のステンレスサイドパネルを取付けます。

- ・キッチンの両側にステンレスサイドパネル（D=599 または D=749）を取付けます。

アイランドシェルフユニットの側面とステンレスサイドパネルの側面を面一に揃えて取付けてください。



ステンレスサイドパネルとアイランドシェルフユニットの取付詳細図

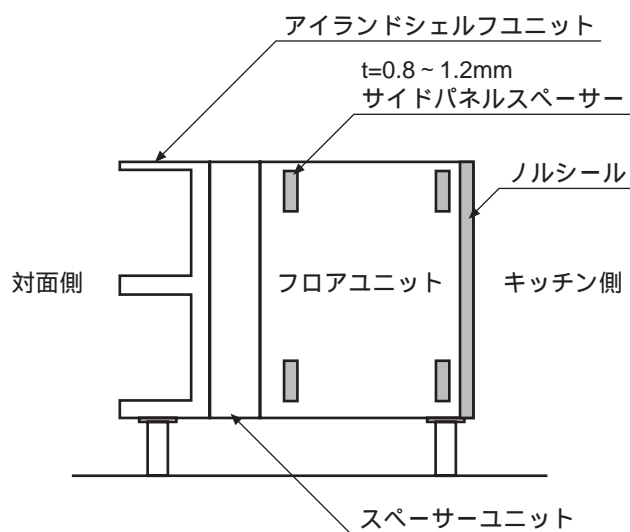
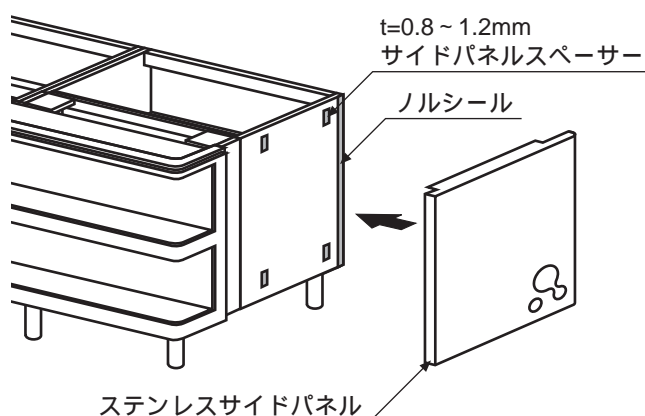
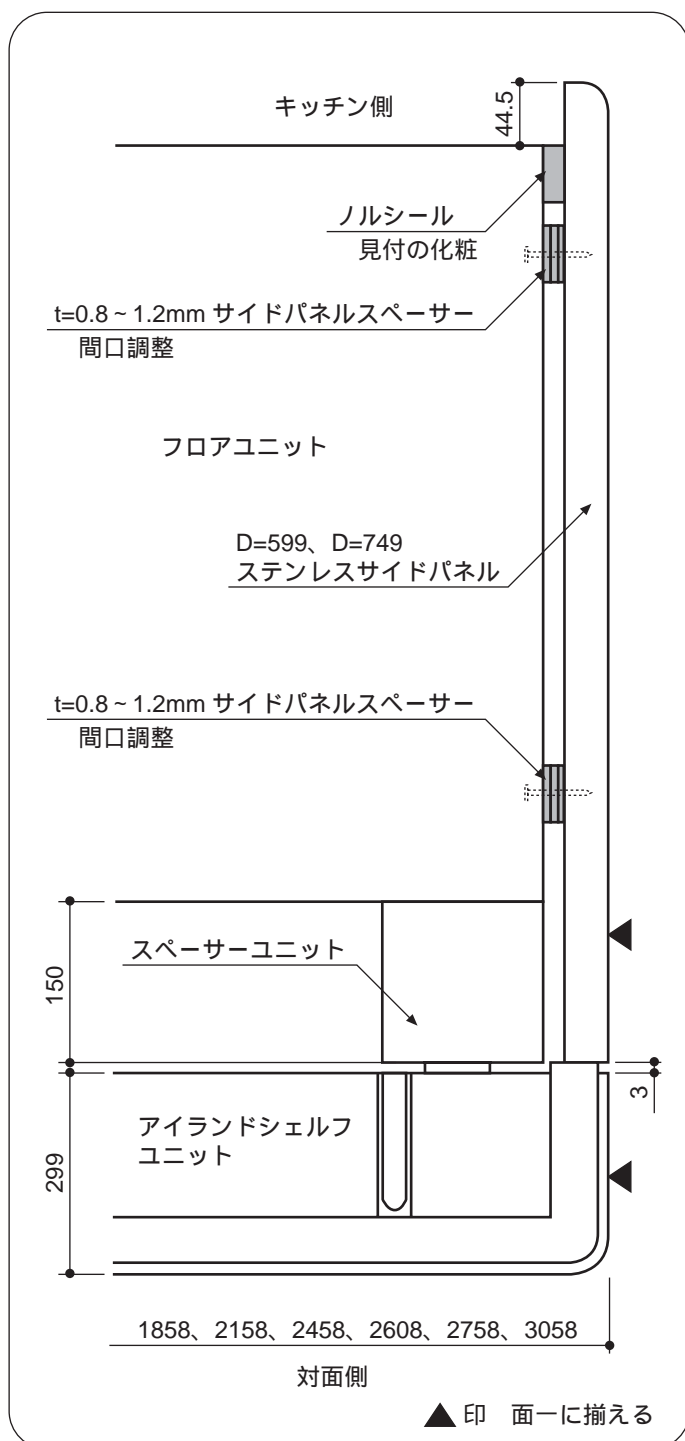


ユニット間口の調整

キッチン側のユニットを連結すると、施工条件によりユニットの全体間口が設定よりも小さい場合（0～5mm 程度）があります。この場合、ステンレスサイドパネルに付属しているノルシールと $t=0.8 \sim 1.2\text{mm}$ サイドパネルスペーサーを使用して間口を調整する必要があります。

1. アイランドシェルフユニットを両端の出が左右均等になるようにキッチン側のユニットへ取付けます。
2. アイランドシェルフユニットの側面とステンレスサイドパネルの側面が面一になるように $t=0.8 \sim 1.2\text{mm}$ サイドパネルスペーサー（付属品）を両面テープでキッチン側のユニットに貼り付けます。
3. キッチン側のユニット前面に合わせてノルシール（付属品）を貼り付けます。
4. ステンレスサイドパネルの側面とアイランドシェルフユニットの側面を面一に揃えて取付けます。
（ステンレスサイドパネルの取付けについては、「ステンレスサイドパネルの取付け」を参照してください。）

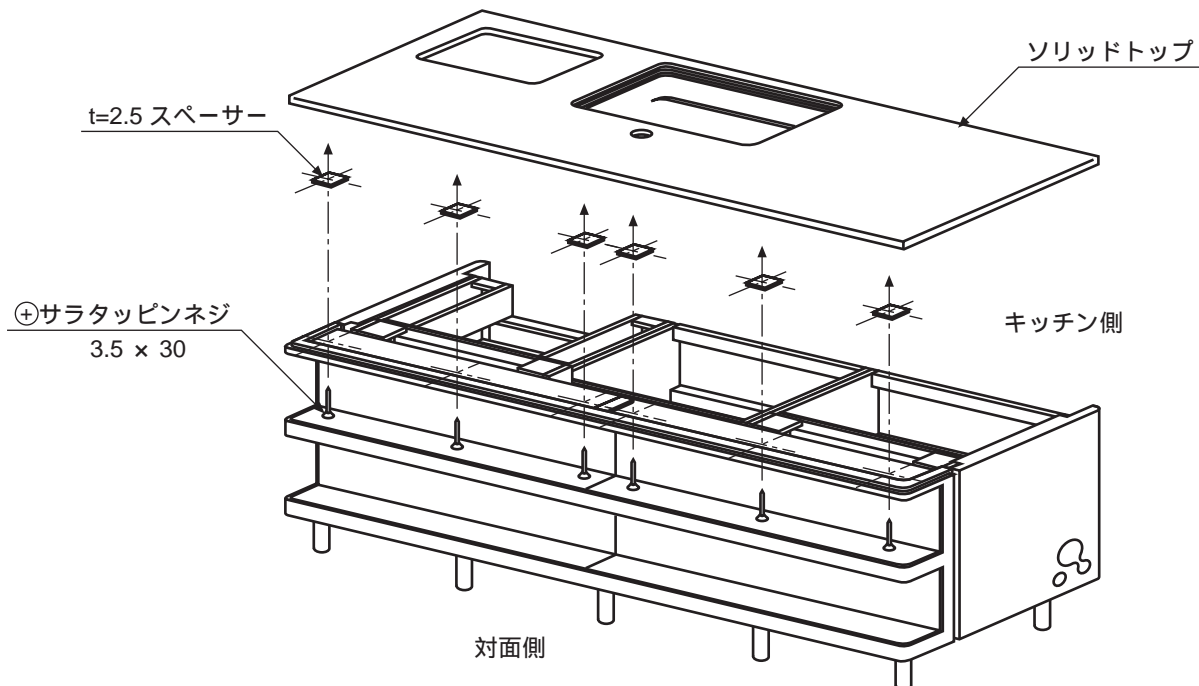
間口調整詳細図



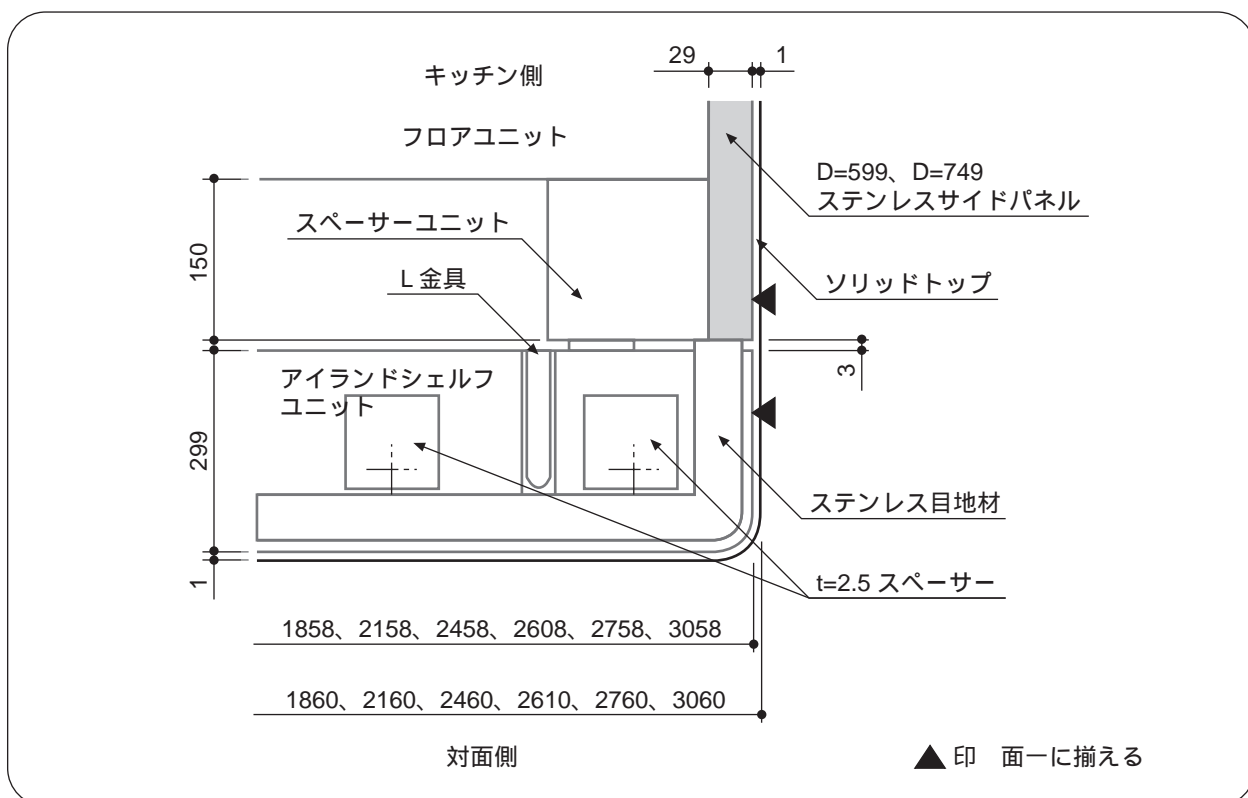
ソリッドトップの取付け

4 Dシンクの場合は、水栓を取付けてからソリッドトップを取付けてください。

1. アイランドシェルフユニット天板のソリッドトップ取付用下穴位置に $t=2.5\text{mm}$ スペースを取付けます。
(オープンユニットには $t=3\text{mm}$ の目地材が取付けられているため。)
2. ソリッドトップを設置し、位置を合わせます。
3. アイランドシェルフユニットの天板から⊕サラタッピンネジ 3.5×30 にてソリッドトップを固定します。
4. キッチン側のユニットからソリッドトップを固定します。
(ソリッドトップの固定方法については、「ワークトップの取付け」を参照してください。)



ソリッドトップとアイランドシェルフユニットの取付詳細図

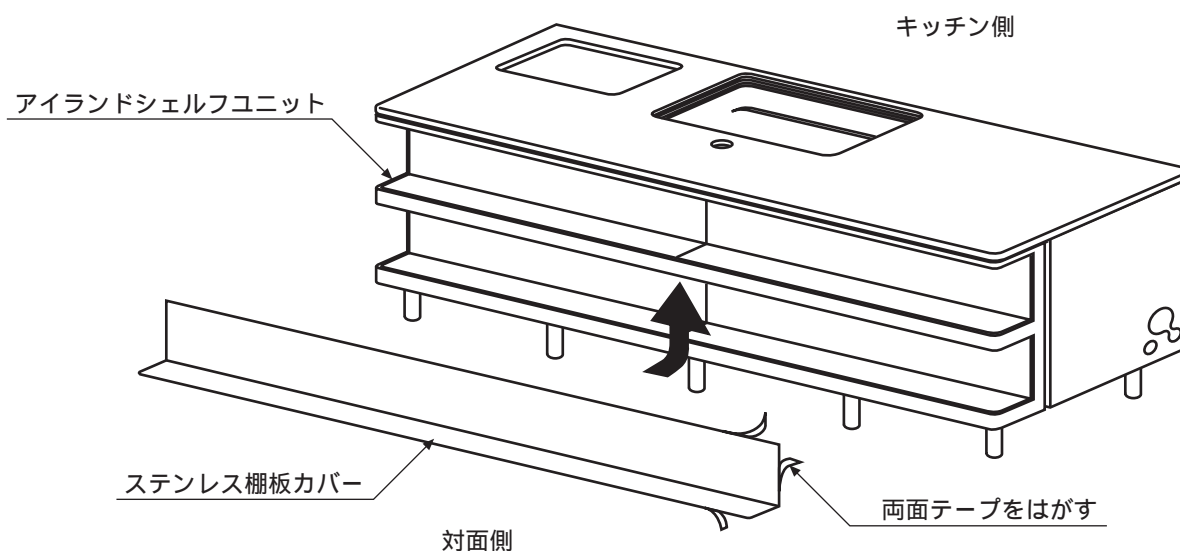


ステンレス棚板カバーの取付け

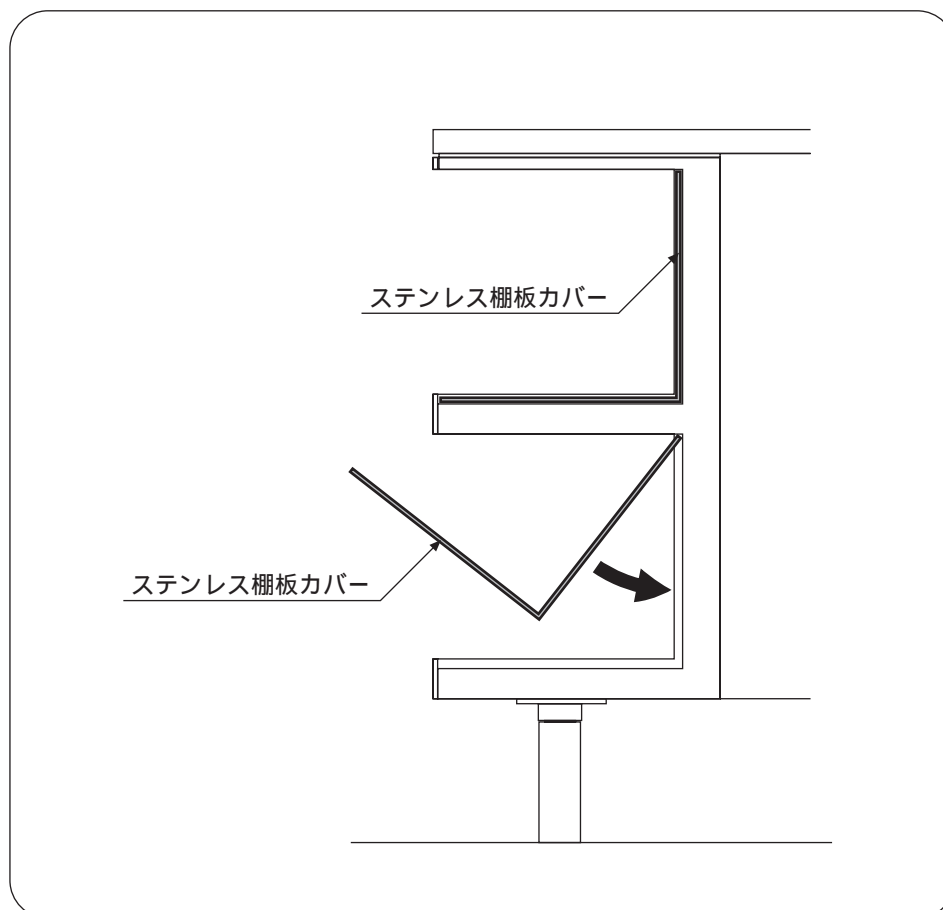
ステンレス棚板仕様の場合、ステンレス棚板カバーが付属されています。

アイランドシェルフユニットについたゴミ等の付着物は除去し、水分は十分に乾燥させてからステンレス棚板カバーを取付けてください。

1. ステンレス棚板カバー裏面の両面テープをはがします。
2. 間口方向の設置位置を合わせ、ステンレス棚板カバー上端を背板上部の入り隅に当て、回転させるようにアイランドシェルフユニットにはめ込みます。
3. 全てのステンレス棚板カバーをはめ込み、両面テープがしっかり接着されるように押さえます。



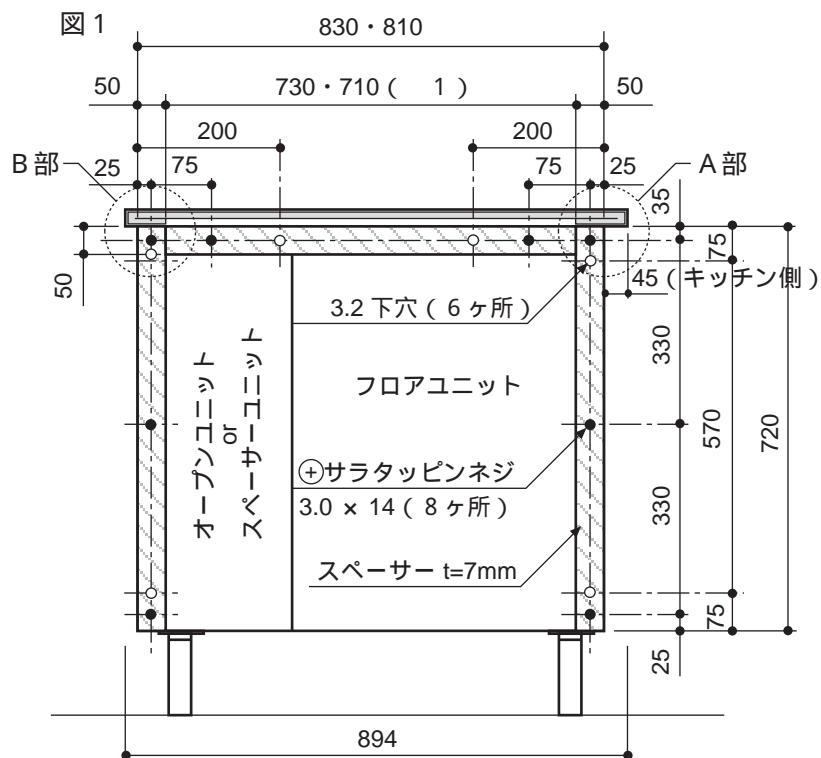
ステンレス棚板カバー取付け方詳細図



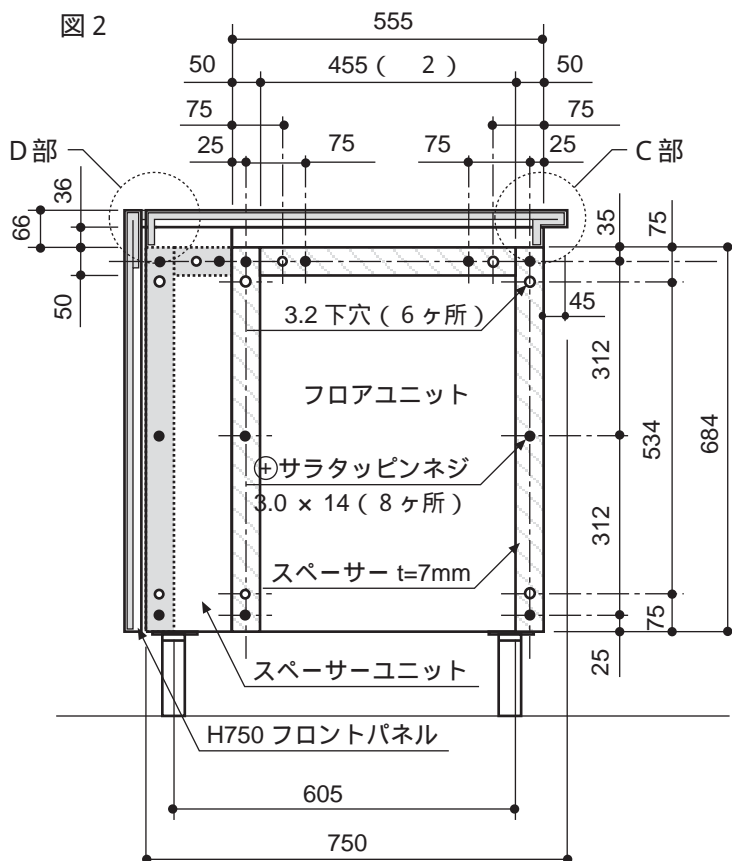
スペーサー・ノルシールの取付け、下穴加工

: ⊕サラタッピンネジ 3.0 × 14 にてスペーサーを固定する (8 ケ所)

: 3.2 下穴を開ける (6 ケ所)



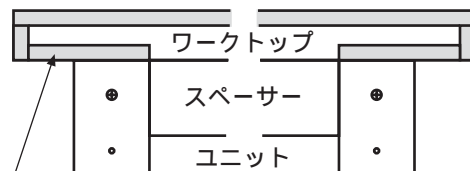
【D=894 ワークトップの場合】



【D=750 ワークトップの場合】

1. t=7mm のスペーサーを前後木口面に合わせて図 1 のように両面テープで仮に貼付けます。
2. ⊕サラタッピンネジ 3.0 × 14 にて図 1 の位置にスペーサーを固定します。
3. ワークトップの木口にノルシールを貼ります。
(B 部詳細図を参照してください。)
4. 図 1、図 2 の 指示位置に 3.2 の貫通穴を開けます。(パネル取付けの下穴)

- 1 対面側がフロントパネルの場合、
L=730mm のスペーサーを 20mm 現場でカットしてください。
- 2 D=555 のユニットにサイドパネルを取付ける場合、L=605mm のスペーサーを 150mm 現場でカットしてください。



B 部詳細図

A 部詳細図

ノルシール (幅 10mm)
ワークトップの木口に図のように貼ってください

ノルシール (幅 10mm)
ワークトップの木口に図のように貼ってください



D 部詳細図

C 部詳細図

ノルシール (幅 10mm)
フロントパネルの木口に t=4.8mm のノルシールを 2 枚重ね (t=9.6mm) にして、図のように貼ってください。

アルミサイドパネルの取付け (図 1)

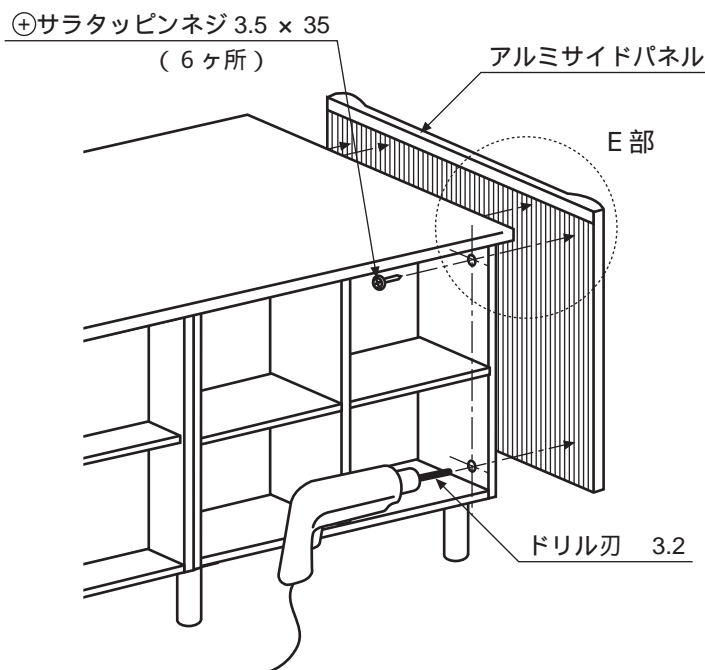
アルミサイドパネルの取付け作業には最低 2 人必要です。

D=894 ワークトップで、対面側がフロントパネルになる時は、アルミサイドパネルを先に取付けます。

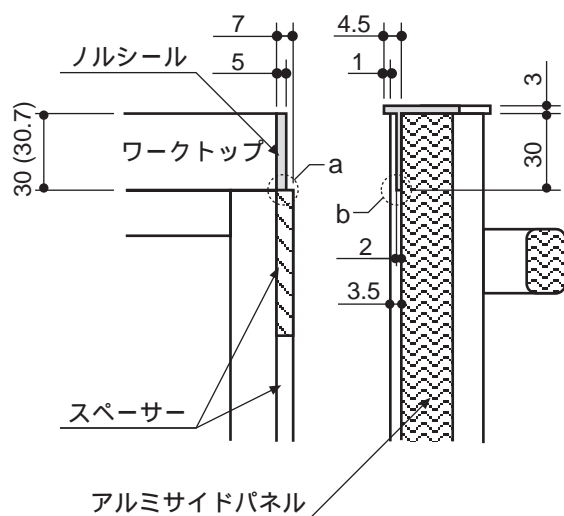
対面側がオープンユニットになる時は、オープンユニットを取付けてからアルミパネルを取付けます。

D=750 ワークトップの場合、背面のフロントパネルを取付けてからアルミサイドパネルを取付けてください。

図 1



1. 前後をワークトップ位置に合わせて (D=750 の場合はワークトップとフロントパネルに合わせて) アルミサイドパネルの位置を決め、一時的に固定しておきます。(1 人：固定係)
取付高さについては、E 部詳細図を参照してください。
2. 既に開いているユニット側板の下穴を利用して、ユニット内側からアルミサイドパネルに向けて下穴と同じ 3.2 穴で下穴を開けます。この時、アルミサイドパネルの表側に穴を開けないようにご注意ください。
3. 下穴を利用して、ユニット内側から⊕サラタッピンネジ 3.5 × 35 にてアルミサイドパネルを固定します。



スペーサーの a 部にアルミサイドパネルの b 部を乗せて位置を決めると、下穴加工、ネジ固定を行う時に作業性が良くなります。

(人工大理石ワークトップの場合、ワークトップの厚みが 30.7mm となるため、a 部に 1mm 程度のパッキンを当てて高さを調整してください。)

取付時にノルシールがアルミサイドパネルからはみ出ないようにご注意ください。

ステンレスサイドパネルの取付け 1

ステンレスサイドパネルの取付作業には最低 2 人必要です。

ウォールユニット用、フロアユニット用 D=599・749 の場合

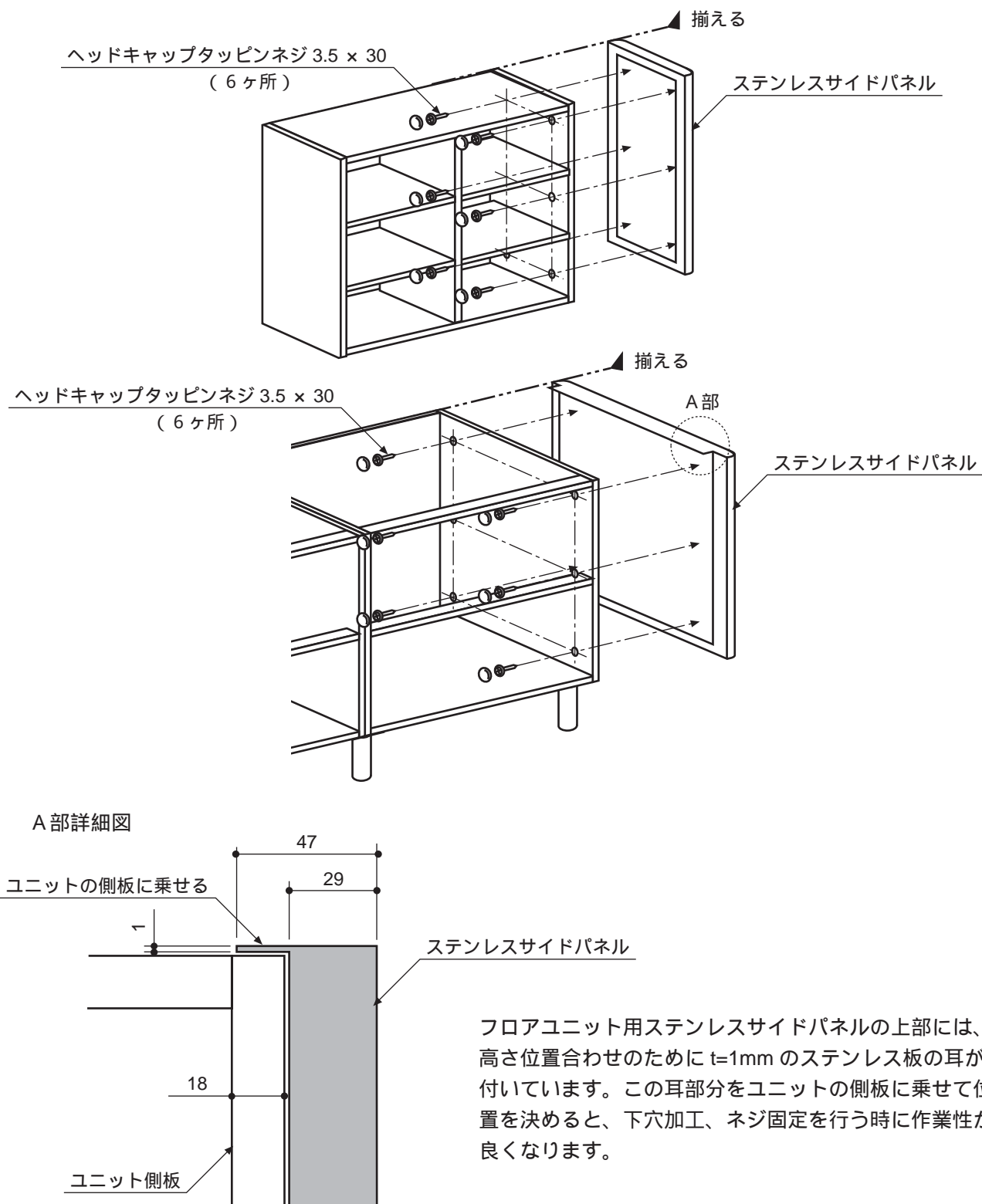
壁付けキッチンの場合、壁側にくるユニットにステンレスサイドパネルを取付けてからユニットを設置します。

アイランドキッチンの場合、ユニットを設置してからステンレスサイドパネルを取付けます。

- ・ステンレスサイドパネルをユニットの背面に合わせて、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にて指定位置で固定します。(1 人：固定係)

フロアユニットの場合、取付高さについては A 部詳細図を参照してください。

ウォールユニットの場合、取付高さについては側板の下端に合わせてください。



ステンレスサイドパネルの取付け 2

フロアユニット用 D=899(893)・1049 の場合

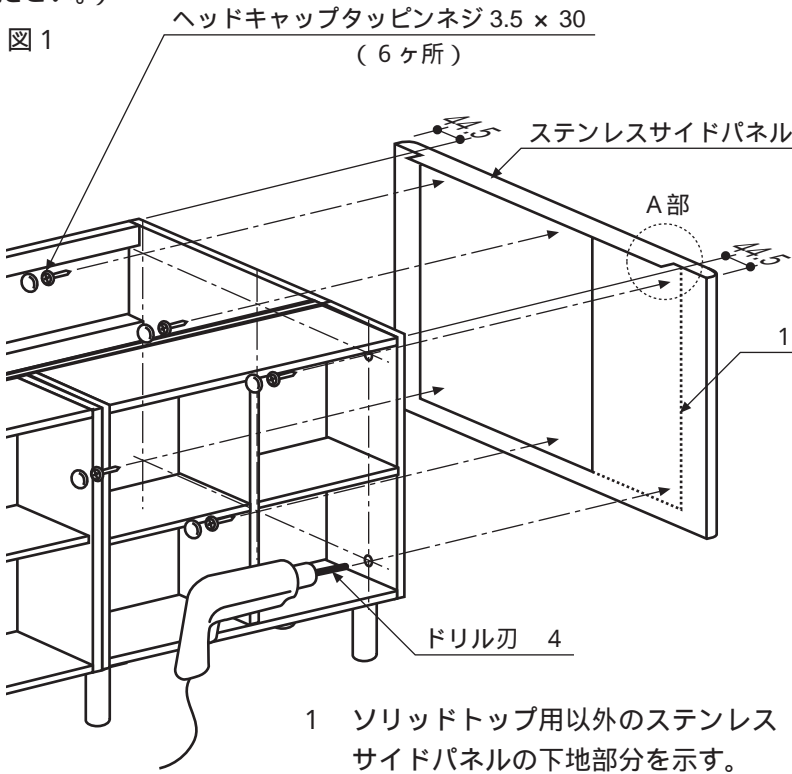
ユニットを設置してからステンレスサイドパネルを取付けます。

対面側にアイランドシェルフユニットを取付ける場合、D=1050 ソリッドトップには D=749、D=900 ソリッドトップには D=599 のステンレスサイドパネルを取付けます。

(D=599・749 のステンレスサイドパネルの取付けについては、「ステンレスサイドパネルの取付け 1」を参照してください。)

(アイランドシェルフユニットの取付けについては、「アイランドシェルフユニットの取付け」を参照してください。)

図 1



【ソリッドトップ用のステンレスサイドパネルの場合】

1. ステンレスサイドパネルの前後を図 1 の位置に合わせて、一時的に固定します。(1人：固定係)
取付高さについては A 部詳細図を参照してください。
2. ユニットの内側からステンレスサイドパネルに向けて、ユニット側板に 4 の下穴を開けます。ステンレスサイドパネルのステンレス板部分に穴位置の印をつけます。
3. いったんステンレスサイドパネルを外し、ステンレス板の印をした位置に 4 の下穴を開けます。この時、ステンレス板に開けた穴のバリを取ってください。
4. 再びステンレスサイドパネルの位置合わせを行い、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5 x 30 にて固定します。(1人：固定係)

【ソリッドトップ用以外のステンレスサイドパネルの場合】

・ステンレスサイドパネルをキッチン側のユニットの前面からの 44.5mm の位置に合わせて、ヘッドキャップタッピンネジ 3.5 x 30 にて指定位置で固定します。(1人：固定係)

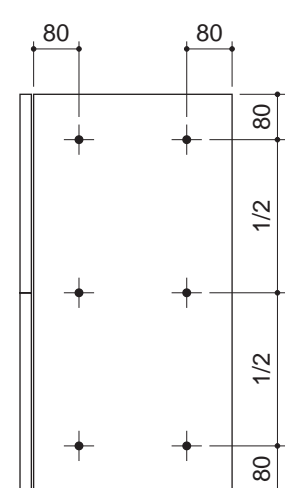
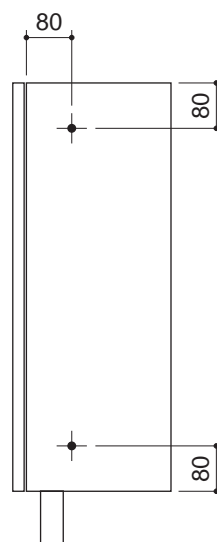
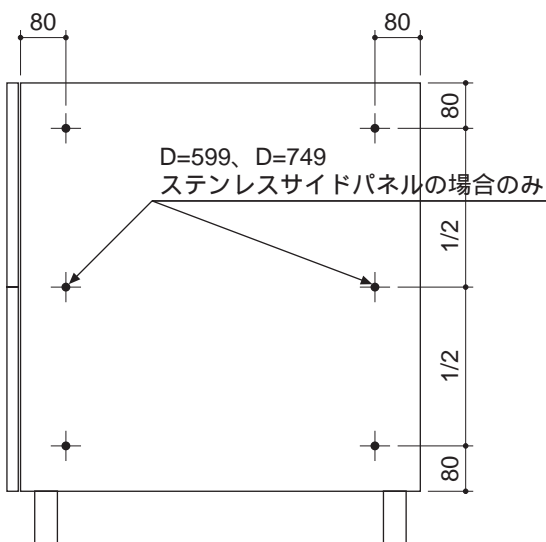
取付高さについては A 部詳細図を参照してください。

ステンレスサイドパネル取付位置

フロアユニットの場合

ガラス扉ユニットの場合

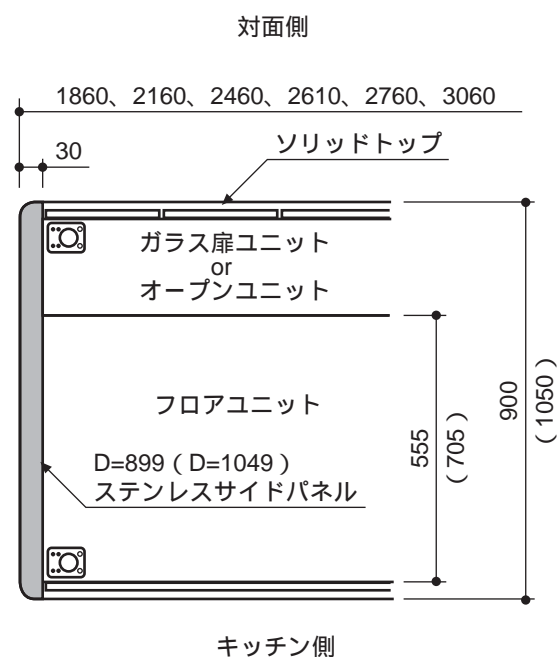
ウォールユニットの場合



ステンレスサイドパネルの取付け 3

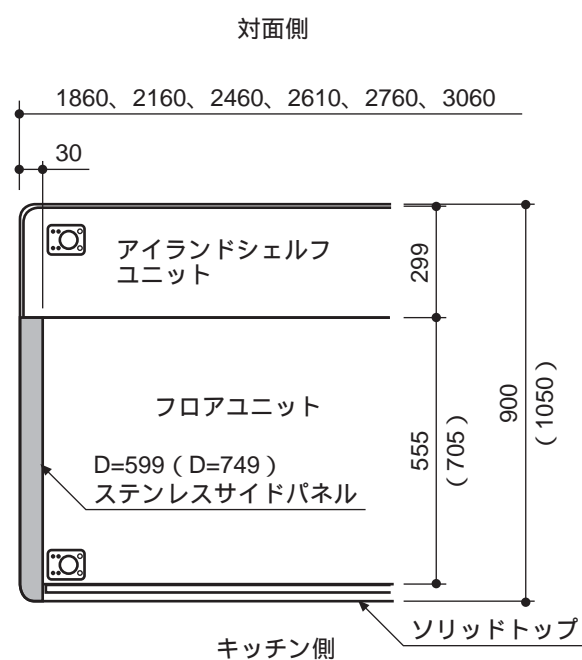
アイランドキッチンの対面側がガラス扉ユニットまたはオープンユニットの場合

- ・ D=1050 ソリッドトップには D=1049、D=900 ソリッドトップには D=899 のステンレスサイドパネルを取付けます。



アイランドキッチンの対面側がアイランドシェルフユニットの場合

- ・ D=1050 ソリッドトップには D=749、D=900 ソリッドトップには D=599 のステンレスサイドパネルを取付けます。



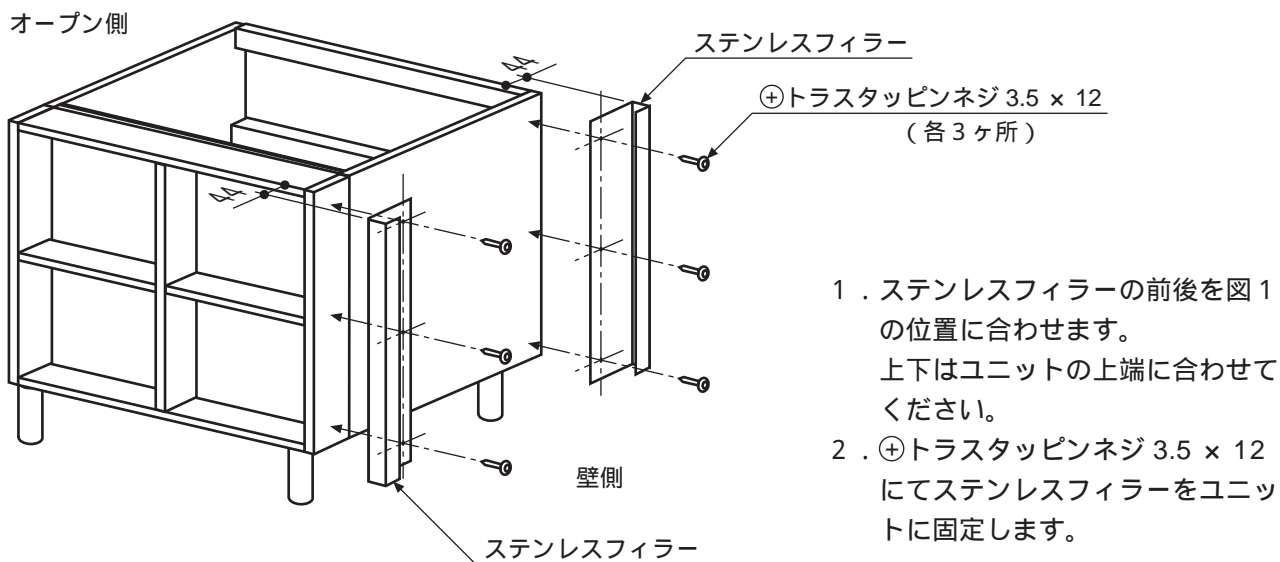
ステンレスフィラーの取付け 1

ステンレスフィラーはペニンシュラー用ソリッドトップ (D=900、1050) の付属品です。

ユニットを壁側に設置する前にステンレスフィラーを取付けてください。

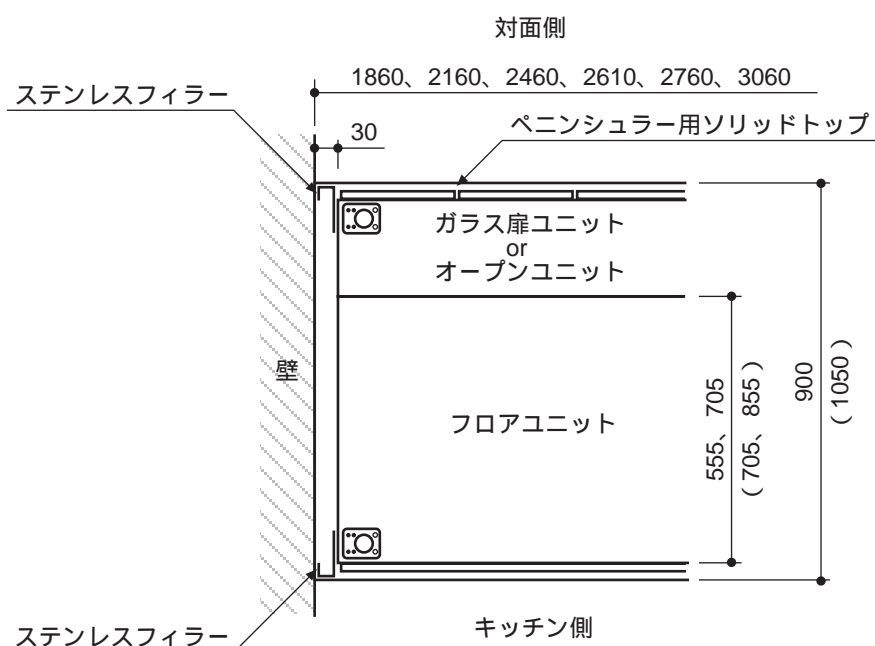
対面側がアイランドシェルフユニットまたはオープンカウンターの場合は、ステンレスフィラーは1台しか取付けません。

図 1



ペニンシュラー用ソリッドトップの対面側がガラス扉ユニットまたはオープンユニットの場合

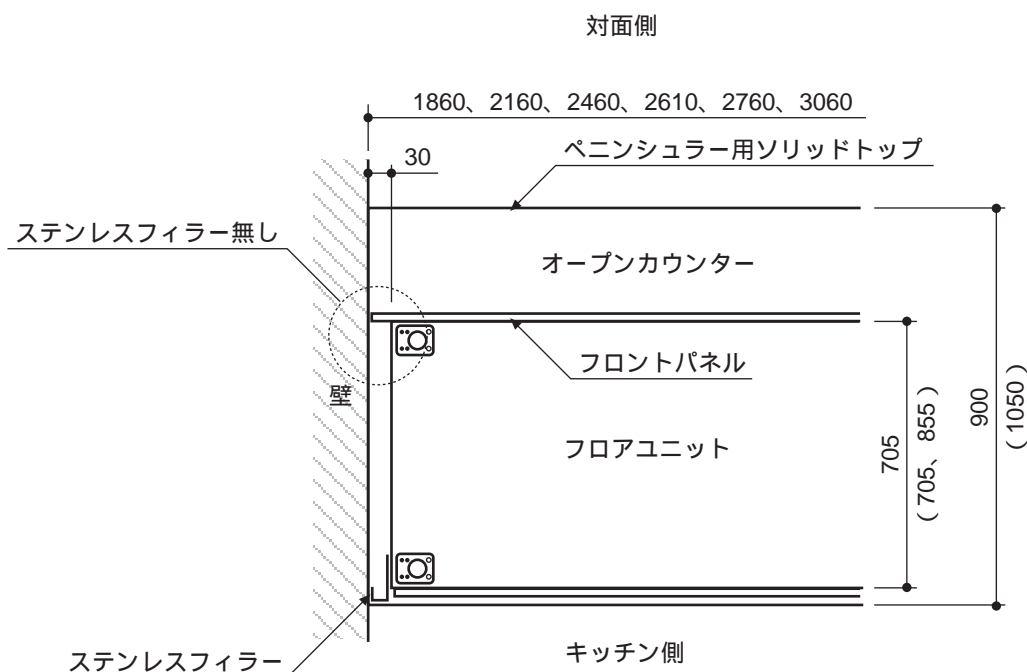
・ステンレスフィラーはキッチン側、対面側の両ユニットの壁側に取付けます。



ステンレスフィラーの取付け 2

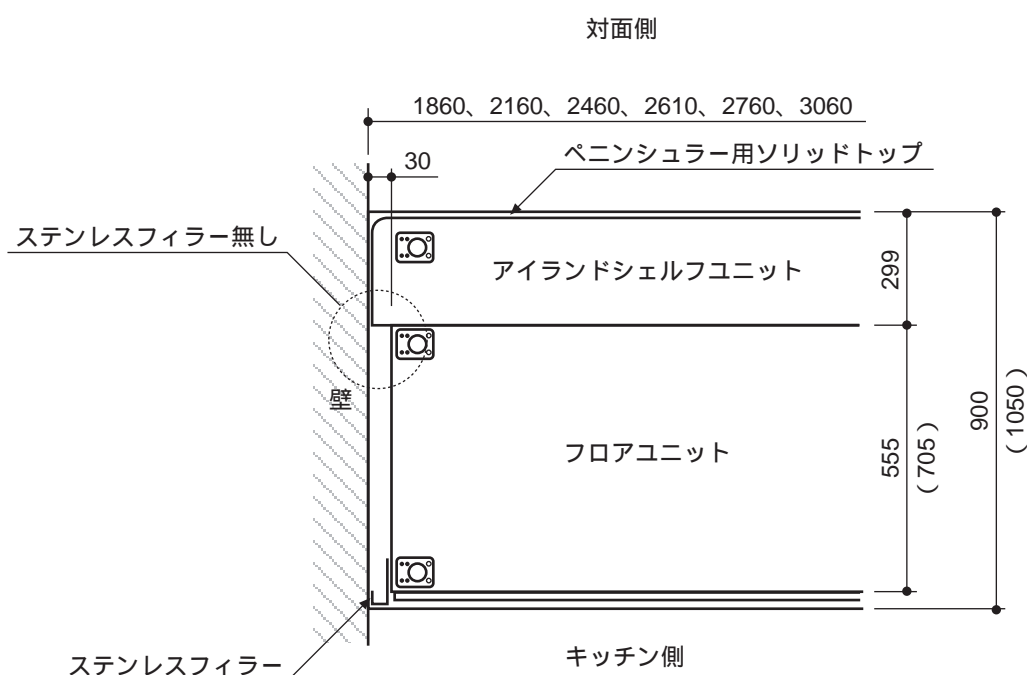
ペニンシュラー用ソリッドトップの対面側がオープンカウンターの場合

- ・フロントパネルを壁まで伸ばし、ステンレスフィラーをキッチン側のユニットの壁側に取付けます。
ステンレスフィラーは2台付属していますが、1台しか取付けません。



ペニンシュラー用ソリッドトップの対面側がアイランドシェルフユニットの場合

- ・ステンレスフィラーはキッチン側のユニットの壁側に取付けます。
ステンレスフィラーは2台付属していますが、1台しか取付けません。



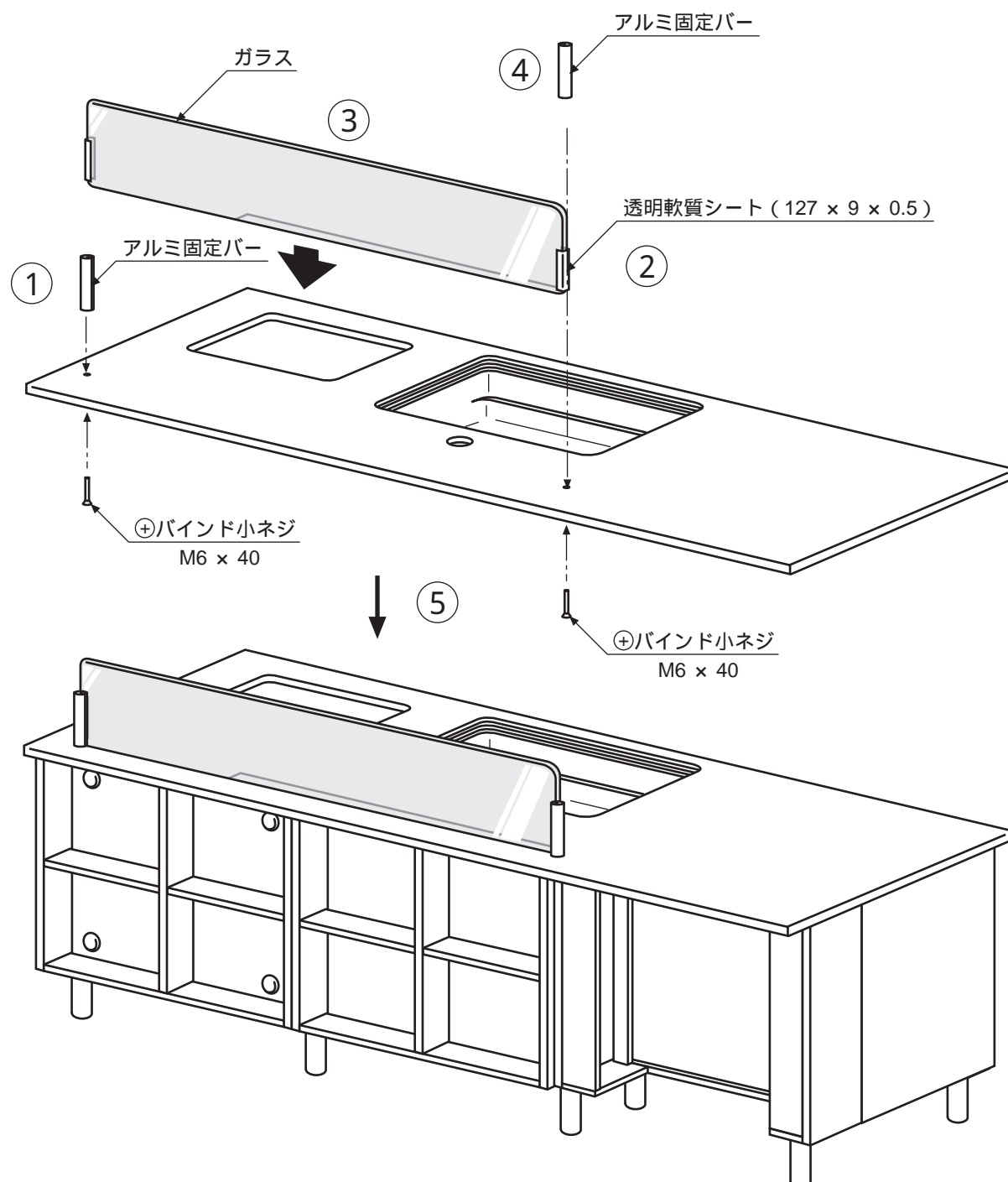
ガラスバックガードの取付け

ガラスバックガードの取付けは、ワークトップをユニットへ固定する前に行ってください。

1. 左右どちらか一方のアルミ固定バーを、ワークトップ裏面の指定位置（取付けガイド穴位置）から、⊕サラ小ネジ M6 × 40 にて固定します。
2. ガラスの両端両面の下側に透明の軟質シートを接着無しで合わせて貼り付けます。
3. 1 で取付けたアルミ固定バーの溝部分に、軟質シートを貼ったガラスを水平に差し込みます。
4. もう片方のアルミ固定バーをガラスに差し込み、ワークトップ裏面の指定位置（取付けガイド穴位置）から、⊕サラ小ネジ M6 × 40 にて固定します。

ガラスが差し込みできない場合は、軟質シートを片面にしてください。

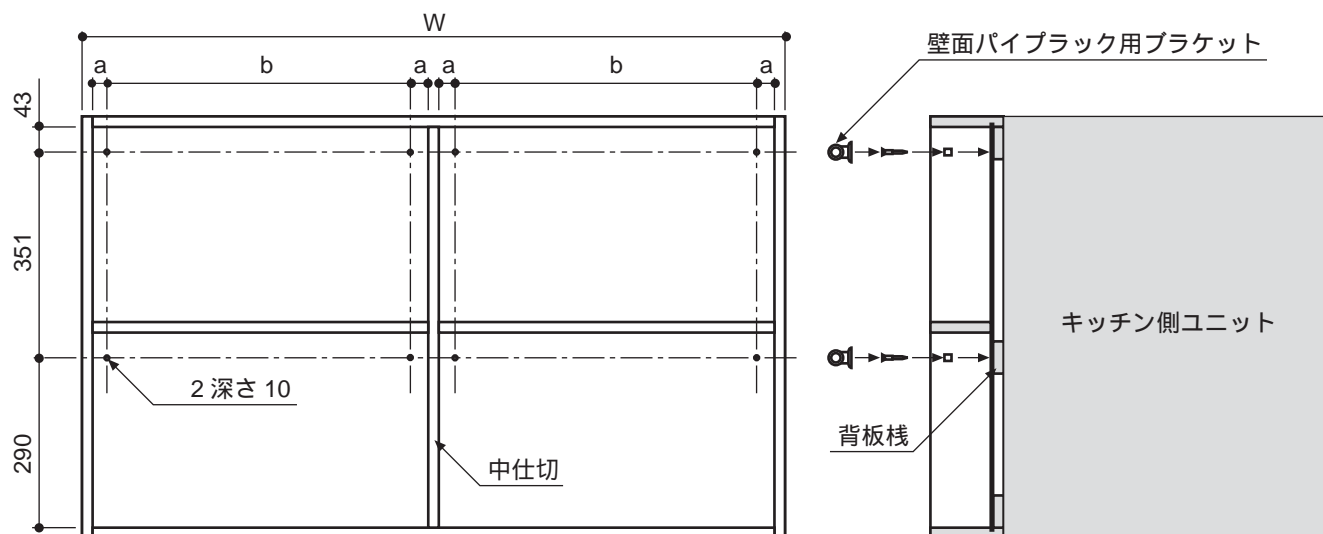
5. ガラスバックガードを取付けたワークトップをユニット内部より固定します。



ブックラックの取付け

アイランドキッチン・オープンユニットへの取付け

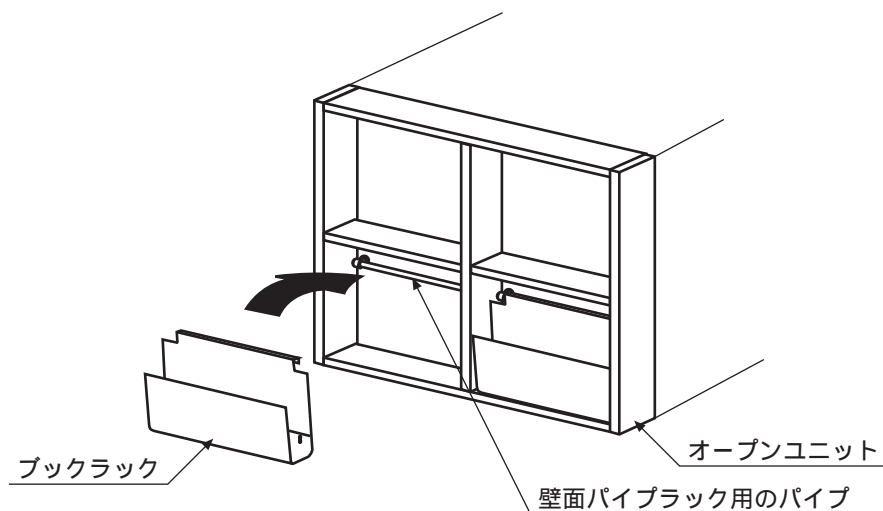
図 1



| | | | | | |
|--------|---|--------|-------|---|--------------------------|
| W=750 | : | a=22.5 | b=669 | / | 中仕切りはなく、上下 2 段のみのユニットです。 |
| W=900 | : | a=22 | b=379 | / | 図 1 と同じ構造のユニットです。 |
| W=1200 | : | a=22 | b=529 | / | 図 1 と同じ構造のユニットです。 |
| W=1350 | : | a=23.5 | b=379 | / | 中仕切りが 2 つのユニットです。 |

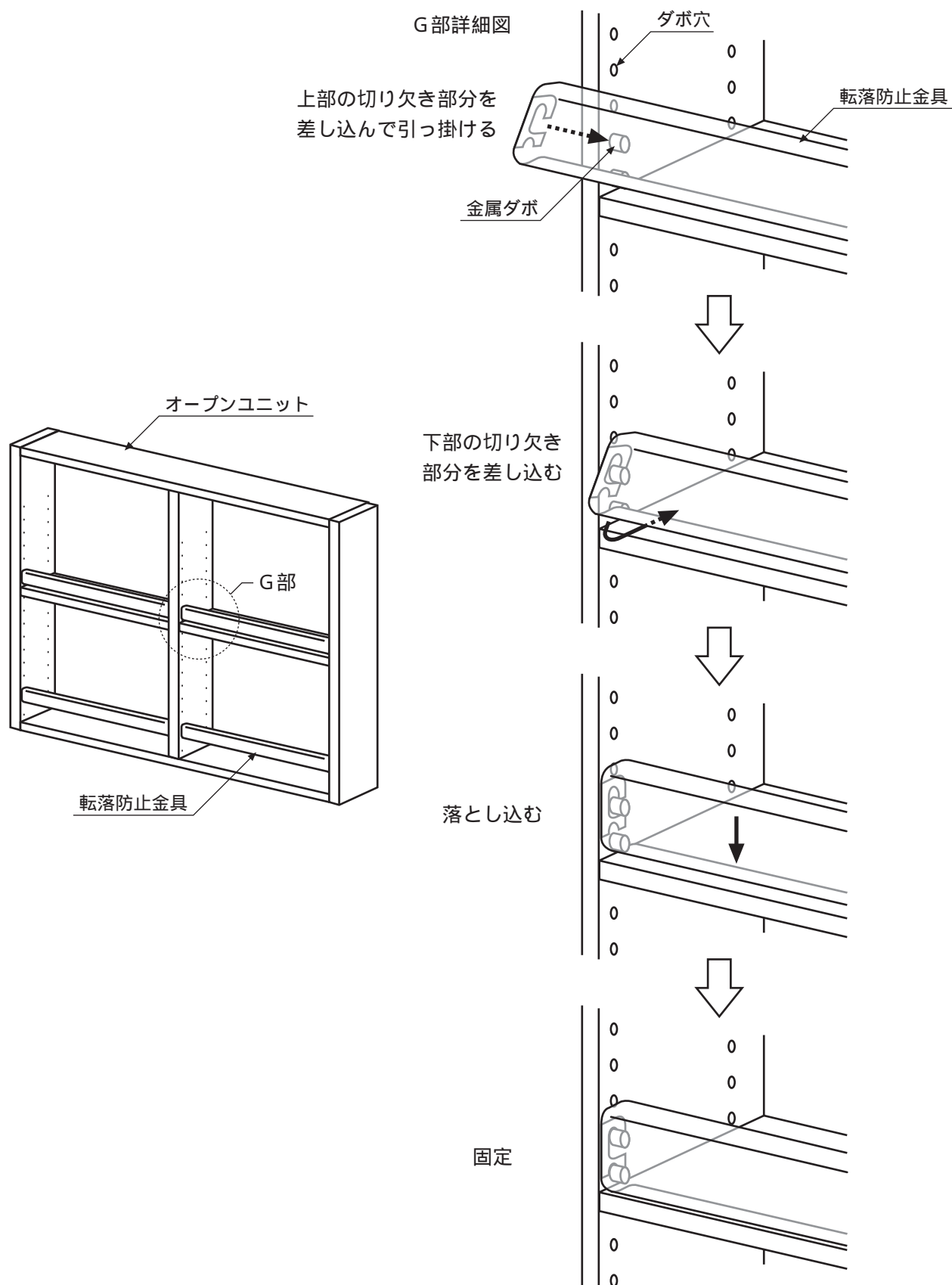
1. 上段、下段の取付ける場所に沿って、図 1 の指示位置に 2 深さ 10 の下穴を開けてください。
2. ブックラックのパイプを取付けます。
(「パイプラックパーツの取付け」を参照してください。)
ただし、エンドキャップは先にパイプ両端へ取付けます。
3. 図 2 のようにブックラック本体をパイプに引っ掛けるように取付けます。

図 2



転落防止金具の取付け

- ・ユニット側板のダボ穴に金属ダボを差し込みます。
 - ・転落防止金具側面の上部の切り欠き部分を、上側の金属ダボに差し込んで引っ掛けます。
 - ・転落防止金具側面の下部の切り欠き部分を、下側の金属ダボに差し込みます。
 - ・転落防止金具を金属ダボに落とし込んで固定します。(G部詳細図)
- 金属ダボは転落防止金具 1 本につき 4 個付属。
転落防止金具の位置を変える場合は、取付ける逆の順序で行います。



IV - P60VG(P90G) *、IV - PC96 の取付け (アイランドキッチン人工大理石トップの場合)

人工大理石ワークトップの場合、IV-P60VG(P90G) *、IV-PC96 を組込むとき、機器の背面側はステンレス製のパーツになります。(対応パーツ：別売部品)
ステンレスワークトップの場合は一体です。

IV-P60VG(P90G) * の場合

1. 人工大理石ワークトップ対応パーツを隣り合う人工大理石ワークトップの対面側に合わせます。(図2)
2. 人工大理石ワークトップ対応パーツを下図のようにオープンユニットとスペーサーユニットの天板下面からヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にて固定し、オープンユニットはヘッドキャップをはめます。(図1)
3. ビルトイン機器を設置します。(図2)(ビルトイン機器に付属の据付工事説明書を参照してください。)
4. 人工大理石ワークトップと対応パーツのすき間をシリコンシーリング材でシールします。(図2)

IV-PC96 の場合

IV-PC96 の場合は、専用ユニットを設置しますので、スペーサーユニットは必要ありません。

1. 専用調理機器ユニットと背面トップ下地を取付けます。(ビルトイン機器に付属の据付工事説明書を参照してください。)
2. 人工大理石ワークトップ対応パーツを隣り合う人工大理石ワークトップの対面側に合わせます。
3. 背面トップ下地と人工大理石ワークトップ対応パーツをヘッドキャップタッピンネジ 3.5 × 30 にて固定し、ヘッドキャップをはめます。
4. ビルトイン機器を設置します。(ビルトイン機器に付属の据付工事説明書を参照してください。)
5. 人工大理石ワークトップと対応パーツのすき間をシリコンシーリング材でシールします。

図1

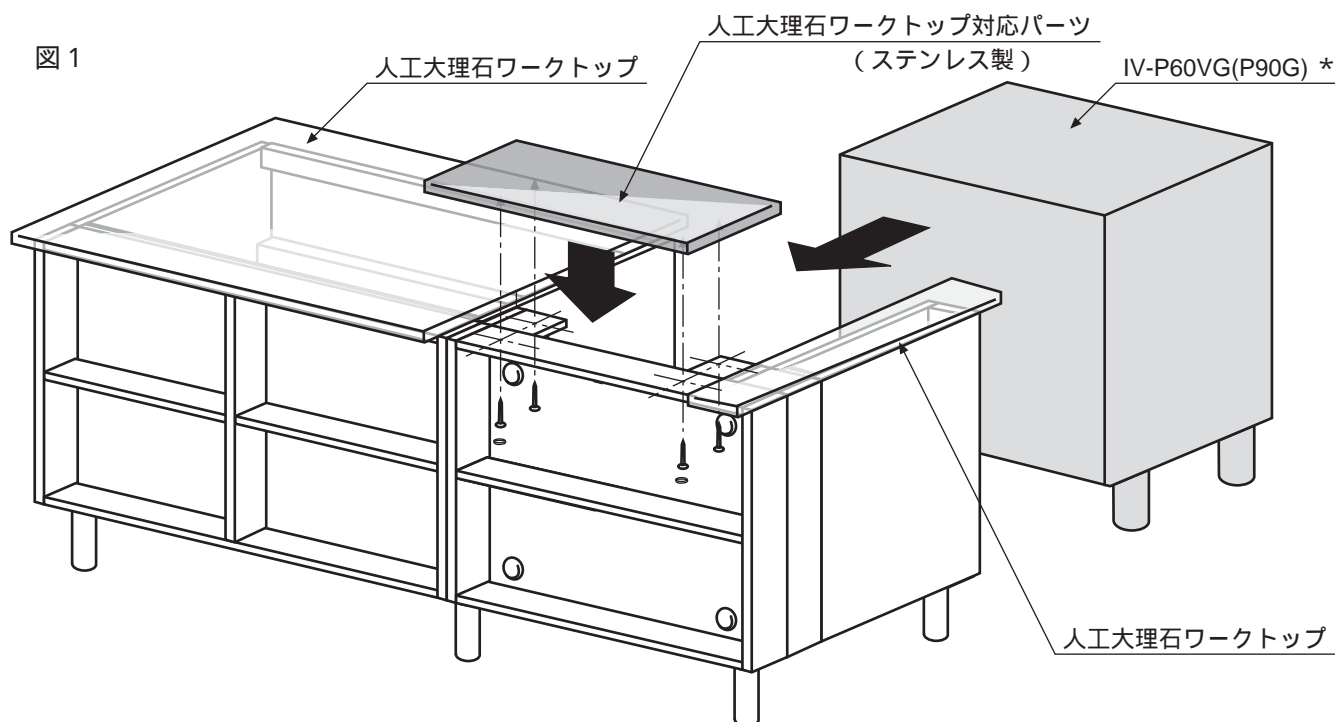
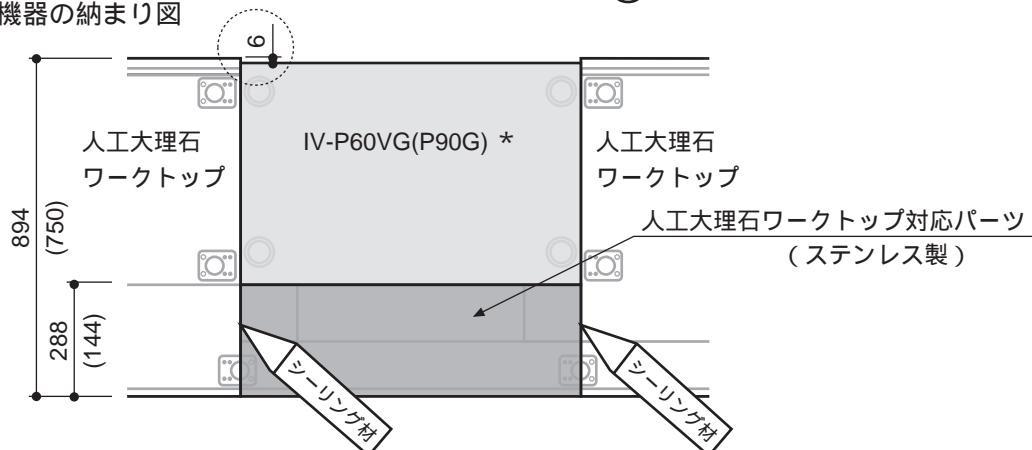


図2 機器の納まり図



1. 照明カバーを付属の⊕トラスタッピンネジ3.5×12にて図1の位置に取付けてください。
照明カバーはユニット前面（扉を含まない）および側面より0～2mm入った位置で取付けます。
なお、両面テープ（出きるだけ薄いもの）を併用すると、位置合わせが簡単で正確に行えます。
ステンレスサイドパネルを使用する場合は、サイドパネルの側面と照明カバーの側面を合わせてください。
（図2）
DOADOAの場合、前面より30mm入った位置で取付けます。（図3）
2. サイドキャップは壁面パネルがある場合と無い場合で長さが異なります。（図4・図5）
DOADOAの場合、サイドキャップはありません。（図6）

図1

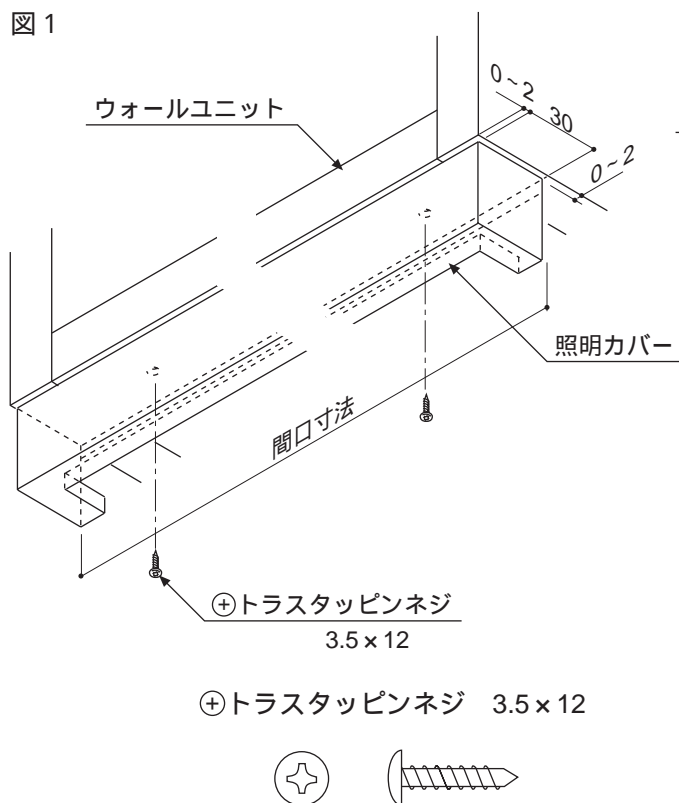


図2

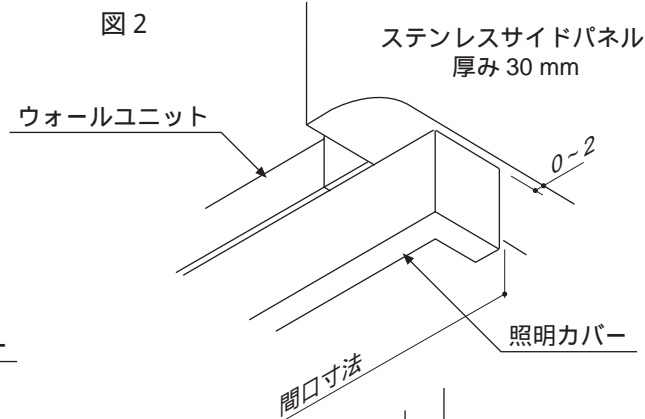


図3

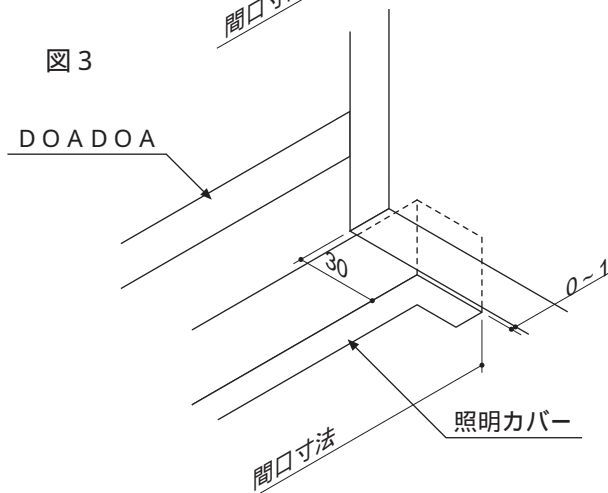
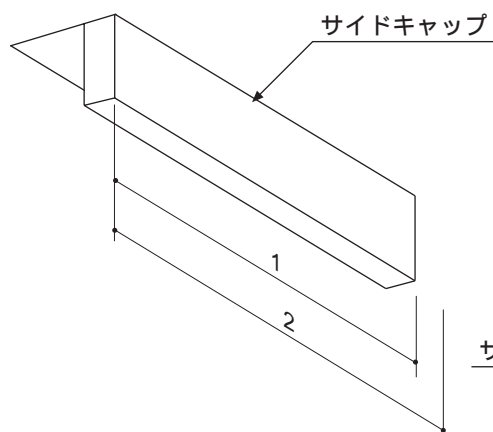


図4



- 1 L = 306 mm
(ウォールユニット D=350mm用壁面パネル仕様)
- 2 L = 318 mm
(ウォールユニット D=350mm用壁付け仕様)

図5 ウォールユニット

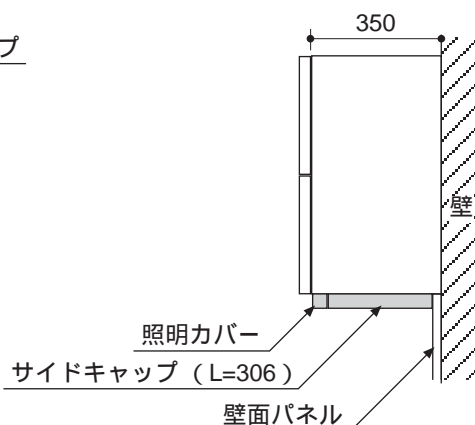


図6 DOADOA

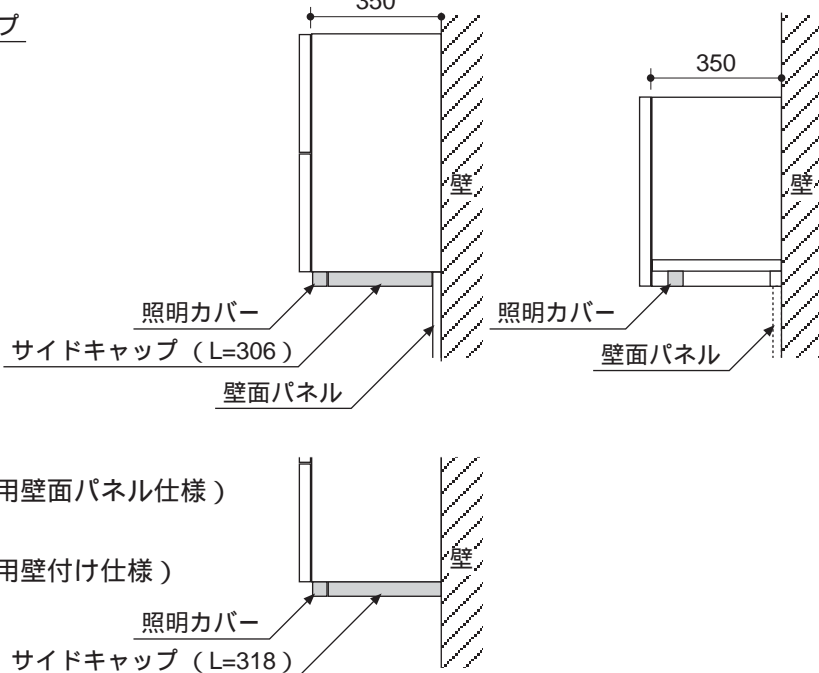


図 5

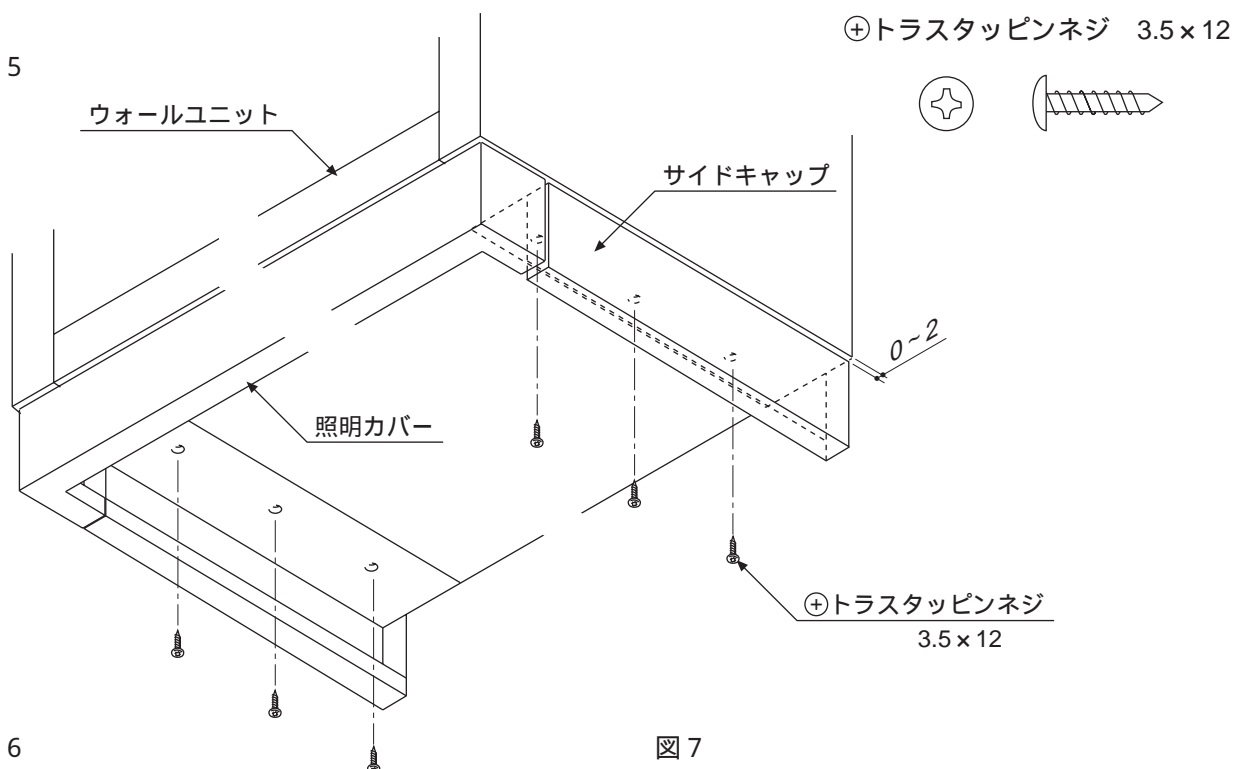


図 6

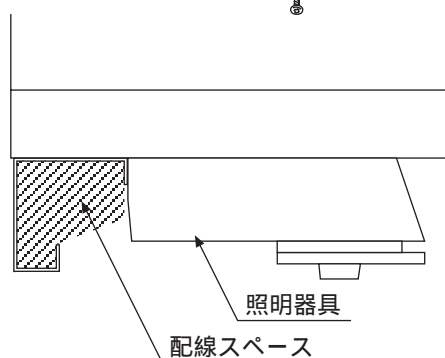


図 7

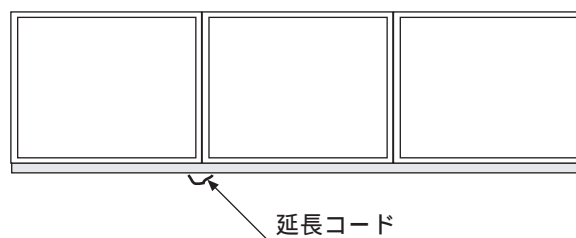


図 8

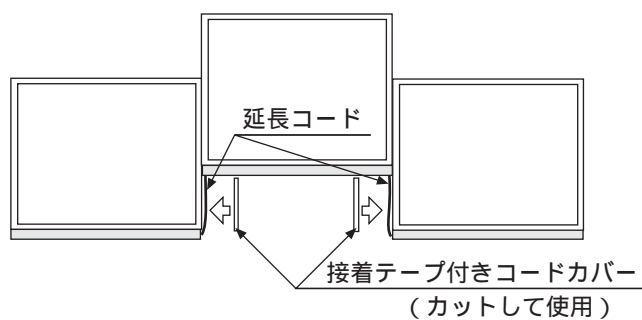
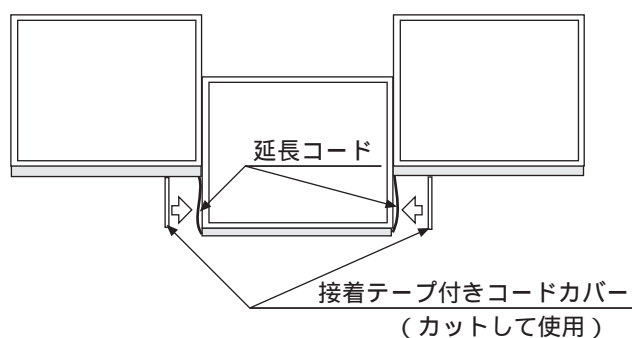


図 9



3. サイドキャップを照明カバーの側面に合わせて付属の④トラスタッピンネジ3.5×12にて取付けてください。(図5)

注意：ウォールユニットまたはステンレスサイドパネルの両端より0～2mm入った位置に取付けてください。

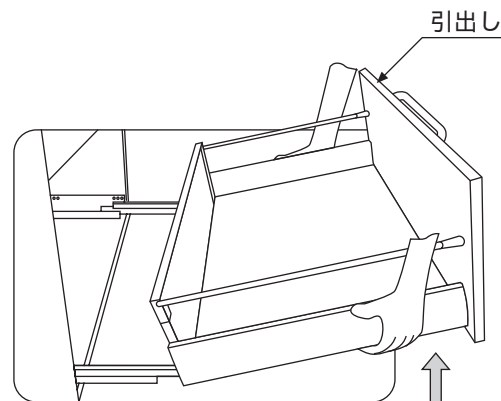
4. 照明器具を付属の④トラスタッピンネジ3.5×12にて、図6の位置に取付けてください。
なお、電源コード類は照明カバー内の配線スペースに収納してください。

注意1：照明器具を2本以上連結する場合は、付属の延長コードを使用してください。(図7)

注意2：図8・図9のように、ウォールユニットの底面が段違いになっている場合は、コードカバーを使用して延長コードを保護してください。

取り外し方

- ・引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。
- ・必ず両手で引出しを持って取り外してください。



取付け方

- ・引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図1）
- ・引出しレールの上に引出しを乗せてください。（図2）
- ・引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。（図3）

図1

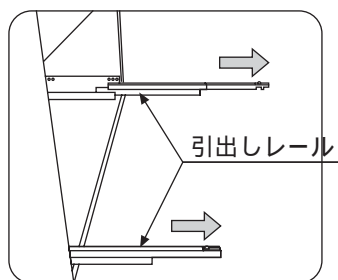


図2

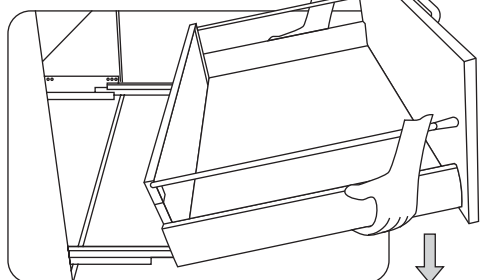
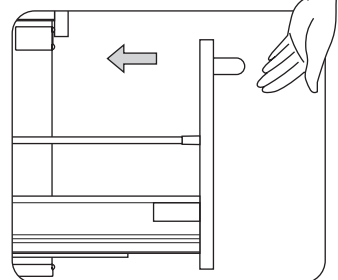
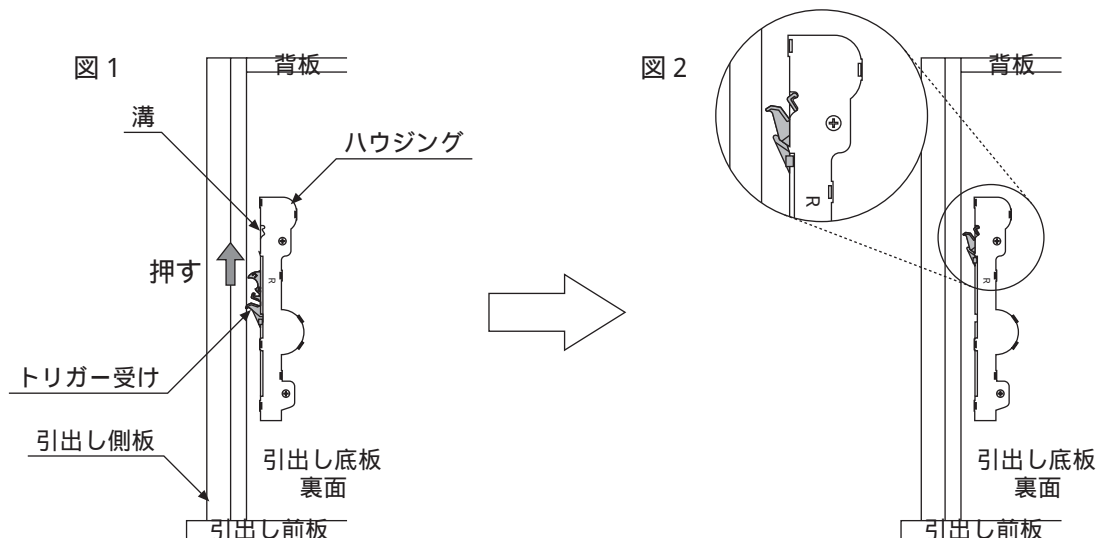


図3



引出し取付け時の注意（引出し底板裏面にハウジングがついている場合のみ）

- ・引出しを取付ける前に、引出し底板裏面についているトリガー受けがハウジングの背板側の溝にしっかり納まっているか確認してください。（図2）
- ・もし、図1のような状態になっている場合は、トリガー受けを背板側へ押して、ハウジングの溝に納めてください。



クロスギャラリーの取付け

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。(図1)
 - ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。(図2、図3)
 - ・クロスギャラリーのネジを締めます。(図1)
- 取り外す時は、逆の手順で行います。

図2

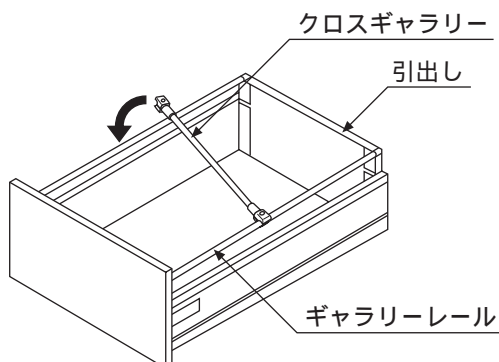
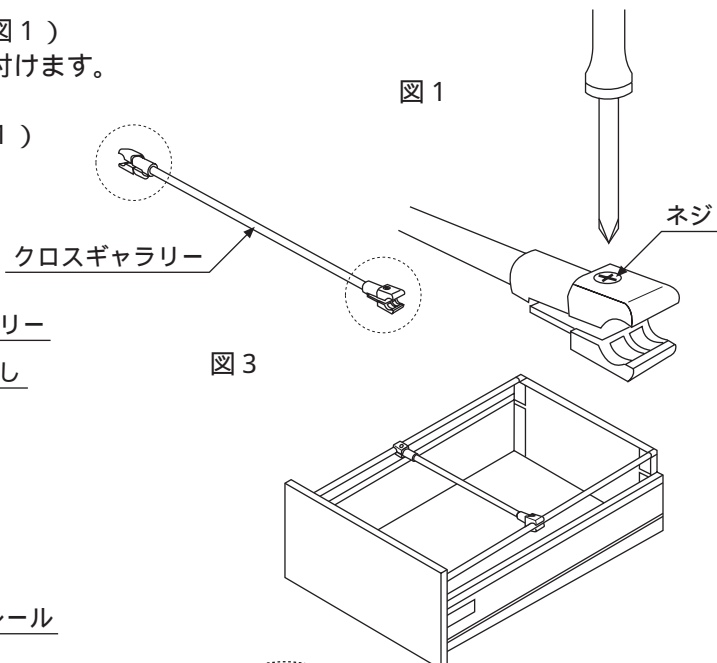
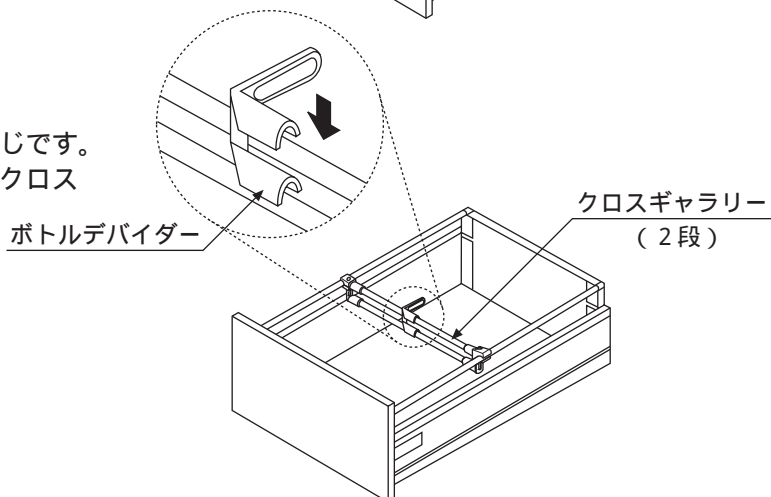


図3



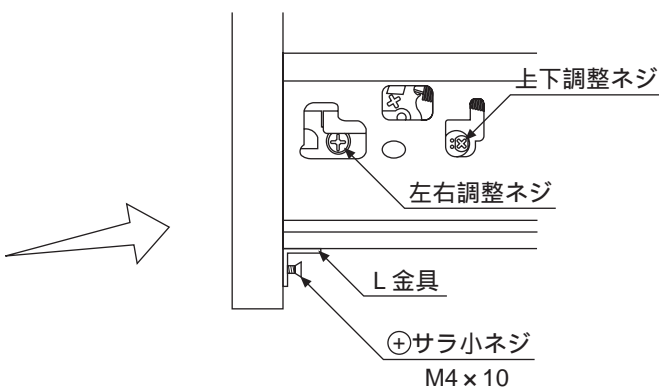
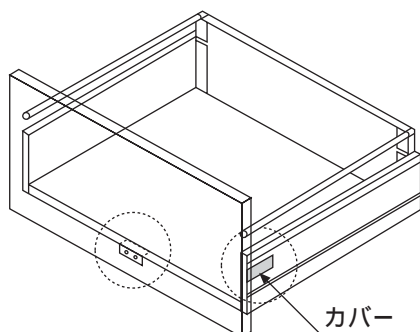
【クロスギャラリー2段タイプ】

- ・クロスギャラリー2段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。



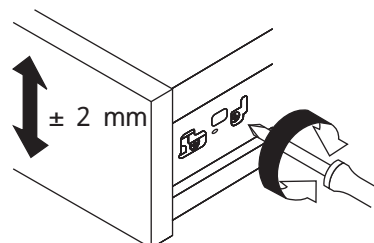
引出し前板の調整

- ・引出しの底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ(⊕サラ小ネジM4 × 10)をゆるめます。
- ・引出しの側板左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- ・調整が終わりましたら、L金具取付ネジを締めて、カバーを取付けてください。



上下方向の調整

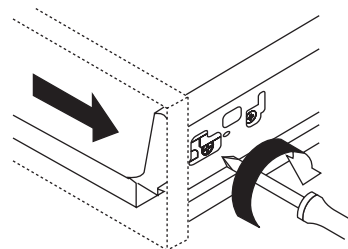
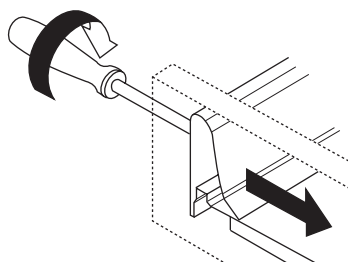
- ・上下調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の上下方向を調整します。
- ・± 2 mm調整できます。



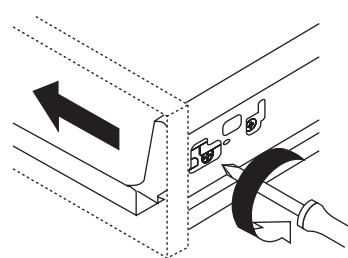
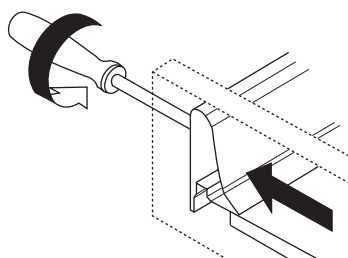
左右方向の調整

- ・ 左右調整ネジを+ドライバーで回して、引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ ± 1 mm調整できます。

右へ 1 mm

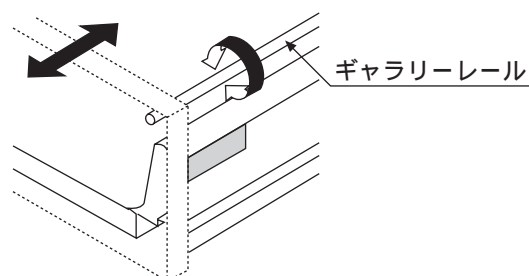


左へ 1 mm



傾き調整

- ・ ガラリーレール付き引出しのみ調整できます。
- ・ ガラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



据付け後の点検・清掃・養生

- ・ 「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- ・ 表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・ ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・ シンク・ガス機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等で中が見えるように養生してください。
- ・ 養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

ペルチェシステム、液晶シャッターの試運転

- ・ ペルチェシステム、液晶シャッターのスイッチを入れて、動作するか確認してください。
- ・ 試運転が終了した後、ペルチェシステムを長期間使用しない時は、電源を切ってください。

| | |
|------------------|--|
| 商 品 名 | システムキッチン【BAY・B-BAY・F-BAY】 トスカーナA [SDC *] エピ [D2A2] チロ [SDJ *] フォルテS [SDS *] 以外 |
| ホルムアルデヒド発散区分 | 内装仕上り部分及び下地部分とも F |
| 表 示 ル ー ル | 「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による |
| 製 造 番 号 | 本体に貼り付けの検査証をご確認ください |
| ホルムアルデヒド発散材料区分詳細 | 化粧パネル (P B) F M D F F 合 板 F 集成材 F 接着剤 F |

| | |
|------------------|--|
| 商 品 名 | システムキッチン【BAY・B-BAY・F-BAY】 トスカーナA [SDC *] エピ [D2A2] チロ [SDJ *] フォルテS [SDS *] |
| ホルムアルデヒド発散区分 | 内装仕上り部分 F 下地部分 F |
| 表 示 ル ー ル | 「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による |
| 製 造 番 号 | 本体に貼り付けの検査証をご確認ください |
| ホルムアルデヒド発散材料区分詳細 | 内装仕上り部分 F 扉パネル (P B) F 化粧パネル (P B) F M D F F 合 板 F 接着剤 F 下地部分 F 化粧パネル (P B) F 合 板 F 接着剤 F |

[illegible]

[illegible]

トーヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。



TOYO KITCHEN[®]

<http://www.toyokitchen.co.jp>

トーヨーキッチン&リビング株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山 6 - 4 - 10

ユーザーサポートセンター 東京・南青山
お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyo1.toyokitchen.co.jp

東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040 金 沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

P9WP-TRS24
05.4